

全学共通科目履修の手引き

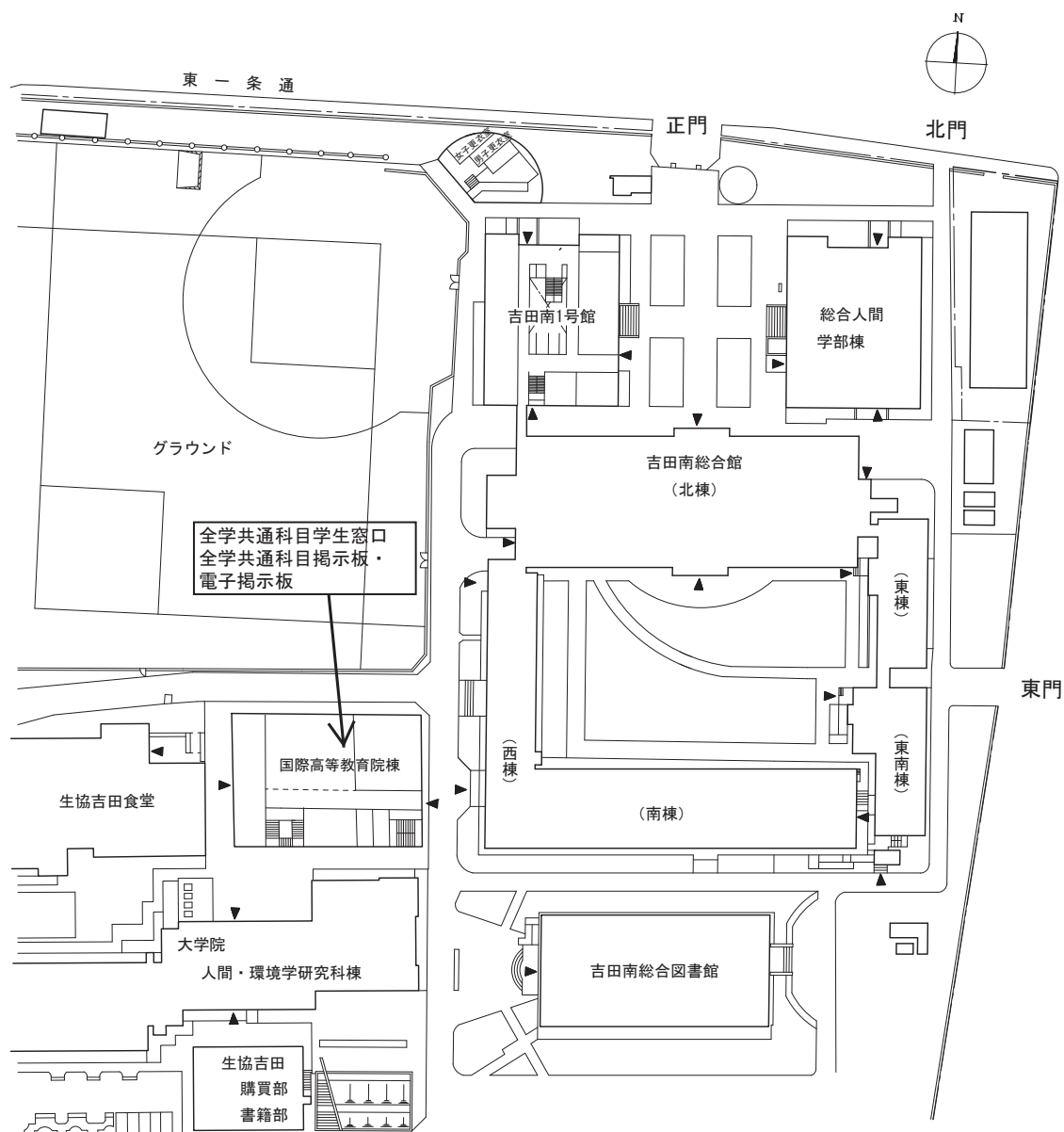
Handbook of Liberal Arts and Sciences Courses

平成 29 (2017) 年度

京 都 大 学

Kyoto University

KULASIS を常時確認するように心掛けてください。



◆ 全学共通科目に関する問い合わせ先 ◆

全学共通科目学生窓口（国際高等教育院棟1階）

受付時間

～ 授業期間、試験期間、およびフィードバック期間 ～
8時30分～18時45分
～ その他の期間 ～
8時30分～17時15分

※ただし、土曜・日曜・祝日・創立記念日・
8月第3週の月曜日～水曜日・年末年始(12/29～1/3)は休止

◆ KULASIS（京都大学教務情報システム） ◆

全学生共通ポータル : <https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/>

平成29 (2017) 年度 全学共通科目授業日程

【前期】

調整期間：4月4日(火)～7日(金)
 補講等のある授業については掲示で連絡します。
 入学式：4月7日(金)
 TOEFL ITP試験：4月15日(土)【1回生のみ】
 授業期間：4月10日(月)～7月21日(金)
 創立記念日：6月18日(日)
 試験期間：7月24日(月)～7月28日(金) ※2
 フィードバック期間：7月31日(月)～8月4日(金)

【後期】

授業期間：10月2日(月)～1月23日(火)
 月曜日授業：1月16日(火)
 金曜日授業：1月17日(水)、1月23日(火) ※1
 11月祭に伴う授業休止日：11月24日(金)・27日(月)
 休業日：12月29日(金)～1月3日(水)
 センター試験準備に伴う授業休止日：1月12日(金) ※1
 TOEFL ITP試験：12月9日(土)【1回生のみ】
 試験期間：1月24日(水)～1月30日(火) ※2
 フィードバック期間：1月31日(水)～2月6日(火)
 卒業式：3月27日(火)

- ※1 大学入試センター試験前日(1月12日(金)予定)の授業は、**全て1月23日(火)に振り替えられます**。1月12日(金)は授業がありません。
- ※2 試験期間に試験を実施する科目は、KULASIS及び掲示で周知します。

平成29年度 授業日カレンダー

前期・後期とも、各曜日14回の授業日と1週の試験期間及び1週のフィードバック期間を設けています。

【前期】 4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
30																				
7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
30	31																			
【後期】 10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
29	30	31												31						
1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

- **調整期間** ● **授業日** ● **試験期間** ● **フィードバック期間**
- **月曜日の授業に振り替え** ● **金曜日の授業に振り替え** ● **休講等による振り替え授業可能日**

《履修登録》

	前 期	後 期
外国語等予備登録(期間1)	3月27日(月)8:00～3月30日(木)18:00	9月15日(金)8:00～9月21日(木)18:00
外国語等予備登録(期間2)	4月3日(月)8:00～4月6日(木)18:00	9月25日(月)8:00～9月28日(木)18:00
ILASセミナー予備登録(1回生)	3月16日(木)～3月24日(金)17:00	9月25日(月)8:00～9月28日(木)18:00
ILASセミナー予備登録(2回生以上)	4月10日(月)～4月14日(金)	9月25日(月)8:00～9月28日(木)18:00
履修(人数)制限申込	4月10日(月)8:30～4月14日(金)18:30	10月2日(月)8:30～10月6日(金)18:30
履修登録ページ公開日	4月4日(火)	9月22日(金)
履修登録期間	4月20日(木)～4月24日(月)	10月13日(金)～10月17日(火)
履修登録確認・修正期間	4月27日(木)～5月1日(月)12:00	10月20日(金)～10月23日(月)
履修登録確定	5月8日(月)	10月26日(木)
履修登録取消期間	6月2日(金)～6月5日(月)	12月1日(金)～12月4日(月)

《授業時間・月曜日～金曜日》

時 限	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
授業時間	8:45～10:15	10:30～12:00	13:00～14:30	14:45～16:15	16:30～18:00

この日程は、全学共通科目のみに適用されます。学部科目は各学部の授業日程に従ってください。

全学共通科目履修の手引き

目次

学生の皆さんへ	1
1. 京都大学の教育課程と教養教育	2
2. 全学共通科目の履修	3
I. 全学共通科目の履修について	
1. 授業に関する連絡等について	36
2. 授業クラス	37
3. 授業について	38
4. 履修登録について	40
5. 外国語の履修について	45
6. E科目（英語関連科目）の履修について	65
7. スポーツ実習科目の履修について	68
8. 実験・実習の履修について	71
9. ILAS セミナーの履修について	73
10. 大学コンソーシアム京都単位互換科目について	76
11. 定期試験について	77
12. レポートの作成について	78
13. 不正行為について	79
14. 公正な研究について	80
15. 成績について	81
16. 特別警報、暴風警報発令時及び公共交通機関運行休止時の全学共通科目に係る授業・試験について	83
17. 地震等の発生時の避難方法について	84
II. 全学共通科目授業科目	
1. 科目一覧の見方	86
2. 全学共通科目一覧	87
3. 授業一覧の見方	96
4. 全学共通科目授業一覧	97
III. 全学共通科目授業時間割	
1. 授業時間割について	140
2. クラス別時間割（1回生）	141
3. クラス指定科目早見表（2回生）	149
4. クラス指定時間割	151
IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数	
1. 平成28年度以降入学者用	176
2. カリキュラム再編に伴う科目群の読み替えおよび単位の取り扱いについて	210
3. 平成25～27年度入学者用	212
4. 平成24年度以前入学者用	233
V. その他	
1. 系列変更	242
2. 転学部及び転学科	242
3. 教育職員免許状の取得について	242
4. 学芸員となる資格取得について	243
5. 吉田南総合図書館の利用案内	244
VI. 建物配置図等	
1. 吉田南構内の安全通行について	248
2. 京都大学吉田キャンパス建物配置図	250
3. 吉田南構内建物等配置図	251
4. 吉田南構内教室等配置図	252
5. 吉田南構内教室設備一覧	259

学生の皆さんへ

国際高等教育院長 村中 孝史



京都大学は、1897年の創立以来、学術の発展に多大な貢献をするとともに、各界に数多くの有為の人材を輩出してきました。多くの先輩が、日本で、そして世界で活躍されています。学生の皆さんには、その後を追いかけ、学問研究をさらに発展させ、あるいは、社会の様々な分野で重要な役割を担って活躍することが期待されています。皆さんがその期待に応え、又、ご自身の夢を実現するため、国際高等教育院では、教養・共通教育を通じて、学問の世界への船出を強力にサポートしたいと考えています。

国際高等教育院では、多様な分野に亘る教養科目、数学や物理といった基礎科目、英語や初修外国語といった外国語科目を中心に科目を編成しています。皆さんは、学部を選択して入学したからには、専門分野の勉強を早く始めたいと考えているかもしれませんが、しかし、学問研究を深めるためには、しっかりとした基礎が確立されている必要があります。また、高校までの受け身の勉強とは異なり、大学では自分自身で学ぶことを決めなければなりません。皆さんは、本格的な専門教育に移行する前に、こうした知的営為の転換を果たす必要があります。さらに、自分の選んだ専門分野以外の学問に触れ、多様な問題関心や学問的方法論を理解することも重要です。一見、関係がないように見えても、これらは専門分野の勉強に奥行きと幅をもたせるとともに、皆さんの将来に多くの実りをもたらしてくれることと思います。国際高等教育院の科目は、以上のような考慮に基づいて体系化されています。皆さんが、その趣旨を十分に理解して、積極的に授業に参加されることを期待しています。

国際高等教育院では、英語を使用言語とする授業を多数開講しています。国際化の進展は急速ですし、環境問題、食糧問題、人口問題等、もはや一国だけでは解決できない問題も多数現れています。皆さんが、国際化した社会において学問研究に従事し、あるいは、社会の様々な分野で活躍するためには、しっかりとした国際的視点とともに、十分なコミュニケーション力を身につけることが必要です。英語で提供される科目のほとんどは、外国人の教員によって担当されており、英語によるコミュニケーション力の向上だけでなく、異なる環境で培われた価値観や思考方法の理解にも資することと思います。また、国際高等教育院では従来の英語教育を抜本的に見直し、1年次において、少人数クラスや自習教材を活用したリスニング学習の導入等により、英語4技能のさらなる強化を図った上で、2年次については従来型の英語授業は廃止し、英語を使用言語とする授業のほか、英語力の強化に資すると考えられる科目をE科目として指定し、それらを履修することで、より高度な英語力を修得できるよう配慮しています。皆さんが、このような機会を存分に活用されるよう、期待しています。

前述しましたように、大学では、高校までとは異なり、何を学ぶかは、自分で決めることとなります。このことは、皆さんが大きな自由をもっていることを意味しますが、同時に、自分で決めなければ何も始まらないことも意味します。皆さんの学生生活が有意義なものとなるか否かは、自分次第です。しかし、そうだとすると、学問の発展は急速で、専門化の進展にも著しいものがあるため、自ら学ぶべきことを決めることは、次第に難しくなっています。そのため、国際高等教育院では、皆さんが道に迷うことのないよう、当該分野の基本的な問題意識や考え方が理解できるような科目の充実を図っています。また、ILASセミナーという少人数クラスを多数展開し、皆さんが、直接、教員に問いかける機会も充実させていますし、統合科学という科目では、現代社会における学問の意味を教員とともに考える機会を提供しています。これらも平成28年度からの新しい試みであり、皆さんが積極的に活用されるよう期待しています。

皆さんが、卒業後の進路をすでに決めているのであれば、学ぶべきことは比較的容易に決まるかもしれませんが、たとえそうであっても、又、まだ決めていない場合であればなおさら、しばらくは食欲に様々な学問に挑戦してほしいと思います。たしかに、そのような勉強は、将来の学問研究や職業に直接役立つことはないかもしれませんが、しかし、人間のこと、社会のこと、自然の摂理など、じっくりと考え、悩むことができるのは、学生時代だけだと思います。その時に何をどれだけ考えたかが、将来の自分を上げることだと思います。皆さんが大学で学ぶ時間は、大変貴重な時間です。その時間を無駄にせず、有意義に使ってもらいたいと思います。食欲に、情熱をもって、授業を担当する教員に向かってきて欲しいと考えています。

1. 京都大学の教育課程と教養教育

京都大学は、あらゆる学問分野の不断の発展を先導する先端的学術研究を進めるとともに、これを担い、また我が国のみならず国際社会において指導的役割を果たすことができる優れた人材の育成を任務としています。現代社会が直面する重要な課題が、より複合的で深刻な価値観の対立を含むものとなってきている現代にあつて、個々人が指導的な活躍をしていくためには、多様な専門分野間での共同が必要であり、異なる価値観や視点の共存を図ることが重要です。

学生諸君には、それぞれが志す分野の専門的知識や学問の方法を学ぶことは言うまでもありませんが、専門的知識・能力を十全に発揮していくためには、自らの専門性を全体の中に的確に位置づけ、異なる見方・考え方と対話し、多元的な視点で考察する能力ならびに歴史の脈絡の中でとらえる能力が要請されます。そして、健全な良識と深い人間的洞察力、そして高い責任感・倫理感をもって、自由で公正な民主社会の担い手となることが求められます。

本学の「基本理念」は、教育に関する項において、

1. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
2. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

と述べています。また、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」として、以下のとおり定めています。

1. 豊かな知性と人間性を育む教養教育を実施し、新たな知の創造につながる専門教育を積み上げ、社会の各方面で指導的な役割を果たしうる人材を育成する。
2. 多様でかつ調和のとれた教養教育を実施し、高度な教養と豊かな人間性、強固な責任感と高い倫理性を得させる。
3. 高等学校教育からの連続性に留意した基礎教育を実施する。その上に専門的知識を修得させ、総合的判断力の基礎となる知力を確実に育成するとともに、最先端の研究の場での積極的な活動を通じて専門的知識を深化させる。
4. 地域社会、そして全地球的な環境において指導的な活躍ができるよう、その基礎となる国際的視野や異文化理解能力、そしてコミュニケーション能力を養わせる。
5. 社会の変化に際しても自主的、積極的に対応できる能力を獲得させるため、対話を根幹とした自学自習の姿勢を効果的に修得させる。

このような基本姿勢に基づいて、学生諸君は各学部において具体化された教育課程に沿って学修することになりますが、大学における学修は学生諸君がこれまでに学んできた初等中等教育の学習とは異なり、各自の志にもとづいて自ら設計して取り組むものです。大学が提供する教育課程や授業はこれに指針を与え、学生諸君の学びを支援するものにほかなりません。「自学自習」とはこのことを指しています。また、十全な知識・技能を修得し、広い視野、深い洞察力、豊かな人間性を育むことは、単に教室での受動的な学習や書籍のみから得られるものではなく、教員、先輩、同僚など様々な経験、立場の人々との交流、協同、相互批判を通して実現するものです。このために、あらゆる学術分野の指導的な専門家と、歴史的に築かれた知の蓄積を擁している本学の優れた条件を活用することができます。「対話を根幹として」とは、このことを指しています。

学生諸君には、教養・共通教育において、先人の学びの発想と展開の脈略、その知と技法を自律的、順次的、体系的に学ぶとともに、交流を通して構想豊かに考える力を培い、専門教育においては、学術の最前線に触れながら専門の学芸を深めることにより、これらの総合力をもって自らの志に果敢にチャレンジするという、本学伝統のスピリットをよりどころに、次代を先見・先取する社会のリーダー、さらにまた未踏の学術領域の開拓者としての活躍が期待されています。

2. 全学共通科目の履修

京都大学の教養教育は、主として「全学共通科目」によって担われています。全学共通科目は、各学部の枠を越えて原則として全学部の学生を対象として開講される授業科目です。

全学共通科目は、平成 24 年度までは、A、B、C、D、EX の 5 つの群に区分され開講されていましたが、平成 25 年度からの①人文・社会科学系科目群、②自然・応用科学系科目群、③外国語科目群、④現代社会適応科目群、⑤拡大科目群の 5 つの科目群区分を経て、平成 28 年度からは、①人文・社会科学科目群、②自然科学科目群、③外国語科目群、④情報学科目群、⑤健康・スポーツ科目群、⑥キャリア形成科目群、⑦統合科学科目群、⑧少人数教育科目群の 8 つの科目群に区分され、開講されています。これをもとに各学部は、p.175 以下に示すように、卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数を定めています。なお、平成 27 年度以前入学者については、従来のおおりの卒業要件が適用され、平成 24 年度以前入学者は科目毎に A、B、C、D、EX の 5 つの群に読み替えられることになり、平成 25～27 年度入学者は p.210 の表のおおりに読み替えられます。一部の科目は、単位を修得しても卒業に必要な単位としては認定されませんので注意してください。

それぞれの科目群には、基礎から高度な内容にわたる多様な科目が提供されていますが、それらの科目の選択は基本的には学生諸君の自由な意志に委ねられています。この条件を生かし、限られた時間いかに効果的に修得するかは、諸君の自律性に依るものです。高い志を持ち、学習計画を十分に吟味することを期待します。

◆科目群について

① 人文・社会科学科目群

人文・社会科学科目群は、以下の 8 つの分野に区分されています。

哲学・思想、歴史・文明、芸術・文学・言語、教育・心理・社会、地域・文化、法・政治・経済、日本理解、外国文献研究

また、それぞれの分野の中で科目の性質を示す区分として、以下の 2 つに分けられています。

基礎：基礎的な知識・概念等を講義するもの

各論：より踏み込んだ内容に触れる、あるいは、より限定されたテーマを取り扱うもの、少人数で文献講読や研究発表を行うもの

【平成 24 年度以前入学者】

人文・社会科学科目群は、ほぼ A 群に相当しますが、A 群複合系列を中心に、キャリア形成科目群、統合科学科目群等に移行した科目もあります。また、従来外国語科目群で開講されていた英語 II (2 回生専用クラス) および文学部英語、英語 (教育学部) 等の各学部が提供する英語が移行した外国文献研究分野の科目を履修した場合は、C 群科目として取り扱われます。

② 自然科学科目群

自然科学科目群には、数学、統計、物理学、化学、生物学、地球科学、図学分野の科目が多様に提供されています。

これらの中では、主に専門教育との関連において一般的基礎となる基礎科目や、全学的に共通の教養科目があります。

基礎科目においては、標準履修年限を指定しクラス単位の履修を原則としている科目 (講義、実験等) があります。学部によって、基礎科目の履修に一定の要件を定めているところがあります。また教養科目の中には、特に文系学生を対象として開講されているものもあります。

【平成 24 年度以前入学者】

自然科学科目群は、ほぼ B 群に相当しますが、情報教育科目が情報学科目群に移行する等、他の科目群に移行した科目もあります。

③ 外国語科目群

全学共通科目として開講している外国語科目には、次の 10 カ国語の科目があります。

英 語

初修外国語： ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、
日本語（外国人留学生用）

それぞれ 1 回生用のクラスと 2 回生（以上）用のクラスに区分されており、1 回生用のクラスは、科目により履修クラスが指定されています。

【平成 24 年度以前入学者】

外国語科目群は、C 群に相当します。

④ 情報学科目群

情報学科目群は、従来自然・応用科学系科目群と現代社会適応科目群に分かれていた情報系科目を集約して設けられた群です。

【平成 24 年度以前入学者】

情報学科目群には、A 群社会科学系・複合系の一部科目と B 群情報教育科目が移行しています。

⑤ 健康・スポーツ科目群

健康・スポーツ科目群は、以下の 2 つに区分されています。

健康・スポーツ科学、スポーツ実習

現代社会適応科目群にあった健康科学系科目と、拡大科目群にあったスポーツ実習が、健康・スポーツ科目群として独立したひとつの群に集約されました。

【平成 24 年度以前入学者】

健康・スポーツ科目群は、D 群に相当します。

⑥ キャリア形成科目群

キャリア形成科目群は、コンプライアンス、国際コミュニケーション、学芸員課程、COCOLO 域、その他キャリア形成の 5 つの分野に区分されています。

また、平成 28 年度以降の入学者が、大学コンソーシアム京都単位互換科目を履修し、単位を修得した場合はキャリア形成科目群の科目として取り扱われます（p.76 参照）。

国際コミュニケーション分野には、従来外国語科目群で開講されていた英語 II（2 回生専用クラス）および拡大科目群のキャリア支援科目として開講されていた英語のスキルアップ等に関わる科目が、COCOLO 域分野には、拡大科目群の地域交流・貢献科目として開講されていた科目が、それぞれ移行しています。

平成 28 年度に国際交流分野で開講されていた科目は、平成 29 年度から少人数教育科目群に移行し、ILAS セミナー（海外）として開講されます。

【平成 24 年度以前入学者】

国際コミュニケーション分野の一部科目は A 群から移行しています。国際コミュニケーション分野の科目を履修した場合は、C 群科目として取り扱われますが、一部旧群が設定されていない科目もありますので、確認の上、履修してください。

⑦ 統合科学科目群

統合科学科目群には、統合科学、環境、森里海連環学、その他統合科学の 4 分野が設けられています。

【平成 24 年度以前入学者】

A 群と B 群で開講されていた環境系の科目が移行しています。統合科学分野は、旧群が設定されていないので、履修にあたっては注意してください。

③ 少人数教育科目群

少人数教育科目群は、従来の拡大科目群の少人数教育科目（ポケット・ゼミ）、人文・社会科学系科目群の前期基礎ゼミナール等が集約されて、独立したひとつの科目群を形成しています。名称が示すように、履修者数に上限が設けられています。海外での実地研修を目的とした科目も開講されています。

【平成 24 年度以前入学者】

A 群の基礎ゼミナールまたは国際交流科目、A 群または B 群のポケット・ゼミから移行した科目もありますが、旧群への読み替えはしません。履修することは可能ですが、卒業に必要な単位としては認定されないことに注意してください。

E 科目

国際高等教育院では、学生の英語によるコミュニケーション能力の向上と国際性の涵養を図るため、全学共通科目で開講されている科目の中から、英語力強化に資すると考えられる科目を選び、E 科目として指定しています。

外国語として「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で学ぶ」ことはみなさんの英語力を一層向上させ、国際的な学問研究や社会の様々な分野で活躍することにつながるものと考えますので、みなさんの積極的な受講を期待します。詳細は p.65 を参照してください。

◆ 科目群・分野の概要

(1) 哲学・思想分野（人文・社会科学科目群）

哲学・思想分野科目は、この分野に属する学問諸領域の基盤となる内容を紹介する「基礎」科目と、より専門的で限定された範囲の授業を講義形式で展開する「各論」の講義科目、および教員との双方向的なやりとりの可能な少人数でテキストの講読や研究発表などを行うゼミナール形式の科目（具体的には「〇〇基礎ゼミナール」、「ILAS セミナー」）の三種類に分かれている。

- 「基礎」科目は必ずしも当の学問全体の紹介や体系的な紹介とはかぎらない。「基礎」は初歩的であるということの意味するのではなく、当の学問の基礎・土台となるような根源的な内容を紹介し、その基本的精神を理解してもらうことを目標としている。ただし、まったくその学問の知識をもたないひとでも十分理解できるように配慮されている。
- ゼミナール形式の科目は原則的に「基礎」科目と対応していて（たとえば基礎科目「哲学」（Ⅰ・Ⅱ）」に対してゼミナール形式の科目「ILAS セミナー：哲学」（前期）、「哲学基礎ゼミナール」（後期）がある）、多くは「基礎」の担当者が担当している。この授業を履修することで「基礎」科目の内容をさらに深く、教員の個人的な薫陶をうけながら学んでいけるようになっている。ただ、関連する「基礎」を履修していなくても理解できるように配慮されている。
- 「各論」の講義科目は「基礎」の内容を深めていく形をとっていて、「基礎」担当者が担当しているものも多い。「基礎」科目を履修して興味を抱いた学生諸君は、ぜひ履修していただきたい。一部の科目については、関係する「基礎」を履修していることが履修要件になっているうえに、二回生以上指定の科目もあるので注意してほしい。

(2) 歴史・文明分野（人文・社会科学科目群）

① 日本史関係科目の分類

日本史関係科目は、基礎的な内容を中心とし、幅広い時代を取り上げる日本史（各々Ⅰ・Ⅱ）と、より限定されたテーマを取り上げる各論、および少人数で講読・研究発表などを行う基礎ゼミナール（前期は ILAS セミナー）で構成されている。

「日本史」は、担当者の専門によって、取り上げる時代・テーマが異なっており、それぞれ古代・中世・近世・近代に重点を置く内容となっている。しかし、幅広い時代に言及しているので、その内容はシラバスで十分確認してもらいたい。また同一担当者の授業のⅠ・Ⅱは関連した内容なので、連続して受講することが望ましいが、もちろん単独でも完結した内容である。これらの科目は、理系や、高校段階で日本史を履修していない受講者にも配慮する内容となっている。また前期開講の ILAS セミナーも、研究入門的な性格をもつ。

これに対し、各論、後期開講の基礎ゼミナールは、テーマがやや絞られており、専門性の高い授業もあるので、その内容についてはシラバスで確認してもらいたい。

② 東洋史関係科目の分類

東洋史関係科目は、「基礎」科目の「東洋史Ⅰ・Ⅱ」（それぞれ前・後期開講）と「各論」科目の「東洋史基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」に分かれる。基礎科目の「東洋史」は、おおむね「古代～中世史」、「近世史」「近代～現代史」に分けて開講される。詳細については、シラバスを参照してほしいが、高校段階で世界史を履修していない者にも配慮した内容となっているので、各人の興味と関心に応じて積極的に履修してもらいたい。

各論の「東洋史基礎ゼミナール」（後期開講）は、少人数授業の形式を取る。テーマが多少絞られていたり、やや専門性が高いこともあるが、世界史の教科書とかけ離れた内容にはならないので、果敢に挑戦してほしいと思う。少人数で行う文献講読やゼミ形式の授業では、受講者の主体的な授業参加が求められる。その分、厳しい要求をされることもあるが、それは必ずや成長の糧となるはずである。

なお、後期開講の「東洋史基礎ゼミナール」は、前期開講の ILAS セミナー「中国史の基礎資料」および「東洋史入門」で学んだことを基礎とし、それを発展させた内容を含んでいる。両者を連続して受講することで、より充実した学習を期待することができるであろう。

③ 西洋史関係科目の分類

西洋史関係科目は、ヨーロッパ社会の継時的な発展をとりあげる基礎的な西洋史Ⅰ・Ⅱと、比較的時代や、地域・国家を限定した各論、および少人数で講読・プレゼンテーションを行う基礎ゼミナールで構成されている。

西洋史Ⅰは、原則として、ヨーロッパの固有の文明の起源や成立にかかわり、西洋史Ⅱは、ヨーロッパの成立・発展にかかわるものであるが、ヨーロッパのすべての地域や国家を扱うものではないので、内容についてはシラバスで確認してほしい。また、これらの科目は、理系学生や、高校段階で世界史を履修していない人にも理解してもらえるように

配慮する。

各論は、時代や地域・国家を特定しているが、内容は基礎的であり、西洋史Ⅰ・Ⅱと同様に、初学者にも十分に配慮している。その内容についてはシラバスで確認してほしい。

④ 現代文明論科目の分類

現代文明論科目は、現代文明の思想的背景を扱う現代文明Ⅰと現代社会に特有の構造・現象をとりあげる現代文明Ⅱ、および少人数で講読やプレゼンテーションを行う基礎ゼミナールで構成されている。狭義の歴史学に収まらない分野横断的な視点から近代資本主義社会を含む経済文明の原理を探るという点で、最も「一般教養」科目に相応しい科目の一つであり、経済学系の教員が担当する。

(3) 芸術・文学・言語分野（人文・社会科学科目群）

① 芸術関係科目の分類

芸術関連科目では、主に西洋と東洋と日本の美術や音楽について、理解を深め、感性を磨くことを目指す。さらに、「美」とは何か、「芸術」とは何か、「創造性」とは何か、といった根本的なテーマについて受講生とともに考えていく科目構成になっている。

「基礎」は、「芸術学Ⅰ・Ⅱ」、「音楽芸術論Ⅰ・Ⅱ」、「東洋美術史Ⅰ・Ⅱ」からなる。「芸術学」では、古代から現代までの具体的な芸術作品や美学思想を分かりやすく解説しながら、アートに親しんで感性を磨いていく内容になっている。「音楽芸術論Ⅰ・Ⅱ」では、作品鑑賞等を通じて音楽の歴史と魅力に迫り、「東洋美術史Ⅰ・Ⅱ」ではインドや中国等の仏教美術の原点に触れる。いずれも理科系の学生にもぜひ受講してほしい内容である。

「各論」は、「創造行為総論（基礎篇）」と「創造行為総論（応用篇）」「近代芸術論A・B（隔年開講）」、「創造ルネッサンス論A・B」からなる。「創造行為総論」では、芸術や美について著わされた優れた著作を取り上げ、偉大な美の思索家たちの思想に触れる。「近代芸術論A・B（隔年開講）」、「創造ルネッサンス論A・B」では順に、日本の江戸・明治の芸術、西洋の芸術と思想について、「基礎編」から踏み込んだ理解を目指す。

「基礎ゼミナール」の「創造ルネッサンス論基礎ゼミナール」では、少人数のゼミ形式で、神話や宗教など、美術に取り上げられてきた主要なテーマに習熟することを目指す。「創造行為論講読演習」では、美学や芸術学の基本文献（外国語も含む）を読み込む力を養う。

② 国語国文学関係科目の分類

国語国文学関係科目には、基礎的な内容を中心として、幅広く古典文学を取り上げる「国語国文学」Ⅰ・Ⅱ、同じく近代文学を取り上げる「日本近代文学」Ⅰ・Ⅱ、中国古典文学を取り上げる「漢文学」Ⅰ・Ⅱ、日本語を取り上げる「言学」Ⅰ・Ⅱがある。「国語国文学」「日本近代文学」は、『万葉集』『古事記』など文学の始まりから平安時代の和歌や物語、中世の説話、近世の俳諧、さらには明治・大正・昭和期の文学について、日本語学の知見とも関連させながら入門的講義を行っている。また、日本の文化と日本語に大きな影響を及ぼした中国古典文学をカバーする「漢文学」は、高等学校で用いられたなじみある教材を用いた入門的講義で、より深い理解を獲得することを目指している。「言学」は、日本古典文学の知見を踏まえた、日本語に関する入門的講義である。いずれも、理系学生にも配慮した内容となっている。

より限定されたテーマを取り上げる「各論」科目には、日本や中国の古典を読む「日本語学文献講読論」Ⅰ・Ⅱや「日本古典講読論」Ⅰ・Ⅱ（いずれも2回生以上向け）、「中国古典講読論A・B」などがある。中には専門性の高い授業もあるので、その内容・履修条件についてはシラバスで確認してもらいたい。

後期開講の「日本近代文学基礎ゼミナール」は、前期開講のILASセミナー「日本近代文学」ともども、少人数で講読や研究発表を行うゼミ形式の授業であり、受講者には主体的な授業参加が求められる。

③ 言語関係科目の分類

言語関係科目は、言語を人間の思考とコミュニケーションの主要なツールと考え、思考とコミュニケーションのプロセスとメカニズムを解明し人間性の理解に迫ることを目標に、次のように体系化されている。

「言語科学Ⅰ」・「言語科学Ⅱ」では、入門的な内容ながら、音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論・異文化間コミュニケーションおよび言語教育への応用といった、言語学の主要分野を網羅的に扱う。これらに続くものとして、2回生以上向けの「言語構造論」・「言語機能論」・「言語認知論」・「言語比較論」が提供されている。いずれも、ことばに関する知的関心に沿った、わかりやすい授業内容であるが、自身の興味に応じた中身かどうかはシラバスで十分に確認してもらいたい。担当教員と事前に（あるいは初回の授業時に）相談してもらいたい。

(4) 教育・心理・社会分野(人文・社会科学科目群)

① 教育学関係科目の分類

教育学関係科目は、基礎的な内容を中心とする「基礎」としての「教育学Ⅰ・教育学Ⅱ」と、より応用的なテーマを取り上げる講義科目や、少人数で講読・研究発表などを行う基礎ゼミナール(「教育学基礎ゼミナール」と「ジェンダー論基礎ゼミナール」)からなる「各論」で構成されている。

「教育学Ⅰ」は、長い射程で教育そのものを論じながら、教育を見る眼を鍛えていくことをめざしており、「教育学Ⅱ」は、現代教育が抱えている国内・外の諸課題の把握・理解をめざすものである。「教育学Ⅰ・教育学Ⅱ」を担当している教員は、教育社会学・教育史・教育哲学を専攻しており、それぞれの学問の方法論にのっとり教育という事象を考察している。学問的な方法論の違いによって授業内容は大きく異なるので、詳細はシラバスで十分確認して欲しい。教育は学生のみなさんにとって身近なテーマであると思われるが、教育現象を学問の対象とすることの意義とそのため不可欠な理論や方法への理解を深めることが、教育学のめざすところである。

「各論」の講義科目は、テーマがやや絞られており、専門性の高い授業もあるが、興味をもった科目については、内容をシラバスで確認した上で、積極的に受講することが望ましい。また、「基礎」や「各論」には英語講義も複数存在しているので、これらの受講にも果敢に挑戦して欲しい。

基礎ゼミナールは、教員と学生との間での双方向的なやりとりが可能な少人数で行うもので、受講者には主体的な授業参加が求められる。ゼミ形式で報告と討論を行い、そのことを通して、教育学やジェンダー論のより深い理解ならびに問題意識の醸成をめざしている。なお、基礎ゼミナールは後期に開講されているが、前期には教育学関係の ILAS セミナーとして「教育・社会・国家」「学力・学校・社会」「ジェンダー論」が開講されている。ゼミ形式の授業に興味がある人は、基礎ゼミナールだけでなく、これらの ILAS セミナーを履修することも推奨する。

② 心理学関係科目の分類

心理学関係科目は、心理学に関連する幅広いトピックの中から、心理学を学んだことのない学生にも興味・関心を持つようなものを選び、入門的に概説する「基礎」科目、心理学の各分野別に体系的に基礎的内容を解説していく講義と、演習形式でしか身に付けることのできない心理学的思考法・方法論等を学ぶ基礎ゼミナールからなる「各論」科目、および ILAS セミナーという「少人数」科目の3種類からなる。

「基礎」科目では、心理学という学問分野の幅広い問題領域(ないしは応用領域)に触れてもらうとともに、心理学の基本的な考え方を理解してもらうことを目標としている。心理学は、生物としてのヒトを対象とする心理学と、人生を生きる人間を対象とする心理学に大別することができるのだが、心理学Ⅰは前者に、心理学Ⅱは後者に、大まかに対応している。

「各論」科目は、講義と基礎ゼミナールからなっている。講義は、講義担当者が専門としている分野に関する基礎的な内容を扱う講義であり、その分野の基礎的な知見から最先端の研究動向までを見据え、その分野の一通りの体系に触れてもらうことを目標としている。基礎ゼミナールでは、演習形式で、心理学の各分野の研究法を学んだり、心理学的思考法を応用して関連する諸現象を分析したり、文献講読を通じて最先端の知見を学んだりすることができる。各担当者の開講する講義と基礎ゼミナールは基本的に対応しているが、それぞれ独立して履修できるように配慮されている。

「少人数」科目は、ILAS セミナーであり、基礎ゼミナールと同様、少人数の演習形式で心理学の各分野の入門的内容を実践的に学ぶことができる。

心理学は、対象に関しても、方法論や研究スタンスに関しても、きわめて幅広い分野である。授業の詳細をシラバスで確認の上、ぜひ多様な「心理学」を履修してもらいたい。

精神分析学・精神病理学関係の科目のうち、精神分析学関係の科目は、歴史的展開を踏まえて精神分析の基礎的な考え方を学ぶ「精神分析学」と、精神分析の考え方を応用しながら芸術や集団心理を理解する「精神分析Ⅰ・Ⅱ」、また、研究的接近のとは口となる「精神病理学・精神分析学講読演習」とから成る。

また、精神病理学関係の科目は、精神疾患からの社会復帰の課題を考える「行動病理学Ⅰ・Ⅱ」、研究的接近を講読によって試みる上記の「精神病理学・精神分析学講読演習」とから成る。このうち「行動病理学Ⅰ・Ⅱ」では、複数部局と非常勤講師の協力のもとに、共生の理念のもとで、現在の精神障害者福祉の在り方に触れる。

精神病理学と精神分析学は、独立した人間理解の体系を成すと同時に、臨床活動において密接な協力関係があり、それゆえ一つの科目群として履修してもらうこととなっている。特に、講読を通じてテーマを見つけてゆくための「精神病理学・精神分析学講読演習」は、単一の講読科目に総合されている。

③ 社会学関係科目の分類

社会学関係科目は、基礎的な内容を中心とする「社会学」(Ⅰ、Ⅱ)、より応用的なテーマを取り上げる「社会学各論」(Ⅰ、Ⅱ)、および少人数で講読・研究発表などを行う「ILAS セミナー：社会学」(Ⅰ、Ⅱ)、「ILAS セミナー：社会学入門」、「社会学基礎ゼミナール」(Ⅰ、Ⅱ)、「社会学演習」で構成されている(「ILAS セミナー：社会学」、「ILAS セミ

ナー：社会学入門」は少人数教育科目群に属する。

「社会学」は、社会学理論の基本的な概念と学説を紹介する「社会学Ⅰ」（前期開講、計4コマ）と、それらの基本概念・学説に基づく社会学の経験的研究を幅広く紹介する「社会学Ⅱ」（後期開講、計4コマ）から成る。いずれも、大学で初めて学ぶ社会学という学問の基本的な視点や発想の意義、またそれによって現代社会の現実をどのように「常識」を超えた観点から捉えることができるかということ、理系学生も含めた初学者に体得してもらうことを目標としており、（高校の公民科などの）特別な予備知識は必要としない。

「社会学各論」は、「社会学各論Ⅰ」（1コマ）が前期に、「社会学各論Ⅱ」（1コマ）が後期に、それぞれ開講される。これらは、「社会学Ⅰ」の応用として、「社会学Ⅱ」よりも領域を限定した）社会学の専門的研究を、やや深く掘り下げて紹介する。具体的な内容は年度によって変化するので、内容および履修条件についてはシラバスで確認してほしい。

少人数科目は、「ILASセミナー：社会学Ⅰ」「ILASセミナー：社会学Ⅱ」「ILASセミナー：社会学入門」（各1コマ）が前期に、「社会学基礎ゼミナールⅠ」「社会学基礎ゼミナールⅡ」「社会学演習」（各1コマ）が後期に、それぞれ開講される。いずれも少人数でテキストの講読や研究発表を行うゼミ形式の授業であり、受講者には主体的な授業参加が求められる。前期に「ILASセミナー：社会学」（Ⅰ、Ⅱ）または「ILASセミナー：社会学入門」を履修した学生は、後期に「社会学基礎ゼミナール」（Ⅰ、Ⅱ）または「社会学演習」を続けて履修することで、より学修を深められるように計画しているので、もし可能であれば前後期連続した履修を推奨する。扱うテキスト等は年度によって変化するので、内容についてはシラバスで確認してほしい。ただし、いずれも社会学の初学者を対象としており、特別な予備知識を必要としない点は、「社会学」と同様である。

※ただし平成29年度のみ、「ILASセミナー：社会学Ⅰ」および「社会学基礎ゼミナールⅠ」（各1コマ）は不開講となる。

（5）地域・文化分野（人文・社会科学科目群）

① 人類学関係科目の分類

人類学関係科目は、文化人類学および下位分野の一般的な内容を講義する基礎論（文化人類学Ⅰ・Ⅱ、生態人類学Ⅰ・Ⅱ等）、より限定的な内容を講義する各論（文化人類学各論Ⅰ・Ⅱ、宗教人類学等）の講義科目、少人数で講読や発表を行う調査演習・ゼミナールで構成されている。

講義科目の基礎論・各論ともに、世界各地の多様な環境のもとにある人間の生活を主題としており、知的興味さえあれば文系・理系を問わず、初学者でも受講可能な授業内容となっている。講義で扱う内容は、担当教員の専門により多彩である。そのため、受講希望者は、自身の学習目標を主体的に設定し、シラバスで講義内容を十分に確認した上で、複数の講義科目を選択して履修することが望ましい。

演習・ゼミナールは、講義科目履修者または既修者の受講が望ましい（必須ではない）。ILASセミナー（文化人類学調査法・社会人類学調査法）および調査演習は、人類学的研究に必須の調査方法であるフィールドワークの基本を学ぶ少人数科目であり、文献講読のほか、調査計画立案、参与観察による資料収集、資料分析と提示の方法を実践的に習得することを目指す。地域研究ゼミナールは、アジアやアフリカ地域における人類学的文献を講読する。

② 地理学関係科目の分類

地理学関係科目は、基礎論としての「人文地理学」、「地域地理学」、「自然地理学」と、都市・村落・歴史地理・地域情報・経済地理あるいは日本・欧米・アジアアフリカに関して踏み込んで考える各論、そして少人数で行う基礎ゼミナールからなる。これに地理学関係教員が担当するILASセミナーが加わる。

高校までの地理教育は、世界の諸地域について事項を学ぶ科目としてとらえられがちであるが、大学で学ぶ地理学科目は、世界諸地域の多様性を重視しつつ、環境と地域文化との関連や文化間の相互作用の考察を通して地域の成り立ちを明らかにするものである。基礎論・各論それぞれ対象や方法は幅広く多様であるが、特色として「地図を読む」、「地図で描く」ことを通じた空間的なものの見方の重視をあげることができよう。

基礎ゼミナール科目は、地図の読解・作成やコンピュータによる地理情報の分析・表示など実習を含むものである。ILASセミナーでは、主に文献講読や受講者各自の研究発表を行う。

③ 環境構成論関係科目の分類

環境構成論関係科目は、建築および建築によって構成される環境（都市・集落）を扱う科目群である。とりわけ建築と環境の歴史とその保全をテーマとしている。世界遺産登録に象徴されるように、わが国の歴史的環境や資源の保全と活用への期待は、今後ますます高まっていくことが予想される。そうした動きは現在、遺産学という大きな枠組みで世界レベルの議論へと拡大すると同時に、われわれの身近なまちづくりにおいても必須の要件として認知されるに至っている。環境構成論科目は、その基礎的事項を講じると同時に、最前線の状況を紹介するものである。「都市空間論」が基盤となる内容を扱う基礎論、「都市空間保全論」、「都市空間史論」などが個別のテーマを取り上げる各論、「都市空間論基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」が少人数で講読・研究発表・見学会などを行うゼミ形式の科目となっている。担当教員の専門

によって、取り上げる建物や地域、また研究の視点や方法論等が異なるため、各科目の内容はシラバスで確認していただきたい。

特に必要となる予備知識はなく、理系・文系を問わず履修することが出来る内容となっている。また、各科目は、それぞれ独立した内容となっており、単独での履修も問題はない。もちろん、当該分野の幅広い知識を得、かつ理解を深めるためには、連続して履修する、あるいは複数の教員の科目を履修することが望ましい。さらに体系的に学びたい学生は、建築系の科目や環境系の科目と併せて履修することをお勧めする。

(6) 法・政治・経済分野(人文・社会科学科目群)

① 法学関係科目の分類

全学共通科目の法学系科目は、広く法学全体の導入・案内をおこなう基礎的・入門的科目(「基礎」)、いくぶん主題や方法を限定して発展的・専門的内容を学ぶ科目や少人数での講読・プレゼンテーションを中心にすすめられる基礎ゼミナール(「各論」)の二種類から構成されている。またこれと合わせ、基礎ゼミナール同様少人数でのきめ細かな指導をめざすILASセミナーも提供する。

ILASセミナーは、前期のみの開講である。現代・過去の法律問題、あるいは社会的・経済的・政治的問題にも広く題材を求めつつ、大学での学習全般への手引き(文献資料の探し方、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方など)を提供する。人文・社会科学系科目の基本的な学習技術を身につけ、この分野への関心を喚起・発展させる機会として活用してもらいたい。

基礎科目・各論科目はいずれも、専門課程において法学を専攻する予定の受講者(法学部生)にとってはその後の法学学習の導入・基礎固めとしての役割を果たすいっぽうで、それ以外の受講者にとっては社会生活上求められる法律に関する基本的な知識と考え方を示すとともに、他の学習分野・学問領域との関連について広い視野を得る機会を提供する。法学それ自体はたくさんの細分化された専門領域からなる広大な学問領域であり、全学共通科目のなかでその全貌を紹介することは不可能であるが、そこに通底する共通の発想や関心のあり方に触れていただき、今後の学習と生活に役立てていただきたいと考えている。

基礎科目は、主として法学についての特別な基礎知識をもたない初学者を前提に、法学学習者に求められる最も基礎的な知識・技術を提供し、特有の発想に親しんでもらうことをめざす。憲法、民法、刑法や民事・刑事訴訟法、行政法、労働法等々個別の法領域だけでなく、六法や判例をはじめとする法情報へのアクセス方法、専門用語に関する基礎的な理解、条文解釈の方法等を提示して、法律・法学への広くバランスのとれた見方を身につけてもらいたいと考えている。

各論科目は、各担当教員の専攻する研究領域に近い内容に特化することで、諸君の関心に応じた受講が可能になっている(とはいえ、特別な予備知識がなくても受講できるように配慮がなされている)。個々の講義内容は担当教員や開講年次等によって異なるので、くわしくはシラバスで確認してほしい。

なお、科目・担当教員によっては、指定教科書や参考図書のほかに、六法(『ポケット六法』等のハンディ版)や用語辞典、法令用語の概説書等の携行・参照が求められる場合がある。

一般に法律の世界、法学という学問に対しては、杓子定規で堅苦しいというイメージが付きまといがちだが、実際には、きわめて幅の広い想像力と柔軟な創造力を求められる領域でもある。法学特有のものの方・考え方に触れることを通じて、諸君の視野と関心を広げていく一助としてほしい。

② 政治学関係科目の分類

政治学系科目は、日本をはじめとする先進国における政治の実態や歴史、あるいは、発展途上国を含めた政治的発展の歴史と理論、さらには国際政治の実態や歴史について学びながら、政治学に関する基本的な概念や理論を理解し、それにもとづいて現実の政治現象を解釈・分析できるようになることを目指している。

「基礎論」は、「政治学Ⅰ」および「政治学Ⅱ」などからなる。これらの講義では、政治学における基本概念(民主主義、権力、政治体制など)について説明するとともに、これまで展開されてきた政治学の理論にもとづく政治現象の分析を紹介する。

「各論」は、「国際政治論Ⅰ」、「国際政治論Ⅱ」、「公共政策論Ⅰ」、「歴史の中の政治と人間」、「現代政治分析への招待」などからなっており、基礎論にくらべて、より専門性の高いテーマを扱っているが、特別な予備知識がなくとも履修できるように配慮がなされている。具体的には、国際政治や行政、政治思想などについて講ずるものや、政治現象を分析するためのさまざまなモデルや手法の紹介がなされるものがある。

「基礎ゼミナール」では、主としてゼミ形式で、基礎的文献の講読や各自の研究報告などをおこなうこととなっている。特別な予備知識などは必要ないが、受講者の積極的な参加が望まれる。なお、基礎ゼミナールは後期に開講されるが、前期には政治学関係のILASセミナーとして「公共政策論Ⅰ」「国際政治論」が開講されている。ゼミ形式の授業に興味がある人は、基礎ゼミナールだけでなく、これらのILASセミナーの履修も推奨する。

③ 経済学関係科目の分類

経済学関係科目は、基礎的な内容を中心とする基礎科目、より限定されたテーマを取り扱う各論科目、および少人数で講読・研究発表などを行なう基礎ゼミナールで構成されている。

基礎科目は、「経済学Ⅰ」において、そもそも経済とは何かという視点から、幅広く経済を見る目を鍛えることを目指す。また「経済学Ⅱ」においては、現代経済の諸問題をどう考えるかという視点から、諸課題の把握・理解を目指す。それぞれ、経済思想史、マルクス経済学、ミクロ経済学、マクロ経済学という4つの観点から、「経済学Ⅰ」において長い射程で経済そのものを論じ、「経済学Ⅱ」においてより現代的な諸課題について考える。「経済学Ⅰ・Ⅱ」はいずれも「基礎論」的性格をもつが、ここで「基礎」とは、必ずしも初学者のための「初歩」、あるいは経済学部におけるカリキュラムの「初級」を意味しない。予備知識を必ずしも必要としないが、経済学の基礎となる思考法を理解してもらうことを目標とする。なお歴史・文明分野の基礎科目「現代文明Ⅰ・Ⅱ」も、狭義の歴史学に収まらない分野横断的な視点から経済文明の原理を探るものであり、併せて履修することが望ましい。

各論科目は、「社会経済システム論」、「現代経済社会論」、「公共政策論Ⅱ」などがあり、政治・社会など隣接諸分野との関連（インターフェイス）、現代との関連（フロンティア）をより強く意識した講義を提供する。

基礎ゼミナールは、少人数で講読や研究発表を行なうゼミ形式の授業であり、全学部・全学年にわたる学生が一堂に会して議論できる稀有な空間である。受講者には主体的な参加が求められる。前期のILASセミナーを履修した学生が後期に本ゼミナールを続けて履修することで、より学修が深められるよう工夫されており、ILASセミナーと組み合わせた系統的履修が望ましい。

(7) 日本理解分野（人文・社会科学科目群）

日本理解分野は、留学生を対象としたもので、日本に対する関心を広げ、理解を深めることを目的としている。Culture and Traditions in Japan I、Culture and Traditions in Japan II、Current Issues in Japan I、Current Issues in Japan IIの4科目が提供され、人文科学や社会科学の視点から、日本の文化、社会の特徴について概観できるよう構成されている。また、多様な文化的背景を持つ受講生が想定されることから、日本、自国、他国の文化や社会状況の比較を通して、それぞれについての理解を深めることも目指す。講義は英語で行われ、KUINEP学生の推奨科目となっている。

留学生を対象とした科目であるが、一部科目では、留学生以外であっても、日本の文化、社会について留学生と共に学ぶ意欲のある本学学生の聴講（単位付与は行われぬ）を認めている。詳しくは各科目のシラバスを確認すること。

Culture and Traditions in Japan I（前期）では、一期一会、以心伝心などのキーワードを手がかりに、言葉を通して日本文化の特徴を探っていく。Culture and Traditions in Japan II（後期）では、年中行事、信仰、婚姻、教育など様々な側面を取り上げ、文化や伝統の特徴、その歴史の変遷を考察する。Current Issues in Japan I、IIは共に社会科学的視点から、Current Issues in Japan I（前期）は家庭、学校、スポーツ、日常生活、Current Issues in Japan II（前期・後期）は経営、経済、産業などの題材を選定し、日本社会の特徴について学ぶ。以上の4科目は、日本に関する知識が十分でない人でも理解できるよう配慮されている。また、複数の科目を受講することで、より幅広い内容を網羅し、効果的な学習が期待できるようになっている。

(8) 外国文献研究分野（人文・社会科学科目群）

全学向けにE1科目として開講される「外国文献研究（全・英）-E1」は、言語と結びついた文化や芸術、あるいは言語科学に関するテーマを取り上げて、これらの専門領域に関する知識や理解を深めると同時に、当該分野のテキストの読解をとおして、学術に資する英語力を強化することに重点を置く。

このような本科目の性質上、授業では、担当教員による解説のみならず、受講生が積極的に参加する場も提供され、講義と演習を融合した形態がとられる。受講生が、<ことば>に関わる文化や科学の第一線の研究に触れ、実践的に関わることによって、英語という<ことば>に対する感覚を磨きつつ、教養を涵養することが、本科目の目的である。

外国文献研究分野では、この他に特定の学部に向けた科目が開講される。詳細は、p.66,67を参照すること。

(9) 数学(自然科学科目群)

全学共通科目として提供されている数学科目は、理系向けと文系向け及び全学向けに分かれている。主要なものについて、その概要を「理系向け」と「文系・全学向け」に分けて説明する。

▶ 「理系向け」

多くの自然科学・応用科学において、数学はその理論を記述するための言葉を提供する。実際、数学無しにはこれらの理論を理解することも正確に記述することもできない。数学は、いわば学問の礎なのである。そこで、理系の多くの学部・学科においては、全学共通科目における数学科目を「専門の基礎となる科目」として必要に応じて幾つか指定し、クラス指定科目として履修を推奨している。ここでは主にこれらの科目について概説する。クラス指定科目として挙げられる数学科目で多くの学部・学科の学生に関係するものは、次の表にまとめられる。

- | | |
|---|------------------------------------------|
| ① | 微分積分学(講義・演義)A・B
線形代数学(講義・演義)A・B |
| ② | 微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ、線形代数学統論
確率論基礎、数理統計(※分野は統計) |

この表の①・②は学修の順次性を示しており、原則、①に書かれている科目を学修してから②に書かれている科目を履修することになる。また、学部・学科によっては、②で学修した内容は更なる発展的内容の数学を学修するための基礎事項となる。

数学の学修においては、その順次性は無視しにくい。微分積分の基礎事項の理解も無しに微分方程式(これは微積分統論Ⅱで扱われる)を論じようというのは、喩えるなら四則演算も知らずに代数方程式を論じるようなものであり、殆ど意味を成さないであろう。したがって、初期段階の数学の学修を疎かにすると後の学修に悪影響が生じるのは至極当然のことである。各学生においてはこのようなことの無いよう、特に一回生担当の科目については、担当されたクラス指定科目を着実に履修することが強く望まれている。

▶ 「文系向け・全学向け」

文系向け・全学向けに開講されている科目には、例えば以下のものがある。

数学基礎 A・B [文系]

数学探訪Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

左側に挙げられている科目は文系向けの科目で、将来の学修で必要となりうる数学的技法を学ぶことを主たる目的とした科目である。現在では、分野によっては文系といえども高校数学の範囲を超えた数学が必要となる。そのような数学的技法を、高校で数学Ⅲを履修していない学生を対象として講義する。

右側に挙げられている科目は全学向けの科目である。実践的な数学的技法を修得するための科目というよりは、むしろ数学の多様な価値に触れることを目的とした科目であり、数学の色々な分野を題材にした講義が行われる。

▶ 数学科目の紹介 — 関数の解析を切り口として —

関数 数学において「関数」は重要な概念である。関数とは、何かを入力すると数が出される、そういう装置である。出力される数のことを関数の値と言う。入力するものを動かすとそれに応じて関数の値が動く。関数は変化する量を表わしている。数学では、関数はいろいろな動機を持って研究されている。では、何故関数が興味を持って調べられるようになったのか?それは世の中の多くの「現象」が関数という言葉によって記述されるからである。

「現象を関数で記述する」とはどういうことか?例えば、新幹線に乗って京都から博多に向かうとき、時刻 t における列車の位置を京都からの走行距離として $x(t)$ と表せば、新幹線の走行という現象を関数で記述したことになる。新幹線が一定の速度で走行していれば、 $x(t)$ は一次式になり、加速中は下に凸の、減速中は上に凸の関数になる。

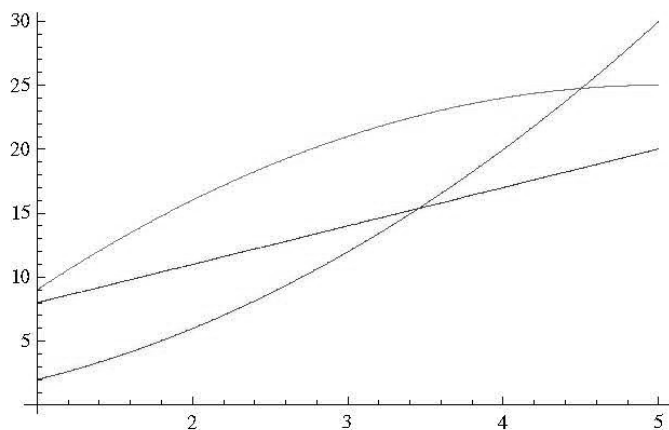


図1 走行距離のグラフ

他にも例を挙げよう。ある地域の各地点 P に対してそこでの温度 T を対応させれば、これは地点 P の関数を定める。地点 P は座標をつかうことによって2つの変数 x, y で表されるので、温度は2変数関数 $T(x, y)$ で表わされることになる。

温度ではなく、各地点 P での空気の流れ(風)を考えると、それは風向きと強さで表わされる。したがって、風の状態は各点 P に風向きの方に風の強さに比例した長さの矢印を配置することで表現される(図2)。 $P=(x, y)$ を根元とする矢印の、矢の先端の x 座標の値から x を引いたものを $u(x, y)$ とし、 y 座標の値から y を引いたものを $v(x, y)$ で表わすことにすれば、風の状態は $(u(x, y), v(x, y))$ という2変数の関数2個の組で表わされる。これもまた関数の仲間であり、2次元ベクトル場と呼ばれる。ベクトル場は「流れ」を記述する際に自然に出てくる。

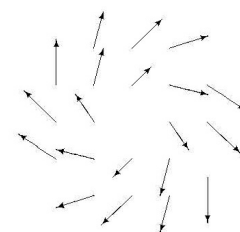


図2 ベクトル場

諸科学において、まず現象を関数で記述し、次にその関数の性質を調べ、最後にそれを現実の現象の下に解釈して理解する、という手続きが、近代以降、基本的・標準的な枠組みとなった。そして、この枠組みの真ん中の部分、「関数の性質を調べる」という部分を、数学が主に担当しているのである。

微分積分とは 数学では関数を調べるために多くの技法が開発されている。全学共通科目として提供される数学科目はこうした技法の基礎を与えている。なかでも微分積分学は中心的な存在である。

微分とは与えられた関数を一次式で近似することである。関数 $x(t)$ を $t=t_0$ で微分することは、変数 t の値が t_0 に近いとき(局所的)にもとの関数(複雑なもの)を一次式(簡単なもの)で近似することである。

$$x(t) - x(t_0) \sim c(t - t_0)$$

近似するというのを、関数のグラフが表わす曲線を使って言い換えるならば、この一次式のグラフは、曲線上の点 $(t_0, x(t_0))$ における接線に他ならない。接線の傾きが $t=t_0$ における微分係数である。微分係数がわかればその関数の t_0 の近くでの挙動 —増加しているのか、減少しているのか— がわかる。微分学は、関数の局所的な振る舞いを調べる。

積分は、関数の大局的な情報を与える。区間での積分(定積分という)は、変数 t が一定の範囲を動く間にその関数が各 t の近くで生み出す寄与を、全て足し上げたものである。例えば、 t_0 から t_1 までの積分の値を $t_1 - t_0$ で割ったものはもとの関数の平均値を与える。

微分積分とは、微分と積分を合わせたものであるが、単に「微分と積分」という意味ではない。「微分積分学」という言葉は微分と積分が有機的に関係していることを一言で表している。実際、微分積分学の基本定理と呼ばれる重要な定理があって、それは微分と積分を互いに逆の操作として結びつけるものである。

いま述べたことを、新幹線の走行を例に、具体的現象と結び付けてみよう。関数 $x(t)$ が時刻 t における列車の位置(走行距離)を表すとき、 t_0 での微分係数 $x'(t_0)$ は時刻 t_0 での速度である。関数 $v(t) = x'(t)$ は各時刻における速度を表わす。今度は関数 $v(t)$ の時刻 $t=t_0$ から $t=t_1$ までの積分を考えてみよう。 $t=t_0$ から $t=t_1$ までの間の、速度 $v(t)$ の寄与の積み上げとは何を意味するのか? 各時刻 t において単位時間当たり $v(t)$ だけ移動するということが速度の意味であるから、その寄与 $v(t)$ の近くでの走行距離を足し上げて得られる量とは、時刻 t_0 から t_1 まで間の走行距離 $x(t_1) - x(t_0)$ である。すなわち、速度の積分で走行距離(すなわち基準点からの位置)が得られる。微分積分学の基本定理は

微分と積分を互いの逆として結びつけると述べたが、物体の運動の記述に現れる位置と速度という関数については、位置を微分したら速度が現れ、速度を積分したら位置が得られるという関係になっている。

線形代数とは 線形代数とは、線形性という言葉でとらえられる構造あるいは性質について考察する分野で、線形空間(ベクトル空間とも言う)と線形写像を扱う。

世の中の様々な現象を観察すると、足し算とスカラー倍(実数倍)が自然に考えられる対象がいろんなところに潜んでいることがわかる。例えば、力には向きと強さがあるので、力はベクトルで表わされるが、物体を3つの方向に引っ張ったときに、力が釣り合ったとすれば、3つの引っ張る力は、ベクトルとしての和が0になる。

ベクトル場に対して、足し算とスカラー倍を考えることができる。図3の上段のベクトル場を左から θ_1 , θ_2 , θ_3 と書くと $\theta_1 + \theta_2 = \theta_3$ である。また、下段はベクトル場 θ_3 を $3/2$ 倍にしたベクトル場がどうなるかを示している。ベクトルに対して、 $3/2$ のような数のことをスカラーと呼ぶ。足し算とスカラー倍からなる構造が線形性であり、足し算とスカラー倍が定義された集合が線形空間である。

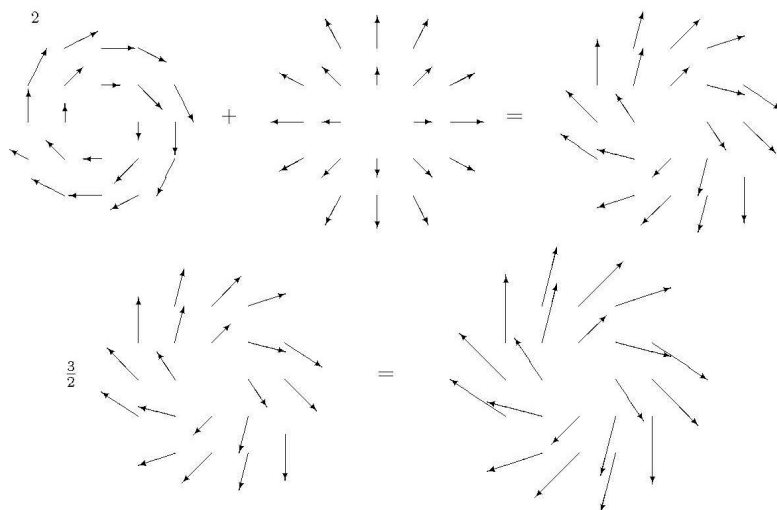


図3 ベクトル場の和とスカラー倍

数に対して数を対応させるものが関数であるが、もっと一般に、例えばベクトルに対してベクトルを対応させるときは関数という代わりに写像という言葉を使う。ここで話題にしたいのは写像の線形性である。写像の線形性とは何か?例えば、平面に原点 O を決め、 O を中心に角度 θ の回転を考えよう。回転は平面から平面それ自身への、点を点に移す写像である。平面は原点を決めることによって、2次元ベクトル全体の集合である線形空間 V と同等になるから、回転は V から V への写像を決める。

2次元ベクトル v に対しそれを回転したベクトルを $R_\theta(v)$ と書く。この写像はベクトルの足し算とスカラー倍に対して次の性質を持つ。

$$R_\theta(c_1v_1 + c_2v_2) = c_1R_\theta(v_1) + c_2R_\theta(v_2)$$

足し算とスカラー倍を先に行なってから回転するか、回転してから、足し算とスカラー倍をするか、結果は同じになる。これが写像の線形性である。言い換えると、ベクトル v_1 と v_2 の写像による行き先を知っていれば、第3のベクトル $c_1v_1 + c_2v_2$ の行き先が判ってしまう。平面上のベクトルは無数にあるが、それらは、適当な2つのベクトルから足し算とスカラー倍で作ることができる。したがって、写像が線形であれば、2つのベクトルについての情報からすべてのベクトルに対する情報が読み取れる。これが線形性のポイントなのである。

関数を調べる際にも線形性は必要となる。2変数の関数を考えよう。点 $P_0 = (x_0, y_0)$ の近くで関数 $f(x, y)$ を微分するとは、関数を $P = (x, y)$ が P_0 の近くにあるときに、 P_0 からの微小変化 $\Delta x = x - x_0$, $\Delta y = y - y_0$ の1次式 $c_1\Delta x + c_2\Delta y$ で近似することである。

$$f(x, y) - f(x_0, y_0) \sim c_1\Delta x + c_2\Delta y$$

c_1 と c_2 を与えるだけでこの1次式は決まる。微分することによって、無限個の情報の中から、 P の近くでの関数の変化の様子を統制する、2個の量 c_1, c_2 を取り出すのである

一定の性質を持つ関数の全体を線形空間として考えることも重要である。関数に対して和とスカラー倍が自然に定義されるが、線形の微分方程式の解の基本性質は解の全体が線形空間になることである。すなわち、2つの解から一

次結合(足し算とスカラー倍で作ったベクトル)によって別の解を作ることができる。後で述べるように線形の微分方程式は自然現象の理解のために欠かせないものである。

量子力学では、物理状態はある線形空間 F のベクトルで表わされる。さらに、ハミルトニアンと呼ばれる線形写像 $H: F \rightarrow F$ があって、ある実数 E に対して $Hv = Ev$ が成り立つようなベクトルのことを、エネルギーが E の状態と考える。量子力学では、線形代数は、理論そのものを記述する上で本質的な役割を演じるのである。

他科目・他分野との繋がり 全学共通科目には、多くの数学科目が提供されているが、それらは独立に存在するものではなく、互いに密接に関連している。微分積分は微分積分学(講義・演義) A,B で、線形代数は線形代数学(講義・演義) A,B で学ぶ。ここでは、それ以外の主要なものについて、その内容と互いの関係を概説しておく。

現象は関数で記述されると冒頭で述べたが、諸科学に現れる現象は「法則」に束縛されて生じる。例えば物理現象は該当する物理法則の下に出現する。現象を関数で記述したとき、物理法則は関数を束縛するが、多くの場合それは微分方程式という形で現れる。したがって、微分方程式は実際に現象を理解する上で重要な位置を占め、それを解くことは切実な問題である。例えば熱の伝導は、熱が温度の高い場所から温度の低い場所へ、温度勾配に比例して伝わるという原理と、温度の変化は流れ込む熱量に比例するという原理によって決まる。この2つの原理から、温度変化を表わす関数に対する方程式が導かれる。これは熱方程式と呼ばれる。熱方程式は線形微分方程式と言って解の全体が線形空間になるという性質を持つ。特に、細い針金の両端を温度 T_1 と T_2 に保ち、十分時間がたって温度変化がなくなった状態で、針金の各点における温度 $T(x)$ は、位置 x の関数として線形微分方程式を満たすが、この場合の解は2つの関数1 と x の一次結合(すなわち解は x の1次式)になる。これにより、 $T(x) = c_1 + c_2 x$ の具体形が2個の未知数 c_1, c_2 に対する2元連立方程式(中学の数学)を解くことによって求まってしまう。微分方程式の初歩については、微分積分学及び線形代数学の知識を前提にして**微分積分学統論 II** で学ぶ。

少々脱線にはなるが、微分方程式という言葉を出した以上、ニュートン力学に触れないわけにはいかない。ニュートンの運動方程式は最も有名な微分方程式である。個別の力学現象に対し運動方程式を立て、それを微分積分の技法を使って解くことにより理解する。この意味で微分積分の技法は古典力学の問題に力を発揮するが、それは偶然ではない。そもそも、ニュートンは古典力学を記述し、その問題を解くために微分積分学の着想に至ったのだから。

ベクトル場に対しては、一味違った「微分・積分」が導入される。その「微分」は「流れ」の局所的な傾向を記述し、「積分」は「流れ」の大局的な影響を記述するのに本質的な役割を演じる。さらに、ベクトル場に対する「微分積分学の基本定理」も確立されており、ガウスの発散定理やストークスの定理という名前と呼ばれる。これらは**微分積分学統論 I** で学ぶベクトル解析の内容である。この科目も、微分積分学のみならず、線形代数の内容を前提として学ぶこととなる。

ベクトル解析は、電磁気学と相性が良く、電磁気学を記述するには必要不可欠なものである。実は、電磁気学を記述するためにベクトル解析が作られたという背景もあり、結果的に相性が良いのではなくそのように作られていると言うべきである。電磁気学の理解とベクトル解析は不可分なのである。

以上、各科目の大まかな内容と分野間のつながりについて述べた。全学共通科目として提供される各数学科目はそれぞれが独立した一科目として提供されているのではなく、互いに関係しながら体系として積み上がっていくものだということがわかっていただけたであろうか。

おわりに

現在の数学は一つの学問として相当に洗練されおり、その体系は、広範な応用を念頭において「抽象的」に記述され、また誰にでも同じ内容が伝わるようにと、論理的な「厳密性」をもって組み立てられている。しかし、そのせいで初学者はしばしば全体像を見失うこともある。そんなときは、先に指摘したように各数学科目は繋がりをもっていることを思い出して欲しい。抽象性・厳密性ゆえに、学んでいる数学と自身の興味のある科学分野との関連が見えず、「為にする数学」をやっているように感じるときもあるかもしれない。そんなときにも、例えば「微分方程式と力学」や「ベクトル解析と電磁気学」のように、数学が現象の記述を目的に生まれたことを思い出してほしい。これらの視点が、学ぶことに疲れてしまったときに元気を与えてくれることもあるだろうから。

数学の理論と技法を身につけるためには、何よりも自分で手を動かして、実例に当たってみるべきである。他の自然科学において実験が重要であるように、数学においては演習が重要である。演習とは自分で考え、計算することではなければならない。そうして、納得のいかないことが出てきたときは、さらに考え、友だちと議論し、TA(ティーチングアシスタント)に教えてもらったり、先生に質問をする。繰り返しになるが、数学は数学の内部で、また他の自然科学との間で、強力なつながりを持っている。何か解らないときに、そこに立ち止まらずに学習していくと、他とのつながりを見つけることによって、解らなかったことが解らなくなることもある。解らないこと、納得のいかないことがあっても、その疑問を持ち続けて、あきらめずに先に進むことが大切である。

数学は潜在的には皆さんの将来の学問分野の基礎となる力を持っている。それを超えて皆さんによって数学が現実的に諸科学の基礎として活用されることを願う。

(10) 統計（自然科学科目群）

統計学はデータをどのように分析し、どのような判断を下したらよいかを論ずる学問である。データには様々なものがあり、人口、寿命、工業生産高、農業生産高、交通事故の件数、株価の変動など、自然、社会、人文諸科学や工学、医学等の広範な分野に及んでいる。統計学はこの広範な分野に広く関わっているわけであるが、これら個々のデータは性格も異なり、対象の性質と分析の目的に応じた適切な方法を選ぶ必要がある。しかしどのようなデータも、一旦数値化してしまえば、ある程度共通の方法により処理することができる。この共通の部分が統計学が扱う対象である。これらの数値的データとして表現される現象の中に、法則性を見出すことが統計学の目的である。

調査や実験で得られたデータを整理して規則性や法則性を導き出す統計的方法は記述統計と呼ばれる。また一部を観測してそこから推測によって全体の法則性を見出す手法は統計的推測と呼ばれる。これらの理論と手法を学ぶために、次のような講義が準備されている。

1. 統計入門
2. 確率論基礎（※分野は数学）
3. 数理統計
4. Introductory Statistics-E2

様々な数値データの背後には、誤差や偶然的な変動の影響がある。統計学では、これらの偶然的な変動に確率論の法則に従う確率モデルを設定し、それに基づいて推定や検定などの統計的な解析を行う。したがって統計学を理解するためには確率論の概念の理解が必須となる。

「確率論基礎」では確率変数や分布、平均、分散などの基本概念、独立性や条件付き平均について述べる。そこではまた具体的な現象に即した様々な分布も紹介される。更に独立な確率変数に対する大数の法則や中心極限定理により、確率的な現象の中に、それを繰り返すことによって法則性が現れてくることを理解する。これら確率論の知識は、偶然性に支配される数値データの解析を行う「数理統計」において必要であるばかりでなく、時間とともに発展していく確率モデルである確率過程など、確率論固有の問題への展開の基礎を与えるものでもある。

統計学は様々な数値データに対し、その処理の方法を与えてくれるが、ややもするとその方法の意味を理解することなく、機械的な計算に陥ってしまいがちである。しかし方法の意味が分からないでただ計算しても、その結果を正しく利用することは出来ない。「数理統計」では方法の形式的な説明だけでなく、その意味を把握することを重要な目標としている。特に先に述べた統計的推測の理論では、確率モデルを用いて、推定や検定などを行うことが中心的な話題になる。こうした確率モデルに基づく数理的手法による統計学が数理統計であり、「数理統計」の講義では、単にデータ処理の手順ばかりでなく、数学的な論理の構造を正確に理解することにも力点が置かれている。

その一方で統計学は自然科学、人文・社会科学に渡る広い分野の問題と関わり、より多くの人が統計の基本的な考え方を理解しておくことも重要である。「統計入門」の講義では数学的な構造の厳密な理解よりも、エンドユーザーとして、データの性質に応じた適切な分析方法が選択できるようにすることを目標にしている。そのために生活の身近な話題についての応用例を数多く紹介し、そこから自然な形で統計学的思考法が身に着くようにする。一つの例として二元分割表の分析など、最も基本的な題材を丁寧に解説し、そこから統計的な考え方が理解できるようにする。さらにまた統計解析ソフトを、主に自習形式で取り入れ、実際的なデータ処理を通じた感覚的な理解も進めていく。

「Introductory Statistics-E2」ではこれら統計学的手法を、確率論の基礎も含め英語で講義する。

(11) 物理学 (自然科学科目群)

物理学は我々の日常生活から宇宙科学やエレクトロニクスに至るまで現代の高度に発達した科学・技術文明を背後で支えている重要な基盤の一つです。特に、ニュートン力学やマックスウェルの電磁気学といった古典物理学から、相対論や量子論といった現代物理学に至るまで、実験・観測と理論的考察が相俟って歴史的に発展を遂げ、体系化がなされているのが大きな特徴です。学習の目標としては物理学での諸概念の把握と法則を的確に記述する数学的手法、そして物理学の見方や考え方を修得することが挙げられます。物理学はこのように自然科学の基礎の一つであり、理系の学生諸君にとっては将来いずれの分野に進むにせよ何らかの形で関わりを持たざるを得ない科目と言えるでしょう。

▶ 「理系向け」

理系の学生向けの全学共通科目はこの物理学の体系に従って科目構成がなされています。それらは学習の進度により順次性を保って次のように3つの段階からなります。

第1段階	物理学基礎論 A+物理学基礎論 B 物理学実験	初修物理学 A、B (物理学初修者向け)
第2段階	熱力学 振動・波動論 力学統論 電磁気学統論	
第3段階	解析力学 特殊相対論 統計物理学 量子物理学 現代物理学実験	

- ◇ 第1段階の「物理学基礎論 A」(力学)、「物理学基礎論 B」(電磁気学)、および「物理学実験」は物理学の基本を学ぶ科目であり、理系のすべての学生にとって必要な基礎的知識なので、1回生にクラス指定されています。
- ◇ 「初修物理学 A、B」は、高校で物理を選択しなかった学生を対象としたもので、履修は本学入学試験で物理を選択しなかった学生に制限されていることに注意して下さい。
- ◇ 第2段階の科目は第1段階の科目を履修した上で次のステップで学ぶ、1・2回生を対象としたいわば統論的な科目です。
- ◇ 第3段階は第1および第2段階の科目を履修した上で学ぶ2回生用の科目です。分野ごとの階層性・順次性を示すと以下ようになります。

分 野	第1段階	第2段階	第3段階
力 学	物理学基礎論 A	力学統論	解析力学
電 磁 気	物理学基礎論 B	電磁気学統論	
熱・統計力学		熱力学	統計物理学
振動・波動		振動・波動論	
現代物理学			特殊相対論
〃			量子物理学
実 験	物理学実験		現代物理学実験

▶ 「文系向け」

文系向けとしては、古典物理学から現代物理学への流れを概説する「物理学概論 A、B」や予想を出し合って実験で結果を確かめていく「みんなの物理 I・II」があります。

物理学概論 A	物理学概論 B
みんなの物理 I	みんなの物理 II

※ 注意

これら以外にも、物理学関係の全学共通科目(理系向けあるいは全学向け)が提供されています。それらについては、KULASIS でそれぞれの授業内容を参照して下さい。

(12) 化学(自然科学科目群)

全学共通科目として提供されている化学系科目の構成について示します。

① 理系向け

主に1回生を対象とした大学化学の初修者向けの講義・実験科目として、基礎物理化学要論、基礎物理化学(熱力学)、基礎物理化学(量子論)、基礎有機化学Ⅰ、基礎有機化学Ⅱ、基礎化学実験が開講されています。

物理化学は、物理学の理論と方法を基礎にして物質の構造・性質・反応を研究する学問です。物理化学の中で熱力学、量子論をそれぞれ主な内容として深く詳しく学ぶ科目が基礎物理化学(熱力学)、基礎物理化学(量子論)です。基礎物理化学要論は、熱力学と量子論の両方についてそれらの要点を半年間で学べるようになっています。基礎有機化学Ⅰ・基礎有機化学Ⅱは、これらを学ぶことによって有機化合物の化学の基礎知識を修得するものです。また、講義で学修した理論や反応を、実際の実験によって確認することができるよう基礎物理化学・基礎有機化学の双方に関連する実験科目として基礎化学実験を開講しています。これらの科目を学ぶことによって、大学化学の基礎を修得します。

なお、これらの科目のうち、どれを履修するかは学部・学科によって適切な科目がクラス指定あるいは推奨されています。「全学共通科目履修の手引き Ⅳ. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の項を参考して下さい。

<注意>

以下の場合には全て科目名変更をした同一科目の扱いとなっているため、修得年度、修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として数えられません。

- i. 薬学物理化学(熱力学)修得後の、基礎物理化学(熱力学)
- ii. 基礎物理化学(熱力学)または薬学物理化学(熱力学)修得後の、基礎物理化学要論
- iii. 基礎物理化学(量子論)修得後の、基礎物理化学要論
- iv. 基礎有機化学A修得後の、基礎有機化学Ⅰ
- v. 基礎有機化学B修得後の、基礎有機化学Ⅱ

※ 基礎物理化学A・基礎物理化学Bと基礎物理化学(熱力学)・基礎物理化学(量子論)の同一科目関係については、KULASISにて案内しますので、必ず確認してください。

上記の科目に加えて、さらに詳しく化学の各領域を学ぶための科目として、次のものが提供されています。

<1・2回生向け>

生命の有機化学

<主として1・2回生向け>

化学のフロンティアⅠ・Ⅱ、理論化学入門Ⅰ・Ⅱ、有機化学演習A・B、

<主として2回生向け>

無機化学入門A・B、探究型化学課題演習Ⅰー海の化学ー(平成29年度不開講)、

探究型化学課題演習Ⅱー湖の化学ー(平成29年度不開講)、探究型化学課題演習Ⅲー有機化合物の化学ー

② 文系向け

主に文系学部の1回生を対象とした科目として、次のものがあります。

化学概論Ⅰ・Ⅱ、文系向の基礎化学Ⅰ・Ⅱ、自然と環境の化学、生活と環境の化学

③ 英語による講義・実験科目

次の科目が英語による講義・実験科目として、開講されています(括弧内に示す科目名は、この科目に対応する日本語による講義科目です)。

Essentials of Basic Physical Chemistry-E2 (基礎物理化学要論)、Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2 (基礎物理化学(熱力学))、Basic Physical Chemistry (quantum theory) -E2 (基礎物理化学(量子論))、Basic Organic Chemistry I-E2 (基礎有機化学Ⅰ)、Basic Organic Chemistry II-E2 (基礎有機化学Ⅱ)、Organic Chemistry of Life-E2 (生命の有機化学)、Theoretical Chemistry I-E2: from interactions to ensembles、Theoretical Chemistry II-E2: from interactions to ensembles、Revisiting Basic Organic Chemistry I-E2、Revisiting Basic Organic Chemistry II-E2、Introduction to Surface Chemistry-E2、Equilibrium and energy-E2: a macroscopic perspective of chemistry、Introduction to Inorganic Chemistry A-E2 (無機化学入門A)、Introduction to Inorganic Chemistry B-E2 (無機化学入門B)、Everyday Life Chemistry-E2 (生活と環境の化学)、Chemistry for non-science majors-E2 (文系向の基礎化学Ⅰ)(平成29年度不開講)、Chemistry of Sustainable Energy-E2、Fundamental Chemical Experiments-E2 (基礎化学実験)

(13) 生物学(自然科学科目群)

生物学の内容は非常に多岐に亘ります。そして生物学の境界は他の分野に越境していて不明瞭になります。京都大学では多くの部局が生物学を研究・教育しており、そして多数の教員が居ます。学部から独立した附置研究所まで含めると相当な数になるでしょう。生物学とは何か?という問いに答えるのは容易ではありません。全学共通科目では、多数の生物学・生命科学関係科目を開講することによって、皆さんの学習意欲に応えるようにしています。また、これと同時に授業を以下のように体系化して、履修をしやすくしています。

この項では、全学共通科目全体の中から生物学・生命科学関係科目を抽出し、その内容に応じて、「総論」と「各論」の分類、さらにその下位分類を説明します。

「総論」とは、生物学を基礎的なレベルで学習する授業と実習です。多くの履修者が履修の機会を得られるように、同じ名前で複数の同じ授業・実習が開講されています。生物学を必要とする学部に進学したものの、高等学校で生物学を履修しなかった人には、とくに勧めます。異なる曜日と時間帯に、複数の同じ授業や実習を開講しているので、各自の時間割の都合に合わせて履修できるようにしてあります。

「各論」は、植物学や動物学、分子生物学のような特定の分野について、基礎的なレベルで学習する授業です。こちらの授業でも、高等学校における生物学の履修経験は必ずしも必要としていません。文系の学部にも所属する学生が履修しやすい科目も設定されています。

「総論」と「各論」の分類については本冊子の「Ⅱ. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.97～)に記載の分野の見出しに掲載していますので参考にしてください。

本項が諸君の科目選択の一助となり、より良い学習が行えることを望みます。

「総論」

① 生物学基礎(講義)

文字通り、生物学の基礎を学ぶ講義科目です。「生物・生命科学入門」という名称で、前期に5コースを開講しています。高校での生物の履修は必要ありませんが、単なる高校の補習ではなく、大学らしい教育を加味した内容としていますので、基礎から生物学を学びたい方には、まずこの科目の履修を勧めます。

② 個体と集団の生物学(講義)

地球には3-8千万種とも推定される生物がいます。さまざまな生物の特徴や生き方、進化などを、主に個体・集団レベルで学ぶ講義科目です。「個体と集団の基礎生物学」という名称で、後期に5コースを開講しています。

③ 細胞と分子の生物学(講義)

ヒトを含む動物、植物、ウィルスなど、さまざまな生物が生きる仕組みを、細胞や分子レベルで学ぶ講義科目です。「細胞と分子の基礎生物学」という名称で、前期に1コース、後期に5コースを開講しています。

④ 生物学のフロンティア(講義)

総論の授業では、教科書に沿うようにして既知の内容を学習することが中心になりますが、この授業ではその真逆の、生物学の最先端を紹介する授業です。京都大学で行われている生物学研究の幅広い分野から選んで、毎時間に異なる教員が授業をします。

⑤ 生物学実習(実習)

生物学の勉強を机に座るだけで終わることは望ましくありません。授業で教わった内容を観察や実験を通して自分の目で観て、手を動かしてデータをとり、考えることが大切です。生物学実習は内容によって3つのカテゴリーに分類されています。

生物学実習Ⅰ：生物学全体を俯瞰するように、細胞と分子、動物や植物・菌類の個体や集団を扱った実習です。いわゆるマイクロ系とマクロ系の両方を学習する実習です。前期に3コース、後期に3コースを開講しています。

生物学実習Ⅱ：動物や植物・菌類の個体や集団だけを扱う自然史の実習です。前期に1コース、後期に1コースを開講します。

生物学実習Ⅲ：細胞や分子レベルでの実習を行います。前期に1コース、後期に1コースを開講します。

この他にも、夏期や冬期に集中して行う実習が複数ありますが、演習の要素も付加してILASセミナーにしています。

「各論」

① 自然史学(講義)

野生生物の多様性や環境との関わり、進化などについて学習します。生態学や植物学、動物学、菌類学ごとに授業が

編成されており、生物自然史Ⅰ・Ⅱ、動物自然史Ⅰ・Ⅱ、植物自然史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、真菌自然史Ⅰ・Ⅱの9科目が開講されています。また、これらと同じ趣旨の授業として、自然人類学Ⅰ・Ⅱ、霊長類学入門Ⅰ・Ⅱ、行動生態学入門、藻類学概論などの10科目ほどが開講されています。基本的にⅠとⅢは前期に開講し、Ⅱは後期に開講しますが、授業担当教員の都合により変更があります。また、隔年開講科目もありますので、シラバスで確認して下さい。

② 分子生物学（講義）

生物学を細胞と分子レベルで学習する授業です。生物物理学入門や生化学入門、遺伝学概論などの10科目以上を前後期に開講しています。

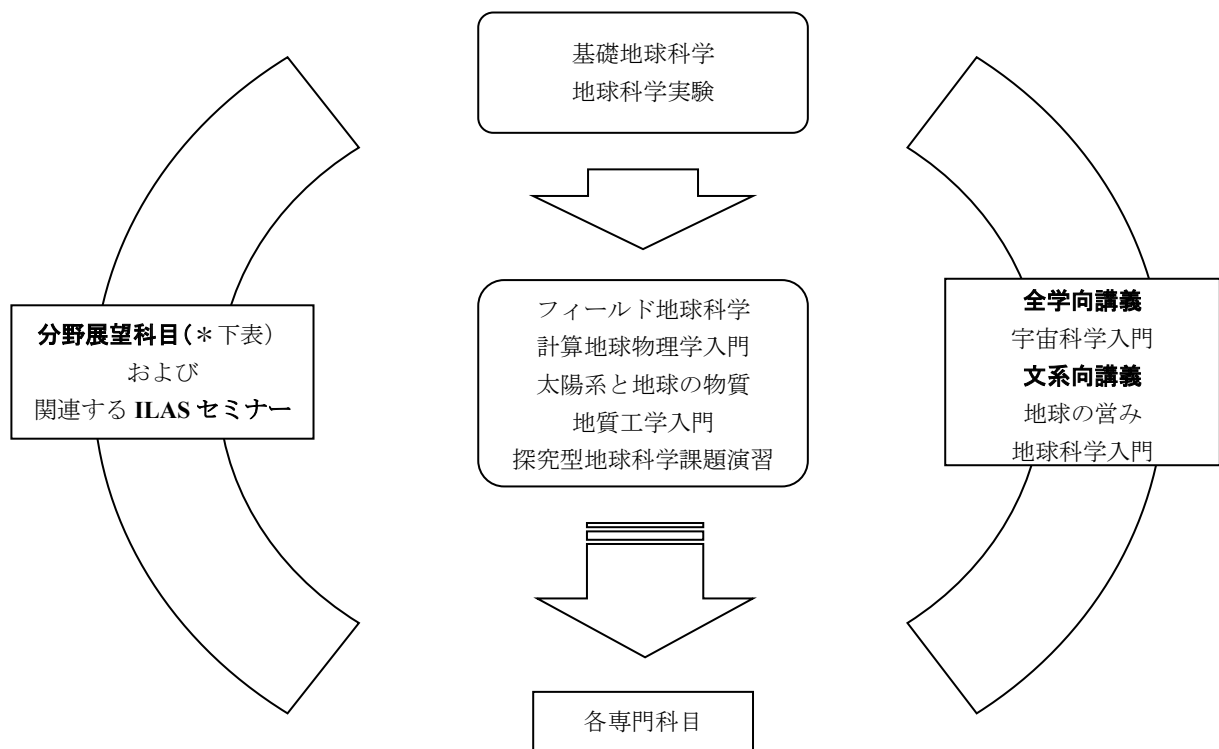
③ 脳・神経の生物学（講義）

記憶、学習、情報伝達などに深く関わる、脳と神経の構造と働きについて学ぶ講義科目です。脳や神経の働きがどのように行われ維持されているか、その仕組みについても学びます。

この他にも以上の範疇に当てはまらない授業科目や数多くの英語講義が用意されています。英語講義であるE2科目は、20科目以上を提供します。シラバスをよく読んで、皆さんの学習のデザインに役立てて下さい。

(14) 地球科学 (自然科学科目群)

地球科学・惑星科学は非常に幅広い対象を扱う分野であり、物理や化学のような厳密な体系が明瞭ではない。したがって、基本的には各自の興味に応じて必要な知識を習得することになるが、ある程度全体像がつかめないと、個別の知識習得にも困難を伴う。そこで、地球科学の広い範囲を概観し、その雰囲気をつかむための講義、実験として「基礎地球科学」、「地球科学実験」があり、各専門科目につながる橋渡しとして「フィールド地球科学」、「計算地球物理学入門」、「太陽系と地球の物質」、「地質工学入門」、発展型の実験・演習科目として「探究型地球科学課題演習」が用意されている。また、惑星としての地球を俯瞰する目的で、宇宙科学のトピックスを専門家が講述する「宇宙科学入門」も並行して開講されている。ただし、これらの講義でも地球惑星科学関係のすべての分野を網羅することは不可能なので、学内の関連部局（理学研究科、工学研究科、人間・環境学研究科、エネルギー科学研究科、防災研究所、生存圏研究所等）の教員による各専門分野を展望する講義・セミナーが、自然科学科目群だけに留まらず、統合科学科目群や少人数教育科目群（すなわち、ILAS セミナー）にも多数開講されている。また、E 科目としての英語講義も用意されている。各自の興味に応じて、これらの講義を選択すること。また、地球惑星科学はそれだけで閉じた学問分野ではないので、数学、物理、化学、生物などの知識も必要になることが多い。地球科学だけでなく、これらの他分野の講義も積極的に履修することを強く薦める。



* 分野展望科目	
自然科学科目群：	地球の物理 地球の誕生と進化 水と緑と土の科学 天体観測実習 など
統合科学科目群：	統合科学：自然災害の科学 エネルギー地質学概論 生存圏の科学概論 など

(15) 図学 (自然科学科目群)

■図学とは

図学 (Descriptive Geometry, 図法幾何学) は、3次元と2次元との間の図形の変換理論です。わかりやすくいえば、3次元の立体を2次元の平面情報に変換する、また反対に、2次元の平面情報をもとに3次元の立体を構成するための理論です。

構造物、機械類、地図ほかをつくるにあたっての技術として、あるいは美術の世界における表現としてなど、図学はさまざまな領域における基礎的理論となっています。たとえば、平面図や立面図、断面図から建築物を建てる、航空写真から地図を作製する、目に見える通りに絵を描くといったことは、すべて図学の範疇です。

コンピューターが発達した現在においても、図学が空間把握・立体表現の基礎理論・技術であることは、変わりありません。また、諸領域への広がり考えた時、図学の知識は、技術や美術における実践のみならず、文化・文明の理解へとつながっていると考えるでしょう。

■図学の目的

3次元の立体図形を2次元の平面図形に変換する理論と技術の習得と、2次元の平面図形において3次元の立体図形を操作する理論と技術の理解が、図学の大きな目的です。3D→2Dを行き来しながら、立体を把握・表現するリテラシーの獲得を目指します。

また、図学は、ルネサンス期に透視図法が探求されたことを端緒として、その後、研究が進展しますが、それは芸術や軍事、数学といった諸領域と結びついたものでした。こうした文化史的、社会史的、科学的展開を理解することも図学の目的に含まれます。

■履修にあつての基礎知識/理系と文系の違い

中学卒業程度の幾何学の知識があれば、履修に支障はありません。そのため理系、文系を問わず履修可能です。

■図学科目の構成

図学 A と図学 B の2科目から構成されます。図学 A (基礎) →図学 B (展開) の順で履修してください。図学 A のみでも基礎的作図法は学べますが、図学の楽しさを知るには、図学 B まで履修することを推奨します。

図学 A 基本的作図法の修得

3次元を2次元で表現する方法 (投象) のうち、軸測投象、正投象を扱います。



図学 B 立体の諸状態についての作図

立体の諸様態 (切断・陰影・相貫) および、透視図法の作図を行います。

(16) 外国語科目群

1) 英語 –English–

◆平成 28 年度以降入学者対象

科目名	符 号	開講期	単位	対象回生	定員	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1 のみ	約 40	
	ESR	前期	2	2 以上	約 60	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 60	
英語ライティング・リスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		前期	2	1 のみ	約 30	1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 30	単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 30	
英語ライティング・リスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		後期	2	1 のみ	約 30	1 回生専用上級クラス・アカデミックライティング&リスニング
	ESWLB	前期	2	2 以上	約 30	単位未修得者クラス
		後期	2	2 以上	約 30	

1 回生対象の英語科目は平成 28 年度に改編されました。英語科目には大別して、リーディングクラスとライティング・リスニングクラスの二つがあり、それぞれを履修しなければなりません。

リーディングクラスは、学部の履修方針に応じた洋書や、まとまった長さのある学術的な文献などを対象としたアカデミックリーディングを通して、英語による学術的教養の涵養を目指しています。アカデミックリーディングは、英文の意味を捉える読解力の強化を目指すとともに、その文章が書かれた文化的、社会的背景や思想などにまで踏み込むものです。教員からの一方的な教授ではなく、対話による能動的な学習を行うことで、英米のみならず、様々な国の文化や社会、思想の理解を通じて、真に国際人として通用する教養と知識の涵養に努めます。

ライティング・リスニングクラスは、1 クラスあたり約 20 名の少人数クラスによる、きめ細かな指導の下、英語技能の修得に努めます。ライティングに関しては、学術的な文章の作成に必須となる論理的な英文の基本構造を学び、エッセイライティングやレポート作成などのアカデミックライティングを通して、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、リスニングに関しては、オンライン課題に取り組むことで、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力を育成します。さらに、外国人教員と日本人教員のチームティーチングを導入し、前期もしくは後期のいずれかを外国人教員が担当することで、英語コミュニケーション能力の育成を目指します。

いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

◆工学部地球工学科国際コース対象

Scientific English I A (Reading and Writing)

Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)

◆平成 27 年度以前入学者対象※

英語 II

※卒業に必要な英語の単位を充足していない学生を対象とした単位未修得者クラス

2) 初修外国語

卒業に必要な初修外国語の単位規定や予備登録規定などについては、「全学共通科目履修の手引き」を参照して下さい。また成績評価の詳しい基準は各科目ごとに授業中に指示します。

ドイツ語 – German –

外国語の学習は、その言語で書かれた文献を用いて、学術研究をするだけのためにはありません。その言語を話す国民の歴史や文化や思考方法を理解し、その言語でコミュニケーションを行う上でも外国語の学習は欠かすことができません。ドイツ語も、決して学問を研究するためだけの言葉ではありません。ドイツ語はドイツをはじめオーストリアやスイスで多くの人によって話され、生きた言語として、今日なおヨーロッパを代表する主要な言語の一つになっています。

ドイツ語は大部分の学生にとって、初めて学ぶ外国語であろうと思います。そのため初級ドイツ語の授業は、ドイツ語の文字を正しく発音することに始まります。1 回生向けの初級ドイツ語は「文法」と「演習」からなり、それぞれが相互に補いながら、内容的にも構文的にもあまり複雑でない文章を読み書きする能力、さらにまたドイツ語を母語とする人とドイツ語を用いて簡単な会話ができる程度の力を養います。更にドイツ語を集中的に学びたい人のために「6H コース」(週 3 回の授業)も設けられ「中級ドイツ語」では初級ドイツ語の知識を前提に、内容的にも幾分深みのあるドイツ語文を読み書きし、多少複雑な構文を正確に理解する能力を身につけることを目標にしています。中級のテキストは文学や評論に限らず、できるだけ多様なものを提供し、学生の関心に応えられるようにしています。またドイツ語の会話力をさらに高め、種々のテーマに関して、ドイツ語で専門的な発表が行えるように、会話・ライティングおよび CALL 教室での実習のクラスも開講されています。さらに、もっと集中的にドイツ語を学びたい人のために、「6H コース」(週 3 回の授業)も設けられています。シラバスの説明を読んで選んでください。

そしてさらに高度なドイツ語能力を身につけたい人たちのために、「上級ドイツ語」も設けられています。

◆全回生対象(初級) ※再履修者クラスを含む

- ドイツ語 I A・B (文法)
- ドイツ語 I A・B (演習)
- ドイツ語 I (6H コース)

◆2回生以上対象(中・上級)

- ドイツ語 II A・B
- ドイツ語 II A・B (会話)
- ドイツ語 II A・B (CALL)
- ドイツ語 II A・B (ライティング)
- ドイツ語 II (6H コース)
- ドイツ語 III A・B

フランス語 – French –

フランス語は、西欧の知的世界の共通語として用いられてきた輝かしい文化的伝統を持ち、現在も英語に次ぐ国際語である。また学問・教養のための外国語としては世界各国で最も広く学ばれていて、ヨーロッパでは知識人でフランス語のできない人はほとんどいない。したがって、国連やユネスコなどの国際機関・国際会議で常に公用語の一つになっている。また、フランス語は、スイス・ベルギー・カナダのほか、アフリカ諸国のほぼ半数、中近東・東南アジアなどの多くの国々でも、公用語あるいは最もよく通じる外国語である。

このように国際舞台上で重要なフランス語であるが、その学習のために、学生諸君のニーズの多様化に応える、さまざまなコースが用意されている。1 回生向けでは標準コースの①「クラス別コース」、インテンシブ・コースの②「8H コース」。2 回生向けでは、標準コースの③「中級」、インテンシブ・コースの④「6H コース」。さらに、中級まで終えた人のための、程度の高い⑤「上級」。すべてのコースで、「読む」「書く」「話す」「聞く」の 4 つの能力を総合的に開発するように配慮され、インテンシブ・コース④④はもとより、標準コース①においても、すべてのクラスにネイティブ・スピーカーの授業が設けられている。

それぞれの到達目標は、以下のとおりである。

◎標準コース①と③の組み合わせでは、週 2 回の授業を 2 年間で、

「読む」能力：辞書を引きながらフランス語の文章をある程度のスピードで読める。

「書く」能力：簡単なフランス語の手紙文程度の文章が書ける。

「話す」と「聞く」能力：日常会話の受け答えがある程度できる。

◎インテンシブ・コースの②と④の組み合わせでは、1回生週4回、2回生週3回の授業で、

「読む」能力：辞書を引きながらフランス語の文章をかなりのスピードで読める。

「書く」能力：フランス語の手紙文程度の文章がかなり書ける。

「話す」と「聞く」能力：日常会話の受け答えが非常にスムーズにできる。

◎⑤「上級」では、上記を超えるフランス語運用能力が獲得でき、フランス文化全般についての理解もある程度深まる。

以上のようなフランス語運用能力の養成は、学問の場にいる者にふさわしい学術的言語技能の涵養に資することを最終目標にして行われる。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含む

フランス語ⅠA・B（文法）

フランス語ⅠA・B（演習）

フランス語Ⅰ（8Hコース）

◆2回生以上対象（中・上級）

フランス語ⅡA・B

フランス語ⅡA・B（演習）

フランス語Ⅱ（6Hコース）

フランス語ⅢA・B

中国語 — Chinese —

中国語は、その歴史の長さと使用人口の多さにおいて、世界屈指といってよい規模をもっている。そもそも中国は多民族国家で、50以上にのぼる民族を擁しているが、いわゆる「中国語」とは、その中の漢民族のことば、すなわち「漢語」をさしている。この漢語においては、その使用される地域の広さ、人口の多さが、驚異的とも言える方言の差異にもつながっており、大きく分けると北京語を代表とする北方語、上海語を代表とする呉語、広東語を代表とする粵語など7種にも及ぶ、発音や語彙の点で大きく異なる方言が存在している。我々が大学で学ぶ「中国語」とは、この漢語のうち、「普通話」と呼ばれる、北京語をその基礎とする共通語であり、現在の中国においては、社会のあらゆるところで使用されているものである。

漢語は、いうまでもなく漢字で表記される言語であって、同じく漢字を用いる日本人にとっては、比較的馴染みやすいという印象がある。事実、新聞記事程度の文章であれば、発音は解らなくとも、その意味はある程度理解できる（あるいは理解できたような気になる）ことも多く、他の外国語に比べ、学習しやすい言語であることは確実であろう。

しかし、それが逆に落とし穴となることも忘れてはならない。基本的な語彙を例に取れば、「去」は「去る」ではなく「行く」、「走」は「走る」ではなく「歩く」、「湯」は「ゆ」ではなく「スープ」を意味するといったように、同じ漢字であっても、まったく別の外国語であると認識を持たない限り、その習得は不可能に近い。

本学においては、発音と基本的表現の習得を目的とする初級として、「中国語ⅠA・B（文法）、ⅠA・B（演習）」が、また読解力、表現力などさまざまな面からのより進んだ学習を目的とする中級として、「中国語ⅡA・B」が開講されている。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含む

中国語ⅠA・B（文法）

中国語ⅠA・B（演習）

◆2回生以上対象（中級）

中国語ⅡA・B

ロシア語 — Russian —

◇ ロシア語がこれまでに数多くの優れた文学作品を生み出してきたことはご承知のとおりです。さらに現在も、世界各地で5億人に達する人々によって、実に様々な場面で用いられています。

◇ このロシア語を、いわゆる第二外国語として、初めて学ぶ学生諸君に最適なコースとして、ロシア語Ⅰ（文法）およびロシア語Ⅰ（演習）のセット授業が用意されています。

一週間に文法と演習を各1コマずつ、合計2コマを履修します。初級履修者にとって必要にして十分なロシア語の力が、無理なく着実に養えるコースだと言えましょう。ロシア語初級の授業は回生・学部・クラスに関係なく、誰でも受

講できます。

- ◇ 中級では、教材の内容が片寄ることなく、総合的なロシア語の力が養えるように授業を計画しています。
- ◇ 辞書を引きながら新聞や雑誌の簡単な記事を読めることが、初級の到達目標だと考えています。中級では、知的鍛錬・教養の向上を念頭に置きつつ、読解力を高め、専門領域での最低限の情報収集能力を身につけさせることが、目標です。同時に、読む・書く・聴く・話すのバランスのとれたロシア語の力を目指して行きます。
できるだけ多くの京都大学の学生諸君が、教員スタッフや施設を大いに有効に活用して、ロシア語を学ぶ楽しみを味わってほしいと希望しています。

◆全回生対象（初級）

- ロシア語ⅠA・B（文法）
- ロシア語ⅠA・B（演習）

◆2回生以上対象（中級）

- ロシア語ⅡA・B

イタリア語 — Italian —

「すべての道はローマに通ず」（*Tutte le strade conducono a Roma*）と、かつて言われましたが、永遠の都ローマをはじめ、ファッションで世界をリードするミラノや、ルネサンスの花の都フィレンツェ、マルコ・ポーロを生んだ水の都ヴェネツィアなど、輝かしい都市文化の伝統を持つイタリアは、今日もお全世界の人々を魅了してやまない国のひとつです。

そのような古代ローマ以来の長い文化的背景を有するイタリア語は、ラテン語を母胎とするロマンス諸語のひとつであり、地中海沿岸地域やラテン・アメリカ諸国で使用されているポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、レト・ロマンス語、ルーマニア語などとは姉妹言語に当たります。

イタリア語Ⅰは通年で開講される入門コースで、発音から始まり、イタリア語の基本的事項の習得を目指します。まず文法を集中的に学習するクラスと、最初から簡単な会話を並行して学ぶクラスの2種がありますが、ある程度本腰を入れてイタリア語をやってみようという人には、時間割の許す限り前者のクラスをお奨めします。13世紀以来ほとんどその姿を変えていないイタリア語の場合、会話に上達するためにも文法上の知識がきわめて重要だからです。

また、後者のクラスを選んだ場合には、2回生になってイタリア語Ⅱに進む際に履修できるクラスに制限が生じますので、全学共通科目履修の手引きの「外国語の履修について」の該当頁をよく読んでください。

◆全回生対象（初級）

- イタリア語Ⅰ（文法）
- イタリア語Ⅰ（文法・会話）

◆2回生以上対象（中級）

- イタリア語ⅡA・B
- イタリア語ⅡA・B（演習）

スペイン語 — Spanish —

みなさんの多くは、大学ではじめて母語と異なる言語、つまり「異言語」とまともに向き合うことになると思います。大学より前の教育課程では英語のみを学んできた人が大部分だと思いますが、多くの場合、その学習は受験という目的に向かって突き進む、単線的なものであったはずですが。言語学習一般から見ると、その学習経験は、非常に特異で限定されたものです。これからは、その経験にとらわれることなく、さまざまな試行錯誤を繰り返すことを厭わずに学習をすすめるという態度が不可欠になります。なぜなら、大学での言語の授業とは一里塚のようなものであり、一里塚をたどっていけば一定の目標が達成されるように配慮されていますが、一里塚と一里塚の間は自分の足で歩くことを求められるからです。一里塚と一里塚の間に道は無数にあり、正しい道が決まっているわけではありません。一里塚と一里塚の間で迷ったり、どんどん先の一里塚を提示されて、ついていくことを断念してしまう人もいます。迷ったり遅れたりした時に、一緒に歩いている仲間にあずねたり、地図とコンパスを見て確認したり、教員に助力を仰ぐという行動をとることができる必要があります。だまっけても誰も手を引いてはくれません。主体的に道を探し、それを自らの足で歩いてみることを要求されます。

受験英語の学習と大学での言語学習との根本的な違いは、その目的設定にあります。受験のための英語学習は合格のためという目的が明確であり、そのため重要なポイントも所与のものです（試験にでるところが重要）。ところが、大学での

言語学習は、あらかじめ与えられた目的があるわけではなく、目的の設定から学習者が行わなければなりません。そのため、重要なポイントも決まっています。なにが重要かということは、目的によって変化するからです。とりわけ言語のような、あらゆる局面で用いることができる一種の万能道具という側面を持つのであれば、なおさらです。もちろん、スペイン語習得一般において重要な点はほぼ決まっており、学習開始当初はみなさんにとってもそれが重要となります。しかし、学習が進むにつれて、一般的に重要なポイントと「あなた」にとって重要なポイントの間にズレが生じることは十分にあり得ることです。

「目的は学習者が決めるということなら、学ばないという選択肢もあるのではないかと」思われるかも知れません。たしかにスペイン語以外の言語を選ぶ自由はありますが、初修外国語を学ばないという選択肢はありません。それは京都大学が目指す教育には欠かせないものと位置づけられているからです。もう少し具体的に言えば、京都大学で学ぶ者は、多極的世界観を身につけることを要求されており、そのためには英語以外の言語を学ぶことが不可欠と考えられているからです。

ちなみに、大学での1単位というのは、45時間の学修によって構成される内容と定められています。一般的には、90分授業を15回行いますので、時間にすれば22.5時間となります。つまり、授業だけでは想定されている学修時間の半分にしかならず、残りの半分は授業外で行う必要があるということです。もちろんこれは標準的かつ最低限の想定であり、学習者個人が自らの状況を判断して学習時間を増減させることが必要です。

あたらしい言語を学び、それを通じて得られる新しい経験は、非常に魅力的なものです。上に述べたことは、スペイン語独特の魅力をよりよく味わうために必要なことなのです。厳しく響くかもしれませんが、それだけの見返りはあると思います。

なお、平成28年度より、中級履修のための条件が「スペイン語IB（文法）の単位を修得していること」と変更になりました。全学共通科目履修の手引きの「外国語の履修について」の該当頁をよく読んでください。また、会話コースは特殊な形態ですので、欠席の扱いが他コースとは異なります。シラバスを熟読してください。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含む

- スペイン語 I A・B（文法）
- スペイン語 I A・B（演習）
- スペイン語 I A・B（会話）

◆2回生以上対象（中級）

- スペイン語 II A・B
- スペイン語 II A・B（演習）

朝鮮語 — Korean —

「はじめて話すのに、なつかしい」

日本語を母語とする人にとって、朝鮮語との出会いは、こんな感じではないか、と思います。今まで全く縁遠い言葉だったのに、はじめてこの言葉に接した途端、なぜか昔から知っていた音のようになつかしく、私たちの心の中で響くのです。

朝鮮語は、主に朝鮮半島に住む人びとによって使われている言葉です。日本でこの言語を呼ぶ名称は一定しておらず、韓国語とったりコリア語とったりもします。本学では朝鮮語と呼んでいますが、韓国語やコリア語といっても内容は全く同じものです。そのほか「ハングル」という名称もありますが、この「ハングル」というのは朝鮮語を表記する「文字」の名前ですので、本来は言語の名称として「ハングル」という言葉を使うのは間違いです。

朝鮮半島には現在、「大韓民国（韓国）」と「朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）」という二つの国がありますが、この二国はもともと同じ民族の一つの国でしたので、そこで使われている言葉も同じものです。ただ、分断されてすでに70年近くの年月が経っていますので、若干の違いが生じていますが、それでも韓国の人と北朝鮮の人が出会ってもほとんどの言葉は通じます。

朝鮮半島に住む8千万人近くの人びとがこの言語を使用しています（そのほか海外に暮らすコリアンも数百万の単位で存在します）。数としてはほかの初修外国語より少ないといえますが、何といても日本語を母語とする者にとっては、特別に親密な関係にある言語ということが出来ます。単に日本のお隣の国の言葉だ、というだけでなく、日本語ときわめてよく似た言語である、というのが朝鮮語の最大の特徴といえるでしょう。

まず驚くことは、文のしくみがそっくりなのです。「私は今日バッハを聴きたいです」という日本語を朝鮮語にするには、「私」「は」「今日」「バッハ」「を」「聴き」「たい」「です」という文の要素をひとつひとつ朝鮮語にして、日本語と全く同じ順番でそのまま並べればよいだけなのです。むずかしい文法用語を知らなくても、あっという間に立派な朝鮮語をつくる事が出来ます。

そのほか、漢字語を多用し、その熟語が日本語と同じものが非常に多いのも、日本語母語話者にとって非常に学習しやすいポイントです。ハングルという幾何学模様のような文字で表記されていますので、最初はとっつきにくいのですが、実はもともとは漢字からできている語彙が、朝鮮語にはきわめて多いのです。

近年、ようやく隣国の言葉や文化を学習する日本人が増えてきました。歴史的に日本と最も近く、密接な関係にあった朝鮮半島の言葉や文化を知ることは、日本の言葉や文化をより深く知ることにも通じるでしょう。そして21世紀の複雑化する世界情勢理解への足がかりを、隣国を知ることから始めるのも意義あることです。

まず初修者は、「ハングル」という文字を読めるようになる必要があります。ハングルは15世紀に人工的につくられた新しい文字で、そのため非常に合理的なしくみでできています。10の母音字母と14の子音字母を基本として、これを組み合わせて一音節を一文字で表記します。数週間でこの文字に慣れた後の文法の学習は、日本語母語話者には非常に理解しやすいと思います。1年間の学習で、新聞・雑誌などの記事を辞書を引ながら読むことができるレベルに到達することが目標です。その後はより高度な文法を身につけ、読解力を高めてゆきます。朝鮮半島と日本の関係、世界の中での朝鮮半島の位置づけなどの点に留意しながら、多様な文献を読み、朝鮮半島の人びととコミュニケーションする能力を養います。

◆全回生対象（初級）

朝鮮語ⅠA・B（文法）

朝鮮語ⅠA・B（演習）

◆2回生以上対象（中級）

朝鮮語ⅡA・B

朝鮮語ⅡA・B（演習）

アラビア語 — Arabic —

アラビア語は、アラブ世界の公用語であると同時に、国連の公用語の一つでもあります。一口に「アラブ世界」といっても、東はインド洋に面したアラビア半島のオマーンから西は大西洋に臨む北アフリカのモロッコまで、国の数は20以上。気候風土も歴史も、政治、文化も実にさまざまであり、宗教的にもムスリム（イスラーム教徒）のみならずキリスト教徒、ユダヤ教徒をはじめ多様な信仰が存在します。しかし、そうした多様性を貫いてあるのが、「アラビア語」という言語文化を共有する者としての、「アラブ人」というアイデンティティです。「アラブ人」とは、アラビア語という言語を自らの母語とする、あるいは、歴史的にアラビア語で培われた文化に自らの文化的アイデンティティを見出す者たちのことです。

言語学的にはセム系言語のひとつであるアラビア語は、長母音を除いて母音は表記されません。つまり短母音の場合は子音のみで綴られるということです。そして、3つの子音の組み合わせからなる3語根の動詞基本形を中心に、第10形まで派生形が展開し、その他の品詞もこの動詞基本形（3語根）から派生しています。これが、同じセム系言語であるヘブライ語とも共通するアラビア語の最大の特色のひとつです。

また、アラビア語の社会言語学的特徴として、アラブ世界の共通語であり読み書きのことばである正則アラビア語（フスハー）とそれぞれの地域における話しことば（アーンミーヤ）のダイグロシヤ（二言語併用）が挙げられます。私たちが授業で学習するのは、読み書きのことばであるフスハーです。

近代を支配してきた西洋中心主義的な価値観が再検討に付されている今日、イスラーム世界の人々とその文化を私たちが理解することの重要性はもはや論を俟ちません。そのイスラームを理解するうえでも、また、「イスラーム」が生きられている世界を理解するうえでも、イスラームの聖典アル＝クルアーン（コーラン）の言葉であるアラビア語の基本的知識は欠かせません。

前期は「文法」の授業で、教科書に即しながらフスハーの文法を体系的に学習し、後期には、児童用の物語を講読しつつ、前期に習った文法事項を確認し、その修得を図ります。また、「演習」の授業では、ネイティブの先生と連携しながら、前期は練習問題を中心に基礎文法を身につけ、後期は、リスニング、スピーキング、ライティングなど、アラビア語の総合的な力を養います。

しかし、異言語を学ぶとは、単に文法と語彙を覚えることだけを意味するわけではありません。授業では、その言語が「生きられている」世界について、その言語を話す人々がその地でいかなる生を紡いでいるのかについても学ぶことになるでしょう。

これまで慣れ親しんできたラテン文字とは異なる文字体系であり、言語系統もヨーロッパ系諸言語と異なるなどアラビア語のハードルは決して低くはないですが、その分、挑戦し甲斐のある言語だとも言えます。ぜひ、蛮勇をふるって、挑んでください。

◆全回生対象（初級）

- アラビア語ⅠA・B（文法） 正則アラビア語基礎文法の習得（前期）、テキストの講読（後期）
アラビア語ⅠA・B（演習） 文法、練習問題（前期）、リスニング・スピーキング・ライティング（後期）

◆2回生以上対象（中級）

- アラビア語ⅡA・B
アラビア語ⅡA・B（演習）

日本語 — Japanese —

京都に留学し、既に日本語環境にいる留学生の皆さんは、日本語について相応の知識をもっていることでしょう。本学では、様々なバックグラウンドをもった多くの留学生が学んでいます。日本語の必要度についても、研究室での使用言語は英語で十分という場合もあれば、日常の日本語が必要であるという場合、更には学問分野において高度な日本語能力が求められる場合まで多様です。学習履歴も、完全初級者から、日本滞在の経験があり日常会話は理解できるという人、母国で相当な学習経験のある学部生等まで様々です。

その一方、国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターが行った調査では、文系・理系、学部・大学院、正規生・非正規生を問わず、殆どの留学生は日本語学習が不可欠なものと意識し、自らの日本語運用能力の向上を志向しています。しかしながら、母語から離れた環境で経験する言語運用への諸制限は、時には意思伝達や情報入手にまで困難をきたし、不安やストレスの原因ともなりかねません。在学中、安心して勉学・研究活動に専念できるよう、まずは自身の日本語の得手不得手を客観的に把握し、着実にレベルアップできる授業の選択が肝心です。

全学共通科目として提供される日本語科目には、各々のニーズに対応できるように完全初級レベルから、中級、上級まで日本語能力試験（JLPT）やヨーロッパ言語参照枠（CEFR）に対応したレベルのクラスが提供され、更に各レベルでは、読む・書く・話す・聴く、の技能別のクラスも用意されています。毎週の授業回数も週1回のクラスから、ある程度集中的に取り組むことができる週4回のクラスまで様々です。但し、履修可能な科目はそれぞれの学部・専攻（コース）によって異なります。これからの大学での学習・研究活動のために現在の自分の日本語能力を把握し、将来のキャリアアップのためにどのような日本語能力の向上が必要であるかをしっかりと見極め、チャレンジングな選択をしてください。

◆工学部地球工学科国際コース対象（初級）

- 日本語初級ⅠA・B（4Hコース）
日本語初級ⅡA・B（4Hコース）

◆全回生対象（中級・上級）

- 日本語中級ⅠA・B（4Hコース）
日本語中級Ⅰ（8Hコース）
日本語中級Ⅰ（会話）
日本語中級Ⅰ（聴解）
日本語中級Ⅰ（読解）
日本語中級Ⅰ（作文）
日本語中級Ⅰ（漢字）
日本語中級ⅡA・B（4Hコース）
日本語中級Ⅱ（8Hコース）
日本語中級Ⅱ（会話）
日本語中級Ⅱ（聴解）
日本語中級Ⅱ（読解）
日本語中級Ⅱ（作文）
日本語上級（聴解）
日本語上級（会話）
日本語上級（読解）
日本語上級（作文）
日本語上級（論文・レポート作成）
日本語上級（講義聴解）
日本語上級（研究発表）
日本語上級（討論技術）
経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ

(17) 情報学科目 (情報学科目群)

全学共通科目の情報学科目は、科目選択の目安となるよう「基礎」と「各論」に分類されています。

基礎に分類される科目としては以下の科目を設定しています。

情報基礎 (クラス指定科目ならびに全学向)

この科目は情報科学・情報技術についての教養科目です。大学卒業後、社会に貢献していく上での素養となるような、情報科学や情報通信技術の基礎をなす理論・概念 (例えば計算と論理に関わる理論や暗号技術に関わる諸概念) に関する知識や、現時点で社会に大きな影響を与えている新技術などの先進的な話題に関する知識を学びます。

情報基礎演習 (クラス指定科目ならびに全学向)

この科目は共通教育としての情報活用能力を身に着ける科目です。すべての学生にとって、学士課程における学修や社会的活動、並びに卒業後に大学院や社会における知的活動に際して必要となる情報探索、情報分析、及び情報の表現・視覚化などの情報活用能力 (これらを情報リテラシーと呼ぶ) と、その前提となる情報機器の操作能力 (これらをコンピュータリテラシーと呼ぶ) を修得することを目的としています。また、現代社会において情報の収集や発信を行う際に守るべき社会的ルールに関する知識についても併せて修得します。

情報と社会

この科目は情報と社会の関わりについて学ぶ教養科目です。現代社会における情報と情報技術の利用に関連する諸問題に関する知識を獲得し、また、それらについて自ら考える機会を持ちます。

情報基礎、情報基礎演習については、学部、学科などを単位にクラス指定して実施されるものと、全学向として実施されるものがあります。クラス指定されている学部・学科に所属する学生の皆さんは、卒業に必要な単位の要件などを確認して、その科目を履修するようにしてください。

また情報を専門として学ぶ工学部情報学科の学生向けに「情報基礎実践」が開講されています。これらに相当する内容について英語で開講されている科目も提供されています。

各論に分類される科目では先の「基礎」科目に関連した内容について特定的话题を取り上げてより深く学ぶ科目や、様々な分野で実際に利用されるプログラミングやグラフィックス、データ分析などを演習・実習形式で学ぶ科目を提供しています。

(18) 健康・スポーツ科学科目、スポーツ実習科目 (健康・スポーツ科目群)

■健康・スポーツ科学分野科目の教育目標

健康・スポーツ教育においては、教養教育の3つの柱 (①学術的教養、②文化的言語力、③基盤的・社会的知力) に基づいて、人間の生命・健康・発達、運動と健康の諸問題に関する最先端の学問研究の成果を生かし、「講義・演習科目」及び「実習科目」を通じて次のような総合的な教育目標を目指した教養教育を行う。

- 1) 運動実践を通じた生命・健康・発達の尊重と保障：スポーツ運動・表現運動・生活運動等の身体活動の認識と実践を通じて、生命尊重の精神を培い、健康を維持・増進し、心身の調和的発達を促す。
- 2) 身体活動の文化的価値と科学的原理の理解：スポーツを含む各種の身体活動の文化的価値についての理解を深め、健康・スポーツに関する科学的認識に裏付けられた運動活動の実践力を養成し、生涯にわたるスポーツの生活化を図る。
- 3) 自己信頼性と社会的自立性の啓培：青年期・成人期にある学生の健康的・社会的な自己信頼性を高め、健康生活・社会生活を自ら設計し実践していく基礎的な力量を養成する。

〔講義・演習科目〕

(教育目的)：

身体と精神に関する学術的知識を学び、心身ともに健康で豊かな生涯を送ることのできる基礎的教養を身につける。特に、身体・運動・スポーツに関する諸学問の成果を学ぶとともに、健康に関する社会的な諸問題をとらえ、健康と運動の科学的原理についての研究成果を学ぶ。それによって健康と運動の価値と重要性について理解を深め、自分自身のよりよい健康づくりの内容と方法を習得するとともに、生活実践の中にその知識を活かして自己形成の健康的な基盤を整える。

(教育目標)：

- ①青年期・成人期にある自己の心身の諸機能の特質 (機能構造面) とその発達の仕組み (形成過程面) を理解する。
- ②諸機能の合理的・教育的な形成方法を学び、自らの健康を保持・増進していくための基本的な方法論を修得する。
- ③自分自身の健康的・社会的な自己信頼性を高めていくとともに、将来にわたって個人・生活場面 (家庭)・所属集団 (職場や地域社会) での健康的な生活・活動を設計し実践していくための基礎的な力量を養成する。

↓↑

〔実習科目〕

(教育目的) :

講義・演習(理論)を、スポーツ実習(実践)を通して具体的に実践することによって、自己の身体活動の特質と可能性を経験的に認識する。また、各種のスポーツ種目の実践を通じて、人間の根源的な存立基盤である身体的諸機能の洗練、運動文化の継承と発展を図り、自己信頼性及び社会的自立性を高める。

さらに、健康・運動活動に関する基礎的な知識を、実際に現在及び将来の社会生活に応用して健康的な生活を営むための基礎的な技能を身につけ、自分自身及び集団・社会の健康を保持増進させていく資質と力量を養成する。

(教育目標) :

- ①自分自身の心身の諸機能の特質を実感をもって理解し、それらの諸機能の改善・向上を図る。
- ②現在から将来にわたって生活の中にスポーツ活動を取り入れ、健康生活に活かしていく基本的な力量を養成する。
- ③仲間との相互の信頼に基づく交流活動を通して、自他を尊重し社会的に自立した豊かな人間性を啓培する。

■健康・スポーツ科学分野科目の教育内容

◎ 講義・演習

(1) (領域構成) : 次のような3つの領域の内容について学習する。

領域①(総論) : 健康学・運動学原論 : 心身の生理的諸機能と発達の特質、運動行動の制御・形成の脳科学的・生理学的なしくみ、社会的な健康問題。

領域②(各論) : 健康及び運動に関する個別諸科学 : 健康・医療・生活に関する各学問分野からのアプローチ。各種のスポーツ運動・表現運動の哲学的・歴史的・社会的、及び生理学的・心理学的・バイオメカニクス的な特質。

領域③(実践方法論) : 健康生活の設計・実践学 : 健康・運動生活を設計し実践していくための基礎的な内容と方法。

(2) (開講科目) :

[講義] :

基礎 : 運動科学 I、運動科学 II、健康科学 I、健康科学 II、健康心理学 I、健康心理学 II、Basics of the Human Body-E2、Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2、Nutrition and Health-E2*、Biology and sociology of chronic diseases-E2* (* H29 年度新規開講科目)

発展 : 精神病理学 I、精神病理学 II、生活習慣と生体機能障害、体力医科学、運動のしくみ、運動の生理学、発達論 A、発達論 B、精神保健福祉概論、医学概論、生体リズムと健康、発達障害論、リハビリテーション概論、「薬の世界」入門、健康・生命科学入門、薬用植物学、大学生のための実践的な心理学、予防医学概論、人類と放射線、自己形成の心理学、医工学入門、放射線概論、Mental Illness and Health Care (旧科目名「英語講義 : 心の健康を考える」)、Basic Biology and Metabolism-E2、Introduction to Biological Rhythms-E2、Introduction to Medical Psychology-E2、Introduction to Physiology-E2

(参考) 「健康科学 I」「健康科学 II」「運動科学 I」「運動科学 II」「健康心理学 I」「健康心理学 II」「運動医科学」「体力医科学」は教職科目として認定される。ただし、「運動医科学 (H29 年度不開講)」及び H26 年度まで開講されていた「健康科学」は H24 年度以降履修分のみ認定。

[演習] : スポーツ指導法ゼミナール A、スポーツ指導法ゼミナール B、応用運動医科学ゼミ、スポーツ心理学セミナー (旧科目名「行動制御学ゼミ」)、発達行動学ゼミ

なお、呼吸循環機能論ゼミ、神経・筋機能論ゼミ、分子運動医科学ゼミは H29 年度不開講です。

演習は、すべて「発展」科目です。

◎ スポーツ実習

(1) (領域構成) :

領域①(機能形成) : 身体活動の基盤となる基礎体力と運動技能の向上を図る。

各種のスポーツの実践実習を通じて、基礎的な体力・運動技能を形成するとともに、それらのスポーツ活動を取り入れて健康的な生活を設計し実践する力量を養成する。

領域②(生活実践) : 生涯にわたる健康的な生活づくりの基礎的な力量を養成する。

生涯にわたって楽しめるスポーツ種目と出会い、健康づくり・体力づくりの個別的・普遍的な実施方法、スポーツの基本的な技能、及びスポーツ活動を楽しむためのプログラムづくりのしかたを身につける。

領域③(社会的交流) : 社会的交流活動の実践を通じて自己及び相互の信頼性と社会的自立性を啓培する。

学友と協力し合い、互いの見方・考え方を尊重しながら共通の価値ある目標に向かって努力する基本的な社会的交流能力を養成する。それによって社会実践の力量を形成するとともに、自他を信頼し尊重し期待しあう力量を高める。

(2) (開講科目) :

スポーツ実習 I : 基礎的・応用的な実践力

1) 基礎技能の修得 : 環境世界に働きかける実践の中で自らを「知る」:

- ①自己の健康・体力の現状を知り、健康づくり・体力づくりの活動を実践する。
 - ②自己の技能の現状（特質と到達点）及びこれからの課題と目標を認識し、運動活動を実践する。
- 2) 応用技能の修得：仲間に働きかける実践の中で自らをそして仲間を「高める」：
- ①運動・生活技能…各スポーツ種目での対人的・集団的技術、健康阻害要因への対応スキルを修得する。
 - ②自己教育力・相互指導力…自己やチームメイトを支え導く実践技能、運動の指導力量を高めていく。

スポーツ実習 II：発展的・創造的な実践力

- 1) 総合的な自己教育プログラムを「構想する」：自分自身の生涯の健康づくりに最適のスポーツ種目を見つけ、それらの運動を取り入れた生活実践計画・自己教育計画を立案し、実践する。
- 2) 自己形成の新たな内容・方法を「創造する」：チームメイトとともにスポーツ活動を楽しむことを通じて、自らの世界をよりよく豊かに充実させていくための新たな自己形成計画を立案し、実践する。

(19) キャリア形成科目群

この科目群では将来のキャリアに関連した科目を、コンプライアンス、国際コミュニケーション、学芸員課程、COCOLO 域、その他キャリア形成という分類で提供しています。このうち、

- 国際コミュニケーションに分類される科目の大部分は平成 29 年度より 2 回生以上を対象に E 科目の中の E3 科目として指定されます。

E3 科目では学術的言語技能の向上を目的とします。教養を深め、異文化を理解し、専門分野の知識を高め、そしてそれらを活用していくためには、学術的言語技能の習得が不可欠です。学術的言語技能は、受容技能と産出技能に大別することができます。例えば、英語による講義を理解するためには聴解力（受容技能）が、聴いた内容に対して自分の意見を口頭で述べるためには発話力（産出技能）が必要です。E3 科目ではこうした受容技能と産出技能を統合して学習します。以下では E3 科目の技能領域と目標、概要を例示します。

① セミナーパーティシペーション (Seminar Participation) …リスニング&スピーキング

【目標】 英語での講義やニュースなどの音声を聴き、その情報を整理し、口頭で発表する高度な学術的言語技能を養います。

【内容】 対面授業を通して、ゼミ、講義、学会などでの口頭発表や質疑応答などで求められる発話力を主に育成します。さらに、講義を聴き、その内容の要約や自らの意見や主張を述べる能力を育成します。導入、情報提供、結論、議論などの一連の発表技能（presentation skills）のみならず、発表者に対する説明の要求、質問、反論を行うための参加技能（participation skills）の育成も対象とします。

② クリティカルリスニング (Critical Listening) …リスニング&スピーキング (リスニングの自律学習中心)

【目標】 英語での講義やニュースなどの音声を聴き、その情報を整理する聴解力の育成に比重を置きます。また、口頭で発表する高度な学術的言語技能を養います。

【内容】 e ラーニング教材を活用した自律学習を通じて、ゼミ、講義、学会などのアカデミックな場面で求められる聴解力を主に育成します。また、あわせて口頭発表や質疑応答などで求められる発話力を育成します。

③ リスニング&ノートテイキング (Listening and Note Taking) …リスニング&ライティング

【目標】 英語での講義やニュースなどの音声を聴き、その情報を整理し、レポートなどにまとめるライティングを中心とした高度な学術的言語技能を養います。

【内容】 ゼミ、講義、学会などでの内容を聞いて、メモを取り、その内容の要約や自らの意見や主張をレポートなどを書いてまとめる能力を育成します。学術論文執筆に必要な技能を意識し、論文の構成やスタイルなどの学習や、文献・情報の検索、図書館の使い方など研究スキルの育成も含まれます。

④ オーラルプレゼンテーション (Oral Presentation) …リーディング&スピーキング

【目標】 学術的な文献などを対象とした批評的、批判的な読解を通して、自らの意見や主張を口頭で発表する高度な学術的言語技能を養います。

【内容】 執筆者の意見や主張を理解し、その根拠となるデータや資料を分析する批判的読解（クリティカルリーディング）能力を育成します。さらに、それらに対する自らの意見や主張をまとめ、効果的に発表する技能の育成を目指します。

⑤ クリティカルリーディング (Critical Reading) …リーディング&ライティング (リーディング中心)

【目標】 学術的な文献などを対象とした批評的、批判的な読解力の育成に比重を置きます。加えて自らの意見や主張をレポートなどにまとめる学術的言語技能を養います。

【内容】 執筆者の意見や主張を理解し、その根拠となるデータや資料を分析する批判的読解（クリティカルリーディング）能力を育成します。さらに、その内容の要約や自らの意見や主張をレポートなどを書いてまとめる能力を育成します。

⑥ リサーチライティング (Research Writing) …リーディング&ライティング (ライティング中心)

[目標] 学術的な文献などの読解を通して、自らの意見や主張の発信を行うため、ライティング技能を中心とした高度な学術的言語技能の育成を行います。

[内容] 執筆者の意見や主張を理解し、それらに対する自らの意見や主張をレポートなどに書いてまとめる能力を育成します。さらに、学術論文執筆に必要な技能を意識し、論文の構成やスタイルなどの学習や、文献・情報の検索、図書館の使い方など研究スキルの育成も含まれます。

⑦ テストテイキング (Test Taking) …総合的四技能

[目標] 国内外の大学院への進学、学術研究を目的とした海外留学、および留学中に受ける定期試験などで要求されるテストテイキングを中心とした高度な学術的言語技能を養います。

[内容] 単に受験対策 (test-taking strategies) の学習にとどまることなく、各試験問題で要求される読解力や聴解力など四技能を総合的に養います。海外の大学における定期試験、および留学に必要な TOEFL® (Test of English as a Foreign Language) などを受験する際に要求される技能の育成が含まれ、テストテイキング技能の育成には、語彙学習など他の技能の要素も加味されます。

国際コミュニケーション分野では、上述の科目以外にも技能向上を目的とした科目が全学向けに開講されます。シラバスを確認して各自が習得を期待する技能を目的とした科目を見つけてください。

- 学芸員課程の科目は学芸員資格を取得する上で履修が求められる科目のうち、全学共通科目として開講されているものです。学芸員資格の取得に関しては p.243 を参照ください。
- COCOLO 域科目は文部科学省「地(知)の拠点整備事業 (大学COC 事業)」として実施されているもので、京都各地域の課題について教員や地域の方々と学び、その解決を目指す科目です。

(20) 統合科学科目群

大学に入学するまでは、現在のところ最も確からしいとされる答を効率よく記憶することに終始したが、大学を終えれば、実社会において未だ答が知られていない、あるいは答があるのかどうかさえ分からない課題に取り組み、置かれた状況の中で最善の答を模索することになる。さらには、置かれた困難な状況を克服するために解決すべき課題を具体的に設定することも求められる。そのため、大学においては、所属するそれぞれの学部、学科が対象とする領域に固有な専門的知識の習得と論理的思考方法の獲得を目指すのはもちろんであるが、領域の壁を越えて対象を多元的な視点から考察する能力を培う必要がある。現代社会が抱える問題の多くは、自然や人類の営みの物質的側面に起因する構成員間の利害対立から生じている。理系の立場からは、人間をとりまく自然の成立ちを理解し、その理解に基づく技術によって物質的豊かさを追求するのに対し、文系の立場からは、まさにその豊かさがもたらす利害関係の構造を明らかにし、利害を調整あるいは解消する仕組みを模索する。特に、環境や生命をはじめ、現代社会が直面する重要な課題に取り組むには、文系、理系それぞれの領域に閉塞した思考様式の殻を破り、それぞれに欠けている視座の相互補完が望まれる。

本学大学院には文理にまたがる学際領域を対象とするいくつかの研究科があり、広い基礎知識の上に専門的研究を展開しているが、文系、理系のいずれかに特化した領域を対象とする場合でも、異分野の批判的視点からそれぞれの研究を見詰め直す能力を養っておくことが必要である。そのような能力の涵養を目指すのが統合科学科目群であり、統合科学分野、環境分野、森里海環連学分野など、異なる視点から授業を提供する。中でも「統合科学」は、(1) 現代社会が直面し、今後その解決策を探求する必要がある諸課題を対象とした対話を基本とする発見的授業、(2) 思い込みや決めつけ、あるいは置かれた社会や時代の空気に囚われない、客観的データに基づいた合理的思考法を獲得する授業、(3) 様々な学問分野を横断する課題に取り組み、自らが専攻しようとする学問分野の専門的知識・能力を高めるだけでなく、他の学問分野の専門家とも対話することで全体的な解決を模索する授業を目指している。具体的には、人類社会の持続的発展と深く関わる「生命と社会 (生命科学の進歩と人の生活)」、「生命と社会 (自然と人の関わり)」、「持続可能な地球社会をめざして (エネルギー消費と環境)」、「閉じた地球で生きる (エネルギー消費と環境)」、「総合自然災害科学」、「地球環境と人類とのバランス」、「エネルギーを取り巻く環境」の七つの主題のいずれか一つを選択し、文系、理系双方の教員を交えた対話型授業を通して、共時的にも通時的にも多元的な視点からの対象の考察法を習得する。

(21) ILAS セミナー (少人数教育科目群)

少人数教育科目群は次の5つの理念の下、科目を開講します。

ILAS セミナーのうち、英語力の強化に資すると考えられるものは ILAS Seminar-E2 として開講し、海外実地研修を含むものは ILAS セミナー (海外) として開講します。

① 学びの違いを体験しよう

ILAS セミナーは、5 人～25 人程度の学生を対象に、各学部、研究科、研究所、センター等の教員が Face to Face の親密な人間関係の中で行う授業です。問題を見つけ解決するという学問のプロセスを、教育の場で体験するために少人数で行ない、講義による知識の伝達ではなく、学生が学問することを学びます。

② 学びの場における仲間との相互作用

ILAS セミナーの授業のテーマは様々です。シラバスからキーワードをいくつか拾ってみても、医療、言語教育、東洋史、日本近代文学、政治、社会学、過疎問題、地震、天文学、文化人類学、幸福、エネルギー需給、海洋生物等々、京大が丸ごとそこに現われています。テーマは様々ですが、自分で実際に考え、読み、議論し、書くということがどの科目でも求められます。そこから始まって、異なる学部、場合によっては異なる回生の仲間ができて、教員と学生、学生どうしの相互作用が実現します。

③ 常識や初歩からの跳躍

ILAS セミナーでは、基礎から順次学ぶという手順を踏むのではなく、少人数で教員と直接接するという特徴を生かして、学生の興味に応じた専門への道標が示されます。あるいは、初歩からの跳躍を経験することにより、学生が自分の進むべき方向を見つける機会ともなります。

④ 学びの技法の養成

ILAS セミナーにおける学生どうしの討論、教員の問いかけに答え、レポートを提出する訓練は、講義を聴き教科書を読むことからだけでは得られない、語る力、書く力を身につけるきっかけを与えます。

⑤ 挑戦の機会

専門に進む前の段階で、ここに述べてきたようなゼミナール形式の授業で、学生どうしの議論が真に機能するかは、特に一回生にとって簡単なことではありません。しかし、その難しさを挑戦ととらえ、そこに踏み込んでいくことは京大生となったあなたの特権です。ILAS セミナーに挑戦しましょう。科目によっては二回生以上にも門戸を開いています。積極的な履修を期待します。

I. 全学共通科目の履修について

1. 授業に関する連絡等について

全学共通科目に関する連絡事項及び学生への連絡・伝達等は、原則として KULASIS を通じて周知します。
また、「全学共通科目履修の手引き」（本冊子）の変更事項についても同様です。

(1) 授業・試験関係の掲示方法

◎KULASIS（クラシスー京都大学教務情報システムー）

KULASIS とは全学共通科目に関する教務情報を提供し、履修登録等をおこなう WEB ページです。携帯電話や学外からもアクセス可能です（全学生共通ポータル <https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/> よりログイン）。

授業や試験に関わる重要な情報が掲載されますので、必ず 1 日 1 回はアクセスしてください。

履修登録後は、「お知らせ」画面に自分の履修登録科目に関するレポート課題や休講情報等の情報が抽出されます。

〔KULASIS の「お知らせ」掲載内容〕

学生呼出、授業変更情報、休講情報、補講情報、授業連絡、レポート情報、共通教育教務情報

* KULASIS を利用するには、入学手続書類に同封の情報環境機構提供の学生アカウント（ECS-ID）およびメールアドレスが必要となります。メールアドレスについては、大学から配布される「学生用メール」のアドレスが当初から KULASIS に登録されていますが、任意のメールアドレスを 3 件まで登録することができます（携帯電話のアドレスも可能）。

なお、ECS-ID の利用にあたっては、全学機構ガイダンスを必ず受講してください。

◎電子掲示板

国際高等教育院棟 1 階に電子掲示板を設置しています。

〔稼働時間〕 8 : 30 ~ 19 : 00

〔掲載内容〕 学生呼出、授業変更情報、休講情報、補講情報

◎その他

掲示には様々な種類がありますので、各学部の掲示板の場所を確認しておいてください。吉田南構内では、実験科目等の連絡用に実験室前等にも掲示板が設置されています。

これらの掲示板に学生が掲示することはできません。学生が掲示をする場合は、構内各所に設置している学生用掲示板を利用してください。

KULASIS 等の掲示には、全学共通科目を履修するうえで重要な情報が掲載されていますので、必ず確認してください。各種掲示を確認しないことにより不利益が生じた場合は、すべて学生自身の責任となりますので注意してください。

(2) 授業等に関する問い合わせ

全学共通科目に関する問い合わせは、全学共通科目学生窓口で直接行ってください。電話での全学共通科目の授業に関する問い合わせには、応じられません。

【全学共通科目学生窓口受付時間】

○授業期間、試験期間およびフィードバック期間 : 8 時 30 分 ~ 18 時 45 分

○その他の期間 : 8 時 30 分 ~ 17 時 15 分

（ただし、土曜・日曜・祝日・創立記念日・8 月第 3 週の月曜 ~ 水曜日・年末年始（12/29 ~ 1/3）は休止）

※注意：学生の呼び出し及び連絡先等の個人情報の照会には応じられません。

2. 授業クラス

(1) 授業クラスの編成

全学共通科目の授業を実施するうえで、約 40 名を基準とする授業クラスを編成しています。全学共通科目のクラス指定科目の多くは、このクラス毎に実施されます。2 回生以降も同様です（「Ⅲ. 全学共通科目授業時間割」(p.140～)参照）。

学部別授業クラス数の編成は次のとおりです。（学部欄の（ ）内は学部名の略記号です。※Φは「ファイ」と読みます。）

平成 28 年度以降入学者

学 部	クラス数	定員
総合人間学部 (H)	3	120
文 学 部 (L)	6	220
教 育 学 部 (P)	2	60
法 学 部 (J)	8	330
経 済 学 部 (E)	6	240
理 学 部 (S)	8	311

学 部	クラス数	定員
工 学 部 (T)	25	955
地球工学科 1~4, 25 組	5	185
建築学科 5, 6 組	2	80
物理工学科 7~12 組	6	235
電気電子工学科 13~16 組	4	130
工業化学科 17~22 組	6	235
情報学科 23, 24 組	2	90

学 部	クラス数	定員
農 学 部 (A)	8	300
資源生物科学科・森林科学科 1~4 組	4	94・57
食料・環境経済学科 5 組	1	32
地域環境工学科 6 組	1	37
応用生命科学科・食品生物科学科 7, 8 組	2	47・33

学 部	クラス数	定員
医 学 部 (M)	7	250
医学科 1~3 組	3	107
人間健康科学科* 4~6 組	3	100

学 部	クラス数	定員
薬 学 部 (Φ)	2	50・30
薬科学科・薬学科 1, 2 組		

*平成 28 年度入学者は、4~7 組の 4 クラス編成

平成 27 年度以前入学者

学 部	クラス数	定員
総合人間学部 (H)	4	120
文 学 部 (L)	6	220
教 育 学 部 (P)	2	60
法 学 部 (J)	10	330
経 済 学 部 (E)	7	240
理 学 部 (S)	6	311

学 部	クラス数	定員
工 学 部 (T)	21	955
地球工学科 1~4, 21 組	5	185
建築学科 5, 6 組	2	80
物理工学科 7~11 組	5	235
電気電子工学科 12~14 組	3	130
工業化学科 15~18 組	4	235
情報学科 19, 20 組	2	90

学 部	クラス数	定員
農 学 部 (A)	6	300
資源生物科学科 1 組	1	94
応用生命科学科 2 組	1	47
地域環境工学科 3 組	1	37
食料・環境経済学科 4 組	1	32
森林科学科 5 組	1	57
食品生物科学科 6 組	1	33

学 部	クラス数	定員
医 学 部 (M)	5	250
医学科 1, 2 組	2	107
人間健康科学科 3~5 組	3	143

学 部	クラス数	定員
薬 学 部 (Φ)	2	80
薬科学科 1 組	1	50
薬学科 2 組	1	30

※例えば「1 回生、文学部、2 組」は「1L2」、「2 回生、工学部、10 組」は「2T10」のように表記される場合があります。

(2) 授業クラスの発表

1 回生の授業クラスの発表は、4 月 4 日（火）に KULASIS で行います。2 回生については、1 回生時のクラスのままですが、転学部や転学科した場合は変更されることがありますので、該当者は KULASIS 等の掲示に注意してください（以下、クラスという場合は全て授業クラスのことです）。

また、科目により授業クラス以外のクラスで受講するよう指示する場合がありますので、KULASIS 等の掲示に注意してください。

3. 授業について

(1) セメスター制

京都大学のカリキュラムは、1年を前期・後期の2つに分けるセメスター制を採用しています。全学共通科目もセメスター制を導入し、多種多様な科目を開講しています。

(2) 授業時間

全学共通科目の授業は、「Ⅱ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.97～)のとおり実施され、授業時間は次のとおりです(全学で共通)。

時 限	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
授業時間	8:45～10:15	10:30～12:00	13:00～14:30	14:45～16:15	16:30～18:00

(3) 授業科目の選択と履修(「4. 履修登録について」(p.40～)参照)

今年度開講される全学共通科目には、本手引きの「Ⅱ. 2. 全学共通科目一覧」(p.87～)に記載の科目があり、その授業内容(シラバス)は KULASIS に、授業時間割は本手引きに掲載されています。科目を選択するにあたっては、各学部が実施する履修指導(ガイダンス)を受けるとともに、各学部の定め(修得すべき全学共通科目の単位数、その他の指示事項)を十分確認したうえで、将来の専攻分野と各自の目標に応じて選択し履修計画を立て、必ず KULASIS で履修登録してください。

なお、各科目はそれぞれ8つの科目群に区分されていますので注意してください。

また、外国語科目は「5. 外国語の履修について」(p.45～)に、スポーツ実習は「7. スポーツ実習科目の履修について」(p.68～)に、自然科学科目群(B群)科目の実験・実習は「8. 実験・実習の履修について」(p.71～)に履修方法が指示されていますので、よく読んで科目を選択してください。

全学共通科目に関する履修指導(ガイダンス)は各学部でも実施されますが、全学共通科目学生窓口や各学部の教務掛で、随時履修相談に応じています。

(4) 授業の出席と欠席の取り扱いについて

全学共通科目では、一部の教室に出席の受付を行うための出席登録システムを導入しています。受付には学生証が必要ですので、必ず携帯してください。なお、全ての授業で出席登録システムによる出席登録が行われるわけではありません。各授業において担当教員の指示に従ってください。

出席登録システムの詳細については、下記を参照してください(KULASISからも確認できます)。

また、全学共通科目にいわゆる「公欠」の制度はありません。やむを得ない事情で授業を欠席した場合は、次の授業で教員に直接申し出てください。欠席の取り扱いについては、各授業担当教員の判断となります。

《出席登録システムについて》

■出席登録システムの受付方法■

出席登録システムの端末は、教室の出入り口付近に設置しています。

出席登録システムで出席登録を行う授業では、出席登録用端末のバックライトが点灯(青色)していますので、なるべく授業が始まるまでに受付を完了させてください。(受付時間が過ぎるとバックライトは消灯します。)

出席登録端末のバックライトが点灯している下の部分に学生証をかざすと、正常に受付ができた時は画面の背景が緑色に、履修をしていない授業に出席している等(学部科目を兼ねている科目で学部科目として登録している場合を含む)で正しく受付ができなかった場合は赤色に変わります(カードをかざした際、ピッという音がすれば正常に受付ができています)。

学生証忘れ等で、出席の受付ができなかった場合は、必ず当該授業時に教員に申し出てください。全学共通科目学生窓口で出席の追加等の対応はできません。

学生証がICカードでない方(非正規生)の出席登録は、授業担当教員の指示に従ってください。

■出席受付時間■

出席登録端末による各時限の出席受付時間は授業開始15分前から1時間です。

(受付終了時刻は教員により異なる場合があります。)

時限	授業時間	出席受付時間
1限	8:45 - 10:15	8:30 - 9:30
2限	10:30 - 12:00	10:15 - 11:15
3限	13:00 - 14:30	12:45 - 13:45
4限	14:45 - 16:15	14:30 - 15:30
5限	16:30 - 18:00	16:15 - 17:15

※ 複数回受付した場合は、最も時間の早いもののみ登録されます。

※ 授業時間中に学生証を読ませた時の確認音の音量は、小音量になりますが異常ではありません。

参考：教室に設置されている端末



(5) 授業アンケート

全学共通科目では、授業について受講者からの意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てる目的で授業アンケートを実施しています。このアンケートは無記名方式で実施され、回答内容が成績評価に影響することは一切ありません。詳細については、原則として授業期間中の13回目授業時等に担当教員から指示がありますが、回答期間中に授業アンケートシステムにアクセスし、回答してください。

4. 履修登録について

全学共通科目の授業は、前期は4月10日(月)・後期は10月2日(月)から開始されます。履修登録確定までの期間は、クラス指定科目は所属クラスで、それ以外の授業科目は各自選択のうえ、受講してください。

全学共通科目を履修する場合は、クラス指定科目も含め全ての科目について KULASIS での履修登録手続きが必要です(※一部の集中講義を除く)。履修登録は定期試験の受験届も兼ねています。履修登録をしていない授業科目は、試験を受けても単位が認定されず、無効となります。また、『あらかじめ履修登録までに受講手続き』が必要な科目が相当数あり、手続きを怠ると受講することができませんので、注意してください。

なお、大学コンソーシアム京都単位互換科目については、4月上旬に別途の登録となりますので掲示に注意してください(p.76参照)。

※集中講義科目のうち、ILAS セミナー(1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ)、外国語科目群(C群)及びキャリア形成科目群国際コミュニケーション分野の集中クラスは履修登録が必要です。

- ◎ 工学部は平成26年度以降入学者から、工学部以外の学部は平成25年度以降入学者から、履修登録できる全学共通科目数(単位数・コマ数)に上限が設定されています。《履修登録に関する注意事項》(p.42)、「IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.176～)も確認の上、計画的に履修登録をしてください。

(1) 履修登録前に必要な受講手続き

事前の受講手続きをした授業科目についても、KULASIS での履修登録が必要です。注意してください。
(ただし、「基礎化学実験」は申込をもって履修登録が確定します。)

① 予備登録

以下の科目については、KULASIS で履修登録を行う前に、予備登録の手続きを行う必要があります。該当の科目については、予備登録を行っていない学生の履修登録ができません。

予備登録の手続きについての詳細は、本冊子の各科目のページを確認してください。予備登録は授業開始前に行われるものもありますので、申込期間に注意してください。

なお、予備登録を行った科目については、履修登録期間までに KULASIS の履修登録画面に反映されますので、内容を確認のうえ履修登録を行ってください。

- ▶ 外国語中級等(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語): p.45~参照

前 期	後 期
4月3日(月) 8:00 ~ 4月6日(木) 18:00	9月25日(月) 8:00 ~ 9月28日(木) 18:00

前期: 2回生以上対象

後期: 2回生以上に加え単位未修得者クラス・再履修クラスを履修する1回生も対象。

※外国語等予備登録の期間2に申込を受け付けます。

- ▶ 日本語: p.63~及び国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターウェブサイト(<http://www.z.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/>) 参照

日本語を履修するためには、プレースメントテストの受験と日本語授業登録ページで所定の手続きを行うことが必要です。手続きの詳細や日程は日本語・日本文化教育センターウェブサイトを確認してください。

- ▶ 予備登録が必要なE1・E3科目(「全・英」の表示があるE1・E3科目): p.65~参照

前 期 ・ 期 間 1	後 期 ・ 期 間 1
3月27日(月) 8:00 ~ 3月30日(木) 18:00	9月15日(金) 8:00 ~ 9月21日(木) 18:00

前 期 ・ 期 間 2	後 期 ・ 期 間 2
4月3日(月) 8:00 ~ 4月6日(木) 18:00	9月25日(月) 8:00 ~ 9月28日(木) 18:00

前・後期、また期間1・2ともに2回生対象

▶ ILAS セミナー：p.73～参照

前 期	後 期
1 回生ILASセミナー・ILAS Seminar-E2申込 (抽選受付：入学予定者サイト) 3月16日(木)～3月24日(金) 17:00 (追加募集：KULASIS) 4月4日(火) 9:00～4月6日(木) 17:00 2 回生以上ILASセミナー・ILAS Seminar-E2申込、 1 回生ILAS Seminar-E2追加申込 (教員選抜(初回授業に参加)) 4月10日(月)～4月14日(金)	回生を問わず (抽選受付：授業アンケートシステム) 9月25日(月) 8:00 ～9月28日(木) 18:00 (追加募集：教員選抜(初回授業に参加)) 10月2日(月)～10月6日(金)

②履修(人数)制限

前 期	後 期
4月10日(月) 8:30～4月14日(金) 18:30	10月2日(月) 8:30～10月6日(金) 18:30

原則として授業開始後1週目に履修(人数)制限が実施されます。履修(人数)制限のある科目については、履修許可のない学生の履修登録ができません。

前期は3月下旬から、後期は9月下旬から、科目名や申し込み方法等の詳細をKULASISの専用ページ及び掲示にてお知らせしますので、履修したい科目が履修(人数)制限を行う場合は、必ず手続きを行ってください。

また、当初履修(人数)制限の予定がなかった科目についても、履修希望者が多数の場合等に急遽履修(人数)制限を行うことがありますので、KULASIS等の掲示に注意してください。

▶ スポーツ実習種目登録手続き：p.68～参照

前 期	後 期
4月10日(月)～4月14日(金)	10月2日(月)～10月6日(金)

クラス指定を含むすべての受講希望者対象。第1回目の授業時間帯に総合体育館で申込。

なお、予備登録科目とは異なり、履修登録期間になってもKULASISの履修登録画面に許可科目が反映されませんので、他の自由選択科目と同様に科目を検索し、履修登録を行ってください。

③特別履修手続き

前 期	後 期
4月10日(月)～4月21日(金)	10月2日(月)～10月16日(月)

以下の事項に該当する場合は、上記期間に、全学共通科目学生窓口で配付する所定用紙に担当教員の了承を得たうえで、特別履修の手続きをとり、履修登録を行ってください。

なお、1回生で、全学共通科目の自由選択科目及び必修ではない専門科目とクラス指定科目が重なった場合は、原則としてクラス指定科目を別の曜時間で受講することはできません。

また、予備登録、履修(人数)制限のある科目は別途予備登録や受講申込が必要です。

※ 特別履修手続きが必要となる科目(群)は、平成28年度以降入学者用の群に沿って設定されています。平成27年度以前入学者についても、特別履修手続きを行う際には、平成28年度以降入学者の群で手続きを行ってください。

▶ 上級回生配当科目を履修する場合

授業科目で指定されている対象回生について、既修得単位認定や初修外国語初級免除、その他特別な理由により上級回生の配当科目を履修希望する場合(自然科学科目群、情報学科目群及び健康・スポーツ科目群は、特別履修手続きが不要です)。

▶ 外国語の既修得単位認定者または初修外国語初級免除者が当該初修外国語を中級以上から履修する場合

初修外国語の中級以上を履修する場合、当該外国語の初級を一定単位(各外国語により異なる)修得していることが条件となりますが、当該外国語の既修得単位認定者または初修外国語初級免除者に限り、特別履修手続きによりその条件を満たしていなくても中級以上を履修することができます。

▶ 他クラス配当科目を履修する場合

クラス指定科目は所属クラスで履修しなければなりません。1回生でやむを得ない理由により他クラス配当科目を履修希望する場合、または所属クラスに配当されていない他クラス配当科目を履修希望する場合。ただし、自由選択科目でもある科目については、特別履修手続きは不要です。

なお、2回生以上が他クラス配当科目を履修する場合、担当教員の了承があれば特別履修手続きは不要です。

④自然科学科目群 実験・実習：p.71～参照

前 期	後 期
4月上旬にKULASIS等により周知	9月上旬にKULASIS等により周知

⑤大学コンソーシアム京都単位互換科目：p.76参照

前期・後期・通年・集中とも
3月下旬にKULASIS等により周知

出願の受付は前期・後期・通年・集中科目とも4月上旬に行います。

(2) 履修登録スケジュール

全学共通科目を履修するためには、前期及び後期に履修登録手続きが必要です。前期に登録する科目は「全学共通科目授業一覧」(p.97～参照)の開講期が「前」(前期)、「前集」(前期集中)または「通」(通年)の科目です。後期に登録する科目は、開講期が「後」(後期)または「後集」(後期集中)の科目です。クラス指定科目の時間割は、「全学共通科目授業時間割」(p.140～参照)の「クラス別時間割(1回生)」、「クラス指定科目早見表(2回生)」、「クラス指定時間割」で確認してください。

全学共通科目の履修登録は、全て KULASIS で行います(携帯電話では履修登録できません。パソコンで行ってください)。前期及び後期の登録期間内に KULASIS で履修登録を行い、履修登録確認・修正期間に登録されていることを必ず確認してください。なお、集中講義科目のうち、ILAS セミナー(1回生が前期集中科目に申し込む場合)、外国語科目群(C群)及びキャリア形成科目群国際コミュニケーション分野の集中クラス以外の履修登録については、別途指示にしたがってください。

履修登録に関する詳細は、前期は4月上旬、後期は9月下旬に KULASIS で周知します。操作マニュアルは、履修登録ページオープン期間中に KULASIS からダウンロードできます。

①時間割作成期間 (KULASIS)

前 期	後 期
4月4日(火)～4月19日(水)	9月22日(金)～10月12日(木)

◇ 候補科目設定では登録は終わっていません。履修登録期間に必ず「登録科目の決定」を行ってください。

◇ 「基礎化学実験」の受講を申し込んだ場合は、履修登録期間までに確定科目として表示されます。

◇ 受講許可された予備登録科目は、履修登録候補科目設定画面に随時表示されます。

②履修登録期間 (履修登録科目を決定) (KULASIS)

前 期	後 期
4月20日(木)～4月24日(月)	10月13日(金)～10月17日(火)

◇ 集中講義以外の全ての履修希望科目を登録してください。ただし集中講義科目のうち、ILAS セミナー(1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ)、外国語科目群(C群)及びキャリア形成科目群国際コミュニケーション分野の集中クラスは履修登録が必要です。

◇ 集中講義の履修登録の方法は、各科目毎に異なります。申込の日程・方法等の詳細は掲示等によりお知らせします(実施時期等が未定の授業科目は、決定次第掲示します)。

◇ この時点では、登録不備科目はエラー表示されません。履修登録確認・修正期間に必ず確認してください。

◇ KULASIS で履修登録の確定ボタンを押した後に修正しなくなった場合は、確定を解除しますので、上記最終日の17:00までに全学共通科目学生窓口に申し出てください。なお、履修登録確認・修正期間に修正することも可能です。

《履修登録に関する注意事項》

◆履修登録科目数についての制限

全学共通科目では、平成25年度入学者(工学部は26年度入学者)より学部毎に履修登録できる全学共通科目数(単位数・コマ数)に上限を設定しています。この履修登録科目数についての制限は、全ての学部で適用されています。制限の詳細は「IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.176～)を参照してください。

◆科目・授業の複数履修についての制限

▶科目の同一判定

①同じ科目名の科目。

②「II. 2. 全学共通科目一覧」(p.87～参照)で備考欄に同一科目と記載されている科目があれば当該科目と同一科目とみなされます。

③以前に開講された科目が、科目名変更された場合も同一科目とみなされます。

▶ 授業の同一判定

①同じ授業名の授業。

②「統合科学」や「スポーツ実習」等、複数の副題や種目が開講される科目において、副題・種目が異なる場合（講義コードの上位4桁が同じ）は同一授業とみなされます。

③工学部地球工学科国際コース向けの授業（p.96 参照）等、日本語と同一内容の英語の授業として開講される場合は同一授業とみなされます。

▶ 同一開講期の複数履修

同じ科目名の科目は、同一開講期に複数登録できません。同一判定される異なる科目名の科目を同一開講期に複数登録することはできませんが、全て合格した場合でも卒業に必要な単位として認められるのは1つだけです。（一部科目を除く（「5. 外国語の履修について」（p.45～）及び「9. ILAS セミナーの履修について」（p.73～）参照）

▶ 異なる開講期の複数履修

同一科目を異なる開講期に履修することはできますが、その場合、修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認められます。

▶ 例外

①外国語科目群、少人数教育科目群（ILAS セミナー）には、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても、複数履修が可能な科目があります。（「5. 外国語の履修について」（p.45～）及び「9. ILAS セミナーの履修について」（p.73～）参照）。

②「II. 2. 全学共通科目一覧」（p.87～）で「英語授業の有無」欄に丸印のある科目について、「II. 4. 全学共通科目授業一覧」（p.97～）でE科目に指定されているものは同一授業とみなされません。日本語授業と英語授業（E科目）の両方を履修し、単位を修得した場合、両方とも卒業に必要な単位として認められます。

③「外国文献研究（全・英）-E1」は、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても、複数履修が可能です。ただし、同一教員が担当する授業を複数履修した場合は同一授業とみなされ、修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認められます。（「6. E科目（英語関連科目）の履修について」（p.65～）参照）

④「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は、異なる開講期において複数履修が可能です。ただし、同一開講期かつ同一教員が担当する授業の履修を避けてください。また、4単位を超えて履修することはできません。

◆ クラス指定科目

クラス指定科目とは、所属学部で指定・推奨をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめクラス別の授業時間割が組まれている授業科目をいいます。

クラス指定科目を全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、当該科目を履修する際には原則として所属クラスで履修しなければなりません。

例外については、特別履修手続き（p.41 参照）を確認してください。なお、全学共通科目の自由選択科目（クラス指定以外の科目）や必修以外の学部科目と、クラス指定科目の曜時限が重なった場合においては、1回生は所属クラスの指定科目を他クラスで履修することはできません。

◆ 全学共通科目と学部科目の二重登録の制限

全学共通科目と学部科目を同一曜時限に重複して履修登録すること（二重登録）はできません。

◆ 通年科目の履修登録

通年科目の履修登録は前期に確定するため、後期に通年科目の履修登録の変更及び取消はできません。前期に通年科目の履修登録を行う際には、後期の履修科目についても考慮しておいてください。

③ 履修登録確認・修正期間（KULASIS）

前 期	後 期
4月27日（木）～ 5月1日（月） 12:00（正午）	10月20日（金）～10月23日（月）

◇ 上記期間中に KULASIS にアクセスし、自分が登録した全ての授業科目の曜日、時限、教員名等について、十分に確認してください。登録に不備のあった科目は、別途エラー科目として表示されます。

◇ 修正がある場合は上記期間中に修正してください。この期間以降は修正することができません。また、修正後の登録内容にエラー科目があっても、登録確定まで確認できません。エラー科目は登録できないまま確定しますので、修正は慎重に行ってください。

◇ 例年、登録確認を怠り、登録されていないことに気付かず試験を受ける者がいますが、その場合単位は認定されません。

◇ 予備登録科目を追加登録する場合、上記期間では登録画面でそれらを選択することはできません。予備登録をしてい

る学生に限り、上記期間最終日の前期は 10:00、後期は 17:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。
 ✦ KULASIS で履修登録の確定ボタンを押した後に確定解除を希望する場合は、上記期間最終日の前期は 10:00、後期は 17:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。なお、必ず期限までに、再度確定ボタンを押してください。確定ボタンを押さなかった場合は、②履修登録期間（ただし、エラー科目は除く）の状態で、履修登録が決定します。

④履修登録確定 (KULASIS)

前 期	後 期
5月8日 (月)	10月26日 (木)

✦ 確定日以降、KULASIS の My Page に履修登録された科目の時間割が表示されます。

※履修登録確認・修正期間終了後は、登録・修正ができないので注意してください。

⑤履修取消期間 (KULASIS)

前 期	後 期
6月2日 (金) ~ 6月5日 (月)	12月1日 (金) ~ 12月4日 (月)

✦ 平成 28 年度以降学部入学生を対象とした GPA 制度 (p.82 参照) の導入とあわせて、学生の申請により学期の途中に科目の履修登録を取り消す履修取消制度が導入されました。

✦ 履修を取り消したい科目がある場合は上記期間中に KULASIS にアクセスして手続きしてください。上記期間以降は、履修登録の取り消しは原則認められません。期間中に履修登録の取り消し手続きを取らず、試験を受験しなかった、またはレポートを提出しなかった等の科目は、全て成績評価の対象とします。また、採点結果確認時の異議申し立てにより履修登録を取り消すこともできません。

✦ 通年科目の履修取消は、前期の取消期間中に手続きしてください。

✦ 英語及び初修外国語の 1 回生のクラス指定の科目、「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」は履修取消を認めません。

✦ 上記期間中には履修登録の取り消しのみ可能です。登録科目の追加・修正はできません。

(3) 履修登録期間外に履修登録する集中講義科目

集中講義 (ILAS セミナー (1 回生が前期集中科目に申し込む場合)、外国語科目群 (C 群) 及びキャリア形成科目群 国際コミュニケーション分野の集中クラスを除く) は、通常の履修登録期間には登録を行いません。掲示等で履修申込方法、申し込み後の受講取り止めや登録確定時期等の詳細を案内しますので、確認のうえ、その指示に従ってください。実施時期等が未定の授業科目は、決定次第掲示します。

履修登録期間外に履修登録する集中講義科目は、原則として登録確定後の履修取消を認めません。

5. 外国語の履修について

外国語の履修にあたり、各学部の必要単位数と履修の要件（各学部の指示事項、学部便覧等）を確認した上で、後述の指示に従い科目を選択してください。なお、各制限事項に反する予備登録・履修登録は全て無効であり、単位の認定もされないので注意してください。

(1) 全ての外国語についての注意事項

- ① 平成 28 年度に外国語科目群のカリキュラムの改編を行い、英語（リーディング、ライティング・リスニング A・B）は 2 単位の科目として開講しています。また、日本語を除く初修外国語について、平成 28 年度から〈初級〉の科目を 2 単位（ただし、「ドイツ語 I（6 時間コース）」は 12 単位、「フランス語 I（8 時間コース）」は 16 単位、「イタリア語 I」は 8 単位）の科目として開講し、平成 29 年度からは、〈中級〉以上の科目を 2 単位（ただし、「ドイツ語 II（6 時間コース）」、「フランス語 II（6 時間コース）」は各 12 単位）の科目として開講します。日本語は、平成 29 年度にカリキュラムの改編を行いました（p.63～）。しかし、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が、改編後の科目を履修し、単位を修得した場合には、2 分の 1 の単位数のみ卒業に必要な単位として算入されますので、注意してください。
- ② 初修外国語の初級の履修にあたっては、原則として以下の通り履修しなければなりません。
 1. イタリア語以外は前・後期それぞれに同一言語の 2 クラス（文法、演習）を履修すること。
 2. イタリア語は通年週 2 回セットのクラスを履修すること。
- ③ 入学時に初修外国語初級免除申請（国際高等教育院ウェブサイトを参照）または既修得単位認定申請（各学部）の手続きにより中級からの履修を認められた者は、特別履修手続き（p.41）を経て、本学で初級の単位を修得することなく中級以上の科目を履修することができます。この場合、予備登録が必要な科目については、初年度は予備登録の調整日に申し出てください。翌年度以降は通常の予備登録を行ってください。ただし、初修外国語初級免除の場合は初級の単位数が免除されるのではなく、卒業に必要な単位数を中級以上で修得しなければなりません。
- ④ 通常、同じ授業科目名の科目を 2 つ以上修得した場合は、修得年度の早いもの 1 つしか卒業に必要な単位として数えられません。また、1 週間のうちに複数開講されている科目は 1 つしか履修登録できません。しかし、次の外国語科目については対象外で、複数履修することが可能です。

[英語リーディング][英語 II A・II B]
[ドイツ語 II A・II B、II A（会話）・II B（会話）、II A（CALL）・II B（CALL）、II A（ライティング）・II B（ライティング）、III A・III B]
[フランス語 II A・II B、II A（演習）・II B（演習）、III A・III B][中国語 II A・II B][ロシア語 II A・II B]
[イタリア語 II A・II B、II A（演習）・II B（演習）]
[スペイン語 II A・II B、II A（演習）・II B（演習）]（ただし、[スペイン語 II A・B]、[スペイン語 II A・B（演習）]は前後期各 1 科目のみ履修可）
[朝鮮語 II A・II B、II A（演習）・II B（演習）][アラビア語 II A・II B、II A（演習）・II B（演習）]

ただし、同一テキストまたは同一教員が同じ内容で授業を行う科目の重複履修はできません。重複履修不可クラス又は科目群については、各外国語のページを参照してください。
- ⑤ 原則として、外国語科目名の A は前期、B は後期を意味しています。修得できなかった中級以上の初修外国語を履修登録する際に、開講期を揃える必要はありません（例：修得できなかった「ドイツ語 II B」分の単位を翌年度の「ドイツ語 II A」で修得することができます）。また、英語リーディングは開講期の区別がありませんので、修得できなかった「英語リーディング」分の単位を翌期に開講される「英語リーディング 単位未修得者クラス」で修得することができます。
- ⑥ 予備登録を要する科目は、受講クラスの予備登録をしなければ履修登録できません（p.46 参照）。
- ⑦ 日本語を母語としない外国人留学生は、母語である言語を外国語として履修することが原則としてできません。ただし、学部により取り扱いが異なりますので、各学部の便覧等を確認してください。

(2) 1 回生の履修クラスについて

① 英語、ドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語を選択した場合には履修クラスを指定しています。KULASIS の時間割ページで確認の上、指定されたクラスで履修してください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語、日本語を選択した場合は、選択した外国語が開講されている時間に履修してください。なお、日本語については、p.63～の指示に従って履修してください。

選択した外国語の変更を希望する場合、また 3 か国語以上の外国語の履修を希望する場合は、前期は 4 月 19 日（水）までに、後期は 10 月 12 日（木）までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。

② 「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」、「ドイツ語 I（6H コース）」、「フランス語 I（8H コース）」は、自由選択制です。

③ 1 回生の外国語は全て第 1 回目の授業時間に教室に集合してください（履修クラスが指定されている場合は教科書持参のこと）。履修クラスが指定されていない科目は、受講希望学生が多数の場合には履修（人数）制限を行うことがあります。

英語のクラス編成は、リーディングとライティングーリスニングとで異なりますので、KULASIS [4 月 4 日（火）発表] で各自確認してください。

④ 前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 I A」・「フランス語 I A」・「中国語 I A」・「スペイン語 I A」を履修し単位が認定されなかった場合、後期開講の「英語リーディング単位未修得者クラス」・「英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラス」・「ドイツ語 I A 再履修クラス」・「フランス語 I A 再履修クラス」・「中国語 I A 再履修クラス」・「スペイン語 I A 再履修クラス」をそれぞれ履修することにより、当該科目の単位を同一年度に補うことができます。これらは予備登録が必要です。予備登録についての詳細は、「(3) 2 回生以上の履修クラスについて [外国語予備登録]」を参照してください。ただし、1 回生で KULASIS ページ内の外国語予備登録ページにアクセスできるのは、「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 I A」・「フランス語 I A」・「中国語 I A」・「スペイン語 I A」を履修し単位が認定されなかった場合に限りです。

(3) 2 回生以上の履修クラスについて〔外国語予備登録〕（一部、1 回生後期を含む）

各外国語とも全て自由選択制となっていますが、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語については、前期と後期に予備登録を実施します。いずれも授業開始日前に行いますので、期日に注意して申込をしてください。外国語予備登録ページは予備登録開始日の約 2 週間前から KULASIS に表示されます。

また、外国語予備登録に関してよくある質問をまとめた「外国語予備登録 Q&A」を国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内に掲載していますので、参考にしてください。

その他の外国語については予備登録は不要ですが、受講希望者多数の際は履修（人数）制限を行うことがあります。掲示による指示がある場合はそれに従い、ない場合は必ず第 1 回目の授業に出席してください。

《外国語中級等（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語）の予備登録について》

予備登録申込手続きは、KULASIS から行います。申込者数が定員を超えたクラスは抽選を行います。第 1 回目の抽選に漏れた場合、第 2 回目→第 3 回目→第 4 回目の申込ができます。4 回とも抽選に参加し、落選した場合は、調整日に対応します。ただし、正当な理由なく 4 回の申込機会を放棄した者については、調整日に調整を受ける権利をも放棄したとみなしますので、注意してください。

なお、予備登録が必要な通年クラスには前期の予備登録で申し込むため、後期の予備登録は必要ありません。

登録申込の手順	前開講期の全学共通科目合格科目一覧は予備登録ページより確認できます。成績を確認の上、1 回の申込につき <u>各カテゴリー毎に 1 クラス</u> を申し込んでください。外国語によって再履修クラスの有無や、クラス定員や登録可能クラス数の上限が異なるので、詳細は各外国語の予備登録上の注意事項を確認してから申し込んでください。1 カテゴリーにつき 2 科目以上の申込をする必要のある場合は、まず、1 科目のクラスが決定してから、2 回目の申込日以降に 2 科目めの申込を行ってください。
申込方法	予備登録ページ上で、希望クラスを申し込んでください。予備登録ページには携帯電話及びパソコンからアクセスできます。学術情報メディアセンター端末（附属図書館及び各学部のサテライトにも設置されている）も利用できます。問題が生じた場合は、全学共通科目学生窓口で相談してください。

予備登録ページオープン	【前期】3月17日（金）	【後期】9月12日（火）
1) 第1回申込日	【前期】4月3日（月）8:00～18:00	【後期】9月25日（月）8:00～18:00
抽選・結果発表	抽選終了後、結果をメールで送信します。結果はKULASISでも確認できます。抽選に漏れた者は、第1回目と同じ方法で以下に従って申し込んでください。	
2) 第2回申込日	【前期】4月4日（火）8:00～18:00	【後期】9月26日（火）8:00～18:00
抽選・結果発表	【前期】4月4日（火）申込締め切り後	【後期】9月26日（火）申込締め切り後
3) 第3回申込日	【前期】4月5日（水）8:00～18:00	【後期】9月27日（水）8:00～18:00
抽選・結果発表	【前期】4月5日（水）申込締め切り後	【後期】9月27日（水）申込締め切り後
4) 第4回申込日	【前期】4月6日（木）8:00～18:00	【後期】9月28日（木）8:00～18:00
抽選・結果発表	【前期】4月6日（木）申込締め切り後	【後期】9月28日（木）申込締め切り後
5) 調整日	【前期】4月7日（金）	【後期】9月29日（金）
	4回とも抽選に参加し落選した者、卒業に必要な単位以上に受講を希望する者、及び既修得単位認定者、初級免除認定者、大学院学生などに対して調整を行います。 なお、英語については、卒業に必要な単位以上に受講を希望する者についての調整は一切行っていません。 受付場所・各外国語の受付時間については、KULASISでお知らせします。調整後の結果はメールまたはKULASISで確認してください。	
6) 履修登録	【前期】4月20日（木）～24日（月）	【後期】10月13日（金）～17日（火）
	履修登録（p.40～参照）は上記の予備登録の結果に従って登録してください。予備登録期間終了後、KULASISの履修登録候補科目設定画面に予備登録された科目が表示されます。候補科目設定画面ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定してください。	

日程は変更されることがありますので、外国語予備登録ページ（KULASIS内）で最新情報を確認してください。

(4) CALLについて

CALL（コール）とは Computer-Assisted Language Learning の略で、コンピュータを使った外国語学習です。CALLの様式としては、コンピュータを LAN やインターネットなどのネットワークにつないで端末として使う場合と、ネットワークにつながらないで単体として使う場合があります。いずれの場合も、CALL 用に開発した特定の教材を使用する場合と、そうでない場合があります。ネットワークを使う場合は、メールやチャットのような機能を利用することもあり、外国語学習のために作られたウェブサイト（学習サイト）を利用することもあります。また、場所に関しては、曜日・時限・教室という時空間の制限内で行う「教室あり CALL」もありますが、パソコンさえあればいつでも、どこでも、学習者の都合に合わせて「自律学習」を行う「教室なし CALL」もあります。

自律学習型 CALL では、学習者が時間を自由に使うことができるという点が強みです。外国語の学習には、目標言語に浸り、その言語を使って自分で作業している時間が決め手になる側面がいくつもあります。そういう側面に関しては、限られた時空間の制限内で行う伝統的な授業よりは、自律学習型 CALL のほうが有利なことがあります。

本学の外国語でどのような種類の CALL を行うかは、言語・担当者・クラスなどによって異なります。例えば、英語 II の単位未修得者クラスの CALL の場合では、教室なしの自律学習型の CALL を行いますが、言語やクラスによっては、教室あり CALL と教室なし CALL を併用する場合や、教室あり CALL に限定する場合があります。

自習用のコンピュータは、学術情報メディアセンター（南館）1階にあります。

なお、CALL は Learning であり、あえて Teaching と呼んでいません。主役は、教える教師ではなく、学ぶ学生であるからです。CALL では、特に自ら作業することによって学ぶことを心がけてください。

(5) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項

A. 英語の科目編成

多様な学術的言語技能を育成するために、英語と英語 II として以下のクラスを用意しています。

①英語（平成 28 年度以降入学者対象）

英語は大別して、リーディングクラスとライティング・リスニングクラスの二つの区分があり、それぞれを履修しなければなりません。前者は、学部の履修方針に応じた学術的な文献やまとまった長さを持つ洋書などのアカデミックリーディングを通じ、英語による学術的教養の涵養を目標としています。後者は、エッセイやレポートなどのアカデミックライティングを通じ、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、オンラインによるアカデミックリスニ

ング課題に取り組むことにより、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力の育成を目指します。いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

ライティング・リスニングクラスについては、上級者用クラス（「英語ライティング・リスニング A 上級」、「英語ライティング・リスニング B 上級」）を開講します。これらのクラスは自由選択制であり、以下の(a)～(c)のいずれかの判断基準を満たす場合、申請し認められれば、指定クラスの代わりに受講することができます。ただし、受講希望者多数の際は履修（人数）制限を行うことがあります。

- (a) TOEFL iBT のスコアが 80 以上の者、もしくは IELTS のスコアが 6.0 以上の者
- (b) 1 回生の 4 月に一斉受験する TOEFL ITP で 600 点以上のスコアがあった者（「英語ライティング・リスニング B 上級」履修の場合に限る）
- (c) 英語を日常的に使用する環境（外国の学校、インターナショナルスクールなど）で教育を受けた者のうち、国際高等教育院で実施する資格審査に合格した者

申請期間や申請方法、オンラインリスニング課題の取り扱い、成績評価方法などの詳細については、ガイダンスやリスニングオフィスアワーにおいて説明します。

②英語Ⅱ（平成 27 年度以前入学者対象）

英語Ⅱは、平成 27 年度以前入学者で卒業に必要な英語の単位を充足していない単位未修得者のためのクラスです。アカデミックリスニングを行う CALL クラスと、それ以外のことを行う対面形式のクラスがあります。どのクラスもクラス指定ではなく選択制で、予備登録が必要です。

◆ 英 語 ◆

《英語》〔E〕（平成 28 年度以降入学者対象） ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符 号	開講期	単 位	対象回生	定 員	外国語予備登録	備 考
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	要	1 回生専用クラス・アカデミックリーディング
		後期	2	1 のみ	約 40		
	ESR	前期	2	2 以上	約 60		単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 60		
英語ライティング・リスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	要	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		前期	2	1 のみ	約 30		
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 30		単位未修得者クラス
		後期	2	1 以上	約 30		
英語ライティング・リスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	要	1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
		後期	2	1 のみ	約 30		
	ESWLB	前期	2	2 以上	約 30		単位未修得者クラス
		後期	2	2 以上	約 30		

【履修上の注意】

- ▶1 回生専用クラス及び英語ライティング・リスニングの上級クラスは予備登録は不要ですが、単位未修得者クラスは予備登録が必要です。
- ▶英語は全て半期科目で、各 2 単位です。アカデミックリーディングの英語リーディング（ER）と、アカデミックライティング&アカデミックリスニングの英語ライティング・リスニング（EWLA 及び EWLB）に区分されています。
- ▶1 回生は開講期ごとに、英語リーディングと英語ライティング・リスニングを両方履修してください。
- ▶4 月に実施予定の TOEFL ITP 試験の受験を、1 回生後期以降の英語科目の履修登録の要件としています。英語選択者は必ず受験してください。
- ▶12 月 9 日（土）に実施予定の TOEFL ITP 試験の成績を、後期開講の英語ライティング・リスニング B の成績評価の一部として利用します。詳細はシラバスで確認してください。
- ▶英語ライティング・リスニング A・B では、一定の基準を満たす学生を対象に上級クラスを開講します。詳細は前期は 4 月初旬、後期は 10 月初旬に掲示します。
- ▶1 回生の後期開始段階で英語リーディングまたは英語ライティング・リスニング A の単位を修得していない場合は、1 回生の後期に対応する単位未修得者クラスを履修し、不足単位を補うことができます。ただし、英語ライティング・リスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティング・リスニング B の並行履修は推奨しません。前期に英語ライテ

イングリッシュ A の単位を修得していない学生は、後期に英語ライティング A 単位未修得者クラスを履修することを推奨します。

- ▶平成 28 年度以降入学者は英語 II の単位未修得者クラスを履修し、不足単位を補うことはできません。
- ▶前・後期にかかわらず、英語リーディング単位未修得者クラス、英語ライティング A 単位未修得者クラスと英語ライティング B 単位未修得者クラスが開講されますが、一開講期に履修できる単位未修得者クラスは、原則英語リーディングが 1 クラス、英語ライティング A または B から 1 クラスです。なお、この場合も英語ライティング A を先に履修することを推奨します。ただし、その開講期終了時の卒業や進級・コース分属などのため、当該期に英語リーディングを 2 クラス、または英語ライティング A および B の履修を希望する学生は予備登録の調整日に対応します。
- ▶英語リーディングの単位が不足している場合は、開講期に関係なく単位未修得者クラスを履修してください。例えば、前期開講の英語リーディングの単位を、後期開講の英語リーディング単位未修得者クラスの単位で補うことが可能です。
- ▶英語ライティング B 単位未修得者クラスにおいても、成績評価の一部として 1 回生時に受験した TOEFL ITP 試験の成績を利用します。なお、希望すれば改めて TOEFL ITP 試験を受験し、その成績を成績評価の一部として利用することができます。ただし、その受験料（約 4,000 円）は、履修者の負担とします。
- ▶英語リーディングまたは英語ライティング A・B に相当する既修得単位がある学生が、残りの英語の不足単位分を修得する場合は、英語リーディングまたは英語ライティング A・B を履修するのが原則です。
- ▶工学部地球工学科国際コースに所属する学生は、次のクラス指定されている英語を履修してください

科目名	開講期	単位※	対象回生	外国語予備登録	備考
Scientific English I A (Reading and Writing)	通年	4	1 以上	/	工学部地球工学科国際コース 1 回生クラス指定科目
Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)	通年	4			

※平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として参入されます。

【英語 II】〔E2〕（平成 27 年度以前入学者対象） ※全て外国語予備登録（p.46～参照）が必要です。

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	定員	外国語予備登録	備考
英語 II A	E2CA	前期集中	1	2 以上	210	要	単位未修得者専用 CALL クラス・自律学習型 CALL
	E2SA	前期	1	2 以上	60		CALL 以外の単位未修得者専用クラス
英語 II B	E2CB	後期集中	1	2 以上	210	要	単位未修得者専用 CALL クラス・自律学習型 CALL
	E2SB	後期	1	2 以上	60		CALL 以外の単位未修得者専用クラス

【履修上の注意】

- ◇ 符号の A は前期開講科目、B は後期開講科目です。
- ◇ 英語 II の科目は、どの科目でも予備登録を経なければ履修できません。
- ◇ 自律学習型 CALL 科目（前期集中科目『E2CA』、後期集中科目『E2CB』）は、同じ開講期に 1 科目しか履修できません。
- ◇ 英語 II は、どの科目も半期科目であり、1 単位が認定されます。
- ◇ 単位未修得者とは、平成 27 年度以前入学の学部生で、卒業に必要な英語 I ・英語 II の単位数を充足していない学生です。
- ◇ 英語 II の E2C の CALL は、自宅などのコンピュータを使い、指定された教材を学習する「自律学習型の CALL」です。教室に行くのは、履修説明会と試験のときだけです。また、この CALL システムは、専門の業者が管理するサーバーで運用しているため、その管理料として履修者一人あたり 2,500 円を負担してもらう必要があります。
- ◇ 英語 II の単位未修得者専用クラスは、平成 27 年度以前入学者向けに経過措置として一定の期間（E2C は平成 29 年度末まで、E2S は平成 30 年度末まで）開講される予定です。

■ 予備登録上の注意 ■

- ① 単位未修得者専用の CALL クラスである E2C は、平成 27 年度以前入学の単位未修得者が履修する科目です。何単位不足していても単位未修得者であれば、一開講期につき 1 単位は必ずこの CALL で履修しなければなりません。
- ② E2C の CALL では、一開講期に全クラスで同一教材を使用するため、予備登録ができるのは 1 クラスのみです。
- ③ E2C の CALL を履修してもなお不足する未修得単位がある場合には、CALL 以外の単位未修得者専用クラスである E2S で履修しなければなりません。

- ④上記①②③の規定は、過去に単位未修得者専用 CALL クラスで単位を修得したことがある場合にも適用されます。したがって未修得単位を完全に充足できない場合には、単位未修得者専用の CALL を次の開講期に繰り返し履修する必要があります。
- ⑤E2C クラスでは、評価が不合格であった履修者のうち、一定の基準以上の成績を得た者を対象に補講と再試験を実施します。補講と再試験の詳細は別途履修者に通知します。
- ⑥E2S の前期クラスと後期クラスとで、別の教員が同一の教材を使うか、同じ教員が同一内容の授業を行う場合、両方のクラスに予備登録することはできません。ただし、同じ教員が前後期にわたり同一教科書で異なる箇所を使う場合などでは、その限りではありません。なお、平成 29 年度に該当科目はありません。
- ⑦単位未修得者専用クラスへの予備登録では、卒業に必要な単位数の未修得点を超えて登録することはできません。また、一開講期に登録できるのは 3 クラスまでです。例えば不足している単位数が 4 である場合は、全てを一つの開講期で修得することはできず、1 単位は E2C のクラスで、残り 2 単位は二つの E2S のクラスで履修します。残りの不足単位数は、それ以降の開講期に履修することになります。
- ⑧E2C のクラスを履修してもなお卒業に必要な単位数に不足し、かつ学部専門科目の時間割の都合により、E2S のクラスを履修できない場合、不足する卒業に必要な単位数の範囲内、かつ一開講期につき 2 科目を上限として、E1・E3 科目の履修を許可することがあります。ただし、その履修には予備登録が必要で、定員に余裕のある場合に限りませ (p.65～)。
- ⑨卒業回生で、一開講期に 4 クラス以上の単位未修得者専用クラス及び予備登録が必要な E1・E3 科目を履修することにより、その開講期終了時の卒業が期待できる場合は、上記⑦の「一開講期に 3 クラス以内」という制限を緩和する例外措置をとることがあります。予備登録の調整日に個別に対応しますが、その際、修得済み単位数が卒業に必要な単位数の 90%を超えていることを成績表 (の写し) などによって証明しなければなりません。ただし、卒業論文などの必修科目の単位数の関係で 90%超の要件を満たすことが不可能な場合は、成績表を持参の上、予備登録の調整日までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。
- ⑩学士入学者や編入学者などの既修得単位認定者は、予備登録の調整日に個別に対応します。
- ⑪大学院学生は、原則英語Ⅱ単位未修得者専用クラスを履修することができません。
- ⑫予備登録については、国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

B. 初修外国語の科目編成

①1 回生の授業 (初級)

初級の授業 (イタリア語を除く) は、「文法」と「演習」からなり、それぞれ相互に補いながら行われます (〇〇語 IA (文法)・IB (文法)・IA (演習)・IB (演習) で 8 単位修得することが標準)。また、この標準的なコースの他に、インテンシブ・コースなどがある外国語もあります。1 回生向けの授業は、当該言語の基本的構造や表現を学ぶことで、その言語圏の文化に触れるとともに、学術的言語技能の基礎を養うことを目標としています。

②2 回生以上の授業 (中級・上級)

中級では、「精読」「作文」「会話」「聴き取り」などを通じて言語技能を向上させると同時に、その言語共同体の文化や思考方法を理解するための授業が行われます。中級の授業は、初級の授業で身につけた基礎的言語技能を充実させ、学術的言語技能の涵養に資することを目標としています。

上級の授業では、高度な内容の文章を読むこと、書くこと、口頭で発表することなどが行われます。上級では、中級で身につけた言語技能をさらに発展させ、学術的言語技能の修得を目標としています。

※ 初修外国語 (中級・上級) 履修上の例外措置について (ドイツ語・フランス語・中国語)

初修外国語 (中級・上級) については、原則として、一開講期に 3 クラス以上の外国語予備登録をすることはできません。ただし、卒業回生で、一開講期に 3 クラス以上履修することにより、その開講期終了時の卒業が期待できる場合は、上記の「一開講期に 2 クラス以内」という制限を緩和する例外措置をとることがあります。

修得済み単位数が卒業に必要な単位数の 90%を超えていることを証明できる成績表 (の写し) などを持参のうえ、予備登録調整日に申し出てください。ただし、卒業論文などの必修科目の単位数の関係で 90%超の要件を満たすことが不可能な場合は、成績表を持参の上、予備登録の調整日までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。

この例外措置は、ドイツ語、フランス語、中国語に限り適用されます。

◆ ドイツ語 ◆

《ドイツ語Ⅰ（初級）》〔D1〕 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象 回生	外国語 予備登録	備考
ドイツ語ⅠA（文法）	D11A	前期	2	1以上	2回生以上 は要	1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠA（演習）	D12A	//	2			
ドイツ語Ⅰ（6Hコース）	D15	通年	12	1以上		
ドイツ語ⅠA（文法） 再履修クラス	D11A	前期	2	2以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIB またはIの履修歴のある者に限る。
ドイツ語ⅠA（演習） 再履修クラス	D12A	//	2			
ドイツ語ⅠB（文法） 再履修クラス	D11B	//	2			
ドイツ語ⅠB（演習） 再履修クラス	D12B	//	2			
ドイツ語ⅠB（文法）	D11B	後期	2	1以上	2回生以上 は要	1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠB（演習）	D12B	//	2			
ドイツ語ⅠA（文法） 再履修クラス	D11A	//	2	1以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIA またはIの履修歴のある者に限る。
ドイツ語ⅠA（演習） 再履修クラス	D12A	//	2			
ドイツ語ⅠB（文法） 再履修クラス	D11B	//	2	2以上		
ドイツ語ⅠB（演習） 再履修クラス	D12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ （文法）と（演習）は両方履修してください。
- ◇ （文法）と（演習）を履修する1回生は指定クラスで、再履修者は再履修クラスで履修してください。
- ◇ （文法）と（演習）を履修する2回生以上の新規履修者及び、回生を問わず第3外国語としてドイツ語の履修を希望する者は、1回生向け指定クラスのいずれかを選び履修してください。
- ◇ 後期から新たにドイツ語を履修する者は、『ドイツ語ⅠA 再履修クラス』で受講してください。ただし、集中クラス（CALL）は、再履修者に限るため履修できません。
- ◇ （文法）と（演習）の双方が必要な場合は同一クラスで履修してください。1クラスのみを履修希望の場合は（文法）を履修してください。ⅠA・ⅠBを通して同じクラスで履修することが望ましい。
- ◇ （6Hコース）は（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。

《ドイツ語Ⅱ（中級）》〔D2〕 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象 回生	外国語 予備登録	備考
ドイツ語ⅡA	D21A	前期	2	2以上	要	
ドイツ語ⅡA（会話）	D22A	//	2			
ドイツ語ⅡA（CALL）	D23A	//	2			
ドイツ語ⅡA（ライティング）	D24A	//	2			
ドイツ語Ⅱ（6Hコース）	D25	通年	12	2以上	要	
ドイツ語ⅡB	D21B	後期	2	2以上	要	
ドイツ語ⅡB（会話）	D22B	//	2			
ドイツ語ⅡB（CALL）	D23B	//	2			
ドイツ語ⅡB（ライティング）	D24B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を4単位以上修得していること、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を2単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ 一開講期に2クラスまで履修することができます。

《ドイツ語Ⅲ（上級）》〔D3〕 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象 回生	外国語 予備登録	備考
ドイツ語ⅢA	D3A	前期	2	2以上	要	
ドイツ語ⅢB	D3B	後期	2	2以上	要	

【履修上の注意】

- ◇ <上級>コースであるが、<中級>の代わりに履修することができます。
- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

■ 予備登録上の注意 ■

- ① ドイツ語の<中級>・<上級>を予備登録するためには、平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>の単位を 4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>の単位を 2 単位以上修得していなければなりません。
 <初級>の単位については、文法と実習（演習）の別は問いませんが、ドイツ語 I A と I B の組み合わせ（または平成 21 年度までのドイツ語 I）を修得していなければなりません。
 上記のとおり<初級>の単位を修得していれば、<中級>・<上級>を一開講期で 2 クラス（上限）まで予備登録をすることができます。この上限または、卒業に必要な単位数（ただし、原則として 2 クラスを超えることはできません）を超えて予備登録した場合には、全てのクラスが履修できなくなることがあります。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります（p.50 参照）。
- ② <中級>の授業は、全てのクラスの中から、定員に余裕のある限り希望するクラスを選択できます。
- ③ <上級>は<中級>までの単位を修得した者のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。
- ④ <初級> の再履修者は、<初級> の再履修クラスに予備登録してください。<中級>・<上級>の単位を<初級>に替えることはできません。
 平成 21 年度まで開講のドイツ語 I（文法）の再履修者はドイツ語 I A・I B（文法）の再履修クラスを、ドイツ語 I（実習）の再履修者はドイツ語 I A・I B（演習）の再履修クラスを履修してください。
 平成 27 年度まで開講のドイツ語 I A（実習）の再履修者はドイツ語 I A（演習）再履修クラスを、ドイツ語 I B（実習）の再履修者はドイツ語 I B（演習）再履修クラスを履修してください。
- ⑤（文法）と（演習）を履修する 2 回生以上の新規履修者及び、回生を問わず第 3 外国語としてドイツ語の履修を希望する者は、1 回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください（予備登録が必要）。（文法）と（演習）の双方が必要な場合は同一クラスで履修してください。1 クラスのみを履修希望の場合は（文法）を履修してください。I A・I B を通して同じクラスで履修することが望ましい。
- ⑥ 学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者及び他大学・外国学校等でドイツ語を学び、入学時に初級免除を認定された者が<中級>以上を履修する場合は、初年度は予備登録の調整日に個別に対応します。翌年度以降は、通常の予備登録を行った上で履修登録してください。なお、本学での <初級>の単位を取得せずに<中級>・<上級>を履修する場合は、予備登録の手続き以外に「特別履修手続き」が必要です。
- ⑦ 入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>・<上級>から修得してください。この場合も、予備登録できるクラス数は一開講期で 2 クラスを上限とします。
- ⑧ 大学院学生が<中級>以上のドイツ語の履修を希望する場合は、予備登録の調整日に個別に対応します。
- ⑨ 予備登録については、国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。
- ⑩ 下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで同じ内容の授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月 3	ドイツ語 II A	D2101	友田 和秀
	前期	水 2	ドイツ語 II A	D2111	細見 和之
2	前期	月 4	ドイツ語 II A	D2102	井尻 楽
	前期	火 1	ドイツ語 II A	D2105	杉村 涼子
3	前期	月 5	ドイツ語 II A	D2104	青木 三陽
	前期	水 2	ドイツ語 II A	D2110	西井 美幸
	前期	木 3	ドイツ語 II A	D2116	西村 木綿
4	前期	木 2	ドイツ語 II A	D2114	奥田 敏広
	前期	木 5	ドイツ語 II A	D2117	南 剛
5	後期	月 4	ドイツ語 II B	D2152	井尻 楽
	後期	火 1	ドイツ語 II B	D2155	杉村 涼子
6	後期	月 5	ドイツ語 II B	D2154	青木 三陽
	後期	木 3	ドイツ語 II B	D2166	西村 木綿
7	後期	木 1	ドイツ語 II B	D2163	武田 良材
	後期	木 2	ドイツ語 II B	D2164	奥田 敏広

◆ フランス語 ◆

《フランス語Ⅰ（初級）》〔F1〕 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
フランス語ⅠA（文法）	F11A	前期	2	1以上	2回生以上は要	1回生向けクラス指定
フランス語ⅠA（演習）	F12A	Ⅱ	2			
フランス語Ⅰ（8Hコース）	F13	通年	16	1以上		
フランス語ⅠB（文法）・再履修クラス	F11B	前期	2	2以上	要	文法は集中クラスあり。集中クラスはⅠBまたはⅠの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠB（演習）・再履修クラス	F12B	Ⅱ	2			
フランス語ⅠB（文法）	F11B	後期	2	1以上	2回生以上は要	1回生向けクラス指定
フランス語ⅠB（演習）	F12B	Ⅱ	2			
フランス語ⅠA（文法）・再履修クラス	F11A	後期	2	1以上	要	文法は集中クラスあり。集中クラスはⅠAまたはⅠの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠA（演習）・再履修クラス	F12A	Ⅱ	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ （文法）と（演習）は両方履修してください。
- ◇ （文法）と（演習）を履修する1回生は指定クラスで、再履修者は再履修クラスで履修してください。再履修者で前期にⅠA、後期にⅠBの履修を希望する者は、1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。
- ◇ （文法）と（演習）を履修する2回生以上の新規履修者及び回生を問わず第3外国語として履修を希望する者は、1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。ただし、必ず同一クラスの（文法）と（演習）を平行して履修してください。ⅠA・ⅠBを通して同じクラスで履修することが望ましい。
- ◇ 後期から新たにフランス語を履修する者は、『フランス語ⅠA 再履修クラス』で受講してください。ただし、文法の集中クラスは、再履修者に限るため履修できません。
- ◇ （8Hコース）はクラス指定の（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。ただし、再履修者を除きます。通年で16単位修得できますが、卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。

《フランス語Ⅱ（中級）》〔F2〕 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
フランス語ⅡA	F21A	前期	2	2以上	要	
フランス語ⅡA（演習）	F22A	Ⅱ	2			
フランス語Ⅱ（6Hコース）	F23	通年	12	2以上	要	
フランス語ⅡB	F21B	後期	2	2以上	要	
フランス語ⅡB（演習）	F22B	Ⅱ	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>をいかなる組み合わせでもよいから4単位以上修得していること、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>をいかなる組み合わせでもよいから2単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。ただし、平成24年度以前開講の2Hコースを修得していても、<中級>・<上級>を予備登録することはできません。
- ◇ 一開講期に2クラスまで履修することができます。<初級>とは異なり、（演習）とその他のクラスを組み合わせる必要はありません（例：フランス語ⅡAを2クラス履修することができます）。コース別の区分（「運用能力アップコース」は「精読」「聴き取り」「作文」「発音フォローアップ」「文法フォローアップ」などが、「文明理解コース」は「フランス文化」「フランス文学」「政治経済」「マスメディア」などがあります）を参考にして、自分の目的に適したクラスを選択してください。
- ◇ ⅡA（演習）・ⅡB（演習）は、平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、計4単位まで、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）の単位数の2分の1と、平成28年度まで開講のⅡA（実習）・ⅡB（実習）の単位数とを合わせて2単位までしか卒業に必要な単位として認められません。

《フランス語Ⅲ（上級）》〔F3〕 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
フランス語ⅢA	F3A	前期	2	2以上	要	
フランス語ⅢB	F3B	後期	2	2以上	要	

【履修上の注意】

◇ <上級>コースですが、<中級>の代わりに履修することができます。

◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

■ 予備登録上の注意 ■

① フランス語の<中級>・<上級>を予備登録するためには、平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を 4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を 2 単位以上修得していなければなりません。この<初級>の単位はどのような組み合わせでもかまいません（例. I A（文法）と I B（演習））。ただし、平成 24 年度以前開講の 2H コースを修得していても、<中級>・<上級>を予備登録することはできません。

② <中級>・<上級>の予備登録が可能なクラス数は、一開講期で 2 クラスを上限とします。この上限または、卒業に必要な単位数（ただし、原則として 2 クラスを超えることはできません）を超えて予備登録した場合には、全てのクラスが履修できなくなることがあります。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります（p.50 参照）。

③ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、フランス語Ⅱ（演習）は、計 4 単位まで卒業に必要な単位に認定されます。平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、フランス語Ⅱ（演習）の単位数の 2 分の 1 と、平成 28 年度まで開講のフランス語Ⅱ（実習）の単位数とを合わせて 2 単位まで卒業に必要な単位として認定されます。これらの上限を超えて履修しても、卒業に必要な単位としては認定されません。

④ フランス語Ⅱ（6H コース）は、半期科目ではなく通年科目で、これを履修すれば 12 単位が修得できます。卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。

⑤ <上級>は<中級>までの単位を修得した者のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。

⑥ <初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスに予備登録してください。<中級>・<上級>の単位で、<初級>に替えることはできません。

平成 20 年度まで開講のフランス語Ⅰ（文法）の再履修者はフランス語ⅠA・ⅠB（文法）の再履修クラスを、フランス語Ⅰ（実習）の再履修者はフランス語ⅠA・ⅠB（演習）の再履修クラスを履修してください。

平成 27 年度まで開講のフランス語ⅠA（実習）の再履修者はフランス語ⅠA（演習）の再履修クラスを、フランス語ⅠB（実習）の再履修者はフランス語ⅠB（演習）の再履修クラスを履修してください。

再履修者で前期にⅠA、後期にⅠBの履修を希望する者は、1 回生向け指定クラスのいずれかを選んで、履修してください（予備登録が必要）。

⑦ 2 回生以上で初めて<初級>のフランス語Ⅰを履修する者は、1 回生向け指定クラスのいずれかを選んで、履修してください（予備登録が必要）。ただし、必ず同一クラスの（文法）と（演習）を並行して履修してください。また、できる限りⅠA・ⅠBを通して同じクラスで履修してください。

⑧ 学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び他大学・外国学校等でフランス語を学び、入学時に初級免除を認定された者が<中級>以上を履修する場合は、初年度は予備登録の調整日に個別に対応します。翌年度以降は、通常の前備登録を行った上で、履修登録してください。なお、本学での<初級>の単位を取得せずに<中級>・<上級>を履修する場合は、予備登録の手続き以外に「特別履修手続き」が必要です。

⑨ 入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>・<上級>から修得してください。この場合も、登録ができるクラス数は一開講期で 2 クラスを上限とします。

⑩ 大学院学生で、中級以上のフランス語の履修を希望する場合は、予備登録の調整日に個別に対応します。

⑪ 予備登録については、国際高等教育院 HP（<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>）の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

⑫ 下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで同じ内容の授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	火 4	フランス語ⅡA	F2105	堀 晋也
	前期	木 5	フランス語ⅡA	F2108	松井 真之介
2	後期	火 4	フランス語ⅡB	F2155	堀 晋也
	後期	木 5	フランス語ⅡB	F2158	松井 真之介

◆ 中国語 ◆

中国語を母語とする学生が中国語の履修を希望する場合は、中国語研究室（吉田南総合館東南棟 4 階 406 号室）で相談してください。

《中国語Ⅰ（初級）》【C1】 ※中国語初級は後期からの新規履修を認めていません。 外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
中国語ⅠA（文法）	C11A	前期	2	1 以上	2 回生以上は要	1 回生向けクラス指定。
中国語ⅠA（演習）	C12A	//	2			
中国語ⅠA（文法）・再履修クラス	C11A	前期集中	2	2 以上	要	ⅠA またはⅠの履修履歴のある者に限る。集中クラス
中国語ⅠA（演習）・再履修クラス	C12A	//	2			
中国語ⅠB（文法）・再履修クラス	C11B	前期	2			
中国語ⅠB（演習）・再履修クラス	C12B	//	2			
中国語ⅠB（文法）	C11B	後期	2	1 以上	2 回生以上は要	1 回生向けクラス指定。
中国語ⅠB（演習）	C12B	//	2			
中国語ⅠA（文法）・再履修クラス	C11A	後期	2	1 以上	要	ⅠA またはⅠの履修履歴のある者に限る。集中クラスあり。
中国語ⅠA（演習）・再履修クラス	C12A	//	2			
中国語ⅠB（文法）・再履修クラス	C11B	後期集中	2	2 以上		ⅠB またはⅠの履修履歴のある者に限る。集中クラス
中国語ⅠB（演習）・再履修クラス	C12B	//	2			

【履修上の注意】

（文法）と（演習）は同一テキストを使用し連携して授業を行うので、どちらか一方だけを履修登録することは原則としてできません。

◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

◇ 1 回生の履修について

- ①（文法）と（演習）は両方履修してください。
- ②（文法）と（演習）は同一クラスで履修してください。
- ③（文法）と（演習）を履修する 1 回生は、指定クラスで履修してください。

◇ 2 回生以上の初級クラス履修について

- ① 2 回生以上の新規履修者は 1 回生向け指定クラスの（文法）と（演習）を両方履修してください（予備登録が必要）。ⅠA・ⅠB を通して同じクラスで履修することが望ましい。なお、学部によるクラスの指定はありません。
- ② 2 回生以上の再履修者のうち、（文法）・（実習）ともに単位未修得の者は（文法）と（演習）の再履修クラスを各 1 クラス履修してください。中国語ⅠA・ⅠB（文法）の再履修者は中国語ⅠA・ⅠB（文法）再履修クラスを、中国語ⅠA・ⅠB（実習）または中国語ⅠA・ⅠB（演習）の再履修者は中国語ⅠA・ⅠB（演習）再履修クラスを履修してください。学部によるクラスの指定はありません。

《中国語Ⅱ（中級）》【C2】 ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
中国語ⅡA [文法・文化理解]	C2A	前期	2	2 以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習] はクラス名。[会話・ネイティブ実習] は集中クラスあり。
中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C2A	前期	2			
中国語ⅡB [文法・文化理解]	C2B	後期	2	2 以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習] はクラス名。[会話・ネイティブ実習] は集中クラスあり。
中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C2B	後期	2			

【履修上の注意】

◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を 4 単位以上修得していること、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を 2 単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。

◇ 一開講期に 2 クラスまで履修することができます。

◇ 原則として、[文法・文化理解] クラスと [会話・ネイティブ実習] クラスから 1 クラスずつ選択してください。

■予備登録上の注意■

- ①中国語の<中級>を予備登録するためには、平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を 4 単位以上修得していること、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を 2 単位以上修得していなければなりません。
- ②<中級>の予備登録が可能なクラス数は、一開講期に原則として 2 クラスを上限とします。この上限または、卒業に必要な単位数（ただし、原則として 2 クラスを超えることはできません）を超えて予備登録した場合には、全てのクラスが履修できなくなることがあります。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります（p.50 参照）。
- ③中国語の<中級>を履修する場合、原則として、[文法・文化理解] クラスと [会話・ネイティブ実習] クラスから 1 クラスずつ選択してください。
- ④<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスに予備登録してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。
中国語 I A（文法）、I B（文法）、I A（演習）、I B（演習）の再履修クラスへの予備登録は、それぞれ 1 クラスを上限とします。
平成 20 年度まで開講の中国語 I（文法）の再履修者は中国語 I A・I B（文法）の再履修クラスを、中国語 I（実習）の再履修者は中国語 I A・I B（演習）の再履修クラスを履修してください。
平成 27 年度まで開講の中国語 I A（実習）の再履修者は中国語 I A（演習）の再履修クラスを、中国語 I B（実習）の再履修者は中国語 I B（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ⑤2 回生以上で初めて<初級>の中国語 I を履修する者及び回生を問わず第 3 外国語として履修を希望する者は、1 回生向けクラス指定の（文法）・（演習）を各 1 クラスずつ予備登録してください。
- ⑥学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び他大学・外国学校等で中国語を学び、入学時に初級免除を認定された者が<中級>以上を履修する場合は、初年度は予備登録の調整日に個別に対応します。翌年度以降は、通常の予備登録を行った上で、履修登録してください。なお、本学での<初級>の単位を取得せずに<中級>を履修する場合は、予備登録の手続き以外に「特別履修手続き」が必要です。
- ⑦入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>から修得してください。この場合も、予備登録ができるクラス数は一開講期で 2 クラスを上限とします。
- ⑧大学院学生で、<中級>以上の中国語の履修を希望する場合は、予備登録の調整日に個別に対応します。
- ⑨予備登録については、国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。
- ⑩下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで同じ内容の授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月 2	中国語 II A [会話・ネイティブ実習]	C212	殷 文怡
	前期	月 5	中国語 II A [会話・ネイティブ実習]	C214	殷 文怡
	前期	水 2	中国語 II A [会話・ネイティブ実習]	C215	殷 文怡
2	後期	月 2	中国語 II B [会話・ネイティブ実習]	C262	殷 文怡
	後期	月 5	中国語 II B [会話・ネイティブ実習]	C264	殷 文怡
	後期	水 2	中国語 II B [会話・ネイティブ実習]	C265	殷 文怡

◆ ロシア語 ◆

《ロシア語Ⅰ（初級）》〔R1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅠA（文法）	R11A	前期	2	1以上	
ロシア語ⅠA（演習）	R12A	//	2		
ロシア語ⅠB（文法）	R11B	後期	2	1以上	
ロシア語ⅠB（演習）	R12B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ （文法）と（演習）の両方とも履修してください。なお、履修する順序は、ⅠA からとします。
- ◇ 授業は、回生・学部・クラスを問わずに履修可能です。
- ◇ 緊急で止むを得ない場合（たとえば 1 つのクラスに 1 回生だけで 50 名を超す履修者が来たような場合）には、2 回生以上の学生は他の曜日・時限のクラスに移るなどの履修指導を実施する可能性があります。（参考：5. 外国語の履修について （2）1 回生の履修クラスについて ③）

《ロシア語Ⅱ（中級）》〔R2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅡA	R2A	前期	2	2以上	
ロシア語ⅡB	R2B	後期	2	2以上	

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を 4 単位以上修得していること、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を 2 単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ 一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。
- ◇ 学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び入学時に初級免除を認定された者等が、本学での<初級>の単位を取得せずに<中級>を履修する場合は「特別履修手続き」が必要です。
- ◇ 入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>から修得してください。この場合も、履修登録ができるクラス数は一開講期で 2 クラスを上限とします。

◆ イタリア語 ◆

《イタリア語Ⅰ（初級）》〔I1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語Ⅰ（文法）	I1	通年	8	1以上	（文法）、（文法・会話）はクラス名。
イタリア語Ⅰ（文法・会話）	I1	通年	8	1以上	

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 週2回のセット科目です。2回とも履修してください。
- ◇ 「イタリア語Ⅰ」は計3クラス（I101, I102, I103）開講されますが、将来「イタリア語ⅡA（I2102）・ⅡB（I2152）」を履修するためには、このうち「イタリア語Ⅰ（文法）I101」を履修しておく必要があります。

《イタリア語Ⅱ（中級）》〔I2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語ⅡA	I21A	前期	2	2以上	
イタリア語ⅡA（演習）	I22A	//	2		
イタリア語ⅡB	I21B	後期	2	2以上	
イタリア語ⅡB（演習）	I22B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を8単位以上修得していること、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を4単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初級外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ 一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。ただしその場合、少なくとも1クラスは（演習）以外のクラスを選択しなければなりません。
- ◇ 「イタリア語ⅡA」は2クラス（I2101, I2102）開講されますが、「イタリア語ⅡB（I2152）」を履修するためには、このうち「イタリア語ⅡA（I2102）」を履修しておく必要があります。
- ◇ 学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び入学時に初級免除を認定された者等が、本学での<初級>の単位を取得せずに<中級>を履修する場合は「特別履修手続き」が必要です。
- ◇ 入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>から修得してください。この場合も、履修登録ができるクラス数は一開講期で2クラスを上限とします。

◆ スペイン語 ◆

《スペイン語Ⅰ（初級）》[S1] ※スペイン語初級は後期からの新規履修を認めていません。 外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
スペイン語ⅠA（文法）	S11A	前期	2	1以上	2回生以上の「新規*」履修者は要	1回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に履修登録をしたことがない者のことをいう。
スペイン語ⅠA（演習）	S12A	//	2			
スペイン語ⅠA（会話）	S13A	前期集中	2			
スペイン語ⅠA（文法）・再履修クラス	S11A	前期集中	2	2以上	要	集中クラス（ⅠA またはⅠの履修履歴のある者に限る。）
スペイン語ⅠA（演習）・再履修クラス	S12A	//	2			
スペイン語ⅠB（文法）・再履修クラス	S11B	前期集中	2			
スペイン語ⅠB（演習）・再履修クラス	S12B	//	2			
スペイン語ⅠB（文法）	S11B	後期	2	1以上	2回生以上の「新規*」履修者は要	1回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に履修登録をしたことがない者のことをいう。
スペイン語ⅠB（演習）	S12B	//	2			
スペイン語ⅠB（会話）	S13B	後期集中	2			
スペイン語ⅠA（文法）・再履修クラス	S11A	後期集中	2	1以上	要	集中クラス（ⅠA またはⅠの履修履歴のある者に限る。）
スペイン語ⅠA（演習）・再履修クラス	S12A	//	2			
スペイン語ⅠB（文法）・再履修クラス	S11B	後期集中	2	2以上	要	集中クラス（ⅠB またはⅠの履修履歴のある者に限る。）
スペイン語ⅠB（演習）・再履修クラス	S12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ スペイン語Ⅰについては、次のサイトを教科書として用います。 <https://esp-kyoto-u.com>
- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇（文法）と（演習）の両方とも履修してください。
- ◇（文法）と（演習）を履修する1回生は指定クラスで履修してください。2回生以上の新規履修者は、1回生向けクラス指定科目を履修してください（予備登録が必要です）。
- ◇再履修者は、再履修クラスに予備登録した上で履修してください。1回生向けクラス指定科目を履修することはできません。
- ◇（会話）については、スペイン語学習歴がない場合は（文法）と（演習）との並行履修をしてください。また、学部によっては卒業単位として認められないことがあるので、所属学部の規定をよく確認してください。特殊な形態のコースであるため、欠席の扱いも他のコースとは異なります。シラバスを熟読してください（予備登録が必要）。

《スペイン語Ⅱ（中級）》[S2] ※外国語予備登録は p.46～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	外国語予備登録	備考
スペイン語ⅡA	S21A	前期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡA（演習）	S22A	//	2			
スペイン語ⅡB	S21B	後期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡB（演習）	S22B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇ スペイン語ⅡB（文法）の単位を修得していること、または入学時に初修外国語初級免除が既修得単位が認定されていることを条件とします。なお、前期にスペイン語ⅡB（文法）再履修クラスを履修し、単位を修得した場合は、後期から<中級>を履修することが可能です。
- ◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただしその場合、前期はⅡAとⅡA（実習）、後期はⅡBとⅡB（演習）の組み合わせに限定されます。

■予備登録上の注意■

- ①スペイン語の<中級>を予備登録するためには、スペイン語 IB（文法）の単位を修得していなければなりません。
- ②<中級>の予備登録が可能なクラス数は、一開講期に2クラスを上限とします。この上限または、卒業に必要な単位数（原則として2クラスを超えることはできません）を超えて予備登録した場合には、全てのクラスが履修できなくなることがあります。
- ③<中級>を同一開講期に2クラス履修する場合は、前期はIIAとIIA（演習）、後期はIIBとIIB（演習）の組み合わせに限定されます。
- ④<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスに予備登録してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。
平成22年度まで開講のスペイン語 I（文法）の再履修者はスペイン語 IA・IB（文法）の再履修クラスを、スペイン語 I（実習）の再履修者はスペイン語 IA・IB（演習）の再履修クラスを履修してください。
平成27年度まで開講のスペイン語 IA（実習）の再履修者はスペイン語 IA（演習）の再履修クラスを、スペイン語 IB（実習）の再履修者はスペイン語 IB（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ⑤学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び他大学・外国学校等でスペイン語を学び、入学時に初級免除を認定された者が<中級>以上を履修する場合は、初年度は予備登録の調整日に個別に対応します。翌年度以降は、通常の予備登録を行った上で、履修登録してください。なお、本学での<初級>の単位を修得せずに<中級>を履修する場合は、予備登録の手続き以外に「特別履修手続き」が必要です。
- ⑥入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>から修得してください。この場合も、予備登録ができるクラス数は一開講期で2クラスを上限とします。
- ⑦大学院学生で、<中級>以上のスペイン語の履修を希望する場合は、予備登録の調整日に個別に対応します。
- ⑧予備登録については、国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

◆ 朝鮮語 ◆

《朝鮮語Ⅰ(初級)》[K1]

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
朝鮮語ⅠA(文法)	K11A	前期	2	1以上	
朝鮮語ⅠA(演習)	K12A	//	2		
朝鮮語ⅠB(文法)	K11B	後期	2	1以上	
朝鮮語ⅠB(演習)	K12B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ (文法)と(演習)の両方とも履修してください。

《朝鮮語Ⅱ(中級)》[K2]

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
朝鮮語ⅡA	K21A	前期	2	2以上	
朝鮮語ⅡA(演習)	K22A	//	2		
朝鮮語ⅡB	K21B	後期	2	2以上	
朝鮮語ⅡB(演習)	K22B	//	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を4単位以上修得していること、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を2単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇ 一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。
- ◇ 学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び入学時に初級免除を認定された者等が、本学での<初級>の単位を取得せずに<中級>を履修する場合は「特別履修手続き」が必要です。
- ◇ 入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>から修得してください。この場合も、履修登録ができるクラス数は一開講期で2クラスを上限とします。

◆ アラビア語 ◆

《アラビア語Ⅰ（初級）》〔A1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
アラビア語ⅠA（文法）	A11A	前期	2	1以上	
アラビア語ⅠA（演習）	A12A	Ⅱ	2		
アラビア語ⅠB（文法）	A11B	後期	2	1以上	
アラビア語ⅠB（演習）	A12B	Ⅱ	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ （文法）と（演習）の両方とも履修してください。
- ◇ IB を履修するには、IA を履修していることを条件とします。やむをえず IB から履修する場合、事前に担当教員に相談してください。

《アラビア語Ⅱ（中級）》〔A2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
アラビア語ⅡA	A21A	前期	2	2以上	講読
アラビア語ⅡA（演習）	A22A	Ⅱ	2		
アラビア語ⅡB	A21B	後期	2	2以上	講読
アラビア語ⅡB（演習）	A22B	Ⅱ	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ 平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>を 4 単位以上修得していること、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>を 2 単位以上修得していることを条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除か既修得単位が認定されている学生も履修を認めます。
ⅡB の講読を履修する者は、ⅡA の講読を 1 単位以上修得していることが望ましい。
- ◇ 一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。
- ◇ 学士入学者や編入学者等の既修得単位認定者、及び入学時に初級免除を認定された者等が本学での<初級>の単位を取得せずに <中級>を履修する場合は、「特別履修手続き」が必要です。
- ◇ 入学時に初級免除の認定を受けた者は、必要な単位の全てを<中級>から修得してください。この場合も、履修登録ができるクラス数は一開講期で 2 クラスを上限とします。

◆ 日本語 ◆

日本語は、外国人留学生対象のクラスです。

科目名	開講期	単位	対象回生	履修条件等
日本語初級 IA (4H コース)	前期	4	主として	工学部地球工学科国際コース学生専用 (その他の学生は外国人留学生も含めて受講は原則として認められません。)
日本語初級 IB (4H コース)	後期	4	1 回生	
日本語初級 IIA (4H コース)	前期	4	主として	
日本語初級 IIB (4H コース)	後期	4	2 回生	
日本語中級 IA (4H コース)	前期	4	1 以上	外国人留学生対象
日本語中級 IB (4H コース)	後期	4	1 以上	
日本語中級 I (8H コース)	前期・後期	8	1 以上	
日本語中級 I (会話)	前期・後期	2	1 以上	
日本語中級 I (聴解)		2		
日本語中級 I (読解)		2		
日本語中級 I (作文)		2		
日本語中級 I (漢字)		2		
日本語中級 IIA (4H コース)	前期	4	1 以上	
日本語中級 IIB (4H コース)	後期	4	1 以上	
日本語中級 II (8H コース)	前期・後期	8	1 以上	
日本語中級 II (会話)	前期・後期	2	1 以上	
日本語中級 II (聴解)		2		
日本語中級 II (読解)		2		
日本語中級 II (作文)		2		
日本語上級 (聴解)	前期・後期	2	1 以上	外国人留学生対象
日本語上級 (会話)		2		
日本語上級 (読解)		2		
日本語上級 (作文)		2		
日本語上級 (論文・レポート作成)		2		
日本語上級 (講義聴解)		2		
日本語上級 (研究発表)		2		
日本語上級 (討論技術)		2		
経済・経営日本語 (上級) I	前期	2	1 以上	文科系学部外国人留学生対象 定員 20 名
経済・経営日本語 (上級) II	後期	2		

【履修上の注意】

- ◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が上記科目を履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇日本語中級、日本語上級は、プレースメントテスト及び履修相談によりクラス分けが実施されます。プレースメントテストの結果によっては、希望するクラスの履修が認められない場合があります。なお、プレースメントテストの手続き等の詳細は各開講期に別途お知らせします。
- ◇日本語中級、日本語上級の履修登録は上記のプレースメントテスト及び履修相談の結果に従って登録してください。履修登録期間までに KULASIS の履修登録候補科目設定画面に履修を許可された科目が表示されます。自分で履修科目を追加することはできません。なお、候補科目設定画面に追加されただけでは履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定してください。
- ◇平成 28 年度以前に日本語の単位を修得した学生は、履修科目を決定するにあたって担当教員の指示に従ってください。

各学部毎の履修クラスは次のとおりです。

学 部	履 修 ク ラ ス		
	平成 27 年度以前入学者※1	平成 28 年度入学者	平成 29 年度入学者
総合人間学部	日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語 (上級) I・II」から 4 単位まで。上級科目を少なくとも 2 単位含めること。	日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語 (上級) I・II」から 8 単位まで。上級科目を少なくとも 4 単位含めることが望ましい。	日本語上級、「経済・経営日本語 (上級) I・II」から 8 単位まで。
教育学部	日本語上級、「経済・経営日本語 (上級) I・II」から 4 単位まで。	日本語上級、「経済・経営日本語 (上級) I・II」から 8 単位まで。	

経済学部	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から8単位。	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から16単位。	
理学部	日本語中級、日本語上級から4単位以上6単位まで。（平成17～20年度入学者は6単位。）	日本語中級、日本語上級から12単位まで。	
薬学部	日本語上級から4単位以上。	日本語上級から8単位以上。	
工学部※2 ・農学部	日本語中級、日本語上級から4単位以上。	日本語中級、日本語上級から8単位以上。	日本語上級から8単位以上。

※1 上述のとおり、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

※2 工学部地球工学科国際コースの外国人留学生は、国際コース向けに提供される「日本語初級ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」を履修してください。ただし、入学時のプレースメントテストに従い、日本語中級あるいは日本語上級の履修も可能です。中級以上の日本語の履修については、担当教員の指示に従ってください。

6. E 科目（英語関連科目）の履修について

国際高等教育院では、学生の英語によるコミュニケーション力の向上と国際性の涵養を図るため、全学共通科目で開講されている科目の中から、英語力強化に資すると考えられる科目を選び、E 科目として指定しています。

外国語として「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で学ぶ」ことはみなさんの英語力を一層向上させ、国際的な学問研究や社会の様々な分野で活躍することにつながるものと考えますので、みなさんの積極的な受講を期待します。

①E 科目のカテゴリーについて

E 科目には次の3つのカテゴリーがあります。履修の際の参考にしてください。

E1	英語テキストの講読を中心的な内容とする科目
E2	英語を使用言語として実施される科目
E3	英語スキルの向上を目的とする科目

E 科目に指定されている科目は、「Ⅱ. 全学共通科目授業科目」の「4. 全学共通科目授業一覧」(p.97～)の「E 科目指定」欄にカテゴリーが記載されています。KULASIS のシラバス検索ではカテゴリーを指定して検索することが可能です。

②履修上の注意

- ✦ E 科目は、E 科目として独立した科目群を構成するものではなく、人文・社会科学科目群や自然科学科目群等の各科目群の科目として開講されています。従って、単位を修得した場合には、原則開講されている科目群の単位として取り扱われます。平成 25～27 年度入学者が履修した場合は、開講されている科目群・分野に応じて科目群が読み替えられ、平成 24 年度以前入学者が履修した場合は「旧群」欄の科目として取り扱われます (p.210～参照)。
- ✦ 平成 28 年度以降入学者が外国語科目群で英語を選択する場合、修得すべき E 科目の単位数が設定されます。E 科目のカテゴリーや科目の指定、および卒業に必要な単位数は学部により異なりますので、「Ⅳ.各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.176～)で確認してください。
- ✦ E1・E3 科目のうち「全・英」の表示がある科目及び ILAS Seminar-E2 は予備登録を経て履修登録してください。
- ✦ 予備登録が必要ない E 科目では科目の特質に応じて履修(人数)制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それに従い所要の手続きをとってください。
- ✦ E2 科目では、TOEFL ITP で一定以上のスコアの修得を要件とする履修制限を行う場合があります。

③予備登録が必要な E1・E3 科目（「全・英」の表示がある E1・E3 科目）

- ✦ 「外国文献研究(全・英)-E1」や「クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3」のように、科目名に「全・英」が含まれている科目を履修するには予備登録が必要です(以下、「全・英」の表示がある E1、E3 科目」といいます)。
- ✦ 全て 2 回生以上を対象に開講されます。
- ✦ 平成 27 年度以前入学者に対しては、卒業に必要な英語の単位が不足し、かつ学部専門科目の時間割の都合により、英語単位未修得者クラスを履修できない場合に限り、定員に余裕のある科目の履修を許可することがあります。
- ✦ 平成 27 年度以前入学者で既に卒業に必要な英語の単位を充足している学生、または大学院生が聴講を希望する場合は、授業に直接出席して担当教員の許可を得た上で聴講してください(履修登録はできません)。
- ✦ 「外国文献研究(全・英)-E1」は、同一科目名で副題が異なる科目が複数開講されますが、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。ただし、同一教員が担当する科目を履修し、単位を修得した場合は修得年度・修得期の早いもの1つのみ卒業に必要な単位として認定されます。
- ✦ 「全・英」の表示がある E3 科目は学術的言語技能の向上を目的とする科目です。コンセプトは、複数の技能の育成を目的とした「技能統合型」コースです。科目と技能領域、履修者定員は、以下の通りです。

科目	技能領域	1 クラスあたりの定員
セミナーパーティシペーション (Seminar Participation)	リスニング&スピーキング	40 名
クリティカルリスニング (Critical Listening)	リスニング&スピーキング リスニングの自律学習中心	210 名
リスニング&ノートテイキング (Listening and Note Taking)	リスニング&ライティング	30 名
オーラルプレゼンテーション (Oral Presentation)	リーディング&スピーキング	40 名
クリティカルリーディング (Critical Reading)	リーディング&ライティング リーディング中心	40 名
リサーチライティング (Research Writing)	リーディング&ライティング ライティング中心	20 名
テストテイキング (Test Taking)	総合的四技能	40 名

- ◇ 「全・英」の表示がある E3 科目は、担当教員にかかわらず同一科目の単位を複数修得した場合、通常の同一科目判定を行います。なお、科目名に I 又は II がつく「クリティカルリーディング」及び「テストテイキング」は、それぞれ I と II が別科目であり、いずれも卒業に必要な単位として認定されます。

申込手順	<p>予備登録申込手続きは、授業アンケートシステムを利用して実施します。外国語等予備登録の 2 回の申込期間のそれぞれに第 15 希望まで申し込むことができますが、申込期間 2 には、申込期間 1 の抽選の結果、定員に余裕のある科目のみ申し込みを受け付けます。</p> <p>「全・英」の表示がある E1・E3 科目について、2 回生前期に E1 または E3 科目から 1 科目履修することができます。2 回生前期に 1 科目、2 回生後期に 1 科目修得することを基本としますが、2 回生後期以降は、通算 2 科目までの履修が可能です。履修登録しなかった、または単位を修得できなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目がある場合、一開講期に 2 科目まで履修することが可能です。</p> <p>ただし、一開講期に抽選で当選する科目は 1 科目です。申込期間 1 に当選した者は申込期間 2 に申込することはできません。従って、履修登録しなかった、または単位を修得できなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目があり、一開講期に「全・英」の表示がある E1・E3 科目から 2 科目履修を希望する学生は、調整日に対応します。</p>	
申込方法	<p>授業アンケートシステムから、希望クラスを申し込んでください。期間中であれば申込を修正することも可能です。問題が生じた場合は、全学共通科目学生窓口で相談してください。</p>	
予備登録ページオープン	【前期】3月17日(金)	【後期】9月11日(月)
	予備登録ページには開講科目の時間割や予備登録申込の注意事項を掲載します。申込前に確認してください。	
1) 申込期間 1	【前期】3月27日(月) 8:00 ～ 3月30日(木) 18:00	【後期】9月15日(金) 8:00 ～ 9月21日(木) 18:00
抽選・結果発表	抽選終了後、結果を KULASIS の外国語等予備登録ページに掲載します。抽選に漏れた者は、次の申込期間 2 で申し込みしてください。	
2) 申込期間 2	【前期】4月3日(月) 8:00 ～ 4月6日(木) 18:00	【後期】9月25日(月) 8:00 ～ 9月28日(木) 18:00
抽選・結果発表	【前期】4月6日(木) 申込締め切り後	【後期】9月28日(木) 申込締め切り後
3) 調整日	【前期】4月7日(金)	【後期】9月29日(金)
	<p>次の 3 つの場合、調整日に履修科目の相談に応じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込期間 1・2 とも抽選に参加したが当選しなかった場合 ・履修登録しなかった、または単位を修得できなかった「全・英」の表示がある E1・E3 科目があり、一開講期に 2 科目めの履修を希望する場合 (1 科目めは予備登録で申し込みしてください) ・平成 27 年度以前学部入学者が英語 II 単位未修得者専用クラスの代替として履修する場合 <p>通算で 2 科目を超える履修を希望する者、平成 27 年度以前学部入学者で外国語科目群の英語の単位を充足している者についての調整は行いません。</p> <p>調整日の受付場所・時間は、KULASIS でお知らせします。</p>	
4) 履修登録	【前期】4月20日(木)～24日(月)	【後期】10月13日(金)～17日(火)
	履修登録 (p.40～参照) は上記の予備登録 (調整日の調整を含みます) の結果に従って登録してください。予備登録期間終了後、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に予備登録された科目が表示されます。候補科目設定画面ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定を行ってください。	

※日程は変更されることがありますので、KULASIS の外国語等予備登録ページで最新情報を確認してください。

④上記③以外の E1・E3 科目

- ◇ ③以外の E1・E3 科目は、予備登録の必要がなく、また登録科目数の上限もありませんが、履修 (人数) 制限を行う場合があります。人数制限の指示があれば、それに従い所要の手続きをとってください。
- ◇ 全て 2 回生以上を対象に開講されます。
- ◇ 「外国文献研究 (文・英) -E1」や「臨床コミュニケーション (医・英) -E3」のように、E1・E3 科目のうち特定の学部を対象に開講される E1・E3 科目は下表のとおりです。履修人数に余裕があれば他学部の学生も履修することが可能ですが、開講学部への事前申込等が必要な場合があります。詳細は別途掲示等によりお知らせします。

対象学部	科目名	科目群	開講期	単位	備考
文学部	外国文献研究（文・英）A-E1	人社群	前期	2	文学部英語選択者必修科目（A・B各2単位計4単位） 履修条件の詳細はシラバスを参照すること
	外国文献研究（文・英）B-E1	人社群	後期	2	
教育学部	外国文献研究（教育・英）I-E1	人社群	前期	2	教育学部英語選択者必修科目（I・II各2単位計4単位） 各クラス定員40名
	外国文献研究（教育・英）II-E1	人社群	後期	2	
法学部	外国文献講読（法・英）I-E1	人社群	前期	2	法学部必修科目（I・II各2単位計4単位） 各クラス定員50名（事前登録が必要。定員に余裕がある場合のみ他学部学生履修可）
	外国文献講読（法・英）II-E1	人社群	後期	2	
経済学部	外国文献研究（経・英）A-E1	人社群	前期	2	経済学部英語選択者必修科目（A・Bから計4単位） 複数履修可。同一科目で同一教員の履修を避けること。ただし、前後期各1科目のみ履修可。また、4単位を超えて履修することはできない。履修取消期間中の取消を認めない。 各クラス定員35～50名（余裕がある場合のみ他学部学生履修可）
	外国文献研究（経・英）B-E1	人社群	後期	2	
理学部	科学コミュニケーション（理・英）-E3	キャリア群	前期	2	理学部生は、キャリア形成科目群およびE科目として認定する。（理学部の卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数一覧を参照すること。）
	科学コミュニケーション（理・英）-E3	キャリア群	後期	2	
医学部	臨床コミュニケーション（医・英）-E3	キャリア群	前期	2	医学部医学科必修科目
	アカデミック・コミュニケーション（医・英）-E3	キャリア群	後期	2	医学部医学科選択必修科目
薬学部	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A-E3	キャリア群	前期	2	薬学部必修科目（A・B各2単位計4単位） 理科系学部学生のみ受講可能 各クラス定員50名（余裕がある場合のみ理科系他学部学生履修可）
	科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）B-E3	キャリア群	後期	2	
工学部	Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)	キャリア群	通年	4	工学部地球工学科国際コース選択必修科目
	Advanced Scientific English-E3 (Debate)	キャリア群	通年	4	

※これらの科目は平成28年度まで、総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目です。平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.210～)を参照してください。

7. スポーツ実習科目の履修について

京都大学は、特に健康教育・スポーツ教育において、「理論」学習と「実践」活動の密接な連関を重視してきました。健康科学・運動科学系の講義を通じた理論の学習成果を、実際のスポーツ活動の実践によって体感するとともに、学生諸君が自分自身の心身の諸機能を認識し高め充実させていくことができるように、本学では、下記のような多彩な種目と講師陣によるスポーツ実習科目が準備されています。

スポーツ実習の各教員は、学生の積極的な健康づくり・体力づくりを支援するために、当該スポーツ種目のことだけでなく、受講学生の日常の健康生活やスポーツ活動に関する相談にも応じています。気軽に相談してください。

みなさんが、スポーツ実習への積極的な取り組みを通じて、将来にわたる自己教育の一環として、スポーツ活動を学生生活の中にしっかりと位置づけていかれることを期待しています。このスポーツ実習との出会いが、スポーツや野外活動の楽しさ、奥深さ、大切さを肌で実感していく貴重な機会となることを願っています。

(1) スポーツ実習科目の履修クラスについて

スポーツ実習Ⅰ及びⅡは、大学院学生を含む全学生に開放されています。スポーツ実習Ⅰは、1回生クラス指定科目(スポーツ実習においては、クラス指定されている学生が優先的に登録できることを意味します)になっていますので、1回生は所属クラスの指定時間帯で履修してください。クラス配当されていない学部学生は、自由に選択して履修してください。また、2回生以上でもスポーツ実習Ⅰを、1回生でもスポーツ実習Ⅱを履修することができます。

本学では、基礎疾患や多様な障害などの特別なニーズがある学生の場合にも、十分な配慮のもとで障害療育の内容と方法を取り入れた、安全で楽しいスポーツ実習の授業を開講します。集中クラスの登録方法については別途案内します。

(2) スポーツ実習科目の履修登録

スポーツ実習科目を履修するためには事前の種目登録が必要です。以下の要領に従って登録手続きをしてください。

- ① 第1回目は、総合体育館で全体ガイダンスと種目登録を行います。実習は第2週から開始します。
 - a) 授業開始までに、総合体育館メインフロアに集合してください。
 - b) 種目登録に必要ですので、学生証を持参してください。
 - c) クラス指定以外の学生も、履修を希望する実習の曜時限の第1回目に来てください。クラス指定の学生の登録が優先されますが、受講人数の調整のあと、定員に空きがある種目について、申し込みを受け付けます。
 - ② 登録した種目の受講許可はガイダンスの翌日(休日を除く)にKULASISで発表しますので必ず確認してください。
 - ③ 初回のガイダンスに参加できなかった学生の種目登録は、定員に空きがある種目に限り、先着順で受け付けます。ガイダンスの翌日から履修登録期間最終日前日(土日祝日の場合は直前の平日)の17時まで、全学共通科目学生窓口で登録してください。
 - ④ 初回のガイダンスで登録をした場合にも、他の種目で定員に空きがある場合には、登録種目を変更することができます。他の種目への変更希望も、同期間中に全学共通科目学生窓口で受け付けます。
 - ⑤ 履修登録期間後は、種目登録の変更及び追加の申込みはできません。
- ※ 履修登録(p.40~参照)は、上記の種目登録の結果に従って、他の科目と同様、KULASISで履修登録候補科目を選択し、履修登録期間中に必ず確定を行ってください。スポーツ実習科目は同一曜時限に複数開講されますので、自分が受講許可された種目を間違えないように注意してください。間違った種目を登録した場合は、履修登録エラーになりますが、確認・修正期間中に修正することが可能です。
- ※ 種目登録及び履修登録できるのは、一開講期につき1人1クラス(1種目)のみです(一開講期に、「スポーツ実習Ⅰ」と「スポーツ実習Ⅱ」を1クラスずつ、計2科目を履修することは可能です)。
- ※ 同じ科目名の科目(種目が違っていてもIAとIA、IIBとIIB、など)を複数修得した場合、最初の修得科目以外は増加単位となり、卒業に必要な単位としては換算されません。

■種目登録日程■ (登録場所: 総合体育館メインフロア、追加申込・登録種目変更受付: 全学共通科目学生窓口)

開講期	科目名	開講曜日	登録日	追加申込・登録種目変更期間※
前期	スポーツ実習ⅠA	月曜日	4月10日(月)	種目登録日翌日以降、 4月21日(金)17時00分 まで
	〃	火曜日	4月11日(火)	
	スポーツ実習ⅠA、ⅡA	水曜日	4月12日(水)	
	スポーツ実習ⅠA	木曜日	4月13日(木)	
	〃	金曜日	4月14日(金)	
後期	スポーツ実習ⅠB	月曜日	10月2日(月)	種目登録日翌日以降、 10月16日(月)17時00分 まで
	〃	火曜日	10月3日(火)	
	スポーツ実習ⅠB、ⅡB	水曜日	10月4日(水)	
	スポーツ実習ⅠB	木曜日	10月5日(木)	
	スポーツ実習ⅠB、ⅡB	金曜日	10月6日(金)	

(3) 開講されるスポーツ実習種目（実施場所及び教員担当表）

◆前期

	種目	ソフトボール	アダプテッド・スポーツ※1	サッカー・フットサル(FS)	テニス	ハレーボール	卓球	バドミントン	バスケットボール	フィットネス	フィットネス・ウォーキング	フィットネス・サイクリング
	場所	吉田南構内グラウンド	吉田南構内グラウンド&体育館	農学部グラウンド/体育館※2	吉田南構内テニスコート	体育館	体育館	体育館	体育館	体育館 野外	体育館 野外	体育館 野外
IA	月1			中村泰介	樫智子		田中励子	金尚憲			岡本香代子	
	月2			中村泰介	樫智子		田中励子	金尚憲			岡本香代子	
	火1				伊藤千草		高山優子		野村晴美		港野恵美	杉藤洋志
	火2				伊藤千草		高山優子		野村晴美		港野恵美	杉藤洋志
	水1	杉本寛恵		久代恵介(FS)	岩中伸壮		田中励子					
	木1			塚本敏人	清水渉			杉本寛恵		港野恵美	梅田陽子	
	木2	江川達郎		塚本敏人	清水渉	田中真介	杉本寛恵			梅田陽子	港野恵美	
	金1	江川達郎	伊藤千草	河端隆志(FS)	高桑徹也		道端明子					杉藤洋志
	金2		伊藤千草			道端明子		野村晴美		河端隆志		岡本香代子
IIA	水2		樫智子	塚本敏人			田中励子			杉本寛恵		

※1 この表のほか、開講曜日・コマを指定しない「集中クラス」として、障害療育を目的とした「アダプテッド・スポーツ」（担当教員：江川達郎）を開講する。この授業では、障害のある学生の個々の状況に配慮したメニューで、各種の多彩なスポーツ活動を実施する。

※2 「フットサル」は水曜1コマ、金曜1コマに開講（体育館）

◆後期

	種目	ソフトボール	アダプテッド・スポーツ※1	サッカー・フットサル(FS)	テニス	ハレーボール	卓球	バドミントン	バスケットボール	フィットネス	フィットネス・ウォーキング	フィットネス・サイクリング
	場所	吉田南構内グラウンド	吉田南構内グラウンド&体育館	農学部グラウンド/体育館※2	吉田南構内テニスコート	体育館	体育館	体育館	体育館	体育館 野外	体育館 野外	体育館 野外
IB	月1			中村泰介	樫智子			金尚憲			岡本香代子	
	月2			中村泰介	樫智子			金尚憲			岡本香代子	
	火1				伊藤千草		高山優子		野村晴美			杉藤洋志
	火2				伊藤千草		高山優子		野村晴美			杉藤洋志
	水1	江川達郎		久代恵介(FS)	岩中伸壮		田中励子					
	木1			塚本敏人	清水渉			杉本寛恵			梅田陽子	
	木2			塚本敏人	清水渉	田中真介				梅田陽子	港野恵美	
	金1				高桑徹也		道端明子		河端隆志		杉本寛恵	
	金2		江川達郎			道端明子		野村晴美		河端隆志		
IIB	水2	江川達郎		塚本敏人			田中励子					
	金3			馬場正昭					野村晴美			杉藤洋志

※1 後期には、障害がある学生と一般学生がともにスポーツ活動を楽しむことができる「アダプテッド・スポーツ」（金曜2限）を開講する。パラリンピックで実施されているスポーツ種目などのほか、誰でも楽しめる多彩な種目が経験できる（シラバス参照）。障害のある学生を優先とするが、一般学生の受講も歓迎する。

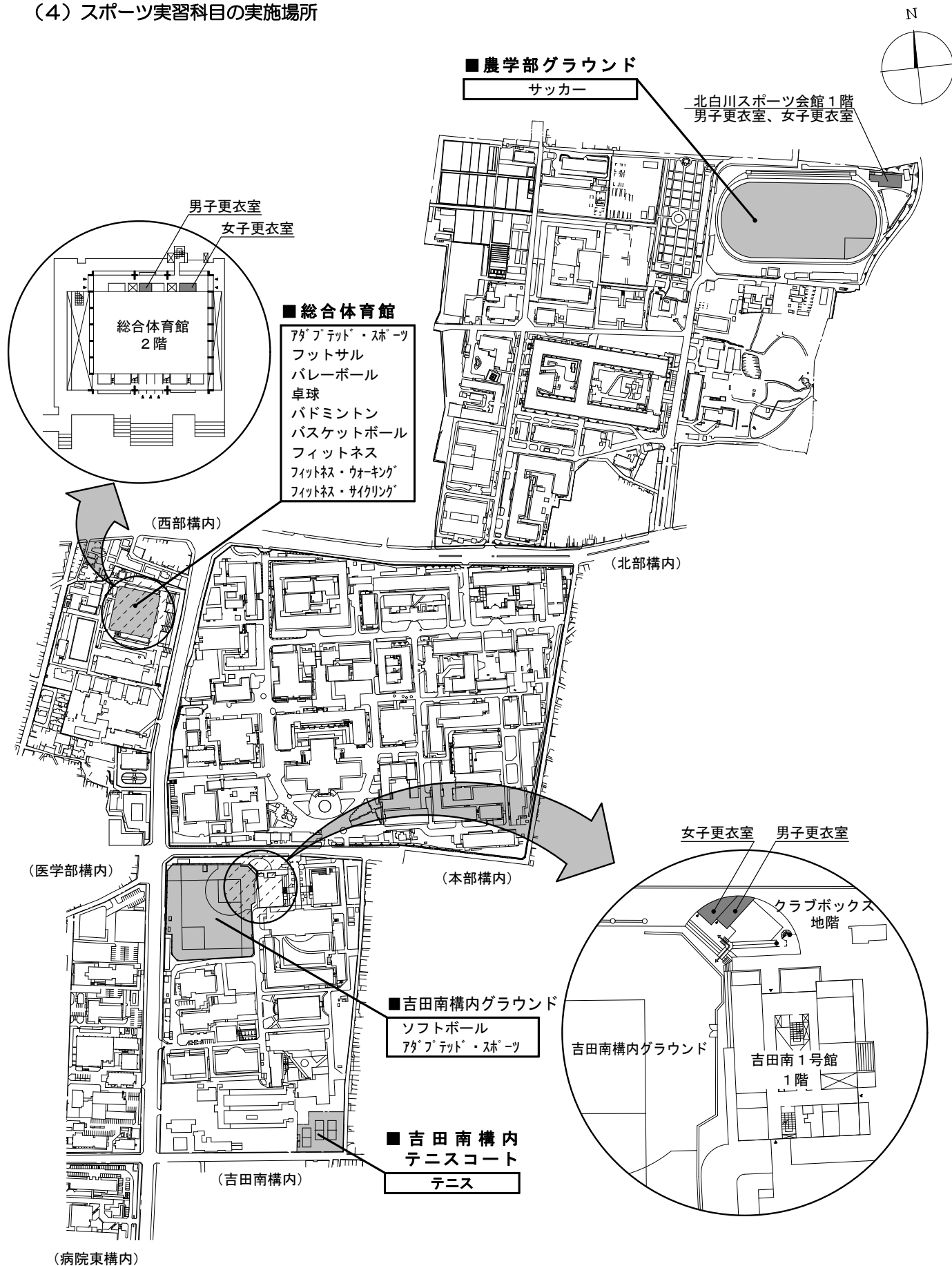
※2 「フットサル」は水曜1コマに開講（体育館）

【受講上の注意点】

- 授業での服装：トレーニング・ウェア（ジャージ・Tシャツ等でもよい）及び運動靴を必ず着用してください。
※ 体育館フロアに砂が上ると事故や怪我の危険があるので、屋外用の運動靴を体育館で使用しないでください。
また、テニスの授業では必ずテニスシューズを着用すること。
- 盗難防止：更衣室内には貴重品（特に現金）は絶対に置かないでください。
- 雨天時またグラウンド状態不良の場合：雨天等で屋外種目が実施できない場合、及び休講については、KULASISで指示します。
- 保険への加入：スポーツ実習の授業の受講にあたっては、保険への加入が必要です。原則として、日本人学生は「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（学研賠）等の傷害保険に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入しておくこと。加入手続きは、「Campus Life Information」（京都大学発行）を参照してください。

- ⑤ 既往症・体調不良について：スポーツ実習科目に参加するにあたり、既往症や体調不良がある場合には、種目登録時、また、各回の実習開始時に必ず担当教員に申し出てください。
- ⑥ その他：授業でビブス（ゼッケン）を使用する場合は、取扱いについて教員の指示を受けてください。

(4) スポーツ実習科目の実施場所



8. 実験・実習の履修について

自然科学科目群（B群）の実験・実習の履修に際しては、履修登録手続きの前に受講申込が必要です。受講申込を行い、受講が認められたクラスで履修登録（p.40～）してください。

(1) 物理学実験

		申込期間	掲 示	申込方法	選抜方法
物理学実験	前 期	第1回目の授業時 (1回目のみ講義形式で行う。教室については、掲示で指示。)	4月上旬に KULASIS のお知らせ（共通教育教務情報）に詳細を掲示	授業時に申込名簿へ記入する	受入れ可能人数を超過した場合は第1回目の授業時に抽選を行う
	後 期	第1回目の授業時 (1回目のみ講義形式で行う。教室については、掲示で指示。)	9月下旬に KULASIS のお知らせ（共通教育教務情報）に詳細を掲示	授業時に申込名簿へ記入する	受入れ可能人数を超過した場合は第1回目の授業時に抽選を行う

※英語による物理学実験（Elementary Experimental Physics-E2）も同様の受講申込が必要です。

(2) 基礎化学実験

※基礎化学実験は、この申込とガイダンス出席で履修登録となります。

※英語による基礎化学実験も同じ取り扱いです。なお、パンフレット「英語で学ぶ全学共通科目2017」または、シラバスにも英文の記述があります。(For the registration of the class, please see the booklet “Liberal Arts and Sciences to learn in English2017” or the syllabus)

		申込期間	掲 示	申込方法	選抜方法
基礎化学実験 ※	前 期	各曜日初回授業のガイダンス前	4月上旬に KULASIS のお知らせ（共通教育教務情報）に詳細を掲示	学生証を必ず持参のうえ、ガイダンス会場にて申込を行い、その後のガイダンスに出席すること。 KULASIS 上での履修登録修正・削除は一切できない。 クラス指定のない学生は希望する曜日に申込を行うこと	履修希望者が多数の場合は抽選を行う。結果はガイダンス直後に発表する。
	後 期	各曜日初回授業のガイダンス前	9月中旬に KULASIS のお知らせ（共通教育教務情報）に詳細を掲示	同上	同上

注意) 他の授業のクラス指定に関する取り決め（p.96、140）とは異なり、基礎化学実験ではクラス指定曜時限以外でも履修できる。ただし、履修希望者多数の場合はその限りではない。

◆「基礎化学実験」担当教員

【前期】

曜日	所属部局	職名	氏名
月	国際高等教育院	教授	加藤 立久
	人間・環境学研究科	教授	小松 直樹
	医学研究科	准教授	竹松 弘
	医学研究科	准教授	伊吹 謙太郎
	人間・環境学研究科	助教	高橋 弘樹
	工学研究科	助教	森下 浩平
		非常勤講師	石田 昭人
火	人間・環境学研究科	教授	津江 広人
	人間・環境学研究科	教授	藤田 健一

【後期】

曜日	所属部局	職名	氏名
月	人間・環境学研究科	教授	田部 勢津久
	人間・環境学研究科	助教	上田 純平
	人間・環境学研究科	助教	山本 旭
	地球環境学堂	助教	坂本 陽介
	工学研究科	助教	宮崎 晃平
		非常勤講師	宗宮 創
火	人間・環境学研究科	教授	吉田 寿雄
	理学研究科	准教授	熊崎 茂一
	理学研究科	助教	中曾根 祐介

火	人間・環境学研究科	助教	高橋 弘樹	火	理学研究科	助教	野田 泰斗
	農学研究科	助教	杉村 和紀		農学研究科	特定助教	竹内 道樹
	農学研究科	助教	河井 重幸			非常勤講師	高橋 知子
		非常勤講師	山本 潤子		水	国際高等教育院	教授
水	工学研究科	准教授	Cedric Tassel	国際高等教育院		准教授	宮下 正弘
	工学研究科	准教授	Juha Lintuluoto	工学研究科		准教授	Cedric Tassel
	人間・環境学研究科	助教	山本 旭	工学研究科		准教授	Juha Lintuluoto
	地球環境学堂	助教	坂本 陽介	工学研究科		助教	清水 章弘
	工学研究科	助教	日下部 武敏	化学研究所		助教	高野 祥太郎
	工学研究科	助教	丸山 博之	化学研究所		助教	治田 充貴
	化学研究所	助教	橋本 士雄磨			非常勤講師	高橋 知子
	化学研究所	助教	藤原 正規			非常勤講師	山本 潤子
		非常勤講師	山本 潤子	金		人間・環境学研究科	教授
木	薬学研究科	准教授	平澤 明		人間・環境学研究科	教授	内本 喜晴
	薬学研究科	講師	三宅 歩		地球環境学堂	教授	梶井 克純
	人間・環境学研究科	助教	上田 純平		理学研究科	准教授	大塚 晃弘
	薬学研究科	助教	小林 祐輔		理学研究科	助教	大坪 主弥
	薬学研究科	助教	高橋 有己			非常勤講師	林 隆紀
	工学研究科	助教	浅野 圭佑				
金	人間・環境学研究科	教授	田村 類				
	人間・環境学研究科	教授	内本 喜晴				
	地球環境学堂	教授	梶井 克純				
	理学研究科	准教授	加納 太一				
	理学研究科	助教	野木 馨介				
		非常勤講師	林 隆紀				

(3) 生物学実習

	申込期間	ガイダンス・掲示	申込方法	選抜方法
生物学実習Ⅰ [基礎コース] 前期・後期： 月・木・金曜日	実習開始の1週間前～ 当日開始前	掲示：生物実習室1（吉田南 2号館3階312室）前に実習 開始の1週間前 ガイダンス：第1回目の実 習時	生物実習室1（吉田南2 号館3階312室）前の 表にボールペンで記入	第1回目の実習時 に抽選
生物学実習Ⅱ [自然史コース] 前期・後期：水曜日	実習開始の1週間前～ 当日開始前	掲示：生物実習室1（吉田南 2号館3階312室）前に実習 開始の1週間前 ガイダンス：第1回目の実 習時	生物実習室1（吉田南2 号館3階312室）前の 表にボールペンで記入	第1回目の実習時 に抽選
生物学実習Ⅲ [細胞と分子生物学 コース] 前期・後期：月曜日	第1回目の授業時 （1回目のみ講義形式 で行う。履修希望者は 必ず出席すること。）	ガイダンス：生物実習室2 （吉田南2号館2階211室）	授業時に申込名簿に記 入する 授業時に申込名簿に記 入する	受入れ可能人数を 超過した場合は第 1回目の授業時に 抽選を行う

(4) 地球科学実験・探究型地球科学課題演習

	ガイダンス	申込方法	選抜方法
地球科学実験・ 探究型地球科学 課題演習	第1回目の授業時 （実験の内容及び履修の仕方に関 する説明を行うので、履修希望者は 必ず出席すること）	ガイダンス時に説明 * 予備登録に基づいて受講 者の班分けを行う。	受講希望者多数の場合は抽選 を行い、結果は翌週までに、 地球科学実験掲示板 （吉田南2号館4階420室前） に掲示

9. ILAS セミナーの履修について

ILAS セミナーは、各学部・研究科・研究所・センター等の教員がフェイス・トゥ・フェイスの親密な人間関係の中で、様々な形態の授業を行うもので、学問の楽しさや意義をみなさんに実感してもらうことによる勉学生活への導入を目標として開講されています。ILAS セミナーの内、英語力の強化に資すると考えられる科目は ILAS Seminar-E2 として、また海外での実地研修を行うものは ILAS セミナー（海外）として開講されています。

いずれの科目も履修者数に制限がありますので、以下の事項をよく読んでから申し込んでください。

◆ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 ◆

【授業内容】

ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の授業は、歴史・地理・古典の講読や環境・資源・宇宙・医学等の最先端知見の紹介、野外実習など総合大学ならではの豊富なメニューです。①高校までの学習とは異なる、大学における主体的な学習の意義を理解できる、②教員や学生との討議を通じた学習の意義を理解できる、③アカデミックな作文に触れ、その作法の基礎を理解できる、以上の3点に配慮し、授業が設計されています。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ 1 回生時には ILAS セミナーは 1 科目のみ履修登録することができます。ILAS Seminar-E2 には制限はありません。
- ◇ 2 回生以上の学生は、2 回生以上を受け入れ可としている科目のみ履修することができます。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 が科目名で、それぞれに副題がつけられています。よって、同一科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、同一科目名であっても、1 回生時に ILAS セミナーを履修する場合を除き、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。なお、同一教員が担当する科目であっても、担当教員の許可があれば再度履修することが可能です。
- ◇ 複数の ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 を履修し、単位を修得した場合、各学部が定める単位数まですべて卒業に必要な単位として認定されます。
- ◇ ILAS セミナーの一部に英語を使用言語として開講される科目がありますが、E 科目としては取り扱われません。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の一部の科目は、総合人間学部の学部専門科目を兼ねています。総合人間学部の学生は、「全学共通科目授業一覧」(p.97～)の「学部科目」欄が『H(総合人間学部)』となっている科目を全学共通科目として履修することはできません。総合人間学部の指示に従い、学部専門科目として履修登録してください。
- ◇ 平成 27 年度以前入学者が ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 の単位を修得した場合、卒業に必要な単位として認定されません。ポケット・ゼミの単位としても読み替えられませんので、登録の際には注意してください。ただし、総合人間学部の学生が、総合人間学部の学部専門科目を兼ねる科目を履修した場合には、入学年度にかかわらず学部専門科目として取り扱われます。
- ◇ 宇治キャンパスや桂キャンパス等で開講される科目を申し込む場合は、移動時間を考慮し、前後の授業に支障のないように注意してください。
- ◇ 受講に際しては、別途交通費等が発生する場合がありますのでシラバスを確認してください。
- ◇ 実験、野外実習等を伴う科目を受講する場合には、学生教育研究災害傷害保険に各自加入してください。
- ◇ 前期 8 月中旬以降・後期 2 月中旬以降に実施される集中科目の成績は、次期の成績表に掲載されます。

【予備登録】

ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 は、予備登録を受け付け、その結果定員に余裕があれば初回授業で申し込みを受け付けます。集中開講される科目については別途募集の案内をします。ただし、1 回生が ILAS セミナーを履修する場合は、集中開講であるかどうかにかかわらず、入学予定者サイトまたは KULASIS で予備登録が必要です。

予備登録にあたっては以下をよく読み、手続きしてください。

①前期（1 回生）

3 月 16 日(木) 8:30 ～3 月 24 日(金) 17:00	入学予定者サイトで第 3 希望まで抽選申込を受け付けます。申込者数が 1 回生定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。
4 月 4 日(火) 9:00 ～4 月 6 日(木) 17:00	抽選結果を KULASIS で発表します。当選科目のない 1 回生は、この期間中、1 回生定員に満たなかった科目に申込をすることができます(先着順)。1 回生が ILAS セミナー(集中開講される科目を含む)に申し込むことができる期間はこの期間までです。

4月7日(金)9:00～	追加申込の状況も踏まえ、「初回授業時に申込を受け付ける ILAS Seminar-E2」を KULASIS で発表します。
初回授業時： 4月10日(月) ～14日(金)	当選していない ILAS Seminar-E2 の履修を希望する場合は、初回授業時に担当教員に履修許可を得てください。
履修登録： 4月20日(木)～24日(月) 確認・修正： 4月27日(木) ～5月1日(月)12:00	他の全学共通科目と同様、履修登録期間に KULASIS から履修登録 (p.40～) を行ってください。履修登録期間までに、履修登録候補科目設定画面に受講許可された科目が表示されます。候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定を行ってください。

②前期（2回生以上）

4月7日(金)9:00～	1回生の申込状況を踏まえ、「初回授業時に申込を受け付ける科目」を KULASIS で発表します。
初回授業時： 4月10日(月) ～14日(金)	2回生以上の学生は、受講定員を満たしておらず、2回生以上を受け入れ可としている科目を履修することができます。初回授業時に担当教員の許可を得てください。
履修登録： 4月20日(木)～24日(月) 確認・修正： 4月27日(木) ～5月1日(月)12:00	他の全学共通科目と同様、履修登録期間に KULASIS から履修登録 (p.40～) を行ってください。履修登録期間までに、履修登録候補科目設定画面に受講許可された科目が表示されます。候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定を行ってください。

③後期（全回生）

9月25日(月)8:00 ～9月28日(木)18:00	全学生を対象に授業アンケートシステムで第1希望のみ申込を受け付けます。申込者数が受講定員を超えた科目は無作為抽選を実施します。 前期に ILAS セミナーの履修を許可された1回生は、後期に ILAS セミナーを履修することができませんが、ILAS Seminar-E2 を履修することは可能です。また、2回生以上の学生は、2回生以上を受け入れ可としている科目のみ申込を受け付けます。
9月29日(金)9:00～	抽選結果を KULASIS で発表します。また、「初回授業時に申込を受け付ける科目」を KULASIS で発表します。
初回授業時： 10月2日(月) ～6日(金)	定員を満たしていない科目は初回授業時に申込を受け付けます。初回授業に参加し、担当教員の許可を得てください。2科目以上の履修を希望する場合も同様に初回授業に参加し、担当教員の許可を得てください。 ただし、この場合も、前期に ILAS セミナーの履修を許可された1回生は、後期 ILAS セミナーを履修することはできませんが、ILAS Seminar-E2 を履修することが可能です。また、2回生以上の学生は、2回生以上の受け入れ可としている科目のみ履修することができます。
履修登録： 10月13日(金)～17日(火) 確認・修正： 10月20日(金)～23日(月)	他の全学共通科目と同様、履修登録期間に KULASIS から履修登録 (p.40～) を行ってください。履修登録期間までに、履修登録候補科目設定画面に受講許可された科目が表示されます。候補科目設定画面に表示されるだけではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定を行ってください。

◆ ILAS セミナー（海外） ◆

【授業内容】

ILAS セミナー（海外）の授業は、現地の歴史や地理、研修内容を学んだり、海外での安全教育を行う事前講義、海外実地研修、事前講義と海外実地研修で学んだことをまとめたレポート作成、以上の3点を基本に授業が設計されています。詳しくは KULASIS のシラバスを参照してください。

【注意事項】

- ◇ ILAS セミナー（海外）の参加希望者は、必ず参加希望科目のガイダンスに参加してください。ガイダンスの日時場所は掲示等により案内します。
- ◇ ILAS セミナー、ILAS Seminar-E2 を履修中であっても、ILAS セミナー（海外）を履修することができます。履修科目数の制限はありませんので、ILAS セミナーを履修登録している 1 回生も履修することができます。
- ◇ 定員を超える申込があった科目は、無作為抽選を行い参加者を決定します。
- ◇ 参加にあたっては、注意事項を遵守することを誓約する誓約書の提出を求めます。また、保護者の承諾が得られていることを確認するため、保護者の署名押印を求めます。
- ◇ 事前講義では海外での安全教育を行いますので、事前講義に参加しない場合は実地研修への参加を認めないことがあります。
- ◇ 交通費や滞在費、参加にあたって加入を求める海外旅行保険の保険料等、受講にかかる費用は参加者の負担になります。
- ◇ 渡航先に危険がないことを確認した上で開講していますが、紛争や感染症の流行等、渡航中の安全が確保できないと大学が判断した場合には、渡航時期を変更したり、取り止めたりすることがあります。この場合、既に支払った渡航費等の一部または全部が戻らない場合があります。
- ◇ 前期 8 月中旬以降・後期 2 月中旬以降に実施される集中科目の成績は、次期の成績表に掲載されます。

10. 大学コンソーシアム京都単位互換科目について

公益財団法人大学コンソーシアム京都の単位互換事業に参加する他の大学または短期大学（以下「他大学等」という）が提供する授業科目のうち、本学が指定する科目を履修することができます。科目を履修して合格した場合は、平成 28 年度以降入学者はキャリア形成科目群、平成 25～27 年度入学者は拡大科目群・単位互換等科目の大学コンソーシアム京都単位互換科目、平成 24 年度以前入学者は EX 群として認定され、さらに学部によっては卒業に必要な単位として認定されます。

①授業の特色

- ◇ 本学が指定する科目は、国際高等教育院が年度ごとに決定し、別途掲示によりお知らせします。
- ◇ 授業は科目を提供する大学またはキャンパスプラザ京都（JR 京都駅北西）で実施されます。

②履修登録

- ◇ 定員は、各授業科目によって異なります。
- ◇ 出願の受付は前期・後期・通年・集中科目とも 4 月上旬に行います。
- ◇ 出願者は、定められた期日までに全学共通科目学生窓口に出願してください。
- ◇ 履修の可否は、科目提供大学により決定され、4 月下旬に出願者にお知らせします。
- ◇ 履修の可否が決定するまでは、仮受講してください。
- ◇ 他の全学共通科目、学部科目と重複して履修することはできません。他大学等との往復時間も考慮してください。
- ◇ 受講許可を受けた科目は、受講放棄せず、必ず受講してください。
- ◇ 「単位互換履修生証」交付のため写真提出等の手続きが必要な科目もあるので、科目提供大学の指示に従ってください。

③成績評価及び単位認定

- ◇ 履修した授業科目の成績評価及び単位認定については、科目提供大学の定めるところによります。
- ◇ 各学部の修得した単位の取り扱いは次のとおりです。

学部	総合人間	文	教育	法	経済	理	医	薬	工	農
認定	×	○	×	× (注)	×	×	×	×	×	×

○…卒業に必要な単位として認定する。 ×…卒業に必要な単位として認定しない。
 (注) 法学部は履修も許可しない。

11. 定期試験について

定期試験は「試験期間」（前期・後期各1週間。全学共通科目授業日程参照）に実施します。試験は、原則として普段と同じ曜時に実施されます（ただし、フランス語初級統一試験やスペイン語初級・中級統一試験など、例外的に一部普段と異なる曜時に試験を実施する科目もあります）。

なお、試験期間に試験を実施する科目は、当該期間の2週間前に KULASIS にて試験時間・試験教室などの詳細を公表します。科目によっては発表後に情報が更新される場合があるので、KULASIS で最新情報を確認するようにしてください。

また、試験期間に定期試験が実施されない科目については、定期試験に代えて「レポート試験」が課される科目や、授業中の平常点のみで評価される科目等があります。

(1) 定期試験に関する一般的注意事項

- ◇ 履修登録した科目のみ受験することができます。
- ◇ 当該科目の開講期に休学した場合は、受験できません。
- ◇ 受験に際しては、必ず学生証を机の上に提示してください。
- ◇ 学生証を紛失するなどして携帯していない学生は、試験開始前までに全学共通科目学生窓口へ申し出て、仮受験票を受け取ったうえで受験してください。この仮受験票の有効期間は発行日限りです。なお、吉田南構内以外の教室を使って行う試験で、やむを得ず仮受験票の交付を受ける時間的余裕がない場合、所属学部教務掛の発行する仮受験票の交付が受けられれば代用可能とします。
- ◇ 試験開始後 20 分以上遅刻した学生は、試験室への入室が許可されません。
- ◇ 試験開始後 30 分経過するまでは、試験室からの退出は許可されません。
- ◇ 試験終了 5 分前から答案回収までは、退出は許可されません。
- ◇ 長机のある教室においては、特に指示のない場合は一列置きに着席してください。なお最後尾に着席した場合は、答案を回収してください。
- ◇ 携帯電話等は電源を切り、鞆に入れておいてください。時計代わりには使用できません。
- ◇ 筆記用具、時計（計時機能のみ）及び特に持込みを許可されたもの以外の持ち物は、足元に置いて受験してください。机の下の棚等に持ち物を入れてはいけません（棚の中は何もない状態にする）。
- ◇ 解答用紙の氏名欄及び受験者名票（定期試験の場合）は必ず記入してください（ペンまたはボールペンで記入のこと）。
- ◇ 答案に解答とは無関係な事柄を書いている場合、不正行為とみなされることがあります。
- ◇ 答案は必ず提出してください。試験を途中で放棄する場合でも、持ち帰ると不正行為とみなされることがあります。
- ◇ その他、試験中は監督者の指示に従ってください。
- ◇ 受験に際して万一不正行為があったときは、所属学部の基準によって厳正な措置（当該年度の全履修科目の成績がすべて無効とされるなど）がとられます。

(2) 再試験

- ◇ 全学共通科目では一部科目を除いて、受験して不合格となった科目の再試験は原則として実施しません。
- ◇ 再試験が予定されている科目について、その詳細は担当教員から指示があります。

(3) 追試験

- ◇ 受験しなかった科目の追試験は、次のいずれかに該当する場合にのみ、原則として実施します。
 - ① 負傷又は病気によるもの。ただし、登校が不可能であった期間等が明記された医師の診断書等により証明されたものに限る。
 - ② その他、不可抗力（交通事情、忌引き（2 親等以内）、罹災等）によるもので、国際高等教育院長が認めたもの。ただし、証明書等により証明されたものに限る。
- ◇ 追試験を希望する場合は、当該試験実施日の土日祝日を除く 3 日後までに、全学共通科目学生窓口へ申し出て下さい（メール可）。期限を過ぎての申し出、授業担当教員への直接申請は受け付けません。
- ◇ 追試験実施期間は、フィードバック期間最終日の翌日から土日祝日を除く 3 日間ですが、申請者の長期入院等により追試験の実施ができない場合は、期間外に実施されることもあります。指定された追試験日に受験できなかった場合は、再度の追試験や日程変更は行いません。

12. レポートの作成について

レポートなどでは、出典を記載することなく他人の文章を引用することはそれ自体、著作権法に違反する行為ですが、同時に自分では意図していなくても盗作、剽窃とみなされます。**レポートでの不正行為についても定期試験での不正行為と同等に、厳正な措置がとられます**（「13. 不正行為について」(p.79 参照)）。

レポートの作成に際しては、以下のルールを守るよう、十分に注意して下さい。なお不明点は、担当教員の指示に従ってください。

- 1) 自分の意見とそれ以外の部分を明確に分けること。
- 2) 著作物を引用する場合、量的にも質的にも本文が「主」であり、引用箇所が「従」の関係にあること。
- 3) 著作物を引用する場合は「」で囲むなど引用部分が明確に分かるようにすること。
- 4) 引用は誤字も含めて改変しないこと。
- 5) 引用した文献等の出典を記載すること。
- 6) 引用する著作物が公表されていること（電子メールで得た私信などは公表されていませんので発信者（著作権者）の許諾が必要です）。
- 7) インターネットからの引用は、その URL とページタイトル、およびその取得日を記載する。
- 8) 課題とは無関係な事柄は書かないこと。

レポートは、授業内容を正しく理解し、必要に応じて文献を調査するなどして、自分なりの分析や考察を加えて作成することが、望ましい学習の姿勢です。単に、授業で教わった内容を書いただけでは、レポートとして評価されないことがあります。

【参考】

- ① レポート作成の指示は、次により行われます。
 - ・ KULASIS に掲示
 - ・ 授業中に教員が指示
- ② レポートの様式について
 - ・ レポート用紙は、担当教員から特に指示がない限り、A4 判サイズのものを使用してください。
 - ・ この場合、レポート用紙・原稿用紙の別、縦書き・横書きの別は問いません。
 - ・ レポートは表紙だけでなく本文にも氏名・学生番号を記載してください。
 - ・ レポートは本人控えとしてコピーを保管しておいてください。
- ③ レポートの提出について
 - 1) 全学共通科目レポートボックスへの提出
 - ・ 全学共通科目レポートボックスは全学共通科目学生窓口の向かいのレポートボックス室にあります。
 - ・ 提出期限（時間）は厳守してください。提出期限（時間）を過ぎたものは一切受け付けません。
 - ・ 全学共通科目レポートボックスに、期限を過ぎて提出されたレポートは、教員に渡さず返却します。また、間違ったボックスに入っていた場合も同様としますので、注意してください。
 - ・ 全学共通科目レポートボックスへ提出するレポートは、レポート表紙(KULASIS からダウンロードできます。)を使用し、レポートの2ヶ所をホッチキスでとめて、所定のレポートボックスに提出してください。
 - 2) その他の提出方法
担当教員、専攻事務室等へ提出のレポートはそれぞれの指示に従って提出してください。

13. 不正行為について

定期試験、授業内試験、レポートなどでの不正行為は、絶対に許されるものではありません。本学はこれらの不正行為に対して厳正に対処し、万一不正行為があったときは、当該年度的全履修科目の成績がすべて無効※とされるなど、所属学部の基準に従って厳正な措置がとられます。

また、試験に臨む時は、不正行為を疑われるような紛らわしい態度を取らないようにしなければなりません。

※無効とは成績を0点として処理することを意味します。

■不正行為、不正行為とみなされる行為■

- ① 定期試験・授業内試験における不正行為には、以下のようなものがあります。
 - 1) カンニング（持ちこみを許可されたもの以外を使用すること、他の受験者の答案等を見ること、他の者から答えを教わることなど）をすること。
 - 2) 試験時間中に、答えを教えるなど他の者を利するような行為をすること。
 - 3) 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
また、試験場における以下のような行為は、不正行為とみなされることがあります。
 - 4) 許可されたもの以外を試験場に持ちこむこと。
 - 5) 答案用紙を試験場外に持ち出すこと。
 - 6) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - 7) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - 8) その他、試験の公平性を損ない、試験の適正な実施を妨げる行為をすること。
 - 9) 答案に解答とは無関係な事柄を書くこと。
- ② レポートなどで不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。
 - 1) 他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いた場合、このような行為は剽窃という社会的倫理に違反する行為です。
 - 2) 他人の著作物を引用する際に、引用箇所を明示しない、出典を記載しないなど引用が不適切に行われた場合。1) の剽窃と重なる面もありますが、不適切な引用はそれ自体が著作権法に違反する行為となります。
 - 3) 自分が作成したレポートを流用されると知りながら他の人に見せ、それが他の人によって流用された場合（レポートを見せた者及び流用した者の双方とも不正行為として取り扱われます）。
 - 4) 他人のレポートを代筆すること（代筆を依頼した者及び代筆した者の双方とも不正行為として取り扱われます）。
 - 5) 特に指示がないにもかかわらず、共同でレポート作成し、そのレポートが酷似していた場合（学生同士で授業で学んだ内容について意見交換をすることは良いことですが、科目担当者による明確な指示がない場合は各自でレポートの作成を行ってください）。
 - 6) 科目担当者の指示に意図的に従わない行為。
 - 7) 課題とは無関係な事柄を書くこと。

■不正行為への対処■

国際高等教育院では、全学共通科目について授業担当者などから不正行為の疑いの報告を受けた場合、報告された事案について調査を行い、必要に応じて呼び出して事情を聴取することがあります。不正行為と認定された場合は、皆さんの所属の学部に報告し、学部が措置を決定します。

措置の詳細は学部によって異なりますが、試験やレポートでの不正行為についてはその科目だけでなく当該年度のすべての履修科目の成績を無効にするなど厳しい措置が取られます。

14. 公正な研究について

学術研究を重要な使命とする京都大学では研究における不正の防止に努め、公正な学術研究を行うことを推進しています。

学生の皆さんも専門教育における卒業論文、卒業研究などの形で本学における研究活動に参加していくこととなりますが、そこでは公正な研究を行うことが求められます。全学共通科目のレポート作成における剽窃（盗用）の禁止、出典の明示などは、公正な研究としても当然のこととして要求される学術的素養の基礎ですので、全学共通科目の受講を通じて、学生一人一人が必ず身に付けてください。

この他にも、公正な研究を行うために求められるもの、また研究不正行為とされるものについては、以下のようなものがあります。誠実な研究者として活躍していくためには、公正な研究の実施について十分な配慮が求められます。

① 公正な研究とは

公正な研究について参考文献 1)* では以下のように示されています。

公正で責任ある研究活動を推進するうえで、どの研究領域であっても共有されるべき「価値」があります。「研究公正に関するシンガポール宣言」（2010年制定）では、そのような「価値」を次の4つの原則にまとめました。

- 1) 研究のすべての側面における誠実性
- 2) 研究実施における説明責任
- 3) 他者との協働における専門家としての礼儀及び公平性
- 4) 他者の代表としての研究の適切な管理

② 研究不正行為とは

また、研究不正にあたる行為についても参考文献 1)* では以下の3つが挙げられています。

- 1) 捏造
存在しないデータ、研究成果等を作成すること。
- 2) 改ざん
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
- 3) 盗用
他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること。

さらに、これ以外であれば、正当であるということの意味するものではなく、例えば、参考文献 1)*によれば、以下のような行為は、不適切な研究活動のあり方とされています。そのような行為を行わないよう注意する必要があります。

- 1) 重要な研究データを、一定期間、保管しないこと
- 2) 研究記録の不適切な管理
- 3) 論文著者の記載における問題
- 4) 研究試料、研究データの提供拒絶
- 5) 不十分な研究指導、学生の搾取
- 6) 研究成果の不誠実な発表（特にメディアに対して）

* 参考文献

- 1) 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会【テキスト版】科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—（平成27年2月）

15. 成績について

(1) 単位数の計算の基準

授業科目の1単位あたりの学習時間は、45時間を標準としますが、授業方法に応じて、講義・演習15～30時間、実験・実習・実技30～45時間を範囲として定められています（大学設置基準による）。

本学では、1限（90分）は2時間（1コマ）に相当し、一開講期15週、通年30週として計算します。各科目の単位数は「全学共通科目授業一覧」（p.97～）に示しています。

(2) 単位の認定

単位の認定は、履修した科目の成績によって認定されます。なお成績評価は、平成27年度より100点満点の素点で成績評価がなされ60点以上の成績で単位が認定されます（詳細は下記【対応表】参照）。

なお、履修登録をしていない授業科目の単位は認定されず、履修した科目の開講期（前期：4月1日～9月30日、後期：10月1日～3月31日）に休学した場合も、単位は認定されません。

同じ科目名の科目を修得した場合は、一部科目を除き、修得年度・修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として認定されません（科目名変更により、科目名が異なっても同一科目として扱われる科目を含みます）。

【対応表】 表の横軸の採点結果が対応しています。

◎平成27年度以降入学者（新評語）

評語	素点	備考
A+	96～100点	単位が認定される
A	85～95点	
B	75～84点	
C	65～74点	
D	60～64点	
F	60点未満	単位が認定されない

◎平成26年度以前入学者（旧評語）

評語	評語 (H26年度以前修得の一部科目)	素点	備考
優	合格	80～100点	単位が認定される
良		70～79点	
可		60～69点	
不合格	不合格	60点未満	単位が認定されない

※ 秀を使用している部局は90点～100点は秀、80～89点は優。

(3) 採点結果確認

前期科目は8月下旬に、後期及び通年科目は2月下旬に、KULASISで採点結果を確認することができます。詳細は別途掲示します。

なお、集中講義で、前期は8月中旬以降、後期は2月中旬以降に実施されるものについては、この期間に確認することができないので注意してください。

(4) 採点結果に対する異議申立

当該期の採点結果について、次の場合に限り異議を申立てることができます。

- ①採点の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの
- ②シラバス等により周知している成績評価の方法等から、明らかに疑義があるもの

■申立の方法等■

上記(3)の採点結果確認期間内に、KULASISの採点結果確認画面から理由・根拠を明記し、異議申立を行ってください。

担当教員に直接異議を申し出ることはできません。

なお、KULASISでの異議申立は3科目まで可能ですが、さらに申立てる必要がある場合は採点結果確認期間内に全学共通科目学生窓口で対応します。

また、国際高等教育院において申立内容を確認し、上記(4)の①又は②に該当しない申立は対象外とします。（対象外の例：救済措置の嘆願、申立理由・根拠の記載がないか不十分、採点結果理由の問合せ、〇点以下の場合は単位不要や履修取消の要請、間違えた箇所を知りたい等、採点結果に関する疑義ではないもの、申立として不適切な文言・絵文

字などが含まれる場合)

※ 上記に反する行為をした場合は、成績取り消しとなる場合がありますので注意してください。

(5) 成績表

前期科目は8月下旬以降に、後期及び通年科目は2月下旬以降に、各学部において学業成績表が交付されます。配付方法等詳細は各学部の掲示を参照してください。

なお、集中講義で、前期は8月中旬以降、後期は2月中旬以降に実施されるものについては、次期の成績表に掲載されます。

(6) GPA (Grade Point Average)

学生の自律的な学修の促進及び学生に対する学修指導等に活用することを目的として、平成28年度以降入学者用の卒業要件が適用される学部生を対象にGPA制度が導入されています。

①評語とGPの対応

評語は下表に基づきGPに変換されます。

評語	A+	A	B	C	D	F
GP	4.3	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

②GPAに算入される科目

各学部において、GPAに算入する科目及び同一科目を複数履修した場合の計算方法を定めています。詳細は所属学部の教務担当掛に確認してください。

③GPAの種別

本学在学中の全期間における学修の成果を示す指標として「累積GPA」を、当該学期における学修成果を示す指標として「学期GPA」を算出します。(GPAは小数点第二位まで表示。小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入。)

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{(在学期間に履修登録した GPA 算入科目の GP} \times \text{当該科目の単位数)の総和}}{\text{在学期間に履修登録した GPA 算入科目の総単位数}}$$

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{(当該学期に履修登録した GPA 算入科目の GP} \times \text{当該科目の単位数)の総和}}{\text{当該学期に履修登録した GPA 算入科目の総単位数}}$$

上記の計算式にあるとおり履修登録した科目の単位数が算出されるGPAに影響を与えることから、履修登録が確定してから一定期間後に、履修取消期間が設けられています。(p.44)

④GPAの表示

学業成績表には、不合格となった科目も含めた全ての履修単位に係る成績、「学期GPA」及び「累積GPA」が記載されます。成績証明書には、修得した科目の成績のみ記載され、原則としてGPAは記載されません。特にGPAが記載された成績証明書が必要な場合には、所属学部の教務担当掛に問い合わせてください。

16. 特別警報、暴風警報発令時及び公共交通機関運行休止時の全学共通科目に係る授業・試験について

(1) 授業の休止、試験の延期について

特別警報、暴風警報の発令又は公共交通機関運行休止の事態が生じた場合、学生の安全を確保するために全学共通科目（全学共通科目でかつ学部科目でもある科目を含む）の授業及び試験の実施については、「気象警報発令時及び公共交通機関不通時の全学共通科目に係る授業・試験の取扱い」のとおり取り扱います。

なお、授業中又は試験中に、暴風警報が発令された場合は、原則として、実施中の授業・試験については中止又は延期はせず、その次の時限から休止又は延期の措置を取ります。

ただし、特別警報が発令された場合は、直ちに授業を中止します。また、河川の氾らん、道路の冠水及び土砂崩れ等により、帰宅することが危険であると国際高等教育院長が判断した場合は、教職員の指示に従い、キャンパス内の安全な場所に避難するなどしてください。さらに、自宅付近に特別警報が発令された場合は、安全を最優先に考えた行動をしてください。

◎ 気象警報発令時及び公共交通機関不通時の全学共通科目に係る授業・試験の取扱い

気象警報が発令された場合又は公共交通機関が不通の場合、学生の事故防止のため、全学共通科目（全学共通科目でかつ学部科目でもある科目を含む。）の授業・試験を次のとおり取り扱う。

1. 授業の休止、試験の延期

① 下記 (1) 又は (2) の場合は、授業を休止し、又は試験を延期する。

(1) 京都市又は京都市を含む地域に特別警報、暴風警報が発令された場合、又は次の (イ)、(ロ) のいずれかに該当する場合

(イ) 京都市営バスが全面的に不通の場合

(ロ) JR 西日本（京都発着の在来線）、阪急電車（河原町・梅田間）、京阪電車（出町柳・淀屋橋又は中之島間）、近鉄電車（京都・大和西大寺間）のうち、いずれか3以上の交通機関が全面的又は部分的に不通の場合

(2) 国際高等教育院長の判断による場合

② 授業・試験開始後に上記 (1) 又は (2) の事態が生じた場合は、授業を休止し、又は試験を延期する。

2. 特別警報、暴風警報の解除、公共交通機関の運行再開に伴う授業・試験の実施

特別警報、暴風警報が解除された場合、又は公共交通機関の運行が再開された場合は、以下の基準により授業・試験を実施する。

① 午前 6 時 30 分までに解除・運行再開の場合 1 時限から実施

② 午前 10 時 30 分までに解除・運行再開の場合 3 時限から実施

3. 特別警報、暴風警報の発令・解除、公共交通機関の運行の確認・周知

① 特別警報、暴風警報の発令・解除及び公共交通機関の運行の確認は、テレビ・ラジオ等の報道機関の報道による。

② 1 時限開始後に上記 1 ①の事態が生じた場合は、掲示等により周知する。

(2) 特別警報、暴風警報発令、公共交通機関運行休止等で授業休止又は試験延期になった場合

◇ 授業休止のために補講が行われる場合は、掲示等でお知らせします。

◇ 試験延期の場合は、延期当日を含めた3日以内に掲示等で指示します。

◇ 特別警報、暴風警報が発令された日がレポートの締切日となっている場合は、原則として1日の期限延期の措置を取りますが、別途、指示がある場合もありますので KULASIS の通知等に注意してください。

17. 地震等の発生時の避難方法について

吉田南構内の各教室に避難経路の案内図を設置しています。

(1) 地震の発生時の対応

吉田南構内の講義室はすべて耐震基準を満たしており、倒壊又は崩壊する可能性は低く、慌てて建物の外へ出る必要はないので、大きな揺れが収まった後、教員等の指示に従い落ち着いて行動してください。また、屋外に避難する指示が出た場合は、吉田南構内グラウンドに避難してください。教員等の指示が出るまでの間、勝手な行動は慎んでください。

(2) 火災発生時の対応

各教室の教員の指示に従ってください。避難指示が出た時には教員の指示に従い建物外に出て吉田南構内グラウンドに避難してください。

なお、誤って火災報知器を作動させた場合は、直ちに全学共通科目学生窓口まで知らせてください。

Ⅱ. 全学共通科目授業科目

1. 科目一覧の見方

科目体系	科目は8つの科目群に区別され、群ごとに分野等が設けられて体系的に開講されています (p.3 参照)。
科目名	<p>「I・II」及び「A・B」等の区分については、原則として次のルールに基づいて付けられています。</p> <p>「I・II」の区分は、科目の並列を意味し、当該科目は同じ学術領域に属するものですが、扱う話題や切り口が異なる場合につけています。</p> <p>ただし、初修外国語(ただし日本語を除く)については、「I・II・III」は初級・中級・上級を表します。</p> <p>「A・B」の区分は、当該科目が通年の科目として理解の到達目標には前期・後期を通した授業を行うことが合理的で、さらにBに相当する科目内容の理解にはAに相当する内容の理解が必要となる場合に限りつけています。</p>
英語授業の有無	英語でも開講されている授業がある場合、丸印を付しています。
備考	<p>科目名変更は、平成28年度開講科目からの科目名変更を記載しており、変更前の科目と同一科目扱いとなります。</p> <p>また、統合された科目は、統合前の全ての科目と同一科目扱いとなります。同一科目を複数修得した場合、開講期が異なっても、修得年度、修得期の早いもの1つしか卒業に必要な単位として数えられません。なお、平成27年度以前入学者は、平成28年度以前の科目名変更を記載したKULASIS掲載の「平成27年度以前入学者用の授業科目一覧」も必ず参照し、同一科目を確認してください。ただし、人文・社会科学科目群(「外国文献研究」)、外国語科目群、少人数教育科目群(ILASセミナー)には、複数履修が可能な科目があります。(「5. 外国語の履修について」(p.45～)、「6. E科目(英語関連科目)の履修について」(p.65～)及び「9. ILASセミナーの履修について」(p.73～)参照)。</p>

2. 全学共通科目一覧

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
人文・社会科学科目群	哲学・思想	基礎	哲学I				
			哲学II				
			倫理学I				
			倫理学II				
			論理学I	○	Logic I-E2		
			論理学II	○	Logic II-E2		
			西洋社会思想史I				
			西洋社会思想史II				
			東洋社会思想史I	○	The History of Eastern Thought I-E2		
			東洋社会思想史II				
			宗教学I	○	Science of Religion I-E2		
			宗教学II	○	Science of Religion II-E2		
			科学論I				
			科学論II				
		京都学派の伝統と可能性					
		History of Modern Science-E2					
		Philosophy of Modern Science-E2					
		Critical Thinking I-E2					
		Critical Thinking II-E2					
		Theories of Religion in the Social Sciences-E2				「Theories of Religion-E2」を科目名及び分野変更	
		各論	自己存在論I				
			自己存在論II				
			人間実践論I				
			人間実践論II				
			認識人間学I				
			認識人間学II				
			神話論I				
			神話論II				
	哲学・文化史I						
	哲学・文化史II						
	哲学基礎ゼミナール						
	倫理学基礎ゼミナール						
	西洋思想史基礎ゼミナール						
	科学論基礎ゼミナール						
	歴史・文明	基礎	日本史I	○	Japanese History I-E2		
			日本史II	○	Japanese History II-E2		
			東洋史I				
			東洋史II				
			西洋史I	○	Western History I-E2		
			西洋史II	○	Western History II-E2		
			現代文明I				
			現代文明II				
Introduction to World Religions-E2							
Introduction to Asian Societies-E2							
Religion in Contemporary Society-E2							
室町幕府と守護制度							
院政と仏教							
前近代日本の法と秩序							
アメリカ現代史入門							
各論		中国書誌論					
		中国文字文化論					
		現代史概論—ナチズムを中心に					
		日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナール I					
		日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナールII					
		東洋史基礎ゼミナール I					
		東洋史基礎ゼミナールII					
		ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール I					
		Japanese Intellectual History I-E2					
		Japanese Intellectual History II-E2					
		芸術・文学・言語	基礎	芸術学I			
				芸術学II			
				音楽芸術論I			
	音楽芸術論II						
東洋美術史I							
東洋美術史II							
国語国文学I							
国語国文学II							
日本近代文学I							
日本近代文学II							
漢文学I							
漢文学II							
言学I							
言学II							
言語科学I							
言語科学II							
ドイツ文学							
Introduction to Linguistic Science-E2					「Intro to Japanese Linguistics I-E2」を科目名変更		
Introduction to Japanese Linguistics I-E2							
Intercultural Communication I-E2							
Intercultural Communication II-E2							
各論	創造行為総論(基礎篇)						
	創造行為総論(応用篇)						
	創造ルネッサンス論A						
	創造ルネッサンス論B						
	近代芸術論A					「近代芸術論B」と隔年開講	
	創造ルネッサンス論基礎ゼミナール						
	創造行為論講読演習						
	日本古典講読論I						
	日本古典講読論II						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
人文・社会科学科目群	芸術・文学・言語	各論	日本語学文献講読論I				
			日本語学文献講読論II				
			中国古典講読論A				
			中国古典講読論B				
			日本近代文学基礎ゼミナール				
			ギリシア語A				
			ギリシア語B				
			ラテン語A				
			ラテン語B				
			言語比較論				
			言語構造論				
			言語機能論				
			言語認知論				
			日本語コミュニケーションの特徴				
			日本語の時間表現の諸相				
			Introduction to Classical Japanese Literature				「英語講義:日本古典文学入門」を科目名変更
			基礎	教育学I	○	Pedagogy I-E2	
				教育学II	○	Pedagogy II-E2	
				心理学I			「心理学I」と「臨床心理学入門」を統合
				心理学II			
	行動病理学I						
	行動病理学II						
	精神分析学						
	社会学I	○		Sociology I-E2			
	社会学II						
	偏見・差別・人権				科目群変更		
	Advanced Lecture for Pedagogy I-E2						
	Advanced Lecture for Pedagogy II-E2						
	Introduction to Educational Psychology I-E2				「Intro to Educational Psychology I-E2」を科目名変更		
	Introduction to Educational Psychology II-E2				「Intro to Educational Psychology II-E2」を科目名変更		
	Introduction to Educational Studies I-E2				「Intro to Educational Studies I-E2」を科目名変更		
	Introduction to Educational Studies II-E2				「Intro to Educational Studies II-E2」を科目名変更		
	Education in Contemporary Japan				新規科目		
	教育学基礎ゼミナール						
	ジェンダー論基礎ゼミナール						
	各論	社会心理学					
		関係発達論I					
		関係発達論II					
		認知心理学I					
		認知心理学II					
		精神分析I					
		精神分析II					
		神経心理学I					
		神経心理学II					
		グループ・ダイナミックス					
		Introduction to Primate Behavior and Cognition-E2			「Intro to Primate Behavior & Cognition-E2」を科目名変更		
		Introduction to Comparative Psychology-E2			「Intro to Comparative Psychology-E2」を科目名変更		
		社会心理学基礎ゼミナール					
		発達心理学基礎ゼミナール					
		視覚科学基礎ゼミナール					
		神経心理学基礎ゼミナール					
		精神病理学・精神分析学講読演習					
		社会学各論I					
		社会学各論II					
		Introduction to Globalization Studies-E2					
	Introduction to Social Research-E2						
	Sociology of Work and Organizations-E2						
	Introduction to Sociological Observation-E2			「Intro to Sociological Observation-E2」を科目名変更			
	Introduction to Risk Communication-E2			「Intro to Risk Communication-E2」を科目名変更			
	Introduction to Society and Community Studies-E2			「Intro to Society & Community Studies-E2」を科目名変更			
	社会学基礎ゼミナールII						
	社会学演習			新規科目			
	Introduction to Ritual Studies-E2			新規科目			
	Disaster and Culture-E2			新規科目			
	地域・文化	基礎	文化人類学I	○	Cultural Anthropology I-E2		
			文化人類学II				
			生態人類学I				
			生態人類学II				
			自然地理学				
		各論	文化人類学各論I				
			文化人類学各論II				
			宗教人類学				
			民俗学I			「民俗学II」と隔年開講	
			Environmental Anthropology-E2				
	Linguistic Anthropology			「英語講義:言語人類学」を科目名変更			
	文化人類学調査演習						
	社会学調査演習						
	人文地理学各論I(都市)						
	人文地理学各論II(村落)						
	人文地理学各論III(歴史地理)						
	人文地理学各論IV(地域情報)						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考			
人文・社会科学科目群	地域・文化	各論	人文地理学各論V(経済地理)						
			Topics in Human Geography VI-E2						
			Topics in Human Geography VII-E2						
			地域地理学各論I(日本)						
			地域地理学各論II(欧米)						
			地域地理学各論III(アジア・アフリカ)						
			地理学基礎ゼミナールI(読図)						
			地理学基礎ゼミナールII(作図)						
			地理学基礎ゼミナールIII(地理情報処理)						
			都市空間史論						
			都市空間保全論						
			景観デザイン論						
			世界建築史						
			日本建築史						
			都市空間論基礎ゼミナールI						
			都市空間論基礎ゼミナールII						
			イスラーム学の基礎						
			イスラーム経済論						
			イスラーム思想入門						
			朝鮮・韓国学入門						
			南アジアの政治と社会				「南アジアの政治」を科目名変更		
			東南アジアの政治				新規科目		
			ラテン・アメリカ現代社会論						
			地域研究概論:アフリカ				新規科目		
			Introduction to Globalization I-E2						
			Introduction to Globalization II-E2						
			Environmental Histories of South Asia-E2						
			Introduction to Urban Planning-E2					「Intro to Urban Planning & Practices-E2」を科目名変更	
			Food and Globalization I-E2					新規科目	
			Food and Globalization II-E2					新規科目	
			人文・社会科学科目群	法・政治・経済	基礎	日本国憲法			
						法学	○	Jurisprudence-E2	
						Law and Culture in Japan-E2			
						政治学I			
						政治学II			
						経済学I			
経済学II									
Contemporary Economics I-E2									
Contemporary Economics II-E2									
Introduction to Management-E2									
Contemporary Management-E2									
各論	労働と法								
	思想と法								
	統治機構論								
	環境と法								
	家族と法								
	国際法入門								
	社会保障と法								
	裁判制度入門								
	民事裁判入門								
	刑事裁判入門								
	Introduction to European Law-E2								
	労働と法基礎ゼミナール								
	法哲学基礎ゼミナール								
	グローバル規範論基礎ゼミナール								
	現代政治分析への招待								
	歴史の中の政治と人間								
	公共政策論I								
	公共政策論II								
国際政治論I									
国際政治論II									
Japan's Political Economy-E2									
Japanese Politics-E2									
Modern Classics in Political Science-E2									
公共政策論基礎ゼミナール I									
国際政治論基礎ゼミナール									
社会経済システム論I									
社会経済システム論II									
現代経済社会論I									
現代経済社会論II									
統計リテラシー									
経済原論基礎ゼミナール									
社会・経済システム原論基礎ゼミナール									
公共政策論基礎ゼミナールII				「公共政策論基礎ゼミナールIIB」を科目名変更 「環境経済・政策論基礎ゼミナール」と隔年開講					
日本理解	Culture and Traditions in Japan I				新規科目				
	Culture and Traditions in Japan II				新規科目				
	Current Issues in Japan I				新規科目				
	Current Issues in Japan II				新規科目				
外国文献研究	外国文献研究(全・英)-E1				新規科目				
	外国文献研究(文・英)A-E1				「文学部英語A」を科目群及び科目名変更				
	外国文献研究(文・英)B-E1				「文学部英語B」を科目群及び科目名変更				
	外国文献研究(教育・英)I-E1				新規科目				
	外国文献研究(教育・英)II-E1				新規科目				
	外国文献講読(法・英)I-E1				「法学政治学英語I」を科目群及び科目名変更				
	外国文献講読(法・英)II-E1				「法学政治学英語II」を科目群及び科目名変更				
	外国文献研究(経・英)A-E1				新規科目				
外国文献研究(経・英)B-E1				新規科目					

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
自然科学科目群	数学	基礎	微分積分学(講義・演義)A	○	Calculus with Exercises A	「微分積分学(講義・演義)A」は「微分積分学A」と同一科目の扱い
			微分積分学A			「微分積分学A」は「微分積分学(講義・演義)A」と同一科目の扱い
			微分積分学(講義・演義)B	○	Calculus with Exercises B	「微分積分学(講義・演義)B」は「微分積分学B」と同一科目の扱い
			微分積分学B			「微分積分学B」は「微分積分学(講義・演義)B」と同一科目の扱い
			線形代数学(講義・演義)A	○	Linear Algebra with Exercises A	「線形代数学(講義・演義)A」は「線形代数学A」と同一科目の扱い
			線形代数学A			「線形代数学A」は「線形代数学(講義・演義)A」と同一科目の扱い
			線形代数学(講義・演義)B	○	Linear Algebra with Exercises B	「線形代数学(講義・演義)B」は「線形代数学B」と同一科目の扱い
			線形代数学B			「線形代数学B」は「線形代数学(講義・演義)B」と同一科目の扱い
			自然現象と数学	○	Mathematical Description of Natural Phenomena	英語授業は「Math Description of Natural Phenomena」を科目名変更
		数学探訪I				
		数学探訪II				
		数学探訪III				
		数学探訪IV				
		Quest for Mathematics V-E2				
		Quest for Mathematics VI-E2				
		数学基礎A[文系]				
		数学基礎B[文系]				
					新規科目	
	発展	微分積分学続論I-ベクトル解析	○	Advanced Calculus I - Vector Calculus	英語授業は「Adv. Calculus I-Vector Calculus」を科目名変更	
		微分積分学続論II-微分方程式	○	Advanced Calculus II - Differential Equations	英語授業は「Adv. Calculus II-Differential Equations」を科目名変更	
		線形代数学続論	○	Advanced Linear Algebra Advanced Linear Algebra-E2		
		確率論基礎				
		関数論	○	Function Theory of a Complex Variable-E2		
		非線型数学	○	Nonlinear Mathematics-E2		
		非線型数学セミナー				
		数値計算の基礎				
		対称性の数理II			「対称性の数理I」と隔年開講	
		Honors Mathematics A-E2				
		Honors Mathematics B-E2				
		現代の数学と数理解析				
		数理論理学A				
		数理論理学B				
		統計	基礎	統計入門	○	Introductory Statistics-E2
	数理統計					
	Applied Statistics					「英語講義・応用統計学」を科目名変更
	物理学	基礎	物理学基礎論A	○	Fundamental Physics A Fundamental Physics A-E2	英語授業「Fundamental Physics A-E2」新規開講
			物理学基礎論B	○	Fundamental Physics B Fundamental Physics B-E2	英語授業「Fundamental Physics B-E2」新規開講
			物理学実験	○	Elementary Experimental Physics-E2	
			熱力学	○	Thermodynamics	
			初修物理学A	○	Elementary Course of Physics A-E2	
			初修物理学B			
			力学続論	○	Advanced Dynamics	
振動・波動論			○	Physics of Wave and Oscillation		
電磁気学続論			○	Advanced Course of Electromagnetism-E2		
物理学概論A			○	A Guide to Modern Physics A-E2		
物理学概論B						
みんなの物理I			○	Physics for All-E2	英語授業「Physics for All-E2」新規開講	
みんなの物理II						
Introduction to Modern Optics-E2				「Fundamental Course of Optics-E2」を科目名変更		
Introduction to Light Control-E2				新規科目		
発展		統計物理学	○	Introduction to Statistical Physics-E2		
		特殊相対論	○	Theory of Special Relativity-E2		
		解析力学	○	Analytic Dynamics-E2		
		量子物理学				
		やわらかな物理学-物質と生命の本質を探る				
		現代の素粒子像				
		現代物理学実験				
		先進エネルギー変換				
		低温科学A				
	低温科学B					
	生命・食料・環境と物理学					
	プラズマ科学入門					
防災学概論						
Introduction to Cosmology-E2						
Modern Physics			「英語講義・現代物理学」を科目名変更			
化学	基礎	基礎物理化学要論	○	Essentials of Basic Physical Chemistry-E2	「基礎物理化学要論」は「基礎物理化学(熱力学)」、「基礎物理化学(量子論)」と同一科目の扱い 英語授業は「Essentials of Basic Phys. Chem.-E2」を科目名変更 「Essentials of Basic Physical Chemistry-E2」は「Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2」と「Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2」と同一科目の扱い	

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
自然科学科目群	化学	基礎	基礎物理化学(熱力学)	○	Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	「基礎物理化学(熱力学)」は「基礎物理学要論」と同一科目の扱い 英語授業は「Basic Phys. Chemistry (thermodynamics)-E2」を科目名変更 「Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2」は「Essentials of Basic Physical Chemistry-E2」と同一科目の扱い
			基礎物理化学(量子論)	○	Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	「基礎物理化学(量子論)」は「基礎物理学要論」と同一科目の扱い 英語授業は「Basic Phys. Chemistry (quantum theory)-E2」を科目名変更 「Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2」は「Essentials of Basic Physical Chemistry-E2」と同一科目の扱い
			基礎有機化学I	○	Basic Organic Chemistry I-E2	
			基礎有機化学II	○	Basic Organic Chemistry II-E2	
			基礎化学実験	○	Fundamental Chemical Experiments-E2	
			化学概論I			
			化学概論II			
			文系向の基礎化学I			
			文系向の基礎化学II			
			自然と環境の化学			
			生活と環境の化学	○	Everyday Life Chemistry-E2	
			化学のフロンティアI			
			化学のフロンティアII			
		Chemistry of Sustainable Energy-E2				
		Theoretical Chemistry I-E2				
		Theoretical Chemistry II-E2				
		Revisiting Basic Organic Chemistry I-E2				
		Revisiting Basic Organic Chemistry II-E2				
		Equilibrium and Energy-E2				
						「Equilibrium and energy-E2」を科目名変更
		有機化学演習A				
		有機化学演習B				
		無機化学入門A	○	Introduction to Inorganic Chemistry A-E2		
		無機化学入門B	○	Introduction to Inorganic Chemistry B-E2		
		探究型化学課題演習III				
		理論化学入門I				
		理論化学入門II				
	生命の有機化学	○	Organic Chemistry of Life-E2			
	Introduction to Surface Chemistry-E2					
					「Introduction to surface chemistry-E2」を科目名変更	
	Photo-Energy Conversion-E2					
					新規科目	
	Chemical Kinetics or Molecular Reaction Dynamics-E2					
					新規科目	
	生物・生命科学入門					
	個体と集団の基礎生物学					
	細胞と分子の基礎生物学					
	生物学のフロンティア					
	生物学実習I					
	生物学実習II					
	生物学実習III					
	生物自然史I					
	生物自然史II					
	真菌自然史I					
	真菌自然史II					
	動物自然史II					
	植物自然史I					
	植物自然史II					
	植物自然史III					
自然人類学I						
自然人類学II						
行動生態学入門						
藻類学概論						
温度生物学概論						
野生動物学入門						
博物誌学						
「生命の進化」概論						
霊長類学入門I						
霊長類学入門II						
Comparative Cognition-E2						
Conservation Biology-E2						
Animal Behavior-E2						
Zoo Biology-E2						
生物物理学入門						
生化学入門						
地球規模の諸問題と科学技術について考える						
				「世界規模でエネルギー、環境、医療を考える」を科目名変更		
植物科学のフロンティア						
遺伝学概論	○	Principles of Genetics-E2				
分子遺伝学						
先端生命科学を支える技術I						
先端生命科学を支える技術II						
からだの仕組みと働き						
Introduction to Genetics and Evolution-E2						
				「Intro to Genetics and Evolution-E2」を科目名変更		
Basic Biology-E2						
Basic Genetic Engineering-E2						
Introduction to Biochemistry-E2						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
自然科学科目群	生物学	各論	Introduction to Molecular Biotechnology-E2			「Intro to Molecular Biotechnology-E2」を科目名変更	
			神経科学の基礎				
			神経生理学の基礎				
			生命と情報				
			脳科学入門				
			Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2				「Intro to Behavioral Neuroscience A-E2」を科目名変更
			Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2				「Intro to Behavioral Neuroscience B-E2」を科目名変更
			Fundamentals of Neuroscience-E2				新規科目
			Introduction to Human Physiology-E2				新規科目
			細胞生理学ゼミA				
			細胞生理学ゼミB				
			Chromosome Biology-E2				
			Practical Computing for Biologists-E2				
			Basic Plant Science-E2				
	Introductory Plant Ecology-E2						
	Principles of Horticulture-E2						
	Introduction to Ecology-E2						
	Introduction to Evolution-E2						
	Animal Reproduction-E2				新規科目		
	Molecular and Cell Biology of Reproduction-E2				新規科目		
	地球科学	基礎	基礎地球科学A	○	Introduction to Earth Science A		
			基礎地球科学B	○	Introduction to Earth Science B-E2		
			地球科学実験				
			地球科学入門				
			地球の営みI	○	How the Earth Works I-E2		
			地球の営みII	○	How the Earth Works II-E2		
		宇宙科学入門	○	Introduction to General Astronomy-E2	英語授業「Introduction to General Astronomy-E2」新規開講		
		水と緑と土の科学	○	Science on Water, Soil and Ecosystems-E2	英語授業「Science on Water, Soil and Ecosystems-E2」新規開講		
		地球の物理					
地球の誕生と進化							
天体観測実習							
発展		フィールド地球科学	○	Field Earth Science-E2			
		計算地球物理学入門					
		計算地球物理学基礎演習					
		太陽系と地球の物質					
	地質工学入門	○	Introduction to Engineering Geology				
	探究型地球科学課題演習	○	Advanced Practice of Earth Science-E2				
	Introduction to Hydrology-E2						
	Introduction to Mineral Resources-E2			「Introduction to mineral resources-E2」を科目名変更			
	図学	基礎	図学A				
		図学B					
外国語科目群			英語リーディング				
			英語ライティング-リスニングA				
			英語ライティング-リスニングB				
			英語IIA				
			英語IIB				
			Scientific English IA				
			Scientific English IB				
			ドイツ語IA(文法)				
			ドイツ語IA(演習)				
			ドイツ語I(6Hコース)				
			ドイツ語IB(文法)				
			ドイツ語IB(演習)				
			ドイツ語IIA				
			ドイツ語IIA(会話)				
			ドイツ語IIA(CALL)				
			ドイツ語IIA(ライティング)				
			ドイツ語II(6Hコース)				
			ドイツ語IIB				
			ドイツ語IIB(会話)				
			ドイツ語IIB(CALL)				
			ドイツ語IIB(ライティング)				
			ドイツ語IIIA				
			ドイツ語IIIB				
			フランス語IA(文法)				
			フランス語IA(演習)				
			フランス語I(8Hコース)				
			フランス語IB(文法)				
			フランス語IB(演習)				
			フランス語IIA				
			フランス語IIA(演習)			フランス語IIA(実習)を科目名変更	
			フランス語II(6Hコース)				
			フランス語IIB				
			フランス語IIB(演習)			フランス語IIB(実習)を科目名変更	
			フランス語IIIA				
			フランス語IIIB				
			中国語IA(文法)				
		中国語IA(演習)					
		中国語IB(文法)					
		中国語IB(演習)					
		中国語IIA					
		中国語IIB					

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考
外国語科目群			ロシア語IA(文法)			
			ロシア語IA(演習)			
			ロシア語IB(文法)			
			ロシア語IB(演習)			
			ロシア語IIA			
			ロシア語IIB			
			イタリア語I			
			イタリア語IIA			
			イタリア語IIA(演習)			イタリア語IIA(実習)を科目名変更
			イタリア語IIB			
			イタリア語IIB(演習)			イタリア語IIB(実習)を科目名変更
			スペイン語IA(文法)			
			スペイン語IA(演習)			
			スペイン語IA(会話)			
			スペイン語IB(文法)			
			スペイン語IB(演習)			
			スペイン語IB(会話)			
			スペイン語IIA			
			スペイン語IIA(演習)			スペイン語IIA(実習)を科目名変更
			スペイン語IIB			
			スペイン語IIB(演習)			スペイン語IIB(実習)を科目名変更
			朝鮮語IA(文法)			
			朝鮮語IA(演習)			
			朝鮮語IB(文法)			
			朝鮮語IB(演習)			
			朝鮮語IIA			
			朝鮮語IIA(演習)			朝鮮語IIA(実習)を科目名変更
			朝鮮語IIB			
			朝鮮語IIB(演習)			朝鮮語IIB(実習)を科目名変更
			アラビア語IA(文法)			
			アラビア語IA(演習)			
			アラビア語IB(文法)			
			アラビア語IB(演習)			
			アラビア語IIA			
			アラビア語IIA(演習)			アラビア語IIA(実習)を科目名変更
			アラビア語IIB			
			アラビア語IIB(演習)			アラビア語IIB(実習)を科目名変更
			日本語初級IA(4Hコース)			日本語(初級)Iを「日本語初級IA(4Hコース)」、「日本語初級IB(4Hコース)」に分割し、科目名変更
			日本語初級IB(4Hコース)			日本語(初級)Iを「日本語初級IA(4Hコース)」、「日本語初級IB(4Hコース)」に分割し、科目名変更
			日本語初級IIA(4Hコース)			日本語(初級)IIを「日本語初級IIA(4Hコース)」、「日本語初級IIB(4Hコース)」に分割し、科目名変更
			日本語初級IIB(4Hコース)			日本語(初級)IIを「日本語初級IIA(4Hコース)」、「日本語初級IIB(4Hコース)」に分割し、科目名変更
			日本語中級IA(4Hコース)			新規科目
			日本語中級IB(4Hコース)			新規科目
			日本語中級I(8Hコース)			新規科目
			日本語中級I(会話)			新規科目
			日本語中級I(聴解)			新規科目
			日本語中級I(読解)			新規科目
			日本語中級I(作文)			新規科目
			日本語中級I(漢字)			新規科目
			日本語中級IIA(4Hコース)			新規科目
			日本語中級IIB(4Hコース)			新規科目
			日本語中級II(8Hコース)			新規科目
			日本語中級II(会話)			新規科目
			日本語中級II(聴解)			新規科目
			日本語中級II(読解)			新規科目
			日本語中級II(作文)			新規科目
			日本語上級(聴解)			新規科目
			日本語上級(会話)			新規科目
			日本語上級(読解)			新規科目
			日本語上級(作文)			新規科目
日本語上級(論文・レポート作成)			新規科目			
日本語上級(講義聴解)			新規科目			
日本語上級(研究発表)			新規科目			
日本語上級(討論技術)			新規科目			
日本語初級I(8Hコース)			新規科目			
日本語初級I(会話)			新規科目			
日本語初級I(聴解)			新規科目			
日本語初級I(読解・作文)			新規科目			
日本語初級I(漢字)			新規科目			
日本語初級II(8Hコース)			新規科目			
日本語初級II(会話)			新規科目			
日本語初級II(聴解)			新規科目			
日本語初級II(読解・作文)			新規科目			
日本語初級II(漢字)			新規科目			
経済・経営日本語(上級)I						
経済・経営日本語(上級)II						
情報学科目群	基礎	情報基礎演習[全学向]	○ Practice of Basic Informatics		「情報基礎演習[全学向]」、 「情報基礎演習[文学部]」、 「情報基礎演習[理学部]」、 「情報基礎演習[医学部]」、 「情報基礎演習[薬学部]」、 「情報基礎演習[工学部]」、 「情報基礎演習[農学部]」は全て同一科目の扱い	
		情報基礎演習[文学部]				
		情報基礎演習[理学部]				
		情報基礎演習[医学部]				
		情報基礎演習[薬学部]				
		情報基礎演習[工学部]				
		情報基礎演習[農学部]				

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考			
情報学 科目群	基礎	基礎	情報基礎[全学向]	○	Basic Informatics Basic Informatics-E2	「情報基礎[全学向]」、「情報基礎[理学部]」、「情報基礎[医学部]」、「情報基礎[薬学部]」、「情報基礎[工学部]」、「情報基礎[農学部]」は全て同一科目の扱い			
			情報基礎[理学部]						
			情報基礎[医学部]						
			情報基礎[薬学部]						
			情報基礎[工学部]						
			情報基礎[農学部]						
			情報基礎実践						
	各論	各論	情報と社会	○	Information and Society-E2				
			情報数学I						
			情報数学II						
			コンピュータサイエンス基礎						
			計算機科学概論						
			アルゴリズム入門	○	Introduction to Algorithms-E2				
			プログラミング基礎						
プログラミング演習(Lisp)									
プログラミング演習(Ruby)									
情報学 科目群	各論	各論	プログラミング演習(Java)						
			プログラミング演習(Haskell)			隔年開講			
			プログラミング演習(数理的応用)						
			プログラミング(クラウド計算)						
			情報ネットワーク	○	Information Network-E2				
			情報メディア基礎						
			コンピュータグラフィックス演習						
			コンピュータグラフィックス実習						
			ヒューマンインタフェースの心理と生理						
			データ分析入門						
			データ分析実践						
			計算科学が拓く世界						
			大学図書館の活用と情報探索						
			学術情報リテラシー実践						
			イノベーションと情報						
			情報と知財入門						
			情報企業論						
			Fundamentals of Machine Vision-E2						
			Information Literacy for Academic Study-E2			「Info literacy for academic study-E2」を科目名変更			
			Fundamentals of Discrete Optimization-E2						
			Introduction to Coding Theory and Cryptography-E2			「Intro to Coding Theory & Cryptography-E2」を科目名変更			
			Programming Practice(Matlab)-E2						
			Processing and Analyzing Data I-E2			「Processing and analyzing data I-E2」を科目名変更			
			Art, Culture and Technology(英語講義)						
健康・スポーツ 科目群	基礎	基礎	運動科学I						
			運動科学II						
			健康科学I						
			健康科学II						
			健康心理学I						
			健康心理学II						
			Basics of the Human Body-E2						
			Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2			「Intro to Lifestyle Related Diseases-E2」を科目名変更			
			Nutrition and Health-E2			新規科目			
			Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2			新規科目			
			発展	発展	発展	精神病理学I			
						精神病理学II			
	生活習慣と生体機能障害								
	体力医科学								
	運動のしくみ								
	運動の生理学								
	発達論A								
	発達論B								
	精神保健福祉概論								
	スポーツ指導法ゼミナールA								
	スポーツ指導法ゼミナールB								
	応用運動医科学ゼミ								
	スポーツ心理学セミナー						「行動制御学ゼミ」を科目名変更		
	発達行動学ゼミ								
	医学概論								
	生体リズムと健康								
	発達障害論								
	リハビリテーション概論								
	「薬の世界」入門								
	健康・生命科学入門								
	薬用植物学								
	大学生のための実践的な心理学								
	予防医学概論								
	人類と放射線								
	自己形成の心理学								
	医工学入門								
	放射線概論								
	Mental Illness and Health Care						「英語講義:心の健康を考える」を科目名変更		
	Basic Biology and Metabolism-E2								
	Introduction to Biological Rhythms-E2								
	Introduction to Medical Psychology-E2								
	Introduction to Physiology-E2								
スポーツ 実習	スポーツ 実習	スポーツ 実習	スポーツ実習IA						
			スポーツ実習IB						
			スポーツ実習IIA						
			スポーツ実習IIB						

科目群	分野	分類	科目名	英語授業の有無	英語授業の科目名	備考	
キャリア形成科目群	国際コミュニケーション		セミナー・パーティシペーション(全・英)-E3			新規科目	
			クリティカルリスニング(全・英)-E3			新規科目	
			リスニング&ノートテイキング(全・英)-E3			新規科目	
			オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3			新規科目	
			クリティカルリーディングI(全・英)-E3			新規科目	
			クリティカルリーディングII(全・英)-E3			新規科目	
			リサーチライティング(全・英)-E3			新規科目	
			テストテイキングI(全・英)-E3			新規科目	
			テストテイキングII(全・英)-E3			新規科目	
			科学コミュニケーション(理・英)-E3			「科学英語(理学)」を科目群及び科目名変更	
			英会話・英作文基礎-E3			新規科目	
			臨床コミュニケーション(医・英)-E3			「科学英語(医学)」を「臨床コミュニケーション(医・英)-E3」、「アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3」に分割し、科目群及び科目名変更	
キャリア形成科目群	国際コミュニケーション		アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3			「科学英語(医学)」を「臨床コミュニケーション(医・英)-E3」、「アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3」に分割し、科目群及び科目名変更	
			科学コミュニケーションの基礎と実践(業・英)A-E3			「科学英語(医学)」を「臨床コミュニケーション(医・英)-E3」に分割し、科目群及び科目名変更	
			科学コミュニケーションの基礎と実践(業・英)B-E3			「科学英語B」を科目群及び科目名変更	
			Scientific English II-E3			「Scientific English II」を科目群及び科目名変更	
			Advanced Scientific English-E3			「Advanced Scientific English」を科目群及び科目名変更	
			Business English-E3			「Business English」を科目名変更	
			Business Thinking-E3			「Business Thinking」を科目名変更	
			Negotiation-E3			「Negotiation」を科目名変更	
			Digesting Scientific English-E3			「Digesting Scientific English」を科目名変更	
			Scientific Writing and Presenting in English-E3			「Scientific Writing and Presenting in Eng」を科目名変更	
		科学記事で英語の四技能を高める-E3			「科学記事で英語の四技能を高める」を科目名変更		
		英語勉強力I					
		英語勉強力II					
	学芸員課程		博物館資料保存論				
			博物館展示論				
			博物館教育論				
			博物館情報・メディア論				
			博物館実習(文化史)				
			博物館実習(自然史)				
			博物館実習(館園実務)				
COCOLO域		自然と文化					
		京都学のための科学					
		京都創造論					
		地理と古典を活かした京都の旅の創造.提案A					
		地理と古典を活かした京都の旅の創造.提案B					
		京都のまちづくり					
		産業都市京都の課題と可能性					
その他キャリア形成		超高齢社会の生活論					
		ジャーナリズムの最前線					
		京都大学の歴史					
統合科学科目群	統合科学		日本語・日本文化演習				
			統合科学				
	環境		地球環境学のすすめ				
			環境学				
			生存圏の科学概論I				
			生存圏の科学概論II				
			現代技術社会論				
			水資源管理と地球環境				
			エネルギー-地質学概論				
			環境農学論				
			Chemistry, Society and Environment-E2				
			Human-environmental Interactions-E2				「Human-environmental interactions-E2」を科目名変更
			Insect-human Interactions-E2				
			Introduction to Biological Invasion-E2				
			Introduction to Food Sustainability-E2				
		Introduction to Sustainable Development-E2				「Intro to sustainable development-E2」を科目名変更	
		Natural Disaster Science-E2					
	Sustainable Forest Environment-E2				新規科目		
森里海連環学		森里海連環学I					
		森里海連環学II					
		森里海連環学実習I					
		森里海連環学実習II					
		森里海連環学実習III					
		森里海連環学実習IV					
統合科学その他		睡眠文化論					
		先進エネルギー概論					
		宇宙総合学					
少人数教育		ILASセミナー	○	ILAS Seminar-E2			
		ILASセミナー(海外)				新規科目	

3. 授業一覧の見方

開講期	<p>各授業の開講期には、次の区別があります。</p> <p>通：通年、前：前期、後：後期、前集：前期集中、後集：後期集中</p> <p>集中講義とは、夏季休業期間等に開講期分の授業を集中して行うものをいいます。履修登録期間中の履修登録は不要ですが、履修方法は授業ごとに異なるので、シラバスや KULASIS 等で申込方法等の詳細を確認のうえ、その指示に従ってください。ただし、集中講義のうち ILAS セミナー（1 回生が前期集中講義に申し込む場合のみ）、外国語科目群（C 群）及びキャリア形成科目群国際コミュニケーション分野は予備登録及び履修登録が必要です。</p> <p>なお、前期は 8 月中旬以降、後期は 2 月中旬以降に実施される集中講義については、次期の成績表に記載されます。</p>
対象学生	<p>各授業には、次の対象学生の区別があります。</p> <p>全：全学部向け、文：文科系学部向け、理：理科系学部向け、留：留学生向け</p>
対象回生	<p>各授業には、次のような対象回生の区別があります。</p> <p>全：全回生（全ての学生が履修できます）。</p> <p>1：1 回生、1・2：1・2 回生（それぞれ対象回生の学生のみ履修できます）。</p> <p>2 以上：2 回生以上、3 以上：3 回生以上（それぞれ対象回生以上の学生を対象としています）。</p> <p>主 1：主として 1 回生、主 2：主として 2 回生、主 2 以上：主として 2 回生以上、主 1・2：主として 1 回生・2 回生、主 2・3：主として 2 回生・3 回生（それぞれ対象回生以外の学生の履修を妨げるものではありません）。</p> <p>上級回生の配当科目は、原則として特別履修手続きをしなければ履修することができませんが、一部科目については手続きなしで履修できるものもあります（「I 全学共通科目の履修について」、「4.履修登録について」の「(1) 履修登録前に必要な受講手続き」③特別履修手続き（p.41）参照）。</p>
週コマ数	<p>週コマ数欄の 1 コマは 1 つの時限の授業時間（90 分）に相当します（集中講義の場合は 1 週あたりに換算したもの）。</p>
単位数	<p>全ての初修外国語、人文・社会科学科目群外国文献研究分野の科目及び単位数に＊（アスタリスク）が表示されている授業を平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学生が履修し、単位を修得した場合には、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認定されます（「IV 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」2.カリキュラム再編に伴う科目群の読み替えおよび単位の取り扱いについて（p.210）参照）。</p>
学部科目	<p>この欄に記載のある学部の学生が当該科目を履修する場合は、学部科目となるため、全学共通科目として履修登録することはできません。履修登録は所属学部で行ってください。</p> <p>学部名の略記号は、「I 全学共通科目の履修について」2.授業クラス（p.37）を参照。</p>
E 科目指定	<p>E 科目に指定されている場合、カテゴリーを表示しています。E 科目のカテゴリーは、「I 全学共通科目の履修について」6.E 科目について（p.65～）を参照。</p>
備考	<p>[International Course]と表示のある授業は、工学部地球工学科国際コース向けです。同一授業とされている授業と両方単位を修得した場合、修得年度・修得期の早いもの 1 つのみ卒業に必要な単位として認められます。</p> <p>「クラス指定科目」と表示のある授業は、所属学部で必修・推奨をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめクラス別の授業時間割が組まれている授業です（「III.全学共通科目授業時間割」クラス別時間割（1 回生）、クラス指定時間割（p.141～、p.151～）参照）。これらを全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、履修する場合は指定クラスで履修しなければなりません。自由選択科目（クラス指定科目以外の全学共通科目をいいます）を履修するために、所属クラスの指定科目を他クラスで履修することはできません。1 回生が自クラスに配当されていないクラス指定科目を履修する場合、特別履修手続きをしなければ履修することができません（「I 全学共通科目の履修について」、「4.履修登録について」の「(1) 履修登録前に必要な受講手続き」③特別履修手続き（p.41）参照）。</p> <p>「クラス指定科目（自由選択科目を兼ねる）」と表示のある授業は、クラス指定されている学生が履修しやすいように授業時間割が組まれています。自クラスに当該科目が配当されていない学生も履修することができます。ただし、履修者数が教室定員を超える場合等に、クラス指定されている学生を優先して人数制限を実施することがあります。平成 29 年度から KUINEP 科目は廃止されました。</p>
旧群	<p>平成 24 年度以前入学者用の群を表記しています。平成 24 年度以前入学者については、この欄に記載した群により、学部ごとに修得すべき全学共通科目の単位数が決められています。</p> <p>なお、この欄が空白の科目は、平成 24 年度以前入学者の卒業に必要な単位として認定されません。</p>

4. 全学共通科目授業一覧

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
人文・社会科学科目群											
哲学・思想											
基礎											
哲学 I	前	月3	松本 啓二郎	全	全	1	2				A群
哲学 I	前	火5	戸田 剛文	全	全	1	2				A群
哲学 I	前	水4	内田 浩明	全	全	1	2				A群
哲学 I	前	水5	上原 麻有子	全	全	1	2				A群
哲学II	後	月3	松本 啓二郎	全	全	1	2				A群
哲学II	後	火5	戸田 剛文	全	全	1	2				A群
哲学II	後	水4	内田 浩明	全	全	1	2				A群
倫理学 I	前	水5	内田 浩明	全	全	1	2				A群
倫理学 I	前	金4	佐藤 義之	全	全	1	2				A群
倫理学II	後	水5	内田 浩明	全	全	1	2				A群
倫理学II	後	金4	佐藤 義之	全	全	1	2				A群
論理学 I	前	木3	安部 浩	全	全	1	2				A群
論理学 I	前	金3	山口 尚	全	全	1	2				A群
Logic I-E2	前	水1	John, Ellsworth Brown	全	主1・2	1	2		E2		A群
論理学II	後	木3	安部 浩	全	全	1	2				A群
論理学II	後	金3	山口 尚	全	全	1	2				A群
Logic II-E2	後	木3	John, Ellsworth Brown	全	主1・2	1	2		E2		A群
西洋社会思想史 I	前	月2	松本 啓二郎	全	全	1	2				A群
西洋社会思想史II	後	月2	松本 啓二郎	全	全	1	2				A群
東洋社会思想史 I	前	水1	目黒 杏子	全	全	1	2				A群
東洋社会思想史 I	後	火2	須藤 瑞代	全	全	1	2				A群
The History of Eastern Thought I-E2	前	水2	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2		A群
東洋社会思想史II	前	木5	古勝 亮	全	全	1	2				A群
東洋社会思想史II	後	木5	古勝 亮	全	全	1	2				A群
宗教学 I	前	月3	岩田 文昭	全	全	1	2				A群
Science of Religion I-E2	前	火3	LINDBERG, Stig	全	全	1	2		E2		A群
Science of Religion I-E2	後	水2	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2		A群
宗教学II	後	月3	岩田 文昭	全	全	1	2				A群
Science of Religion II-E2	後	火3	LINDBERG, Stig	全	全	1	2		E2		A群
科学論 I	前	月5	青山 拓央	全	全	1	2				A群
科学論II	後	月5	青山 拓央	全	全	1	2				A群
京都学派の伝統と可能性	前	金3	泉 拓良 他	全	全	1	2				A群
History of Modern Science-E2	前	火3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2		A群
Philosophy of Modern Science-E2	後	火3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2		A群
Critical Thinking I-E2	前	水4	LINDBERG, Stig	全	全	1	2		E2		A群
Critical Thinking II-E2	後	水4	LINDBERG, Stig	全	全	1	2		E2		A群
Theories of Religion in the Social Sciences-E2	前	水2	Julius Bautista	全	全	1	2		E2		A群
各論											
自己存在論 I	前	木2	安部 浩	全	2以上	1	2	H			A群
自己存在論II	後	木2	安部 浩	全	2以上	1	2	H			A群
人間実践論 I	前	月4	佐藤 義之	全	2以上	1	2	H			A群
人間実践論II	後	月4	佐藤 義之	全	2以上	1	2	H			A群
認識人間学 I	前	木2	青山 拓央	全	全	1	2	H			A群
認識人間学II	後	木2	青山 拓央	全	全	1	2	H			A群
神話論 I	前	月4	岩田 文昭	全	全	1	2				A群
神話論II	後	月4	岩田 文昭	全	全	1	2				A群
哲学・文化史 I	前	火3	戸田 剛文	全	2以上	1	2	H			A群
哲学・文化史II	後	火3	戸田 剛文	全	2以上	1	2	H			A群
哲学基礎ゼミナール	後	水4	戸田 剛文	全	全	1	2				A群
倫理学基礎ゼミナール	後	金3	佐藤 義之	全	全	1	2				A群
西洋思想史基礎ゼミナール	後	金2	安部 浩	全	全	1	2				A群
科学論基礎ゼミナール	後	火5	青山 拓央	全	全	1	2				A群
歴史・文明											
基礎											
日本史 I	前	月2	吉江 崇	全	全	1	2				A群
日本史 I	前	月2	高階 絵里加 他	全	全	1	2				A群
日本史 I	前	火2	吉江 崇	全	全	1	2				A群
日本史 I	前	金3	元木 泰雄	全	全	1	2				A群
日本史 I	前	金4	元木 泰雄	全	全	1	2				A群
Japanese History I-E2	前	火2	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2		A群
日本史II	後	月2	吉江 崇	全	全	1	2				A群
日本史II	後	月3	吉江 崇	全	全	1	2				A群
日本史II	後	木3	東 幸代	全	全	1	2				A群
日本史II	後	金3	元木 泰雄	全	全	1	2				A群
日本史II	後	金4	元木 泰雄	全	全	1	2				A群
Japanese History II-E2	後	火2	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2		A群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
東洋史 I	前	月2	辻 正博	全	全	1	2				A群
東洋史 I	前	月3	辻 正博	全	全	1	2				A群
東洋史 I	前	火2	石川 禎浩 他	全	全	1	2				A群
東洋史 I	前	水5	太田 出	全	全	1	2				A群
東洋史 I	前	木3	太田 出	全	全	1	2				A群
東洋史II	後	月2	辻 正博	全	全	1	2				A群
東洋史II	後	月3	辻 正博	全	全	1	2				A群
東洋史II	後	水5	太田 出	全	全	1	2				A群
東洋史II	後	木3	太田 出	全	全	1	2				A群
東洋史II	後	木5	岩井 茂樹	全	全	1	2				A群
西洋史 I	前	火2	合田 昌史	全	全	1	2				A群
西洋史 I	前	火5	佐々木 博光	全	全	1	2				A群
西洋史 I	前	火5	本田 毅彦	全	全	1	2				A群
西洋史 I	前	木3	合田 昌史	全	全	1	2				A群
Western History I-E2	前	火2	BHATTE, Pallavi Kamlakar	全	全	1	2		E2		A群
Western History I-E2	前	金2	BHATTE, Pallavi Kamlakar	全	全	1	2		E2		A群
西洋史II	後	火2	合田 昌史	全	全	1	2				A群
西洋史II	後	水1	桑山 由文	全	全	1	2				A群
西洋史II	後	木1	渡邊 伸	全	全	1	2				A群
西洋史II	後	木3	合田 昌史	全	全	1	2				A群
Western History II-E2	後	火2	BHATTE, Pallavi Kamlakar	全	全	1	2		E2		A群
Western History II-E2	後	金2	BHATTE, Pallavi Kamlakar	全	全	1	2		E2		A群
現代文明 I	前	金3	黒宮 一太	全	全	1	2				A群
現代文明 I	前	金4	黒宮 一太	全	全	1	2				A群
現代文明II	後	金3	黒宮 一太	全	全	1	2				A群
現代文明II	後	金4	黒宮 一太	全	全	1	2				A群
Introduction to World Religions-E2	前	火2	Julius Bautista	全	全	1	2		E2		A群
Introduction to Asian Societies-E2	後	火2	Julius Bautista	全	全	1	2		E2		A群
Religion in Contemporary Society-E2	後	水2	Julius Bautista	全	全	1	2		E2		A群
各論											
室町幕府と守護制度	前	金2	今岡 典和	全	全	1	2				A群
院政と仏教	後	月5	横内 裕人	全	全	1	2				A群
前近代日本の法と秩序	後	火2	高谷 知佳	全	全	1	2				A群
アメリカ現代史入門	前	月2	山澄 亨	全	全	1	2				A群
中国書誌論	後	木2	松江 崇	全	全	1	2	H			A群
中国文字文化論	前	木2	松江 崇	全	全	1	2	H			A群
現代史概論—ナチズムを中心に	前	水2	藤原 辰史	全	全	1	2				A群
日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナール I	後	金5	吉江 崇	全	全	1	2				A群
日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナールII	後	金5	元木 泰雄	全	全	1	2				A群
東洋史基礎ゼミナール I	後	月5	辻 正博	全	全	1	2				A群
東洋史基礎ゼミナールII	後	火5	太田 出	全	全	1	2				A群
ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール I	後	火3	合田 昌史	全	全	1	2				A群
Japanese Intellectual History I-E2	前	水2	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2		A群
Japanese Intellectual History II-E2	後	水2	VAN STEENPAAL, Niels	全	全	1	2		E2		A群
芸術・文学・言語											
基礎											
芸術学 I	前	月2	武田 宙也	全	全	1	2				A群
芸術学 I	前	月3	岡田 温司	全	全	1	2				A群
芸術学II	後	月2	武田 宙也	全	全	1	2				A群
芸術学II	後	月3	岡田 温司	全	全	1	2				A群
音楽芸術論 I	前	木5	前川 陽郁	全	全	1	2				A群
音楽芸術論 II	後	木5	前川 陽郁	全	全	1	2				A群
東洋美術史 I	前	月3	竹浪 遠	全	全	1	2				A群
東洋美術史 II	後	月3	竹浪 遠	全	全	1	2				A群
国語国文学 I	前	月2	長谷川 千尋	全	全	1	2				A群
国語国文学 I	前	月3	西田 正宏	全	全	1	2				A群
国語国文学 I	前	火2	長谷川 千尋	全	全	1	2				A群
国語国文学 I	前	火5	佐野 宏	全	全	1	2				A群
国語国文学 II	後	月2	長谷川 千尋	全	全	1	2				A群
国語国文学 II	後	月3	西田 正宏	全	全	1	2				A群
国語国文学 II	後	火2	長谷川 千尋	全	全	1	2				A群
国語国文学 II	後	火5	佐野 宏	全	全	1	2				A群
日本近代文学 I	前	金3	須田 千里	全	全	1	2				A群
日本近代文学 I	前	金5	須田 千里	全	全	1	2				A群
日本近代文学 II	後	金3	須田 千里	全	全	1	2				A群
日本近代文学 II	後	金5	須田 千里	全	全	1	2				A群
漢文学 I	前	月2	矢木 毅	全	全	1	2				A群
漢文学 I	前	月3	永田 知之	全	全	1	2				A群
漢文学 II	後	月2	矢木 毅	全	全	1	2				A群
漢文学 II	後	月3	永田 知之	全	全	1	2				A群
言学 I	前	木3	佐野 宏	全	全	1	2				A群
言学 I	前	金4	鈴木 広光	全	全	1	2				A群
言学 II	後	木3	佐野 宏	全	全	1	2				A群
言学 II	後	金4	鈴木 広光	全	全	1	2				A群
言語科学 I	前	火2	河崎 靖	全	全	1	2				A群
言語科学 I	前	火5	壇辻 正剛 他	全	全	1	2				A群
言語科学 II	後	火5	壇辻 正剛 他	全	全	1	2				A群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
言語科学II	後	金5	藤田 耕司	全	全	1	2				A群
ドイツ文学	前	月5	川島 隆	全	全	1	2				A群
Introduction to Linguistic Science-E2	前	水1	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2		A群
Introduction to Japanese Linguistics I-E2	後	水1	CATT, Adam Alvah	文	全	1	2		E2		A群
Intercultural Communication I-E2	後	月4	BADENOCH, Nathan	全	全	1	2		E2		A群
Intercultural Communication II-E2	前	月4	BADENOCH, Nathan	全	主2以上	1	2		E2		A群
各論											
創造行為総論(基礎篇)	前	金2	武田 宙也	全	全	1	2				A群
創造行為総論(応用篇)	後	金2	武田 宙也	全	全	1	2				A群
創造ルネッサンス論A	前	木2	岡田 温司	全	2以上	1	2	H			A群
創造ルネッサンス論B	後	木2	岡田 温司	全	2以上	1	2	H			A群
近代芸術論A	後	月1	並木 誠士	全	全	1	2	H			A群
創造ルネッサンス論基礎ゼミナール	後	月5	岡田 温司	全	全	1	2				A群
創造行為論講読演習	後	金3	武田 宙也	全	全	1	2	H			A群
日本古典講読論I	前	火3	長谷川 千尋	全	2以上	1	2	H			A群
日本古典講読論II	後	火3	長谷川 千尋	全	2以上	1	2	H			A群
日本語学文献講読論I	前	火4	佐野 宏	全	2以上	1	2	H			A群
日本語学文献講読論II	後	火4	佐野 宏	全	2以上	1	2	H			A群
中国古典講読論A	前	火1	道坂 昭廣	全	全	1	2	H			A群
中国古典講読論B	後	火1	道坂 昭廣	全	全	1	2	H			A群
日本近代文学基礎ゼミナール	後	水5	須田 千里	全	全	1	2				A群
ギリシア語A	前	火5	堀川 宏	全	全	1	2				A群
ギリシア語B	後	火5	堀川 宏	全	全	1	2				A群
ラテン語A	前	月2	西井 奨	全	全	1	2				A群
ラテン語B	後	月2	西井 奨	全	全	1	2				A群
言語比較論	前	火3	齋藤 治之	全	2以上	1	2	H			A群
言語構造論	前	火3	藤田 耕司	全	2以上	1	2	H			A群
言語機能論	前	水2	守田 貴弘	全	2以上	1	2	H			A群
言語認知論	後	水3	谷口 一美	全	2以上	1	2	H			A群
日本語コミュニケーションの特徴	前	月2	パリハワダナルチラ	全	全	1	2				A群
日本語の時間表現の諸相	後	月2	パリハワダナルチラ	全	全	1	2				A群
Introduction to Classical Japanese Literature	後	木2	湯川 志貴子	全	全	1	2				A群
教育・心理・社会											
基礎											
教育学I	前	月3	小山 静子	全	全	1	2				A群
教育学I	前	月5	小山 静子	全	全	1	2				A群
教育学I	前	木3	久保田 健一郎	全	全	1	2				A群
教育学I	前	木3	倉石 一郎	全	全	1	2				A群
教育学I	前	金3	倉石 一郎	全	全	1	2				A群
教育学I	後	水5	西岡 加名恵	全	全	1	2				A群
Pedagogy I-E2	前	水1	Jeremy Rappleye	全	主1・2	1	2		E2		A群
教育学II	後	月3	小山 静子	全	全	1	2				A群
教育学II	後	月5	小山 静子	全	全	1	2				A群
教育学II	後	木3	久保田 健一郎	全	全	1	2				A群
教育学II	後	木3	倉石 一郎	全	全	1	2				A群
教育学II	後	金3	倉石 一郎	全	全	1	2				A群
Pedagogy II-E2	後	水1	Jeremy Rappleye	全	主1・2	1	2		E2		A群
心理学I	前	月2	阿部 修士 他	全	全	1	2				A群
心理学I	前	月2	月浦 崇 他	全	全	1	2				A群
心理学I	前	火2	齋木 潤 他	全	全	1	2				A群
心理学I	前	火5	桑原 知子	全	全	1	2				A群
心理学I	前	金3	熊田 孝恒 他	全	全	1	2				A群
心理学I	後	月2	月浦 崇 他	全	全	1	2				A群
心理学I	後	火2	齋木 潤 他	全	全	1	2				A群
心理学II	前	火2	永田 素彦	全	全	1	2				A群
心理学II	前	火2	大倉 得史	全	全	1	2				A群
心理学II	後	火2	永田 素彦	全	全	1	2				A群
心理学II	後	火2	大倉 得史	全	全	1	2				A群
心理学II	後	水5	内田 由紀子 他	全	全	1	2				A群
行動病理学I	前	金5	武本 一美 他	全	全	1	2				A群
行動病理学II	後	金5	松本 卓也 他	全	全	1	2				A群
精神分析学	前	金4	松本 卓也	全	全	1	2				A群
社会学I	前	月2	吉田 純	全	全	1	2				A群
社会学I	前	月3	吉田 純	全	全	1	2				A群
社会学I	前	火2	高橋 由典	全	全	1	2				A群
社会学I	前	木5	山下 雅之	全	全	1	2				A群
社会学II	後	月2	吉田 純	全	全	1	2				A群
社会学II	後	月3	吉田 純	全	全	1	2				A群
社会学II	後	月5	岡崎 宏樹	全	全	1	2				A群
社会学II	後	火2	高橋 由典	全	全	1	2				A群
Sociology I-E2	前	火4	Stephane Heim	全	主1	1	2		E2		A群
各論											
偏見・差別・人権	前	月5	植松 恒夫 他	全	全	1	2				A群
偏見・差別・人権	後	月5	植松 恒夫 他	全	全	1	2				A群
Advanced Lecture for Pedagogy I-E2	前	水2	Jeremy Rappleye	全	主1・2	1	2		E2		A群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
Advanced Lecture for Pedagogy II-E2	後	水2	Jeremy Rappleye	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Educational Psychology I-E2	前	月3	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Educational Psychology II-E2	後	月3	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Educational Studies I-E2	前	月1	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Educational Studies II-E2	後	月1	Emmanuel MANALO	全	主1・2	1	2		E2		A群
Education in Contemporary Japan	後	水3	河合 淳子	全	全	1	2				A群
教育学基礎ゼミナール	後	金2	倉石 一郎	全	全	1	2				A群
ジェンダー論基礎ゼミナール	後	火5	小山 静子	全	全	1	2				A群
社会心理学	前	水1	永田 素彦	全	全	1	2				A群
社会心理学	後	水1	永田 素彦	全	全	1	2				A群
関係発達論I	前	月4	大倉 得史	全	全	1	2				A群
関係発達論II	後	月4	大倉 得史	全	全	1	2				A群
認知心理学I	前	水2	齋木 潤	全	全	1	2				A群
認知心理学II	後	水2	齋木 潤	全	全	1	2				A群
精神分析I	前	木2	松本 卓也	全	全	1	2	H			A群
精神分析II	後	金3	松本 卓也	全	全	1	2	H			A群
神経心理学I	前	月1	月浦 崇	全	全	1	2				A群
神経心理学II	後	月1	月浦 崇	全	全	1	2				A群
グループ・ダイナミックス	前	金3	宮本 匠	全	全	1	2				A群
Introduction to Primate Behavior and Cognition-E2	後	火4	Anderson, James Russell	全	全	1	2		E2		A群
Introduction to Comparative Psychology-E2	前	火4	Anderson, James Russell	全	全	1	2		E2		A群
社会心理学基礎ゼミナール	後	水5	永田 素彦	全	全	1	2				A群
発達心理学基礎ゼミナール	後	火3	大倉 得史	全	全	1	2				A群
視覚科学基礎ゼミナール	後	金5	齋木 潤	全	全	1	2				A群
神経心理学基礎ゼミナール	後	月5	月浦 崇	全	全	1	2				A群
精神病理学・精神分析学講読演習	後	水2	松本 卓也	全	2以上	1	2				A群
社会学各論I	前	金3	菅 康弘	全	全	1	2				A群
社会学各論II	後	火5	朝田 佳尚	全	全	1	2				A群
Introduction to Globalization Studies-E2	前	火3	Stephane Heim	全	主1	1	2		E2		A群
Introduction to Social Research-E2	後	火3	Stephane Heim	全	主1・2	1	2		E2		A群
Sociology of Work and Organizations-E2	後	火4	Stephane Heim	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Sociological Observation-E2	前	金4	SINGER JANE	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Risk Communication-E2	後	水3	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Society and Community Studies-E2	後	水2	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1・2	1	2		E2		A群
社会学基礎ゼミナールII	後	火3	吉田 純	全	全	1	2				A群
社会学演習	後	木5	高橋 由典	全	全	1	2				A群
Introduction to Ritual Studies-E2	前	月2	LAHOURNAT, Florence	全	主1・2	1	2		E2		A群
Disaster and Culture-E2	後	月2	LAHOURNAT, Florence	全	主1・2	1	2		E2		A群
地域・文化											
基礎											
文化人類学 I	前	火5	風間 計博	全	全	1	2				A群
文化人類学 I	前	木3	岩谷 彩子	全	全	1	2				A群
Cultural Anthropology I-E2	前	月3	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2		A群
Cultural Anthropology I-E2	後	月3	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2		A群
文化人類学II	後	木3	岩谷 彩子	全	全	1	2				A群
生態人類学 I	前	月5	安岡 宏和	全	全	1	2				A群
生態人類学 I	前	火2	木村 大治 他	全	全	1	2				A群
生態人類学II	後	火2	風間 計博	全	全	1	2				A群
自然地理学	前	火2	水野 一晴	全	全	1	2				A群
自然地理学	後	木3	松四 雄騎	全	全	1	2				A群
人文地理学	前	月3	小方 登	全	全	1	2				A群
人文地理学	前	金4	山村 亜希	全	全	1	2				A群
人文地理学	後	月2	小島 泰雄	全	全	1	2				A群
Human Geography-E2	前	月3	BADENOCH, Nathan	全	主1・2	1	2		E2		A群
地域地理学	前	月2	小島 泰雄	全	全	1	2				A群
地域地理学	後	月3	小方 登	全	全	1	2				A群
地域地理学	後	金4	山村 亜希	全	全	1	2				A群
都市空間論	前	火5	増井 正哉	全	全	1	2				A群
都市空間論	前	水1	中嶋 節子	全	全	1	2				A群
各論											
文化人類学各論 I	前	火3	風間 計博	全	全	1	2				A群
文化人類学各論II	後	火3	風間 計博	全	全	1	2				A群
文化人類学各論II	後	水2	岩谷 彩子	全	全	1	2				A群
宗教人類学	前	水2	岩谷 彩子	全	全	1	2				A群
民俗学 I	前	水4	菊地 暁	全	全	1	2				A群
Environmental Anthropology-E2	前	金3	D' SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2		A群
Linguistic Anthropology	前	水5	高田 明	全	全	1	2				A群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
文化人類学調査演習	後	水2	風間 計博	全	全	1	2				A群
社会人類学調査演習	後	木2	岩谷 彩子	全	全	1	2				A群
人文地理学各論I(都市)	前	火3	小方 登	全	全	1	2				A群
人文地理学各論II(村落)	前	金2	小島 泰雄	全	全	1	2				A群
人文地理学各論III(歴史地理)	前	月2	米家 泰作	全	全	1	2				A群
人文地理学各論IV(地域情報)	後	水2	小方 登	全	全	1	2				A群
人文地理学各論V(経済地理)	後	月2	水野 真彦	全	全	1	2				A群
Topics in Human Geography VI-E2(Culture and Connectivity)	後	月3	BADENOCH, Nathan	全	主2・3	1	2		E2		A群
Topics in Human Geography VII-E2(Population and Mobility)	後	木3	SINGER JANE	全	主2	1	2		E2		A群
地域地理学各論I(日本)	後	水5	山村 亜希	全	全	1	2				A群
地域地理学各論II(欧米)	前	火4	山村 亜希	全	全	1	2				A群
地域地理学各論III(アジア・アフリカ)	後	金2	小島 泰雄	全	全	1	2				A群
地理学基礎ゼミナールI(読図)	後	木2	山村 亜希	全	全	1	2				A群
地理学基礎ゼミナールII(作図)	後	木3	小島 泰雄	全	全	1	2				A群
地理学基礎ゼミナールIII(地理情報処理)	後	月5	小方 登	全	全	1	2				A群
都市空間史論	後	水1	中嶋 節子	全	全	1	2				A群
都市空間保全論	後	火5	増井 正哉	全	全	1	2				A群
景観デザイン論	前	水5	竹山 聖 他	全	全	1	2	I			B群
世界建築史	後	月3	山岸 常人	全	全	1	2	I			B群
日本建築史	後	水1	富島 義幸	全	全	1	2	I			B群
都市空間論基礎ゼミナールI	後	水3	増井 正哉	全	全	1	2				A群
都市空間論基礎ゼミナールII	後	金2	中嶋 節子	全	全	1	2				A群
イスラーム学の基礎	前	水2	長岡 慎介	全	全	1	2				A群
イスラーム経済論	前	火4	長岡 慎介	全	全	1	2				A群
イスラーム思想入門	前	金2	東長 靖	全	全	1	2				A群
朝鮮・韓国学入門	後	金3	吉井 秀夫 他	全	全	1	2				A群
南アジアの政治と社会	前	火4	中溝 和弥	全	全	1	2				A群
東南アジアの政治	前	木2	岡本 正明	全	全	1	2				A群
ラテン・アメリカ現代社会論	前	水2	村上 勇介	全	全	1	2				A群
地域研究概論:アフリカ	前	金2	金子 守恵 他	全	全	1	2				A群
Introduction to Globalization I-E2	前	火3	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2		A群
Introduction to Globalization II-E2	後	火3	LOPEZ, Mario Ivan	全	主1・2	1	2		E2		A群
Environmental Histories of South Asia-E2	後	金3	D'SOUZA, Rohan Ignatious	全	全	1	2		E2		A群
Introduction to Urban Planning-E2	前	水3	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1・2	1	2		E2		A群
Food and Globalization I-E2	前	水2	Hart Nadav FEUER	全	主1・2	1	2		E2		A群
Food and Globalization II-E2	後	水2	Hart Nadav FEUER	全	主1・2	1	2		E2		A群
法・政治・経済											
基礎											
日本国憲法	前	月5	見平 典	全	全	1	2				A群
日本国憲法	前	水1	曾我部 真裕	全	全	1	2				A群
日本国憲法	前	木3	那須 耕介	全	全	1	2				A群
日本国憲法	後	木3	那須 耕介	全	全	1	2				A群
日本国憲法	後	金3	櫻井 智章	全	全	1	2				A群
日本国憲法	後	金3	篠原 永明	全	全	1	2				A群
法学	前	月2	那須 耕介	全	全	1	2				A群
法学	前	月5	服部 高宏	全	全	1	2				A群
法学	前	火2	小畑 史子	全	全	1	2				A群
法学	前	金3	酒巻 匡	全	全	1	2				A群
法学	後	火5	宇佐美 誠	全	全	1	2				A群
法学	後	水5	小畑 史子	全	全	1	2				A群
法学	後	金3	宇佐美 誠	全	全	1	2				A群
法学	後	金4	宇佐美 誠	全	全	1	2				A群
Jurisprudence-E2	後	月4	KARATSKOS, Antonios	全	主1・2	1	2		E2		A群
Law and Culture in Japan-E2	前	月4	KARATSKOS, Antonios	全	主1・2	1	2		E2		A群
政治学I	前	火2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2				A群
政治学I	前	火5	中溝 和弥	全	全	1	2				A群
政治学I	前	木3	佐野 亘	全	全	1	2				A群
政治学I	前	金3	佐野 亘	全	全	1	2				A群
政治学II	前	月3	南 京兌	全	全	1	2				A群
政治学II	後	火2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2				A群
政治学II	後	木3	佐野 亘	全	全	1	2				A群
経済学I	前	月2	大黒 弘慈	全	全	1	2				A群
経済学I	前	月3	大黒 弘慈	全	全	1	2				A群
経済学I	前	月5	柴山 桂太	全	全	1	2				A群
経済学I	前	金3	岡田 元浩	全	全	1	2				A群
経済学I	前	金3	浅野 耕太	全	全	1	2				A群
経済学I	前	金4	浅野 耕太	全	全	1	2				A群
経済学II	後	月2	大黒 弘慈	全	全	1	2				A群
経済学II	後	月3	大黒 弘慈	全	全	1	2				A群
経済学II	後	月5	柴山 桂太	全	全	1	2				A群
経済学II	後	木3	浅野 耕太	全	全	1	2				A群
経済学II	後	金3	岡田 元浩	全	全	1	2				A群
Contemporary Economics I-E2	前	木3	Sven Rudolph	全	全	1	2		E2		A群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
Contemporary Economics I-E2	前	木4	Sven Rudolph	全	全	1	2		E2		A群
Contemporary Economics II-E2	後	木3	Sven Rudolph	全	全	1	2		E2		A群
Contemporary Economics II-E2	後	木4	Sven Rudolph	全	全	1	2		E2		A群
Introduction to Management-E2	前	火3	王 英燕	全	全	1	2		E2		A群
Introduction to Management-E2	前	水3	王 英燕	全	全	1	2		E2		A群
Contemporary Management-E2	後	火3	王 英燕	全	全	1	2		E2		A群
Contemporary Management-E2	後	水3	王 英燕	全	全	1	2		E2		A群
各論											
労働と法	前	火3	小畑 史子	全	全	1	2				A群
労働と法	後	木3	小畑 史子	全	全	1	2				A群
思想と法	後	火2	那須 耕介	全	全	1	2				A群
統治機構論	前	月4	見平 典	全	全	1	2				A群
環境と法	前	金4	宇佐美 誠	全	全	1	2				A群
環境と法	前	金5	宇佐美 誠	全	全	1	2				A群
家族と法	後	木1	木村 敦子	全	全	1	2	J			A群
国際法入門	後	水2	新井 京	全	全	1	2				A群
社会保障と法	前	月2	稲森 公嘉	全	全	1	2				A群
裁判制度入門	後	火4	佐々木 茂美	全	全	1	2				A群
民事裁判入門	後	水2	二本松 利忠	全	全	1	2				A群
刑事裁判入門	後	火2	松本 芳希	全	全	1	2				A群
Introduction to European Law-E2	前	金3	Gabriele Koziol	全	2以上	1	2	J	E2		A群
労働と法基礎ゼミナール	後	水4	小畑 史子	全	全	1	2				A群
法哲学基礎ゼミナール	後	火3	那須 耕介	全	全	1	2				A群
グローバル規範論基礎ゼミナール	後	金5	宇佐美 誠	全	全	1	2				A群
現代政治分析への招待	後	水3	待鳥 聡史	全	全	1	2	J			A群
歴史の中の政治と人間	前	水2	島田 幸典 他	全	全	1	2	J			A群
公共政策論 I	後	金3	佐野 亘	全	全	1	2	H			A群
公共政策論 II	後	金2	浅野 耕太	全	2以上	1	2	H			A群
国際政治論 I	前	月2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2				A群
国際政治論 II	後	月2	齋藤 嘉臣	全	全	1	2				A群
Japan's Political Economy-E2	前	水3	HIJINO Ken	全	主1・2	1	2		E2		A群
Japanese Politics-E2	後	木1	HIJINO Ken	全	2以上	1	2	J	E2		A群
Modern Classics in Political Science-E2	後	水3	HIJINO Ken	全	主1・2	1	2		E2		A群
公共政策論基礎ゼミナール I	後	月5	佐野 亘	全	全	1	2				A群
国際政治論基礎ゼミナール	後	月4	齋藤 嘉臣	全	全	1	2				A群
社会経済システム論 I	前	水3	柴山 桂太	全	全	1	2	H			A群
社会経済システム論 II	後	水3	柴山 桂太	全	全	1	2	H			A群
現代経済社会論 I	前	月1	佐藤 一進	全	全	1	2				A群
現代経済社会論 II	後	月1	佐藤 一進	全	全	1	2				A群
統計リテラシー	前	水4	金子 治平	全	全	1	2				A群
経済原論基礎ゼミナール	後	月5	大黒 弘慈	全	全	1	2				A群
社会・経済システム原論基礎ゼミナール	後	水5	柴山 桂太	全	全	1	2				A群
公共政策論基礎ゼミナール II	後	金3	浅野 耕太	全	全	1	2	H			A群
日本理解											
Culture and Traditions in Japan I	前	月5	パリハワダナル ルテラ	留	全	1	2				A群
Culture and Traditions in Japan II	後	火2	湯川 志貴子	留	全	1	2				A群
Current Issues in Japan I	前	水3	河合 淳子	留	全	1	2				A群
Current Issues in Japan II	前	木5	長山 浩章	留	全	1	2				A群
Current Issues in Japan II	後	木5	長山 浩章	留	全	1	2				A群
外国文献研究 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画批評を読む	前	月3	松田 英男	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画批評を読む	前	水2	松田 英男	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画批評を読む	後	月3	松田 英男	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ映画批評を読む	後	水2	松田 英男	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ小説を読む	前	火3	水野 尚之	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ小説を読む	前	火4	水野 尚之	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ小説を読む	後	火3	水野 尚之	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカ小説を読む	後	火4	水野 尚之	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカの映像文化	前	火3	木下 千花	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカの映像文化	後	火3	木下 千花	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカン・ゴシックを読む	前	月1	水野 眞理	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカン・ゴシックを読む	前	月2	水野 眞理	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカン・ゴシックを読む	後	月1	水野 眞理	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:アメリカン・ゴシックを読む	後	月2	水野 眞理	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説に見る人間と科学	前	水4	廣野 由美子	全	2以上	1	2		E1		C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説に見る人間と科学	後	水4	廣野 由美子	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説の諸相	前	月5	小島 基洋	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説の諸相	前	金4	小島 基洋	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説の諸相	後	月5	小島 基洋	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス小説の諸相	後	金4	小島 基洋	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス諸島探訪 - 文化と言語の多様性、日本へのまなざし	前	木1	池田 寛子	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス諸島探訪 - 文化と言語の多様性、日本へのまなざし	前	木2	池田 寛子	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス諸島探訪 - 文化と言語の多様性、日本へのまなざし	後	木1	池田 寛子	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリス諸島探訪 - 文化と言語の多様性、日本へのまなざし	後	木2	池田 寛子	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリスの言語文化と社会	前	木5	壇辻 正剛	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:イギリスの言語文化と社会	後	木5	壇辻 正剛	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:映画になったシェイクスピア	前	木2	桑山 智成	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:映画になったシェイクスピア	後	木3	桑山 智成	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:映画になったシェイクスピア	後	木2	桑山 智成	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	前	火1	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	前	水3	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	後	火1	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:英語で読む聖書とその解釈(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)	後	水3	勝又 直也	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:英詩講読 - 詩的表現の特質と英語のリズム	前	金5	桂山 康司	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:英詩講読 - 詩的表現の特質と英語のリズム	後	金5	桂山 康司	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:外国語学習を考える	前	月2	中森 誉之	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:シェイクスピアのソネット講読	前	金3	高谷 修	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:シェイクスピアのソネット講読	後	金3	高谷 修	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:自然言語と情報学	前	金3	南條 浩輝	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:自然言語と情報学	後	金3	南條 浩輝	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	前	月4	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	前	月5	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	後	月4	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:社会言語学入門	後	月5	谷口 一美	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:人間言語の誕生を科学する	前	火2	藤田 耕司	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:人間言語の誕生を科学する	前	木3	藤田 耕司	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:人間言語の誕生を科学する	後	火2	藤田 耕司	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:人間言語の誕生を科学する	後	木3	藤田 耕司	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:米国の元国防長官が語る核兵器と核軍縮の歴史	前	木3	土屋 由香	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:米国の元国防長官が語る核兵器と核軍縮の歴史	後	木3	土屋 由香	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(全・英)-E1:コンピュータが読む英語	前	木5	森 信介	全	2以上	1	2		E1		C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
外国文献研究(全・英)-E1:コンピュータが読む英語	後	木5	森 信介	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	月5	高嶋 航	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	火2	金澤 周作	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	火3	赤松 明彦	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	火4	海田 大輔	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	水4	佐々木 徹	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	金2	落合 恵美子	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) A-E1	前	金3	千田 俊太郎	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	月5	小野澤 透	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	火2	金澤 周作	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	火3	Klebanov Andrey	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	水4	佐々木 徹	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	木2	杉山 卓史	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	金2	田中 紀行	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(文・英) B-E1	後	金3	吉田 豊	文	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(教育・英) I-E1	前	水2	森口 佑介	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(教育・英) I-E1	前	水3	Jeremy Rappleye	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(教育・英) II-E1	後	月4	Emmanuel MANALO	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(教育・英) II-E1	後	水4	VAN STEENPAAL, Niels	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	月1	南 京兌	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	月4	船越 資晶	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	火5	須田 守	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	火5	山下 徹哉	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	水2	鈴木 秀光	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	水5	高橋 陽一	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	木1	高谷 知佳	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) I-E1	前	金5	長野 史寛	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	月1	南 京兌	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	火3	高谷 知佳	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	火4	和田 勝行	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	水2	秋月 謙吾	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	水5	高橋 陽一	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	金1	木村 敦子	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	金3	稲森 公嘉	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献講読(法・英) II-E1	後	金4	西内 康人	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	火5	重田 雄樹	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	水2	COLPAN, Meziyet Asli	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	水3	重田 雄樹	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	水3	南 聡一郎	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	木1	草野 真樹	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	木2	南 聡一郎	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	木3	関口 倫紀	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	木3	遊喜 一洋	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	金3	Sven Rudolph	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) A-E1	前	金4	Sven Rudolph	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	月3	島本 哲朗	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	火3	重田 雄樹	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	水3	重田 雄樹	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	水3	南 聡一郎	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	木2	重田 雄樹	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	木2	南 聡一郎	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	木3	南 聡一郎	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	金2	小島 専孝	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	金3	Sven Rudolph	全	2以上	1	2		E1		C群
外国文献研究(経・英) B-E1	後	金4	Sven Rudolph	全	2以上	1	2		E1		C群
自然科学科目群											
数学											
基礎											
微分積分学(講義・演義) A	前	クラス指定時間割参照		理	主1	2	3			クラス指定科目	B群
Calculus with Exercises A	前	火2・水2	Karel SVADLENKA	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)「微分積分学A」、「微分積分学(講義・演義)A」と同一授業	B群
微分積分学A	前	火3・火4	久保 雅義	理	主1	2	4			クラス指定科目	B群
微分積分学(講義・演義) B	後	クラス指定時間割参照		理	主1	2	3			クラス指定科目	B群
Calculus with Exercises B	後	火2・水2	Karel SVADLENKA	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)「微分積分学B」、「微分積分学(講義・演義)B」と同一授業	B群
微分積分学B	後	火3・水2	久保 雅義	理	主1	2	4			クラス指定科目	B群
線形代数学(講義・演義) A	前	クラス指定時間割参照		理	主1	2	3			クラス指定科目	B群
Linear Algebra with Exercises A	前	月3・火2	COLLINS, Benoit Vincent Pierre	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)「線形代数学A」、「線形代数学(講義・演義)A」と同一授業	B群
線形代数学A	前	水3	中村 佳正	理	主1	1	2			クラス指定科目	B群
線形代数学(講義・演義) B	後	クラス指定時間割参照		理	主1	2	3			クラス指定科目	B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
Linear Algebra with Exercises B	後	月3・火2	IP, Ivan Chi-Ho	理	主1	2	3			[International Course]クラス指定科目 (自由選択科目を兼ねる) 「線形代数学B」、「線形代数学(講義・演義)B」と同一授業	B群
線形代数学B	後	水3	中村 佳正	理	主1	1	2			クラス指定科目	B群
自然現象と数学	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目	B群
Mathematical Description of Natural Phenomena	前	火3	CHANG, Kai-Chun	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「自然現象と数学」と同一授業	B群
数学探訪I	前	月1	宍倉 光広	全	主1・2	1	2				B群
数学探訪II	前	水2	上 正明	全	主1・2	1	2				B群
数学探訪III	後	水2	山口 孝男	全	主1・2	1	2				B群
数学探訪IV	後	月5	梅田 亨	全	主1・2	1	2				B群
Quest for Mathematics V-E2	前	火2	CHEN, I-Kun	文	主1・2	1	2		E2		B群
Quest for Mathematics VI-E2	前	木4	TAN, Fucheng	全	主2以上	1	2		E2		B群
Quest for Mathematics VI-E2	後	木4	TAN, Fucheng	全	全	1	2		E2		B群
数学基礎A [文系]	前	クラス	指定時間割参照	文	主1	2	4			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
数学基礎B [文系]	後	クラス	指定時間割参照	文	主1	2	4			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
発展											
微分積分学続論Iーベクトル解析	前	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Advanced Calculus I-Vector Calculus	前	水5	QURESHI, Ali Gul	理	2以上	1	2			[International Course]クラス指定科目 「微分積分学続論Iーベクトル解析」と同一授業	B群
微分積分学続論IIー微分方程式	前	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
微分積分学続論IIー微分方程式	後	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
微分積分学続論IIー微分方程式 [再履修]	前	月5	岡井 孝行	理	全	1	2				B群
Advanced Calculus II-Differential Equations	後	水5	QURESHI, Ali Gul	理	2以上	1	2			[International Course]クラス指定科目 「微分積分学続論IIー微分方程式」と同一授業	B群
線形代数学続論	前	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Advanced Linear Algebra	前	金2	CHANG, Kai-Chun	理	2以上	1	2			[International Course]クラス指定科目 「線形代数学続論」と同一授業	B群
Advanced Linear Algebra-E2	後	火3	CHEN, I-Kun	理	主2	1	2		E2		B群
確率論基礎	前	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
関数論	前	火2	萩原 朋道 他	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
関数論	後	火2	日野 正訓	理	主2	1	2				B群
関数論	後	木3	木坂 正史	理	主2	1	2				B群
関数論	後	金2	吉川 謙一	理	主2	1	2				B群
Function Theory of a Complex Variable-E2	前	木2	CHEN, I-Kun	理	主2	1	2		E2		B群
非線型数学	後	木2	國府 寛司 他	理	主2	1	2				B群
Nonlinear Mathematics-E2	後	木2	CHEN, I-Kun	理	主2	1	2		E2		B群
非線型数学セミナー	後	月5	國府 寛司 他	理	主2	1	2				B群
非線型数学セミナー	後	金4	坂上 貴之 他	理	主2	1	2				B群
数値計算の基礎	前	金4	磯 祐介 他	理	主2	1	2				B群
対称性の数理II	前	木5	加藤 周	理	主2	1	2				B群
Honors Mathematics A-E2	後	月3	塩田 隆比呂	理	主1	1	2		E2		B群
Honors Mathematics B-E2	前	水4	COLLINS, Benoit Vincent Pierre	理	主2	1	2		E2		B群
現代の数学と数理解析ー基礎概念とその諸科学への広がり	前	金5	小澤 登高 他	理	全	1	2				B群
数理論理学A	前	火2	櫻川 貴司	全	主2	1	2				B群
数理論理学B	後	火2	立木 秀樹	全	主2	1	2				B群
統計											
基礎											
統計入門	前	クラス	指定時間割参照	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
統計入門	後	クラス	指定時間割参照	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
統計入門	前	火1	神谷 之康	全	全	1	2				B群
Introductory Statistics-E2	前	木3	ALTMANN Christian	全	全	1	2		E2		B群
数理統計	後	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Applied Statistics	後	月3	青谷 正安	全	全	1	2				B群
物理学											
基礎											
物理学基礎論A	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目	B群
Fundamental Physics A	前	木4	QURESHI, Ali Gul	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「物理学基礎論A」と同一授業	B群
Fundamental Physics A-E2	前	木2	OKEYO, Kennedy Omond	理	主1	1	2		E2		B群
物理学基礎論B	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目	B群
Fundamental Physics B	後	木4	QURESHI, Ali Gul	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目 「物理学基礎論B」と同一授業	B群
Fundamental Physics B-E2	後	木3	DE ZOYSA, Menaka	理	主1	1	2		E2		B群
物理学実験	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
物理学実験	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Elementary Experimental Physics-E2	後	水3・水4	WENDELL, Roger 他	理	主1	2	2		E2	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
熱力学	前	火2	阪上 雅昭	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
熱力学	前	月2	森成 隆夫	理	主1	1	2				B群
熱力学	前	月3	川那辺 洋	理	主1	1	2				B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
熱力学	前	火1	市川 正敏	理	主1	1	2				B群
熱力学	前	水1	山本 潤	理	主1	1	2				B群
熱力学	前	水3	佐々 真一	理	主1	1	2				B群
熱力学	後	火1	高井 茂臣	理	主1	1	2				B群
熱力学	後	火4	森成 隆夫	理	主1	1	2				B群
熱力学	後	水2	柏谷 悦章	理	主1	1	2				B群
熱力学	後	木3	木下 俊哉	理	主1	1	2				B群
Thermodynamics	後	金2	KHAYYER, Abbas	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目「熱力学」と同一授業	B群
初修物理学A	前	月1	蓮尾 昌裕	理	主1	1	2				B群
初修物理学A	前	月3	手塚 哲央	理	主1	1	2				B群
Elementary Course of Physics A-E2	前	月3	PETERS, Robert	理	主1	1	2		E2	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
初修物理学B	後	月4	奥村 英之 他	理	主1	1	2				B群
力学統論	後	クラス	指定時間割参照	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
力学統論	後	月3	池田 隆介	理	主1・2	1	2				B群
力学統論	後	月5	細川 隆史	理	主1・2	1	2				B群
力学統論	後	火2	森成 隆夫	理	主1・2	1	2				B群
力学統論	後	水4	窪 秀利	理	主1・2	1	2				B群
力学統論	後	水5	阪上 雅昭	理	主1・2	1	2				B群
Advanced Dynamics	後	火3	KIM, SUNMIN	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目「力学統論」と同一授業	B群
振動・波動論	前	金2	吉田 鉄平	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
振動・波動論	前	月3	森成 隆夫	理	主2	1	2				B群
振動・波動論	前	火2	椎名 毅	理	主2	1	2				B群
振動・波動論	前	火5	引原 隆士 他	理	主2	1	2				B群
振動・波動論	前	水2	高西 陽一	理	主2	1	2				B群
振動・波動論	前	金2	森成 隆夫	理	主2	1	2				B群
振動・波動論	後	月2	吉田 鉄平	理	主2	1	2				B群
振動・波動論	後	火2	木下 勝之	理	主2	1	2				B群
Physics of Wave and Oscillation	前	木4	KIM, SUNMIN	理	主2	1	2			[International Course]クラス指定科目「振動・波動論」と同一授業	B群
電磁気学統論	前	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Advanced Course of Electromagnetism-E2	前	月3	BEAUCAMP, Anthony Tadeus Herve	理	主2	1	2		E2		B群
物理学概論A	前	水3	阪上 雅昭	文	主1	1	2				B群
A Guide to Modern Physics A-E2	前	月3	WENDELL, Roger	全	主1	1	2		E2		B群
物理学概論B	後	水3	阪上 雅昭	文	主1	1	2				B群
みんなの物理I	前	火3	舟橋 春彦	文	全	1	2				B群
みんなの物理II	後	火3	舟橋 春彦	文	全	1	2				B群
Physics for All-E2	後	火3	OKEYO, Kennedy Omondi	全	主1	1	2		E2		B群
Introduction to Modern Optics-E2	前	月4	BEAUCAMP, Anthony Tadeus Herve	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Light Control-E2	前	木2	DE ZOYSA, Menaka	理	主2	1	2		E2		B群
発展											
統計物理学	後	水1	掛谷 一弘	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
統計物理学	後	月4	森成 隆夫	理	主1・2	1	2				B群
Introduction to Statistical Physics-E2	後	月2	PETERS, Robert	理	主1・2	1	2		E2		B群
特殊相対論	後	水2	阪上 雅昭	理	主2	1	2				B群
Theory of Special Relativity-E2	後	水2	Antonio De Felice	全	主1・2	1	2		E2		B群
解析力学	前	木4	成木 恵	理	主2	1	2				B群
Analytic Dynamics-E2	前	火2	PETERS, Robert	理	主2	1	2		E2		B群
量子物理学	後	月3	中家 剛	理	主2	1	2				B群
やわらかな物理学ー物質と生命の本質を探る	後	木5	山本 潤 他	理	主1	1	2				B群
現代の素粒子像	後	金5	中家 剛 他	理	主1	1	2				B群
現代物理学実験	前集	集中	永江 知文 他	理	2以上	2	2				B群
先進エネルギー変換	後	水3	石山 拓二 他	全	主1	1	2				B群
低温科学A	前	木4	石田 憲二 他	全	全	1	2				B群
低温科学B	後	金5	吉村 一良 他	全	全	1	2				B群
生命・食料・環境と物理学	後	木3	小川 雄一	全	主1・2	1	2				B群
プラズマ科学入門	後	水4	岸本 泰明 他	全	主1	1	2				B群
防災学概論	後	月1	牧 紀男 他	全	全	1	2				B群
Introduction to Cosmology-E2	前	水2	Antonio De Felice	全	主1・2	1	2		E2		B群
Modern Physics	前	月3	青谷 正安	理	全	1	2				B群
化学											
基礎											
基礎物理化学要論	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目	B群
基礎物理化学要論	前	月5	片平 正人 他	理	主1	1	2				B群
基礎物理化学要論	後	金4	馬場 正昭	理	主1	1	2				B群
Essentials of Basic Physical Chemistry-E2	前	月2	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
基礎物理化学(熱力学)	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎物理化学(熱力学)	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎物理化学(熱力学)	前	水2	柏谷 悦章	理	主1	1	2				B群
基礎物理化学(熱力学)	後	木3	梶井 克純	理	主1	1	2				B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	前	月3	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	後	木3	PARK, Jaehong	理	主1・2	1	2		E2		B群
基礎物理化学 (量子論)	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎物理化学 (量子論)	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎物理化学 (量子論)	前	木3	梶井 克純	理	主1	1	2				B群
基礎物理化学 (量子論)	後	火5	萩原 理加 他	理	主1	1	2				B群
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	前	火3	PARK, Jaehong	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	後	月2	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
基礎有機化学 I	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎有機化学 I	前	月5	藤田 健一	理	主1	1	2				B群
基礎有機化学 I	後	水5	小松 直樹	理	主1	1	2				B群
Basic Organic Chemistry I-E2	前	火5	Amelie Perron	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Organic Chemistry I-E2	前	木2	Juha Lintuluoto	理	主1	1	2		E2		B群
基礎有機化学II	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎有機化学II	前	水5	小松 直樹	理	主2	1	2				B群
基礎有機化学II	後	月5	齊藤 尚平	理	主1・2	1	2				B群
Basic Organic Chemistry II-E2	後	火5	Amelie Perron	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Organic Chemistry II-E2	後	木2	Juha Lintuluoto	理	主1	1	2		E2		B群
基礎化学実験	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎化学実験	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Fundamental Chemical Experiments-E2	前	水3・水4	Cedric Tassel 他	理	主1	2	2		E2		B群
Fundamental Chemical Experiments-E2	後	水3・水4	Juha Lintuluoto 他	理	主1	2	2		E2		B群
化学概論 I	前	金5	加藤 立久	文	主1	1	2				B群
化学概論II	後	金5	加藤 立久	文	主1	1	2				B群
文系向の基礎化学 I	前	木5	馬場 正昭	文	主1	1	2				B群
文系向の基礎化学II	後	木5	馬場 正昭	文	主1	1	2				B群
自然と環境の化学	後	水5	杉山 雅人	文	主1	1	2				B群
生活と環境の化学	前	水5	杉山 雅人	文	主1	1	2				B群
Everyday Life Chemistry-E2	後	木4	Amelie Perron	全	主1・2	1	2		E2		B群
化学のフロンティア I	前	木5	小野 輝男 他	理	主1・2	1	2				B群
化学のフロンティアII	後	木5	前里 光彦 他	理	主1・2	1	2				B群
Chemistry of Sustainable Energy-E2	後	月3	ARIVAZHAGAN RAJENDRAN	理	全	1	2		E2		B群
Theoretical Chemistry I-E2:from interactions to ensembles	前	水4	山本 量一 他	理	主1・2	1	2		E2		B群
Theoretical Chemistry II-E2:from interactions to ensembles	後	水4	ROYALL, Christopher	理	主1・2	1	2		E2		B群
Revisiting Basic Organic Chemistry I-E2	後	木4	LANDENBERGER, Kira Beth	理	主2	1	2		E2		B群
Revisiting Basic Organic Chemistry II-E2	前	木4	LANDENBERGER, Kira Beth	理	主2	1	2		E2		B群
Equilibrium and Energy-E2:A Macroscopic Perspective of Chemistry	前	月3	THUERMER, Stephan	理	主1・2	1	2		E2		B群
発展											
有機化学演習A	前	水5	田村 類	理	主1・2	1	2				B群
有機化学演習B	後	水5	田村 類	理	主1・2	1	2				B群
無機化学入門A	前	月2	田部 勢津久	理	主2	1	2				B群
無機化学入門A	前	金2	内本 喜晴	理	主2	1	2				B群
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	前	火3	Cedric Tassel	理	主1・2	1	2		E2		B群
無機化学入門B	後	月2	田部 勢津久	理	主2	1	2				B群
無機化学入門B	後	金2	内本 喜晴	理	主2	1	2				B群
Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	後	火3	Cedric Tassel	理	主1・2	1	2		E2		B群
探究型化学課題演習III-有機化合物の化学 I	後	水3・水4	藤田 健一 他	理	主2	2	2			後期前半科目(10月~11月中旬に実施)	B群
探究型化学課題演習III-有機化合物の化学 II	後	水3・水4	藤田 健一 他	理	主2	2	2			後期後半科目(11月中旬~1月に実施)	B群
理論化学入門 I	前	金4	谷村 吉隆	理	主1・2	1	2				B群
理論化学入門II	後	金4	谷村 吉隆	理	主1・2	1	2				B群
生命の有機化学	前	木3	上杉 志成 他	理	1・2	1	2				B群
Organic Chemistry of Life-E2	前	木4	Amelie Perron	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Surface Chemistry-E2	後	月3	THUERMER, Stephan	理	主2	1	2		E2		B群
Photo-Energy Conversion-E2	前	火4	PARK, Jaehong	理	主1	1	2		E2		B群
Chemical Kinetics or Molecular Reaction Dynamics-E2	後	木4	PARK, Jaehong	理	主1	1	2		E2		B群
生物学											
総論											
生物・生命科学入門	前	クラス	指定時間割参照	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
個体と集団の基礎生物学	後	クラス	指定時間割参照	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
細胞と分子の基礎生物学	前	火2	吉村 成弘	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
細胞と分子の基礎生物学	後	クラス	指定時間割参照	全	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
生物学のフロンティア	前	火4	高橋 淑子 他	全	主1・2	1	2				B群
生物学実習 I [基礎コース]	前	月3・月4	瀬戸口 浩彰	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習 I [基礎コース]	前	木3	加藤 真	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習 I [基礎コース]	前	金3・金4	宮下 英明	全	主1・2	2	2				B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
生物学実習Ⅰ〔基礎コース〕	後	月3・月4	土屋 徹	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習Ⅰ〔基礎コース〕	後	木3・木4	西川 完途	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習Ⅰ〔基礎コース〕	後	金3・金4	市岡 孝朗	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習Ⅱ〔自然史コース〕	前	水3・水4	市岡 孝朗 他	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習Ⅱ〔自然史コース〕	後	水3・水4	西川 完途 他	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習Ⅲ〔細胞と分子生物学コース〕	前	月3・月4	富下 英明 他	全	主1・2	2	2				B群
生物学実習Ⅲ〔細胞と分子生物学コース〕	後	月3・月4	土屋 徹 他	全	主1・2	2	2				B群
各論											
生物自然史Ⅰ	前	木1	加藤 真	全	主1・2	1	2				B群
生物自然史Ⅱ	後	木1	加藤 真	全	主1・2	1	2				B群
真菌自然史Ⅰ	前	水2	大園 享司	全	主1・2	1	2				B群
真菌自然史Ⅱ	前	水3	大園 享司	全	主1・2	1	2				B群
動物自然史Ⅰ	前	月2	西川 完途	全	主1・2	1	2				B群
植物自然史Ⅰ	前	金1	瀬戸口 浩彰	全	主1・2	1	2				B群
植物自然史Ⅱ	後	月1	瀬戸口 浩彰	全	主1・2	1	2				B群
植物自然史Ⅲ	前	月1	田村 実 他	理	主1・2	1	2				B群
自然人類学Ⅰ	前	水2	中村 美知夫	全	主1・2	1	2				B群
自然人類学Ⅱ	後	水2	中務 真人 他	全	主1・2	1	2				B群
行動生態学入門	前	水1	市岡 孝朗	全	主1・2	1	2				B群
藻類学概論	後	水2	富下 英明	全	主1・2	1	2				B群
温度生物学概論	後	火2	梅田 眞郷	全	主1・2	1	2				B群
野生動物学入門	前	木3	杉浦 秀樹 他	全	主1・2	1	2				B群
博物誌学	前	月3	永益 英敏	全	主1・2	1	2				B群
「生命の進化」概論	前	火1	土屋 徹	全	主1・2	1	2				B群
霊長類学入門Ⅰ	前	木4	友永 雅己 他	全	主1・2	1	2				B群
霊長類学入門Ⅱ	後	木4	古賀 章彦 他	全	主1・2	1	2				B群
Comparative Cognition-E2	後	金3	Andrew MacIntosh	理	全	1	2		E2		B群
Conservation Biology-E2	前	金4	Andrew MacIntosh	理	全	1	2		E2		B群
Animal Behavior-E2	前	金3	Andrew MacIntosh	理	全	1	2		E2		B群
Zoo Biology-E2	前集	集中	Andrew MacIntosh	理	全	1	2		E2		B群
生物物理学入門	前	月5	高田 彰二 他	理	主1・2	1	2				B群
生化学入門	前	火5	吉村 成弘 他	理	主1・2	1	2				B群
地球規模の諸問題と科学技術について考える	後	木5	SIVANIAH, Easan 他	全	主1	1	2				B群
植物科学のフロンティア	前	月3	鹿内 利治 他	全	主1・2	1	2				B群
遺伝学概論	後	火3	田尾 龍太郎	全	主1・2	1	2				B群
Principles of Genetics-E2	前	火2	Shohab YOUSSEF IAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
分子遺伝学	後	火4	山田 正之	理	主1・2	1	2				B群
先端生命科学を支える技術Ⅰ	前	水5	千坂 修	全	主1・2	1	2				B群
先端生命科学を支える技術Ⅱ	後	水5	千坂 修	全	主1・2	1	2				B群
からだの仕組みと働き	前	月2	石原 昭彦	全	全	1	2				B群
からだの仕組みと働き	後	月2	石原 昭彦	全	全	1	2				B群
Introduction to Genetics and Evolution-E2	後	月3	HEJNA, James	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Biology-E2	前	月3	HEJNA, James	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Genetic Engineering-E2	後	水2	HEJNA, James	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Biochemistry-E2	後	火2	Shohab YOUSSEF IAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Biochemistry-E2	後	火2	Marco, Marques Candeias	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Biochemistry-E2	後	火3	Shohab YOUSSEF IAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Biochemistry-E2	後	火3	Marco, Marques Candeias	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Molecular Biotechnology-E2	前	火3	Shohab YOUSSEF IAN	理	主1・2	1	2		E2		B群
神経科学の基礎	前	木4	水原 啓暁	全	主1・2	1	2				B群
神経生理学の基礎－生体情報論－	後	月3	細川 浩	全	主1・2	1	2	H			B群
生命と情報	前	月3	細川 浩	全	主1・2	1	2				B群
脳科学入門	前	月4	小村 豊	全	主1・2	1	2				B群
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	前	金5	ALTMANN Christian	全	全	1	2		E2		B群
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	後	金5	ALTMANN Christian	全	全	1	2		E2		B群
Fundamentals of Neuroscience-E2	前	月5	ZENAS C. CHAO	全	全	1	2		E2		B群
Introduction to Human Physiology-E2	後	月5	ZENAS C. CHAO	全	全	1	2		E2		B群
細胞生理学ゼミA	前	月1	石原 昭彦	全	主1・2	1	2	H			B群
細胞生理学ゼミB	後	月1	石原 昭彦	全	主1・2	1	2	H			B群
Chromosome Biology-E2	前	火5	CARLTON, Peter	全	主1・2	1	2		E2		B群
Practical Computing for Biologists-E2	後	火5	CARLTON, Peter	理	主1・2	1	2		E2		B群
Basic Plant Science-E2	前	月2	Garry John PILLER	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introductory Plant Ecology-E2	前	水3	Garry John PILLER	理	主1・2	1	2		E2		B群
Principles of Horticulture-E2	後	水3	Garry John PILLER	理	主1・2	1	2		E2		B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
Introduction to Ecology-E2	前	月2	BARNETT, Craig Antony	全	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Evolution-E2	後	月2	BARNETT, Craig Antony	全	主1・2	1	2		E2		B群
Animal Reproduction-E2	前	火2	GOEL, Sandeep	理	主1	1	2		E2		B群
Molecular and Cell Biology of Reproduction-E2	後	水2	GOEL, Sandeep	理	主2	1	2		E2		B群
地球科学											
基礎											
基礎地球科学A (地球システムの構造と挙動)	前	金1	石川 尚人	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎地球科学A (宇宙誕生から現在まで)	前	金1	酒井 敏	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Introduction to Earth Science A	前	金2	FLORES Giancarlo	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目「基礎地球科学A」と同一科目	B群
基礎地球科学B (地球システムの変動と変遷)	後	金1	石川 尚人	理	主1	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
基礎地球科学B (現在の地球環境の仕組み)	後	金1	酒井 敏	理	主1・2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Introduction to Earth Science B-E2	後	水1	ZWINGMANN, Horst Friedrich August	理	主1・2	1	2		E2		B群
地球科学実験	前	火3・火4	石川 尚人 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
地球科学実験	後	金3・金4	石川 尚人 他	理	主1	2	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
地球科学入門-ダイナミクス	前	火5	鎌田 浩毅	文	全	1	2				B群
地球科学入門-ダイナミクス	後	金5	鎌田 浩毅	文	全	1	2				B群
地球の営みⅠ-環境変動	前	月5	石川 尚人	文	全	1	2				B群
How the Earth Works I-E2:Environmental Change	前	木4	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	全	1	2		E2		B群
地球の営みⅡ-地球史	後	月5	小木曾 哲	文	全	1	2				B群
How the Earth Works II-E2:Earth's History	後	月5	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	全	1	2		E2		B群
宇宙科学入門	前	水4	長田 哲也 他	全	全	1	2				B群
宇宙科学入門	前	水5	長田 哲也 他	全	全	1	2				B群
宇宙科学入門	後	水4	長田 哲也 他	全	全	1	2				B群
宇宙科学入門	後	水5	長田 哲也 他	全	全	1	2				B群
Introduction to General Astronomy-E2	前	水4	LEE, Shiu Hang	理	全	1	2		E2		B群
水と緑と土の科学	前	金3	村上 章 他	全	主1・2	1	2				B群
水と緑と土の科学	後	木4	中北 英一 他	全	主1・2	1	2				B群
Science on Water, Soil and Ecosystems-E2	後	水4	VILAYVONG, Khonesavanh	理	主1・2	1	2		E2		B群
地球の物理	前	木5	秋友 和典 他	全	全	1	2				B群
地球の誕生と進化	後	火5	酒井 治孝 他	全	全	1	2				B群
天体観測実習	前集	集中	野上 大作 他	全	全	2	2				B群
発展											
フィールド地球科学	前	火2	石川 尚人 他	理	2以上	1	2				B群
Field Earth Science-E2	後	水2	ZWINGMANN, Horst Friedrich August	理	2以上	1	2		E2		B群
計算地球物理学入門	前	月3	酒井 敏 他	理	2以上	1	2				B群
計算地球物理学基礎演習	前	月4	酒井 敏 他	理	2以上	1	2				B群
太陽系と地球の物質	後	木1	小本曾 哲	理	2以上	1	2				B群
地質工学入門	後	月3	林 為人 他	理	主2	1	2				B群
Introduction to Engineering Geology	後	木3	FLORES Giancarlo	理	主2	1	2			[International Course]クラス指定科目「地質工学入門」と同一科目	B群
探究型地球科学課題演習	前	金3・金4	石川 尚人 他	理	2以上	2	4				B群
Advanced Practice of Earth Science-E2	前集	集中	ZWINGMANN, Horst Friedrich August	理	主2	2	4		E2		B群
Introduction to Hydrology-E2	前	火4	Sameh Kantoush	理	主1・2	1	2		E2		B群
Introduction to Mineral Resources-E2	後	木2	MCLELLAN, Benjamin	理	主1・2	1	2		E2		B群
図学											
図学A	前	クラス指定時間割参照		全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
図学A	前	木1	増井 正哉	全	全	1	2				B群
図学A	前	金1	中嶋 節子	全	全	1	2				B群
図学B	後	水4	中嶋 節子	全	全	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
図学B	後	木1	増井 正哉	全	全	1	2				B群
外国語科目群											
英語											
英語II A単位未修得者クラス E2S01	前	火4	桂山 康司	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2S02	前	水2	水野 尚之	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2S03	前	木1	水野 眞理	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2S04	前	金1	高谷 修	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2C01	前集	集中	田野野 彰	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2C02	前集	集中	高橋 幸	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2C03	前集	集中	DALSKY, David Jerome	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II A単位未修得者クラス E2C04	前集	集中	笹尾 洋介	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語II B単位未修得者クラス E2S51	後	火4	桂山 康司	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2S52	後	水2	水野 尚之	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2S53	後	木1	水野 眞理	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2S54	後	金1	高谷 修	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2C51	後集	集中	田地野 彰	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2C52	後集	集中	STEWART, Timothy William	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2C53	後集	集中	金丸 敏幸	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語II B単位未修得者クラス E2C54	後集	集中	笹尾 洋介	全	2以上	1	1			平成27年度以前入学者対象	C群
英語リーディング ER01	前	水2	廣野 由美子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER02	前	水2	桑山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER03	前	水2	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER04	前	木2	水野 眞理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER05	前	木2	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER06	前	木2	山口 美知代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER07	前	月4	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER08	前	月4	木下 由紀子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER09	前	月4	江藤 あさじ	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER10	前	金2	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER11	前	金2	土屋 由香	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER12	前	火4	廣野 由美子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER13	前	火4	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER14	前	火4	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER15	前	火4	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER16	前	月2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER17	前	月2	松田 英男	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER18	前	月2	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER19	前	月2	伊藤 聡子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER20	前	木3	高谷 修	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER21	前	木3	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER22	前	木3	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER23	前	金1	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER24	前	金1	土屋 由香	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER25	前	金1	喜多野 裕子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER26	前	木2	藤田 耕司	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER27	前	木2	高谷 修	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER28	前	木2	土屋 由香	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER29	前	木2	神澤 克徳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER30	前	月1	松田 英男	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER31	前	月1	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER32	前	月1	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER33	前	月1	伊藤 聡子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER34	前	水3	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER35	前	水2	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER36	前	水1	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER37	前	水2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER38	前	水1	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER39	前	火3	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER40	前	水2	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER41	前	水1	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER42	前	火2	桑山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER43	前	火2	桂山 康司	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER44	前	火1	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER45	前	火1	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER46	前	火2	廣野 由美子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER47	前	火1	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER48	前	金2	池田 寛子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER49	前	金2	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER50	前	金2	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER51	前	金1	水野 尚之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER52	前	金1	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER53	前	金1	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER54	前	金2	村上 裕美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER55	前	金2	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER56	前	金1	村上 裕美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER57	前	金1	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER58	前	火2	中森 誉之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER59	前	火2	久保 豊	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER60	前	火2	好井 千代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER61	前	火1	久保 豊	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER62	前	火1	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER63	前	火1	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER64	前	金2	増田 将伸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER65	前	金1	増田 将伸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER66	前	金4	桂山 康司	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER67	前	金4	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER68	前	金4	足達 賀代子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER69	前	金4	佐野 仁志	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER70	前	金4	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER71	前	金4	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語リーディング ER72	前	金4	布施 将夫	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER73	前	金4	南條 浩輝	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング単位未修得者クラス ESR01	前	火5	藤田 耕司	全	2以上	1	2				C群
英語リーディング単位未修得者クラス ESR02	前	水5	桑山 智成	全	2以上	1	2				C群
英語リーディング単位未修得者クラス ESR03	前	金5	池田 寛子	全	2以上	1	2				C群
英語リーディング ER01	後	水2	服部 典之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER02	後	水2	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER03	後	水2	廣野 由美子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER04	後	木2	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER05	後	木2	山口 美知代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER06	後	木2	水野 眞理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER07	後	月4	木下 由紀子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER08	後	月4	江藤 あさじ	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER09	後	月4	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER10	後	金2	土屋 由香	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER11	後	金2	小島 基洋	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER12	後	火4	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER13	後	火4	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER14	後	火4	塩谷 直史	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER15	後	火4	廣野 由美子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER16	後	月2	松田 英男	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER17	後	月2	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER18	後	月2	伊藤 聡子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER19	後	月2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER20	後	木3	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER21	後	木3	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER22	後	木3	高谷 修	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER23	後	金1	土屋 由香	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER24	後	金1	喜多野 裕子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER25	後	金1	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER26	後	木2	高谷 修	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER27	後	木2	土屋 由香	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER28	後	木2	神澤 克徳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER29	後	木2	藤田 耕司	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER30	後	月1	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER31	後	月1	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER32	後	月1	伊藤 聡子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER33	後	月1	松田 英男	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER34	後	水3	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER35	後	水2	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER36	後	水1	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER37	後	水2	谷口 一美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER38	後	水1	國友 万裕	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER39	後	火3	前田 祐子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER40	後	水2	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER41	後	水1	勝又 直也	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER42	後	火2	桂山 康司	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER43	後	火2	廣野 由美子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER44	後	火1	好井 千代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER45	後	火1	PETERSON, Mark	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER46	後	火2	桑山 智成	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER47	後	火1	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER48	後	金2	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER49	後	金2	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER50	後	金2	池田 寛子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER51	後	金1	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER52	後	金1	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER53	後	金1	水野 尚之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER54	後	金2	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER55	後	金2	増田 将伸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER56	後	金1	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER57	後	金1	増田 将伸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER58	後	火2	久保 豊	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER59	後	火2	好井 千代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER60	後	火2	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER61	後	火1	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER62	後	火1	横山 仁視	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER63	後	火1	久保 豊	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER64	後	金2	村上 裕美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER65	後	金1	村上 裕美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER66	後	金4	木下 千花	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER67	後	金4	足達 賀代子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER68	後	金4	佐野 仁志	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER69	後	金4	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER70	後	金4	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER71	後	金4	布施 将夫	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER72	後	金4	南條 浩輝	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング ER73	後	金4	桂山 康司	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語リーディング単位未修得者クラス ESR01	後	火5	藤田 耕司	全	全	1	2				C群
英語リーディング単位未修得者クラス ESR02	後	水5	桑山 智成	全	全	1	2				C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語リーディング単位未修得者クラス ESR03	後	金5	池田 寛子	全	全	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA EW01a	前	木1	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW01b	前	木1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW02a	前	木1	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW02b	前	木1	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW03a	前	木1	神澤 克徳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW03b	前	木1	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW04a	前	月4	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW04b	前	月4	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW05a	前	月4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW05b	前	月4	STEWART, Timothy William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW06a	前	月4	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW06b	前	月4	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW07a	前	木2	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW07b	前	木2	FLORES URUSHIMA, Andrea Yuri	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW08a	前	木2	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW08b	前	木2	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW09a	前	木2	木島 菜葉子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW09b	前	木2	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW10a	前	火2	ルッケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW10b	前	火2	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW11a	前	火2	山内 啓子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW11b	前	火2	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW12a	前	月2	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW12b	前	月2	MITCHAM, Roderick Ellis	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW13a	前	月2	ルッケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW13b	前	月2	STEWART, Timothy William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW14a	前	月2	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW14b	前	月2	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW15a	前	月2	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW15b	前	月2	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW16a	前	火4	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW16b	前	火4	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW17a	前	火4	ルッケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW17b	前	火4	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW18a	前	火4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW18b	前	火4	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW19a	前	火4	三宅 あつ子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW19b	前	火4	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW20a	前	金1	相田 洋明	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW20b	前	金1	Guard, Richard Owen	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW21a	前	金1	中尾 朋子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW21b	前	金1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW22a	前	金1	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW22b	前	金1	Drayton James M	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW23a	前	木3	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW23b	前	木3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW24a	前	木3	西 美都子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW24b	前	木3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW25a	前	木3	加藤 弘嗣	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW25b	前	木3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW26a	前	月1	宮尾 万理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW26b	前	月1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW27a	前	月1	能勢 卓	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW27b	前	月1	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語ライティングーリスニングA EW28a	前	月1	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW28b	前	月1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW29a	前	月1	細越 響子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW29b	前	月1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW30a	前	木1	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW30b	前	木1	BROOKS, Gavin John	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW31a	前	木1	山口 美知代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW31b	前	木1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW32a	前	木1	西 美都子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW32b	前	木1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW33a	前	木1	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW33b	前	木1	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW34a	前	月2	宮尾 万理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW34b	前	月2	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW35a	前	月2	能勢 卓	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW35b	前	月2	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW36a	前	月2	渡邊 則子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW36b	前	月2	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW37a	前	火3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW37b	前	火3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW38a	前	火3	服部 美樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW38b	前	火3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW39a	前	水2	田地野 彰	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW39b	前	水1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW40a	前	火3	金丸 敏幸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW40b	前	火3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW41a	前	火3	山内 啓子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW41b	前	火3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW42a	前	金3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW42b	前	金3	Guard, Richard Owen	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW43a	前	金3	足達 賀代子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW43b	前	金3	Drayton James M	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW44a	前	水3	笹尾 洋介	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW44b	前	水3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW45a	前	水3	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW45b	前	水3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW46a	前	水3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW46b	前	水3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW47a	前	水3	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW47b	前	水3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW48a	前	木3	高橋 幸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW48b	前	木3	FLORES URUSHIMA, Andrea Yuri	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW49a	前	木3	富永 英夫	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW49b	前	木3	BROOKS, Gavin John	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW50a	前	木3	渡 寛法	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW50b	前	木3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW51a	前	木3	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW51b	前	木3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW52a	前	月3	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW52b	前	月3	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW53a	前	月3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW53b	前	月3	MITCHAM, Roderick Ellis	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW54a	前	月3	江藤 あさじ	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW54b	前	月3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW55a	前	月3	宮尾 万理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW55b	前	月3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW56a	前	月3	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW56b	前	月3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW57a	前	月3	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語ライティングーリスニングA EW57b	前	月3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW58a	前	金3	亀山 幸枝	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW58b	前	金3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW59a	前	金3	皆本 智美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW59b	前	金3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW60a	前	金3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW60b	前	金3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW61a	前	金3	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW61b	前	金3	KOLF, David Edward	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW62a	前	金3	中尾 朋子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW62b	前	金3	JOHNSTON, Christopher	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW63a	前	金3	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW63b	前	金3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW64a	前	月3	木下 由紀子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW64b	前	月3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW65a	前	月3	細越 響子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW65b	前	月3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW66a	前	水4	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW66b	前	水4	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW67a	前	水4	ルツケル瀨本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW67b	前	水4	KOLF, David Edward	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW68a	前	水4	服部 典之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW68b	前	水4	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW69a	前	水4	服部 美樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW69b	前	水4	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW70a	前	水3	田地野 彰	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW70b	前	水3	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW71a	前	水3	ルツケル瀨本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW71b	前	水3	Guard, Richard Owen	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW72a	前	水3	服部 典之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW72b	前	水3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW73a	前	水3	服部 美樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA EW73b	前	水3	KOLF, David Edward	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングA上級 EWA01	前	月5	Schipper Sara	全	1	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA上級 EWA02	前	木5	RYLANDER, John William	全	1	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW01	前	月5	伊藤 佳世子	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW02	前	木5	高橋 幸	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB単位未修得者クラス ESW51	前	火5	金丸 敏幸	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB単位未修得者クラス ESW52	前	水5	笹尾 洋介	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB単位未修得者クラス ESW53	前	木4	笹尾 洋介	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB単位未修得者クラス ESW54	前	金5	ルツケル瀨本阿矢	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB EW01a	後	木1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW01b	後	木1	伊村 大樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW02a	後	木1	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW02b	後	木1	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW03a	後	木1	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW03b	後	木1	神澤 克徳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW04a	後	月4	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW04b	後	月4	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW05a	後	月4	STEWART, Timothy William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW05b	後	月4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW06a	後	月4	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW06b	後	月4	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW07a	後	木2	FLORES URUSHIMA, Andrea Yuri	全	1	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語ライティングーリスニングB EW07b	後	木2	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW08a	後	木2	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW08b	後	木2	進藤 三佳	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW09a	後	木2	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW09b	後	木2	木島 菜菜子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW10a	後	火2	DALSKY, David Jerome	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW10b	後	火2	ルツケル瀨本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW11a	後	火2	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW11b	後	火2	山内 啓子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW12a	後	月2	MITCHAM, Roderick Ellis	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW12b	後	月2	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW13a	後	月2	STEWART, Timothy William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW13b	後	月2	ルツケル瀨本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW14a	後	月2	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW14b	後	月2	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW15a	後	月2	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW15b	後	月2	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW16a	後	火4	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW16b	後	火4	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW17a	後	火4	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW17b	後	火4	ルツケル瀨本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW18a	後	火4	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW18b	後	火4	木塚 恵子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW19a	後	火4	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW19b	後	火4	三宅 あつ子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW20a	後	金1	Guard. Richard Owen	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW20b	後	金1	相田 洋明	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW21a	後	金1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW21b	後	金1	中尾 朋子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW22a	後	金1	Drayton James M	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW22b	後	金1	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW23a	後	木3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW23b	後	木3	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW24a	後	木3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW24b	後	木3	西 美都子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW25a	後	木3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW25b	後	木3	加藤 弘嗣	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW26a	後	月1	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW26b	後	月1	宮尾 万理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW27a	後	月1	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW27b	後	月1	能勢 卓	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW28a	後	月1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW28b	後	月1	ルツケル瀨本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW29a	後	月1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW29b	後	月1	細越 響子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW30a	後	木1	BROOKS, Gavin John	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW30b	後	木1	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW31a	後	木1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW31b	後	木1	山口 美知代	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW32a	後	木1	VILLA, Kaoru Nakao	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW32b	後	木1	西 美都子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW33a	後	木1	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW33b	後	木1	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW34a	後	月2	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW34b	後	月2	宮尾 万理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW35a	後	月2	Bradford-Watts, Kim	全	1	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語ライティングーリスニングB EW35b	後	月2	能勢 卓	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW36a	後	月2	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW36b	後	月2	渡邊 則子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW37a	後	火3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW37b	後	火3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW38a	後	火3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW38b	後	火3	服部 美樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW39a	後	水1	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW39b	後	水2	田地野 彰	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW40a	後	火3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW40b	後	火3	金丸 敏幸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW41a	後	火3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW41b	後	火3	山内 啓子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW42a	後	水3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW42b	後	水3	笹尾 洋介	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW43a	後	水3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW43b	後	水3	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW44a	後	金3	Guard, Richard Owen	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW44b	後	金3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW45a	後	金3	Drayton James M	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW45b	後	金3	足達 賀代子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW46a	後	水3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW46b	後	水3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW47a	後	水3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW47b	後	水3	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW48a	後	木3	FLORES URUSHIMA, Andrea Yuri	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW48b	後	木3	高橋 幸	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW49a	後	木3	BROOKS, Gavin John	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW49b	後	木3	富永 英夫	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW50a	後	木3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW50b	後	木3	渡 寛法	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW51a	後	木3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW51b	後	木3	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW52a	後	月3	HEDBERG, Karl	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW52b	後	月3	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW53a	後	月3	MITCHAM, Roderick Ellis	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW53b	後	月3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW54a	後	月3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW54b	後	月3	江藤 あさじ	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW55a	後	月3	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW55b	後	月3	宮尾 万理	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW56a	後	月3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW56b	後	月3	真鍋 晶子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW57a	後	月3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW57b	後	月3	高野 吉一	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW58a	後	金3	RYLANDER, John William	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW58b	後	金3	亀山 幸枝	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW59a	後	金3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW59b	後	金3	皆本 智美	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW60a	後	金3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW60b	後	金3	藤岡 真樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW61a	後	金3	KOLF, David Edward	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW61b	後	金3	柳楽 有里	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW62a	後	金3	JOHNSTON, Christopher	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW62b	後	金3	中尾 朋子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW63a	後	金3	Lees, David	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW63b	後	金3	石井 昌子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW64a	後	月3	LeBlanc Catherine	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW64b	後	月3	木下 由紀子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW65a	後	月3	MILNE, Daniel	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW65b	後	月3	細越 響子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
英語ライティングーリスニングB EW66a	後	水4	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW66b	後	水4	伊藤 佳世子	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW67a	後	水4	KOLF, David Edward	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW67b	後	水4	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW68a	後	水4	Schipper Sara	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW68b	後	水4	服部 典之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW69a	後	水4	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW69b	後	水4	服部 美樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW70a	後	水3	Peterson Sung	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW70b	後	水3	田地野 彰	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW71a	後	水3	Guard, Richard Owen	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW71b	後	水3	ルツケル瀬本阿矢	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW72a	後	水3	TEETER, Jennifer Louise	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW72b	後	水3	服部 典之	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW73a	後	水3	KOLF, David Edward	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB EW73b	後	水3	服部 美樹	全	1	1	2			クラス指定科目	C群
英語ライティングーリスニングB上級 EWA01	後	月5	Schipper Sara	全	1	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB上級 EWA02	後	木5	RYLANDER, John William	全	1	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW51	後	火5	金丸 敏幸	全	全	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW52	後	水5	笹尾 洋介	全	全	1	2				C群
英語ライティングーリスニングA単位未修得者クラス ESW53	後	金5	ルツケル瀬本阿矢	全	全	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB単位未修得者クラス ESW01	後	月5	伊藤 佳世子	全	2以上	1	2				C群
英語ライティングーリスニングB単位未修得者クラス ESW02	後	木5	高橋 幸	全	2以上	1	2				C群
Scientific English IA(Reading and Writing)	通	月4	CHANG, Kai-Chun	理	主1	1	4			[International Course]クラス指定科目	C群
Scientific English IB(Technical Communication & Discussions)	通	木3	KIM, SUNMIN	理	主1	1	4			[International Course]クラス指定科目	C群
ドイツ語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
ドイツ語I (6Hコース) D1501	通	月 ⁵ ・木 ⁵	田邊 玲子 他	全	全	3	12				C群
ドイツ語 I A (文法) D1101	前	火3	細見 和之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1102	前	水4	齋藤 治之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1103	前	水4	福田 覚	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1104	前	月3	田邊 玲子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1105	前	火3	林寄 伸二	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1106	前	月3	井尻 楽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1107	前	水4	西井 美幸	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1108	前	水3	田邊 玲子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1109	前	火2	服部 尚己	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1110	前	火2	谷口 栄一	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1111	前	水3	細見 和之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1112	前	金4	千田 春彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1113	前	金4	石澤 将人	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1114	前	木4	島 憲男	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1115	前	月2	大川 勇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1116	前	月2	奥田 敏広	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1117	前	月2	井尻 楽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1118	前	金2	横道 誠	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1119	前	木3	島 憲男	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1120	前	金2	湯浅 博章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1121	前	木3	武田 良材	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1122	前	木3	向井 直己	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1123	前	金3	千田 春彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1124	前	木2	武田 良材	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1125	前	金3	齋藤 治之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1126	前	木2	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1127	前	金3	松波 烈	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1128	前	木1	大川 勇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1129	前	木1	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1130	前	月4	青木 三陽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) D1131	前	火5	須藤 秀平	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1201	前	木4	小林 哲也	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1202	前	月3	金子 孝吉	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1203	前	金4	松波 烈	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1204	前	火3	杉村 涼子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1205	前	月3	兵頭 俊樹	全	全	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ドイツ語 I A (演習) D1206	前	火3	須藤 秀平	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1207	前	月3	青木 三陽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1208	前	火2	松波 烈	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1209	前	水3	筒井 友弥	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1210	前	水3	西井 美幸	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1211	前	火2	杉村 涼子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1212	前	木4	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1213	前	木4	南 剛	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1214	前	金4	湯浅 博章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1215	前	火4	中祢 勝美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1216	前	火4	須藤 秀平	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1217	前	火4	林崙 伸二	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1218	前	木3	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1219	前	金2	稲葉 瑛志	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1220	前	木3	OERTLE, Simon	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1221	前	金2	奥田 敏広	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1222	前	金2	薦田 奈美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1223	前	木2	向井 直己	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1224	前	金3	湯浅 博章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1225	前	木2	OERTLE, Simon	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1226	前	金3	薦田 奈美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1227	前	木2	高田 緑	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1228	前	月4	今井 敦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1229	前	月4	兵頭 俊樹	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1230	前	木1	高田 緑	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (演習) D1231	前	金5	石澤 将人	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) 再履修クラス D1151	前	月3	大川 勇	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I B (文法) 再履修クラス D1161	前	月5	奥田 敏広	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I B (文法) 再履修クラス D1162	前集	集中	齋藤 治之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I A (演習) 再履修クラス D1251	前	金5	河崎 靖	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I B (演習) 再履修クラス D1261	前集	集中	吉村 淳一	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I B (演習) 再履修クラス D1262	前集	集中	河崎 靖	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I B (文法) D1101	後	火3	細見 和之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1102	後	水4	齋藤 治之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1103	後	水4	福田 覚	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1104	後	月3	田邊 玲子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1105	後	火3	林崙 伸二	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1106	後	月3	井尻 楽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1107	後	水4	西井 美幸	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1108	後	水3	田邊 玲子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1109	後	火2	服部 尚己	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1110	後	火2	谷口 栄一	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1111	後	水3	細見 和之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1112	後	金4	千田 春彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1113	後	金4	石澤 将人	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1114	後	木4	島 憲男	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1115	後	月2	大川 勇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1116	後	月2	奥田 敏広	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1117	後	月2	井尻 楽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1118	後	金2	横道 誠	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1119	後	木3	島 憲男	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1120	後	金2	湯浅 博章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1121	後	木3	武田 良材	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1122	後	木3	向井 直己	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1123	後	金3	千田 春彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1124	後	木2	武田 良材	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1125	後	金3	齋藤 治之	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1126	後	木2	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1127	後	金3	松波 烈	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1128	後	木1	大川 勇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1129	後	木1	飛鳥井 雅友	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1130	後	月4	青木 三陽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (文法) D1131	後	火5	須藤 秀平	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1201	後	木4	小林 哲也	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1202	後	月3	金子 孝吉	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1203	後	金4	松波 烈	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1204	後	火3	杉村 涼子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1205	後	月3	兵頭 俊樹	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1206	後	火3	須藤 秀平	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1207	後	月3	青木 三陽	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1208	後	火2	松波 烈	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1209	後	水3	筒井 友弥	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1210	後	水3	西井 美幸	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1211	後	火2	杉村 涼子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1212	後	木4	ROER, Manfred Karl	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1213	後	木4	南 剛	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1214	後	金4	湯浅 博章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ドイツ語 I B (演習) D1215	後	火4	中祢 勝美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1216	後	火4	須藤 秀平	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1217	後	火4	林 崙 伸二	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1218	後	木3	ROER, Manfred KarI	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1219	後	金2	稲葉 瑛志	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1220	後	木3	OERTLE, Simon	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1221	後	金2	奥田 敏広	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1222	後	金2	薦田 奈美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1223	後	木2	向井 直己	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1224	後	金3	湯浅 博章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1225	後	木2	OERTLE, Simon	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1226	後	金3	薦田 奈美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1227	後	木2	高田 緑	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1228	後	月4	今井 敦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1229	後	月4	兵頭 俊樹	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1230	後	木1	高田 緑	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I B (演習) D1231	後	金5	石澤 将人	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
ドイツ語 I A (文法) 再履修クラス D1161	後	火2	齋藤 治之	全	全	1	2				C群
ドイツ語 I A (文法) 再履修クラス D1162	後集	集中	奥田 敏広	全	全	1	2				C群
ドイツ語 I B (文法) 再履修クラス D1151	後	月3	大川 勇	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語 I A (演習) 再履修クラス D1261	後	金4	吉村 淳一	全	全	1	2				C群
ドイツ語 I A (演習) 再履修クラス D1262	後集	集中	河崎 靖	全	全	1	2				C群
ドイツ語 I B (演習) 再履修クラス D1251	後	金5	河崎 靖	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語II (6Hコース) D2501	通	月 ⁵ ・水 ⁵ ・木 ⁵	島 憲男 他	全	2以上	3	12				C群
ドイツ語IIA D2101	前	月3	友田 和秀	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2102	前	月4	井尻 棗	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2103	前	月4	千田 まや	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2104	前	月5	青木 三陽	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2105	前	火1	杉村 涼子	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2106	前	火2	林 崙 伸二	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2107	前	火3	谷口 栄一	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2108	前	火4	齋藤 治之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2109	前	火4	細見 和之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2110	前	水2	西井 美幸	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2111	前	水2	細見 和之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2112	前	水5	福田 覚	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2113	前	木1	武田 良材	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2114	前	木2	奥田 敏広	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2115	前	木3	河崎 靖	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2116	前	木3	西村 木綿	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA D2117	前	木5	南 剛	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA (会話) D2201	前	水2	田邊 玲子 他	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA (会話) D2202	前	木2	河崎 靖 他	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA (CALL) D2301	前	金3	吉村 淳一	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA (ライティング) D2401	前	火2	Klawitter, Arne	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA (ライティング) D2402	前	火4	TRAUDEN, Dieter	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIA (ライティング) D2403	前	木4	KOSZEGI, Matyas	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2151	後	月3	友田 和秀	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2152	後	月4	井尻 棗	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2153	後	月4	千田 まや	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2154	後	月5	青木 三陽	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2155	後	火1	杉村 涼子	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2156	後	火2	林 崙 伸二	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2157	後	火3	谷口 栄一	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2158	後	火4	齋藤 治之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2159	後	火4	細見 和之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2160	後	水2	西井 美幸	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2161	後	水2	細見 和之	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2162	後	水5	福田 覚	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2163	後	木1	武田 良材	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2164	後	木2	奥田 敏広	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2165	後	木3	河崎 靖	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2166	後	木3	西村 木綿	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB D2167	後	木5	南 剛	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB (会話) D2251	後	水2	田邊 玲子 他	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB (会話) D2252	後	木2	河崎 靖 他	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB (CALL) D2351	後	金3	吉村 淳一	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB (ライティング) D2451	後	火2	Klawitter, Arne	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB (ライティング) D2452	後	火4	TRAUDEN, Dieter	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIB (ライティング) D2453	後	木4	KOSZEGI, Matyas	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIIA D301	前	月4	大川 勇	全	2以上	1	2				C群
ドイツ語IIIB D351	後	月4	大川 勇	全	2以上	1	2				C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
フランス語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
フランス語Ⅰ(8Hコース) F1301	通	月3・火3 水4・木4	多賀 茂 他	全	全	4	16				C群
フランス語ⅠA(文法) F1101	前	月3	守田 貴弘	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1102	前	月3	林 信蔵	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1103	前	水4	守田 貴弘	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1104	前	水4	塩塚 秀一郎	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1105	前	水3	大山 万容	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1106	前	木4	松井 真之介	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1107	前	火4	黒川 修司	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1108	前	木3	西山 教行	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1109	前	金2	春木 奈美子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1110	前	木2	守田 貴弘	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1111	前	月4	渡辺 貴規子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法) F1112	前	火5	堀 晋也	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1201	前	水4	Rouaud Olivier Jean	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1202	前	金4	原口 ジュヌビ エーブ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1203	前	木4	BOGAERS, Julien	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1204	前	金4	Evelyne Mesnil	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1205	前	火2	Evelyne Mesnil	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1206	前	金4	藤井 フランソ ワーズ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1207	前	月2	Fauconnier, Franck	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1208	前	金2	Evelyne Mesnil	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1209	前	木3	BOGAERS, Julien	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1210	前	金3	原口 ジュヌビ エーブ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1211	前	木1	Le Lardic Monique	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(演習) F1212	前	金5	藤井 フランソ ワーズ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法)再履修クラス F1161	前	水5	西山 教行	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅠB(文法)再履修クラス F1162	前集	集中	多賀 茂	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅠB(文法)再履修クラス F1163	前集	集中	西山 教行	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅠB(演習)再履修クラス F1261	前	火5	LAFITTE, Raphael	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅠB(演習)再履修クラス F1262	前	水5	Rouaud Olivier Jean	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅠB(演習)再履修クラス F1263	前	木5	青木 ヤミナ	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅠB(文法) F1101	後	月3	守田 貴弘	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1102	後	月3	林 信蔵	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1103	後	水4	守田 貴弘	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1104	後	水4	塩塚 秀一郎	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1105	後	水3	大山 万容	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1106	後	木4	松井 真之介	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1107	後	火4	黒川 修司	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1108	後	木3	西山 教行	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1109	後	金2	春木 奈美子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1110	後	木2	守田 貴弘	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1111	後	月4	渡辺 貴規子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(文法) F1112	後	火5	堀 晋也	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1201	後	水4	Rouaud Olivier Jean	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1202	後	金4	原口 ジュヌビ エーブ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1203	後	木4	BOGAERS, Julien	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1204	後	金4	Evelyne Mesnil	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1205	後	火2	Evelyne Mesnil	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1206	後	金4	藤井 フランソ ワーズ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1207	後	月2	Fauconnier, Franck	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1208	後	金2	Evelyne Mesnil	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1209	後	木3	BOGAERS, Julien	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1210	後	金3	原口 ジュヌビ エーブ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1211	後	木1	Le Lardic Monique	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠB(演習) F1212	後	金5	藤井 フランソ ワーズ	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
フランス語ⅠA(文法)再履修クラス F1161	後	水5	西山 教行	全	全	1	2				C群
フランス語ⅠA(文法)再履修クラス F1162	後集	集中	多賀 茂	全	全	1	2				C群
フランス語ⅠA(文法)再履修クラス F1163	後集	集中	西山 教行	全	全	1	2				C群
フランス語ⅠA(演習)再履修クラス F1261	後	火5	LAFITTE, Raphael	全	全	1	2				C群
フランス語ⅠA(演習)再履修クラス F1262	後	水5	Rouaud Olivier Jean	全	全	1	2				C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
フランス語ⅠA(演習)再履修クラス F1263	後	木5	青木 ヤミナ	全	全	1	2				C群
フランス語Ⅱ(6Hコース) F2501	通	水5・木5 金5	塩塚 秀一郎 他	全	2以上	3	12				C群
フランス語ⅡA F2101	前	火5	黒川 修司	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2102	前	水2	大山 万容	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2103	前	月2	林 信蔵	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2104	前	月4	多賀 茂	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2105	前	火4	堀 晋也	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2106	前	水3	西山 教行	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2107	前	水5	守田 貴弘	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2108	前	木5	松井 真之介	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2109	前	金3	塩塚 秀一郎	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA F2110	前	月4	Guillaume PERRIER	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA(演習) F2201	前	月1	Fauconnier, Franck	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA(演習) F2202	前	火4	LAFITTE, Raphael	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA(演習) F2203	前	木2	Le Lardic Monique	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡA(演習) F2204	前	木4	青木 ヤミナ	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2151	後	火5	黒川 修司	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2152	後	水2	大山 万容	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2153	後	月2	林 信蔵	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2154	後	月4	多賀 茂	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2155	後	火4	堀 晋也	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2156	後	水3	西山 教行	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2157	後	水5	守田 貴弘	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2158	後	木5	松井 真之介	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2159	後	金3	塩塚 秀一郎	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB F2160	後	月4	Guillaume PERRIER	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB(演習) F2251	後	月1	Fauconnier, Franck	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB(演習) F2252	後	火4	LAFITTE, Raphael	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB(演習) F2253	後	木2	Le Lardic Monique	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅡB(演習) F2254	後	木4	青木 ヤミナ	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅢIA F301	前	月5	Guillaume PERRIER	全	2以上	1	2				C群
フランス語ⅢIB F351	後	月5	Guillaume PERRIER	全	2以上	1	2				C群
中国語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
中国語ⅠA(文法) C1101	前	火3	木津 祐子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1102	前	金4	緑川 英樹	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1103	前	火3	猿渡 留理	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1104	前	木4	小笠 智章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1105	前	金4	上原 尉暢	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1106	前	金4	前田 尚香	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1107	前	火3	黄 明月	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1108	前	月3	林 淑美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1109	前	火2	黄 明月	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1110	前	月2	林 淑美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1111	前	木3	松江 崇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1112	前	木3	山本 孝子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1113	前	金2	小出 敦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1114	前	金2	松江 崇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1115	前	木2	山本 孝子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1116	前	金3	小出 敦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1117	前	金3	前田 尚香	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1118	前	金3	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1119	前	月4	三橋 佳奈子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1120	前	木1	大賀 晶子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1121	前	木1	松江 崇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1122	前	火5	黄 明月	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(文法) C1123	前	金5	前田 尚香	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1201	前	木4	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1202	前	月3	王 嵐	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1203	前	月3	道坂 昭廣	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1204	前	月3	赤松 紀彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1205	前	水4	江田 憲治	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1206	前	水4	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1207	前	水4	柴 礼敏	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1208	前	木4	王 麗萍	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1209	前	水3	韓 軍	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1210	前	火4	江田 憲治	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1211	前	金2	王 桂紅	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA(演習) C1212	前	金2	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
中国語ⅠA (演習) C1213	前	木3	赤松 紀彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1214	前	木3	王 麗萍	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1215	前	金3	劉 建	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1216	前	木2	王 燕玲	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1217	前	木2	道坂 昭廣	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1218	前	木2	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1219	前	木1	道坂 昭廣	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1220	前	月4	赤松 紀彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1221	前	月4	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1222	前	金5	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (演習) C1223	前	火5	江田 憲治	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (文法) 再履修クラス C1151	前集	集中	松江 崇	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠB (文法) 再履修クラス C1161	前	火4	猿渡 留理	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠB (文法) 再履修クラス C1162	前集	集中	道坂 昭廣	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠA (演習) 再履修クラス C1251	前集	集中	江田 憲治	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠB (演習) 再履修クラス C1261	前	金3	王 桂紅	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠB (演習) 再履修クラス C1262	前集	集中	赤松 紀彦	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠB (文法) C1101	後	火3	木津 祐子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1102	後	金4	緑川 英樹	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1103	後	火3	猿渡 留理	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1104	後	木4	小笠 智章	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1105	後	金4	上原 尉暢	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1106	後	金4	前田 尚香	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1107	後	火3	黄 明月	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1108	後	月3	林 淑美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1109	後	火2	黄 明月	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1110	後	月2	林 淑美	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1111	後	木3	松江 崇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1112	後	木3	山本 孝子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1113	後	金2	小出 敦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1114	後	金2	松江 崇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1115	後	木2	山本 孝子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1116	後	金3	小出 敦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1117	後	金3	前田 尚香	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1118	後	金3	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1119	後	月4	三橋 佳奈子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1120	後	木1	大賀 晶子	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1121	後	木1	松江 崇	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1122	後	火5	黄 明月	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (文法) C1123	後	金5	前田 尚香	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1201	後	木4	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1202	後	月3	王 嵐	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1203	後	月3	道坂 昭廣	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1204	後	月3	赤松 紀彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1205	後	水4	江田 憲治	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1206	後	水4	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1207	後	水4	柴 礼敏	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1208	後	木4	王 麗萍	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1209	後	水3	韓 軍	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1210	後	火4	江田 憲治	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1211	後	金2	王 桂紅	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1212	後	金2	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1213	後	木3	赤松 紀彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1214	後	木3	王 麗萍	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1215	後	金3	劉 建	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1216	後	木2	王 燕玲	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1217	後	木2	道坂 昭廣	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1218	後	木2	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1219	後	木1	道坂 昭廣	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1220	後	月4	赤松 紀彦	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1221	後	月4	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1222	後	金5	殷 文怡	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠB (演習) C1223	後	火5	江田 憲治	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
中国語ⅠA (文法) 再履修クラス C1161	後	火4	猿渡 留理	全	全	1	2				C群
中国語ⅠA (文法) 再履修クラス C1162	後集	集中	道坂 昭廣	全	全	1	2				C群
中国語ⅠB (文法) 再履修クラス C1151	後集	集中	松江 崇	全	2以上	1	2				C群
中国語ⅠA (演習) 再履修クラス C1261	後	金3	王 桂紅	全	全	1	2				C群
中国語ⅠA (演習) 再履修クラス C1262	後集	集中	赤松 紀彦	全	全	1	2				C群
中国語ⅠB (演習) 再履修クラス C1251	後集	集中	江田 憲治	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C201	前	月3	三橋 佳奈子	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C202	前	月4	道坂 昭廣	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C203	前	火2	猿渡 留理	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C204	前	火4	黄 明月	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C205	前	水5	江田 憲治	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C206	前	木2	大賀 晶子	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C207	前	木5	小笠 智章	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C208	前	金2	前田 尚香	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C209	前	金3	松江 崇	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [文法・文化理解] C210	前	金5	上原 尉暢	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C211	前	月1	張 莉	全	2以上	1	2				C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C212	前	月2	殷 文怡	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C213	前	月4	王 嵐	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C214	前	月5	殷 文怡	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C215	前	水2	殷 文怡	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C216	前	水3	柴 礼敏	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C217	前	水4	韓 軍	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C218	前	木3	王 燕玲	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C219	前	金1	王 桂紅	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C220	前	金4	劉 建	全	2以上	1	2				C群
中国語IIA [会話・ネイティブ実習] C221	前集	集中	赤松 紀彦	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C251	後	月3	三橋 佳奈子	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C252	後	月4	道坂 昭廣	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C253	後	火2	猿渡 留理	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C254	後	火4	黄 明月	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C255	後	水5	江田 憲治	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C256	後	木2	大賀 晶子	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C257	後	木5	小笠 智章	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C258	後	金2	前田 尚香	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C259	後	金3	松江 崇	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [文法・文化理解] C260	後	金5	上原 尉暢	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C261	後	月1	張 莉	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C262	後	月2	殷 文怡	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C263	後	月4	王 嵐	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C264	後	月5	殷 文怡	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C265	後	水2	殷 文怡	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C266	後	水3	柴 礼敏	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C267	後	水4	韓 軍	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C268	後	木3	王 燕玲	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C269	後	金1	王 桂紅	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C270	後	金4	劉 建	全	2以上	1	2				C群
中国語IIB [会話・ネイティブ実習] C271	後集	集中	赤松 紀彦	全	2以上	1	2				C群
ロシア語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
ロシア語IA (文法) R1101	前	火5	服部 文昭	全	全	1	2				C群
ロシア語IA (文法) R1102	前	木3	服部 文昭	全	全	1	2				C群
ロシア語IA (文法) R1103	前	金5	服部 文昭	全	全	1	2				C群
ロシア語IA (演習) R1201	前	金3	Vinogradova, Svetlana	全	全	1	2				C群
ロシア語IA (演習) R1202	前	金4	Vinogradova, Svetlana	全	全	1	2				C群
ロシア語IA (演習) R1203	前	金5	Vinogradova, Svetlana	全	全	1	2				C群
ロシア語IB (文法) R1101	後	火5	服部 文昭	全	全	1	2				C群
ロシア語IB (文法) R1102	後	木3	服部 文昭	全	全	1	2				C群
ロシア語IB (文法) R1103	後	金5	服部 文昭	全	全	1	2				C群
ロシア語IB (演習) R1201	後	金3	Vinogradova, Svetlana	全	全	1	2				C群
ロシア語IB (演習) R1202	後	金4	Vinogradova, Svetlana	全	全	1	2				C群
ロシア語IB (演習) R1203	後	金5	Vinogradova, Svetlana	全	全	1	2				C群
ロシア語IIA R201	前	火5	Vinogradova, Svetlana	全	2以上	1	2				C群
ロシア語IIA R202	前	金4	服部 文昭	全	2以上	1	2				C群
ロシア語IIB R251	後	火5	Vinogradova, Svetlana	全	2以上	1	2				C群
ロシア語IIB R252	後	金4	服部 文昭	全	2以上	1	2				C群
イタリア語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
イタリア語I (文法) I101	通	火5・金4	河合 成雄 他	全	全	2	8				C群
イタリア語I (文法・会話) I102	通	金3・金4	片山 浩史 他	全	全	2	8				C群
イタリア語I (文法・会話) I103	通	金4・金5	片山 浩史 他	全	全	2	8				C群
イタリア語IIA I2101	前	火5	菅野 類	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIA I2102	前	火5	霜田 洋祐	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIA (演習) I2201	前	金4	Marco Daniele LIMONGELLI	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIA (演習) I2202	前	金5	Marco Daniele LIMONGELLI	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIB I2151	後	火5	菅野 類	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIB I2152	後	火5	霜田 洋祐	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIB (演習) I2251	後	金4	Marco Daniele LIMONGELLI	全	2以上	1	2				C群
イタリア語IIB (演習) I2252	後	金5	Marco Daniele LIMONGELLI	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
スペイン語IA (文法) S1101	前	月3	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語IA (文法) S1102	前	水4	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語IA (文法) S1103	前	木4	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語IA (文法) S1104	前	火3	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語IA (文法) S1105	前	火2	塚原 信行	全	全	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
スペイン語 I A (文法) S1106	前	火4	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (文法) S1107	前	木3	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (文法) S1108	前	木3	平井 うらら 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (文法) S1109	前	木2	平井 うらら 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (文法) S1110	前	木2	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (文法) S1111	前	月4	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (文法) S1112	前	火5	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1201	前	水4	Aguilar, Milton 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1202	前	月3	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1203	前	火3	VITALE, Analia Susana 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1204	前	水4	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1205	前	水3	Aguilar, Milton 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1206	前	月2	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1207	前	金2	LETELIER BRUZZONE, Maria Paula 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1208	前	金2	VALVERDE IBANEZ, Maria del Pilar 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1209	前	金3	LETELIER BRUZZONE, Maria Paula 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1210	前	金3	VALVERDE IBANEZ, Maria del Pilar 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1211	前	木1	GIMENEZ BORNAECHEA, Pablo 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (演習) S1212	前	金5	LETELIER BRUZZONE, Maria Paula 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I A (会話) S1301	前集	集中	塚原 信行	全	全	1	2				C群
スペイン語 I A (文法) 再履修クラス S1151	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 I B (文法) 再履修クラス S1161	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 I A (演習) 再履修クラス S1251	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 I B (演習) 再履修クラス S1261	前集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 I B (文法) S1101	後	月3	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1102	後	水4	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1103	後	木4	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1104	後	火3	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1105	後	火2	塚原 信行	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1106	後	火4	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1107	後	木3	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1108	後	木3	平井 うらら 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1109	後	木2	平井 うらら 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1110	後	木2	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1111	後	月4	小川 雅美 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (文法) S1112	後	火5	駒村 幸 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1201	後	水4	Aguilar, Milton 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1202	後	月3	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1203	後	火3	VITALE, Analia Susana 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1204	後	水4	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1205	後	水3	Aguilar, Milton 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1206	後	月2	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1207	後	金2	LETELIER BRUZZONE, Maria Paula 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1208	後	金2	VALVERDE IBANEZ, Maria del Pilar 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
スペイン語 I B (演習) S1209	後	金3	LETELIER BRUZZONE, Maria Paula 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1210	後	金3	VALVERDE IBANEZ, Maria del Pilar 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1211	後	木1	GIMENEZ BORNAECHEA, Pablo 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (演習) S1212	後	金5	LETELIER BRUZZONE, Maria Paula 他	全	全	1	2			クラス指定科目	C群
スペイン語 I B (会話) S1301	後集	集中	塚原 信行	全	全	1	2				C群
スペイン語 I A (文法) 再履修クラス S1161	後集	集中	塚原 信行	全	全	1	2				C群
スペイン語 I B (文法) 再履修クラス S1151	後集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 I A (演習) 再履修クラス S1261	後集	集中	塚原 信行	全	全	1	2				C群
スペイン語 I B (演習) 再履修クラス S1251	後集	集中	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A S2101	前	火4	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A S2102	前	水3	駒村 幸 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A S2103	前	水5	駒村 幸 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A S2104	前	木3	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A (演習) S2201	前	火2	VITALE, Analia Susana 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A (演習) S2202	前	水2	Aguilar, Milton 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A (演習) S2203	前	水3	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II A (演習) S2204	前	木2	GIMENEZ BORNAECHEA, Pablo 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B S2151	後	火4	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B S2152	後	水3	駒村 幸 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B S2153	後	水5	駒村 幸 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B S2154	後	木3	塚原 信行	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B (演習) S2251	後	火2	VITALE, Analia Susana 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B (演習) S2252	後	水2	Aguilar, Milton 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B (演習) S2253	後	水3	ALVAREZ BARBERO, Jorge 他	全	2以上	1	2				C群
スペイン語 II B (演習) S2254	後	木2	GIMENEZ BORNAECHEA, Pablo 他	全	2以上	1	2				C群
朝鮮語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
朝鮮語 I A (文法) K1101	前	火5	朴 美貞	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I A (文法) K1102	前	金5	朴 美貞	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I A (演習) K1201	前	木3	小倉 紀蔵	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I A (演習) K1202	前	金4	小倉 紀蔵	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I B (文法) K1101	後	火5	朴 美貞	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I B (文法) K1102	後	金5	朴 美貞	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I B (演習) K1201	後	木3	小倉 紀蔵	全	全	1	2				C群
朝鮮語 I B (演習) K1202	後	金4	小倉 紀蔵	全	全	1	2				C群
朝鮮語 II A K2101	前	金3	小倉 紀蔵	全	2以上	1	2				C群
朝鮮語 II A (演習) K2201	前	金5	小倉 紀蔵	全	2以上	1	2				C群
朝鮮語 II B K2151	後	金3	小倉 紀蔵	全	2以上	1	2				C群
朝鮮語 II B (演習) K2251	後	金5	小倉 紀蔵	全	2以上	1	2				C群
アラビア語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
アラビア語 I A (文法) A1101	前	火3	岡 真理	全	全	1	2				C群
アラビア語 I A (文法) A1102	前	火5	岡 真理	全	全	1	2				C群
アラビア語 I A (演習) A1201	前	金4	岡 真理 他	全	全	1	2				C群
アラビア語 I A (演習) A1202	前	金5	岡 真理 他	全	全	1	2				C群
アラビア語 I B (文法) A1101	後	火3	岡 真理	全	全	1	2				C群
アラビア語 I B (文法) A1102	後	火5	岡 真理	全	全	1	2				C群
アラビア語 I B (演習) A1201	後	金4	岡 真理 他	全	全	1	2				C群
アラビア語 I B (演習) A1202	後	金5	岡 真理 他	全	全	1	2				C群
アラビア語 II A A2101	前	金5	竹田 敏之	全	2以上	1	2				C群
アラビア語 II A (演習) A2201	前	木3	岡 真理 他	全	2以上	1	2				C群
アラビア語 II B A2151	後	金5	竹田 敏之	全	2以上	1	2				C群
アラビア語 II B (演習) A2251	後	木3	岡 真理 他	全	2以上	1	2				C群
日本語 ※平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認定されます											
日本語初級 I A (4 Hコース)	前	金4・金5	家本 太郎	留	全	2	4			[International Course]クラス指定科目	C群
日本語初級 I B (4 Hコース)	後	金4・金5	家本 太郎	留	全	2	4			[International Course]クラス指定科目	C群
日本語初級 II A (4 Hコース)	前	金4・金5	川 篤 信恵	留	全	2	4			[International Course]クラス指定科目	C群
日本語初級 II B (4 Hコース)	後	金4・金5	川 篤 信恵	留	全	2	4			[International Course]クラス指定科目	C群
日本語中級 I A (4 Hコース)	前	金4・金5	大上 協子	留	全	2	4				C群
日本語中級 I B (4 Hコース)	後	金4・金5	大上 協子	留	全	2	4				C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
日本語中級Ⅰ(8Hコース)	前	月3・月4 ・火3・火4	河合 淳子 他	留	全	4	8				C群
日本語中級Ⅰ(8Hコース)	後	月3・月4 ・火3・火4	河合 淳子 他	留	全	4	8				C群
日本語中級Ⅰ(会話)	前	火2	三原 千佳	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(会話)	後	火2	三原 千佳	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(聴解)	前	金2	三登 由利子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(聴解)	後	金2	三登 由利子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(読解)	前	水1	白鳥 文子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(読解)	後	水1	白鳥 文子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(作文)	前	水2	白鳥 文子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(作文)	後	水2	白鳥 文子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(漢字)	前	金1	三登 由利子	留	全	1	2				C群
日本語中級Ⅰ(漢字)	後	金1	三登 由利子	留	全	1	2				C群
日本語中級IIA(4Hコース)	前	金4・金5	真下 恭子	留	全	2	4				C群
日本語中級IIB(4Hコース)	後	金4・金5	真下 恭子	留	全	2	4				C群
日本語中級II(8Hコース)	前	火3・火4 ・金3・金4	バリハワダナル ルチラ 他	留	全	4	8				C群
日本語中級II(8Hコース)	後	火3・火4 ・金3・金4	バリハワダナル ルチラ 他	留	全	4	8				C群
日本語中級II(会話)	前	月3	藤井 涼子	留	全	1	2				C群
日本語中級II(会話)	後	月3	藤井 涼子	留	全	1	2				C群
日本語中級II(聴解)	前	木3	長山 浩章	留	全	1	2				C群
日本語中級II(聴解)	後	木3	長山 浩章	留	全	1	2				C群
日本語中級II(読解)	前	水3	浦木 貴和	留	全	1	2				C群
日本語中級II(読解)	後	水3	浦木 貴和	留	全	1	2				C群
日本語中級II(作文)	前	月4	藤井 涼子	留	全	1	2				C群
日本語中級II(作文)	後	月4	藤井 涼子	留	全	1	2				C群
日本語上級(聴解)	前	木3	中罵 容子	留	全	1	2				C群
日本語上級(聴解)	後	木3	中罵 容子	留	全	1	2				C群
日本語上級(会話)	前	火5	湯川 志貴子	留	全	1	2				C群
日本語上級(会話)	後	火5	湯川 志貴子	留	全	1	2				C群
日本語上級(読解)	前	金5	長山 浩章	留	全	1	2				C群
日本語上級(読解)	後	火3	長山 浩章	留	全	1	2				C群
日本語上級(作文)	前	木4	村井 巻子	留	全	1	2				C群
日本語上級(作文)	後	火2	中澤 まゆみ	留	全	1	2				C群
日本語上級(論文・レポート作成)	前	火1	河合 淳子	留	全	1	2				C群
日本語上級(論文・レポート作成)	後	火1	河合 淳子	留	全	1	2				C群
日本語上級(講義聴解)	前	金4	本多 朱里	留	全	1	2				C群
日本語上級(講義聴解)	後	金4	本多 朱里	留	全	1	2				C群
日本語上級(研究発表)	前	金3	本多 朱里	留	全	1	2				C群
日本語上級(研究発表)	後	金5	河合 淳子	留	全	1	2				C群
日本語上級(討論技術)	前	金2	福原 香織	留	全	1	2				C群
日本語上級(討論技術)	後	金2	福原 香織	留	全	1	2				C群
日本語初級Ⅰ(8Hコース)	前	火4・火5 ・金4・金5	家本 太郎 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(8Hコース)	前	水4・水5 ・金2・金3	家本 太郎 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(8Hコース)	後	火4・火5 ・金4・金5	家本 太郎 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(8Hコース)	後	水4・水5 ・金2・金3	家本 太郎 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(会話)	前	月4	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(会話)	後	月4	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(聴解)	前	金4	橋本 佳美	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(聴解)	後	金4	橋本 佳美	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(読解・作文)	前	月2	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(読解・作文)	後	月2	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(漢字)	前	月3	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅰ(漢字)	後	月3	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(8Hコース)	前	火3・火4 ・木2・木3	湯川 志貴子 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(8Hコース)	後	火3・火4 ・木2・木3	湯川 志貴子 他	留	全	4	8			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(会話)	前	水4	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(会話)	後	水4	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(聴解)	前	水5	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(聴解)	後	水5	浦木 貴和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(読解・作文)	前	月3	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(読解・作文)	後	月3	下橋 美和	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(漢字)	前	月2	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
日本語初級Ⅱ(漢字)	後	月2	古川 由理子	留	全	1	2			学部正規生履修不可	
経済・経営日本語(上級)Ⅰ	前	木2	稲葉 久子	留	全	1	2				C群
経済・経営日本語(上級)Ⅱ	後	水3	井上 恵美子	留	全	1	2				C群
情報学科目群											
基礎											
情報基礎演習[全学向]	前	月5	喜多 一 他	全	全	1	2				B群
情報基礎演習[全学向]	前	水2	平石 拓	全	全	1	2				B群
情報基礎演習[全学向]	前	金5	田島 敬史	全	全	1	2				B群
情報基礎演習[全学向]	前	金5	喜多 一 他	全	全	1	2				B群
情報基礎演習[全学向]	後	火3	櫻川 貴司	全	全	1	2				B群
情報基礎演習[全学向]	後	火4	櫻川 貴司	全	全	1	2				B群
情報基礎演習[全学向]	後	金5	田島 敬史 他	全	全	1	2				B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
情報基礎演習 [文学部]	前	月1	大浦 真	文	全	1	2				B群
情報基礎演習 [文学部]	前	月1	森崎 礼子	文	全	1	2				B群
情報基礎演習 [文学部]	前	水2	森崎 礼子	文	全	1	2				B群
情報基礎演習 [理学部]	後	木4	西村 進	理	主1	1	2*			クラス指定科目	B群
情報基礎演習 [理学部]	後	木5	西村 進	理	主1	1	2*			クラス指定科目	B群
情報基礎演習 [医学部] (人間健康科学科)	前	金3	笹山 哲	全	全	1	2*			クラス指定科目	B群
情報基礎演習 [薬学部]	前	月5	中津 亨 他	全	主1	1	2			クラス指定科目	B群
情報基礎演習 [工学部] (地球工学科)	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2*			クラス指定科目	
情報基礎演習 [工学部] (建築学科)	前	金3	佐藤 裕一 他	全	主1	1	2*			クラス指定科目	
情報基礎演習 [工学部] (物理工学科)	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2*			クラス指定科目	
情報基礎演習 [工学部] (電気電子工学科)	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2*			クラス指定科目	
情報基礎演習 [工学部] (工業化学科)	前	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2*			クラス指定科目	
情報基礎演習 [農学部]	後	クラス	指定時間割参照	理	1	1	2*			クラス指定科目	B群
Practice of Basic Informatics	前	火4	FLORES Giancarlo 他	理	主1	1	2*			[International Course]クラス指定科目「情報基礎演習 [工学部]」と同一授業	
情報基礎 [全学向]	前	月4	立木 秀樹	全	全	1	2				B群
情報基礎 [全学向]	前	水5	浅野 泰仁 他	全	全	1	2				B群
情報基礎 [全学向]	後	月3	日置 尋久	全	全	1	2				B群
情報基礎 [全学向]	後	水5	浅野 泰仁 他	全	全	1	2				B群
情報基礎 [理学部]	後	水5	西村 進 他	理	主1	1	2				B群
情報基礎 [医学部] (人間健康科学科)	前	水3	笹山 哲	全	全	1	2			クラス指定科目	B群
情報基礎 [薬学部]	前	月4	中津 亨 他	全	主1	1	2			クラス指定科目	B群
情報基礎 [工学部] (地球工学科)	後	水4	牛島 省 他	理	主1	1	2			クラス指定科目	
情報基礎 [工学部] (建築学科)	後	金3	田島 敬史	理	主1	1	2			クラス指定科目	
情報基礎 [工学部] (物理工学科)	後	クラス	指定時間割参照	理	主1	1	2			クラス指定科目	
情報基礎 [工学部] (電気電子工学科)	前	月4	原田 博司	理	主1	1	2			クラス指定科目	
情報基礎 [工学部] (工業化学科)	後	火4	田島 敬史 他	理	主1	1	2			クラス指定科目	
情報基礎 [農学部]	前	クラス	指定時間割参照	理	主2	1	2			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	B群
Basic Informatics	後	火4	CHANG, Kai-Chun	理	主1	1	2			[International Course]クラス指定科目「情報基礎 [工学部]」と同一授業	
Basic Informatics-E2	後	木5	JATOWT, Adam Wladyslaw	全	全	1	2		E2		
情報基礎実践	前	月5	加藤 誠 他	全	全	1	2				B群
情報と社会	前	月5	田島 敬史 他	全	主1・2	1	2				B群
情報と社会	後	木3	永井 靖浩	全	全	1	2				B群
Information and Society-E2	前	水5	JATOWT, Adam Wladyslaw	全	全	1	2		E2		B群
Information and Society-E2	後	水5	JATOWT, Adam Wladyslaw	全	全	1	2		E2		B群
各論											
情報数学 I	前	金1	山田 修司	全	全	1	2	H			B群
情報数学II	後	金1	山田 修司	全	全	1	2	H			B群
コンピュータサイエンス基礎	前	木5	長谷川 真人 他	全	全	1	2				B群
計算機科学概論	前	水5	五十嵐 淳 他	全	全	1	2	T			B群
アルゴリズム入門	前	火4	宮崎 修一	全	全	1	2				B群
プログラミング基礎	前	金2	西村 進	理	主2	1	2				B群
プログラミング演習 (Lisp)	前	水4・水5	櫻川 貴司	全	全	2	4	H			B群
プログラミング演習 (Ruby)	後	月4・月5	日置 尋久	全	全	2	4				B群
プログラミング演習 (Java)	前	火4・火5	立木 秀樹	全	全	2	4				B群
プログラミング演習 (Haskell)	後	金1・金2	新井 潤	全	全	2	4	H			B群
プログラミング演習 (数理的応用)	後	火4・火5	立木 秀樹	全	全	2	4				B群
プログラミング (クラウド計算)	後	月5	梶田 将司 他	全	全	1	2				B群
情報ネットワーク	前	月4	岡部 寿男	全	全	1	2				B群
情報ネットワーク	後	水5	日置 尋久	全	全	1	2				B群
情報メディア基礎	後	水3	江原 康生	全	全	1	2				B群
コンピュータグラフィックス演習	前	月4・月5	小山田 耕二 他	全	主1・2	2	4				B群
コンピュータグラフィックス実習	前	金3・金4	日置 尋久	全	全	2	2				B群
ヒューマンインタフェースの心理と生理	前	火5	下田 宏	全	全	1	2				B群
データ分析入門	前	火5	木村 欣司 他	全	全	1	2				B群
データ分析入門	後	火5	木村 欣司 他	全	全	1	2				B群
データ分析実践	後	月5	木村 欣司 他	全	全	1	2				B群
計算科学が拓く世界	前	水5	中島 浩 他	全	全	1	2				B群
計算科学が拓く世界	後	水5	中島 浩 他	全	全	1	2				B群
大学図書館の活用と情報探索	前	火4	北村 由美 他	全	全	1	2				A群
学術情報リテラシー実践	前	木3	日置 尋久	全	主1・2	1	2				
学術情報リテラシー実践	前	火5	小山田 耕二 他	全	主1・2	1	2				
イノベーションと情報	前	木5	前川 佳一	全	全	1	2				A群
情報と知財入門	後	木5	田島 敬史	全	全	1	2				A群
情報企業論	後	月5	前川 佳一 他	全	全	1	2				A群
Fundamentals of Machine Vision-E2	前	月5	LIANG, Xuefeng	全	全	1	2		E2		B群
Fundamentals of Machine Vision-E2	後	金5	LIANG, Xuefeng	全	全	1	2		E2		B群
Information Literacy for Academic Study-E2	前	金5	LIANG, Xuefeng	全	主1	1	2		E2		B群
Information Literacy for Academic Study-E2	後	月5	LIANG, Xuefeng	全	主1	1	2		E2		B群
Fundamentals of Discrete Optimization-E2	後	水2	LE GALL, Francois	全	全	1	2		E2		B群
Introduction to Coding Theory and Cryptography-E2	前	金2	LE GALL, Francois	全	全	1	2		E2		
Introduction to Algorithms-E2	前	木2	LE GALL, Francois	全	全	1	2		E2		B群
Introduction to Algorithms-E2	後	火2	LE GALL, Francois	全	全	1	2		E2		B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
Information Network-E2	後	木4	DE BRECHT, Matthew	全	全	1	2		E2		B群
Programming Practice(Matlab)-E2	前	木4・木5	DE BRECHT, Matthew	全	全	2	4		E2		
Processing and Analyzing Data I-E2	前	水3	John, Ellsworth Brown	全	全	1	2		E2		
Art, Culture and Technology (英語講義)	後	水5	土佐 尚子	全	全	1	2				B群
健康・スポーツ科目群											
健康・スポーツ科学											
基礎											
運動科学 I	前	水3	神崎 素樹	全	全	1	2				D群
運動科学 I	前	水4	神崎 素樹	全	全	1	2				D群
運動科学 I	後	水3	神崎 素樹	全	全	1	2				D群
運動科学 I	後	水4	神崎 素樹	全	全	1	2				D群
運動科学II	前	月5	山田 重人 他	全	全	1	2				
運動科学II	後	月5	山田 重人 他	全	全	1	2				
健康科学 I	前	火3	林 達也	全	全	1	2				D群
健康科学 I	前	木1	林 達也	全	全	1	2				D群
健康科学 I	後	火3	林 達也	全	全	1	2				D群
健康科学 I	後	木1	林 達也	全	全	1	2				D群
健康科学II	前	金3	菅沼 信彦 他	全	全	1	2				D群
健康科学II	後	金3	菅沼 信彦 他	全	全	1	2				D群
健康心理学 I	前	木1	船曳 康子	全	全	1	2				D群
健康心理学 I	後	木1	船曳 康子	全	全	1	2				D群
健康心理学II	前	木2	天谷 真奈美 他	全	全	1	2				D群
健康心理学II	後	木2	天谷 真奈美 他	全	全	1	2				D群
Basics of the Human Body-E2	前	月3	Sonia Pilar Suguimoto Watanabe	全	全	1	2		E2		
Introduction to Lifestyle Related Diseases-E2	後	月3	Sonia Pilar Suguimoto Watanabe	全	全	1	2		E2		
Nutrition and Health-E2	後	金5	POUDYAL, Hemant	全	全	1	2		E2		
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	前	月5	POUDYAL, Hemant	全	全	1	2		E2		
発展											
精神病理学 I	前	水3	松本 卓也	全	全	1	2				A群
精神病理学 I	前	金3	上尾 真道	全	全	1	2				A群
精神病理学II	後	水3	松本 卓也	全	全	1	2				A群
生活習慣と生体機能障害	前	金1	林 達也	全	全	1	2	H			D群
生活習慣と生体機能障害	後	金1	林 達也	全	全	1	2	H			D群
体力医科学	前	火1	石原 昭彦	全	全	1	2				D群
体力医科学	後	火1	石原 昭彦	全	全	1	2				D群
運動のしくみ	前	月2	久代 恵介	全	全	1	2	H			D群
運動のしくみ	後	月2	久代 恵介	全	全	1	2	H			D群
運動の生理学	前	火1	神崎 素樹	全	全	1	2	H			D群
運動の生理学	後	火1	神崎 素樹	全	全	1	2	H			D群
発達論A	前	水2	田中 真介	全	全	1	2				D群
発達論B	後	水2	田中 真介	全	全	1	2				D群
精神保健福祉概論	前	木2	船曳 康子	全	全	1	2	H			
精神保健福祉概論	後	木2	船曳 康子	全	全	1	2	H			
スポーツ指導法ゼミナールA	前集	集中	田中 真介	全	2以上	1	2				D群
スポーツ指導法ゼミナールB	後集	集中	田中 真介	全	2以上	1	2				D群
応用運動医科学ゼミ	後	金2	林 達也	全	全	1	2	H			D群
スポーツ心理学セミナー：運動技能向上の現象と理論	後	月5	久代 恵介	全	全	1	2	H			
発達行動学ゼミ	後	木3	船曳 康子	全	全	1	2	H			
医学概論	前	火3	山田 正之	全	全	1	2				B群
生体リズムと健康	前	火1	若村 智子	全	主1・2	1	2				B群
発達障害論	後	木5	十一 元三 他	全	1・2	1	2				
リハビリテーション概論	前	木5	青山 朋樹	全	全	1	2				D群
「薬の世界」入門	前	月3	松崎 勝巳 他	理	主1	1	2				B群
健康・生命科学入門	前	金2	竹島 浩 他	全	主1・2	1	2				B群
薬用植物学	前	月1	伊藤 美千穂	全	主1・2	1	2				B群
大学生のための実践的な心理学	前	月2	中川 純子 他	全	全	1	2				A群
予防医学概論	前	木4	上床 輝久 他	全	全	1	2				B群
人類と放射線	前	金3	森本 幸生 他	全	全	1	2				B群
自己形成の心理学	前	火4	溝上 慎一	全	全	1	2				A群
医学入門	前集	集中	井上 康博 他	理	主1・2	1	2				B群
放射線概論	後	火4	川本 卓男 他	全	全	1	2				B群
Mental Illness and Health Care	前	水3	阪上 優	全	全	1	2				
Basic Biology and Metabolism-E2	前	木4	Fustin, Jean Michel	理	主1	1	2		E2		B群
Introduction to Biological Rhythms-E2	前	木5	Fustin, Jean Michel	理	主2	1	2		E2		B群
Introduction to Medical Psychology-E2	後	木3	ALTMANN Christian	全	全	1	2		E2		A群
Introduction to Physiology-E2	後	金5	Fustin, Jean Michel	理	主1	1	2		E2		B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
スポーツ実習											
スポーツ実習ⅠA	前	クラス	指定時間割参照	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	D群
スポーツ実習ⅠA [アダプテッド・スポーツ]	前集	集中	江川 達郎	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅠB	後	クラス	指定時間割参照	全	全	1	1			クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	D群
スポーツ実習ⅡA [サッカー・フットサル]	前	水2	塚本 敏人	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡA [アダプテッド・スポーツ]	前	水2	櫻 智子	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡA [フィットネス]	前	水2	杉本 寛恵	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡA [卓球]	前	水2	田中 励子	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡB [サッカー・フットサル]	後	水2	塚本 敏人	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡB [ソフトボール]	後	水2	江川 達郎	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡB [卓球]	後	水2	田中 励子	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡB [サッカー・フットサル]	後	金3	馬場 正昭	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡB [バスケットボール]	後	金3	野村 晴美	全	全	1	1				D群
スポーツ実習ⅡB [フィットネス・サイクリング]	後	金3	杉藤 洋志	全	全	1	1				D群
キャリア形成科目群											
国際コミュニケーション											
セミナーパーティシペーション(全・英)-E3	前	月2	Spiri, John	全	2以上	1	2*		E3		C群
セミナーパーティシペーション(全・英)-E3	前	水2	LeBlanc Catherine	全	2以上	1	2*		E3		C群
セミナーパーティシペーション(全・英)-E3	前	木5	植松 茂男	全	2以上	1	2*		E3		C群
セミナーパーティシペーション(全・英)-E3	後	月2	Spiri, John	全	2以上	1	2*		E3		C群
セミナーパーティシペーション(全・英)-E3	後	水2	LeBlanc Catherine	全	2以上	1	2*		E3		C群
セミナーパーティシペーション(全・英)-E3	後	木5	植松 茂男	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリスニング(全・英)-E3	前集	集中	STEWART, Timothy William	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリスニング(全・英)-E3	前集	集中	金丸 敏幸	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリスニング(全・英)-E3	後集	集中	DALSKY, David Jerome	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリスニング(全・英)-E3	後集	集中	高橋 幸	全	2以上	1	2*		E3		C群
リスニング&ノートテイキング(全・英)-E3	前	月1	STEWART, Timothy William	全	2以上	1	2*		E3		C群
リスニング&ノートテイキング(全・英)-E3	前	木2	VILLA, Kaoru Nakao	全	2以上	1	2*		E3		C群
リスニング&ノートテイキング(全・英)-E3	後	月1	STEWART, Timothy William	全	2以上	1	2*		E3		C群
リスニング&ノートテイキング(全・英)-E3	後	木2	VILLA, Kaoru Nakao	全	2以上	1	2*		E3		C群
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3	前	月3	Spiri, John	全	2以上	1	2*		E3		C群
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3	前	火2	小山 哲春	全	2以上	1	2*		E3		C群
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3	前	金4	JOHNSTON, Christopher	全	2以上	1	2*		E3		C群
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3	後	月3	Spiri, John	全	2以上	1	2*		E3		C群
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3	後	火2	小山 哲春	全	2以上	1	2*		E3		C群
オーラルプレゼンテーション(全・英)-E3	後	金4	JOHNSTON, Christopher	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	月4	吉村 公宏	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	火2	内田 朋子	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	水2	荘中 孝之	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	水5	鈴木 大介	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	木1	近松 明彦	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	木3	山田 良	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	木4	久保 公人	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	木5	松本 敬子	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	金1	廣田 麻子	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	金2	相田 洋明	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅠ(全・英)-E3	前	月4	吉村 公宏	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	火2	内田 朋子	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	水2	荘中 孝之	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	水5	鈴木 大介	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	木1	近松 明彦	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	木3	山田 良	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	木4	久保 公人	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	木5	松本 敬子	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	金1	廣田 麻子	全	2以上	1	2*		E3		C群
クリティカルリーディングⅡ(全・英)-E3	後	金2	相田 洋明	全	2以上	1	2*		E3		C群
リサーチライティング(全・英)-E3	前	水4	DALSKY, David Jerome	全	2以上	1	2*		E3		C群
リサーチライティング(全・英)-E3	前	金2	RYLANDER, John William	全	2以上	1	2*		E3		C群
リサーチライティング(全・英)-E3	後	水4	DALSKY, David Jerome	全	2以上	1	2*		E3		C群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
リサーチライティング(全・英)-E3	後	金2	RYLANDER, John William	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	火2	須川 いずみ	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	水1	Guard. Richard Owen	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	水2	吉田 亞矢	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	水4	Guard. Richard Owen	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	水4	田地野 彰	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	木3	Obermeier Andrew	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	木4	Obermeier Andrew	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングI(全・英)-E3	前	金5	佐野 仁志	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	火2	須川 いずみ	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	水1	Guard. Richard Owen	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	水2	吉田 亞矢	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	水4	Guard. Richard Owen	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	水4	田地野 彰	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	木3	Obermeier Andrew	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	木4	Obermeier Andrew	全	2以上	1	2*		E3		C群
テストテイキングII(全・英)-E3	後	金5	佐野 仁志	全	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーション(理・英)-E3	前	木3	長田 哲也 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーション(理・英)-E3	前	木4	長田 哲也 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーション(理・英)-E3	後	木3	長田 哲也 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーション(理・英)-E3	後	木4	長田 哲也 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
英会話・英作文基礎-E3	前	木3	鈴木 あるの	全	2以上	1	2*		E3		C群
英会話・英作文基礎-E3	後	木3	鈴木 あるの	全	2以上	1	2*		E3		C群
臨床コミュニケーション(医・英)-E3	前	クラス	指定時間割参照	理	2以上	1	2*		E3	クラス指定科目(自由選択科目を兼ねる)	C群
アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3	後	水3	小西 靖彦 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3	後	水4	小西 靖彦 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
アカデミック・コミュニケーション(医・英)-E3	後	水5	小西 靖彦 他	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A-E3	前	月4	Fustin, Jean Michel	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)A-E3	前	月5	Fustin, Jean Michel	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B-E3	後	月4	Fustin, Jean Michel	理	2以上	1	2*		E3		C群
科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英)B-E3	後	月5	Fustin, Jean Michel	理	2以上	1	2*		E3		C群
Scientific English II-E3(Presentation & Discussion)	通	金3	FLORES Giancarlo	理	2以上	1	4*		E3	[International Course]クラス指定科目	C群
Advanced Scientific English-E3(Debate)	通	水2	SCHMOCKER, Jan-Dirk 他	理	2以上	1	4*		E3	[International Course]クラス指定科目	C群
Business English-E3	前	火2	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3		
Business English-E3	後	木4	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3		
Business Thinking-E3	前	水2	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3		
Negotiation-E3	後	水4	WILLIAM BABER	全	2以上	1	2*		E3		
Digesting Scientific English-E3	前	木1	Anderson, James Russell	全	2以上	1	2*		E3		
Scientific Writing and Presenting in English-E3	後	木1	Anderson, James Russell	全	2以上	1	2*		E3		
科学記事で英語の四技能を高める-E3:方法論の確立	前	月5	青谷 正妥	全	2以上	1	2*		E3		
科学記事で英語の四技能を高める-E3:運用力の構築	後	月5	青谷 正妥	全	2以上	1	2*		E3		
英語勉強力I	前	金5	青谷 正妥	全	全	1	2				A群
英語勉強力II	後	金5	青谷 正妥	全	全	1	2				A群
学芸員課程											
博物館資料保存論	前	火4	村上 由美子	全	2以上	1	2				A群
博物館展示論	前	水3	塩瀬 隆之	全	2以上	1	2				A群
博物館教育論	前	火1	本川 雅治	全	2以上	1	2				A群
博物館情報・メディア論	後	火4	五島 敏芳	全	2以上	1	2				A群
博物館実習(文化史)	前	木3・木4	平川 佳世 他	文	3以上	2	2				
博物館実習(自然史)	前集	集中	吉村 一良 他	理	3以上	2	2				
博物館実習(館園実務)	前集	集中	岩崎 奈緒子 他	全	3以上	1	1				
博物館実習(館園実務)	後集	集中	大和 茂之 他	理	3以上	1	1				
COCOLO域											
自然と文化ー農の営みを軸にー	前	水2	竹田 晋也 他	全	全	1	2				B群
京都学のための科学	前	木5	小山田 耕二 他	全	全	1・2	1	2			
京都創造論	前	月5	服部 憲児 他	全	全	1・2	1	2			
地理と古典を活かした京都の旅の創造,提案A	前	金5	服部 憲児 他	全	全	1	2				
地理と古典を活かした京都の旅の創造,提案B	後	金5	服部 憲児 他	全	全	1	2				

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
京都のまちづくりー文化・科学の交流と地域活性ー	後	月5	服部 憲児 他	全	主1・2	1	2				
産業都市京都の課題と可能性	後	木4	喜多 一 他	全	1・2	1	2				
超高齢社会の生活論	前	火4	広井 良典 他	全	全	1	2				
その他キャリア形成											
ジャーナリズムの最前線	後	火3	杉本 淑彦	全	全	1	2				A群
京都大学の歴史	前	月4	西山 伸	全	全	1	2				A群
ジェンダー論	後	月3	落合 恵美子	全	全	1	2				A群
日本語・日本文化演習	前	火2	河合 淳子 他	全	全	1	1				
日本語・日本文化演習	後	水4	河合 淳子 他	全	全	1	1				
統合科学科目群											
統合科学											
統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）	後	月5	千坂 修 他	全	全	1	2				
統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）	後	火5	細川 浩 他	全	全	1	2				
統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）	後	水5	小川 順 他	全	全	1	2				
統合科学：生命と社会（生命科学の進歩と人の生活）	後	金5	土屋 徹 他	全	全	1	2				
統合科学：生命と社会（自然と人との関わり）	後	月5	市岡 孝朗 他	全	全	1	2				
統合科学：生命と社会（自然と人との関わり）	後	火5	西川 完途 他	全	全	1	2				
統合科学：持続可能な地球社会をめざして（エネルギー消費と環境）	後	木5	手塚 哲央 他	全	全	1	2				
統合科学：閉じた地球で生きる（エネルギー消費と環境）	後	火5	吉崎 武尚 他	全	全	1	2				
統合科学：閉じた地球で生きる（エネルギー消費と環境）	後	金5	馬場 正昭 他	全	全	1	2				
統合科学：自然災害の科学	後	月5	石川 裕彦 他	全	全	1	2				
統合科学：自然災害の科学	後	水5	田中 茂信 他	全	全	1	2				
統合科学：自然災害の科学	後	木5	平島 崇男 他	全	全	1	2				
統合科学：地球環境と人類とのバランス	後	水5	奥本 裕 他	全	全	1	2				
統合科学：エネルギーを取り巻く環境	後	水5	大垣 英明 他	全	全	1	2				
環境											
地球環境学のすすめ	前	木1	西前 出 他	全	全	1	2				A群
環境学	前	月2	酒井 伸一 他	全	全	1	2				A群
生存圏の科学概論Ⅰ	前	月2	塩谷 雅人 他	全	全	1	2				B群
生存圏の科学概論Ⅱ	後	木3	渡邊 隆司 他	全	全	1	2				B群
現代技術社会論	後	木5	石原 慶一 他	全	全	1	2				B群
水資源管理と地球環境	前	金1	渡邊 紹裕	全	全	1	2				
エネルギー地質学概論	後	木4	楠田 啓	全	全	1	2				B群
環境農学論	前	金4	吉野 章 他	全	主1・2	1	2				B群
Chemistry, Society and Environment-E2	前	水2	MCLELLAN, Benjamin	理	主1・2	1	2		E2		B群
Human-environmental Interactions-E2	前	木3	SINGER JANE	全	主1・2	1	2		E2		A群
Insect-human Interactions-E2	前	火4	YANG, Chin-Cheng	全	主1・2	1	2		E2		
Introduction to Biological Invasion-E2	後	火4	YANG, Chin-Cheng	全	主1・2	1	2		E2		
Introduction to Food Sustainability-E2	後	木2	Garry John PILLER	全	主1・2	1	2		E2		
Introduction to Sustainable Development-E2	前	木4	MCLELLAN, Benjamin 他	全	主1・2	1	2		E2		
Introduction to Sustainable Development-E2	後	木4	SINGER JANE 他	全	主1・2	1	2		E2		
Natural Disaster Science-E2	後	月2	Sameh Kantoush	全	全	1	2		E2		B群
Sustainable Forest Environment-E2	前	水4	VILAYVONG, Khonesavanh	全	主1・2	1	2		E2		
森里海連環学											
森里海連環学Ⅰ：森・里・海と人のつながり	前	金4	山下 洋 他	全	全	1	2				B群
森里海連環学Ⅱ：森林学	前	金2	徳地 直子 他	全	全	1	2				B群
森里海連環学実習Ⅰ：芦生研究林ー由良川ー丹後海のつながりを探る	前集	集中	山下 洋 他	全	全	2	2				B群
森里海連環学実習Ⅱ：北海道東部の森と里と海をつなぐ	前集	集中	吉岡 崇仁 他	全	全	2	2				B群
森里海連環学実習Ⅲ：暖地性積雪地域における冬の自然環境	後集	集中	中島 皇	全	全	1	1				B群
森里海連環学実習Ⅳ：沿岸域生態系に与える陸・川・人の影響	後集	集中	朝倉 彰 他	全	全	2	2				B群
その他統合科学											
睡眠文化論	前	月3	重田 眞義	全	全	1	2				A群
先進エネルギー概論	後	木2	森井 孝 他	全	全	1	2				B群
宇宙総合学	前	火4	柴田 一成 他	全	主1・2	1	2				B群

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回数	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
少人数教育科目群											
ILASセミナー：「考えるツール」の教材をつくらう	前	月5	若林 靖永	全	1	1	2				
ILASセミナー：DNAで調べる生物の多様性	前	月5	岡本 卓	全	1	1	2				
ILASセミナー：アジアの文字論	前	月5	池田 巧	全	1	1	2				
ILASセミナー：ウイルス学と免疫学の最前線	前	月5	宮沢 孝幸 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：宇宙の観測400年の歴史	前	月5	長田 哲也	全	1	1	2				
ILASセミナー：エネルギーと環境のシステム学	前	月5	手塚 哲央	全	1	1	2				
ILASセミナー：エンジンの科学	前	月5	石山 拓二 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：環境の評価	前	月5	吉岡 崇仁	全	主1	1	2				
ILASセミナー：環境微生物概論	前	月5	宮下 英明	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：樹と木の不思議世界	前	月5	高部 圭司	全	1	1	2				
ILASセミナー：京都の景観とデザイン	前	月5	川崎 雅史 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：巨大地震（大地動乱）の時代	前	月5	平原 和朗	全	1	1	2				
ILASセミナー：経済思想	前	月5	大黒 弘慈	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：京滋の在地に学ぶ実践型地域研究	前	月5	安藤 和雄	全	1	1	2				
ILASセミナー：ゲノム生物学入門	前	月5	寺内 良平	全	主1	1	2				
ILASセミナー：研究プレゼンテーションの技法	前	月5	篠本 滋	全	1	1	2				
ILASセミナー：言語政策入門	前	月5	西山 教行	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：工学系アートのススメ	前	月5	土佐 尚子	全	1	1	2				
ILASセミナー：公共政策論Ⅰ	前	月5	佐野 亘	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：国際政治経済学	前	月5	坂出 健	全	主1	1	2				
ILASセミナー：心の発達ゼミ	前	月5	船曳 康子	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：ごみ問題と3R・循環型社会形成	前	月5	酒井 伸一 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：コンピュータによる気象の予測、気候の予測	前	月5	余田 成男	全	主1	1	2				
ILASセミナー：幸せの測り方	前	月5	石原 慶一	全	1	1	2				
ILASセミナー：障害とは何か	前	月5	林 達也 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：情報リテラシとしてのソーシャルプログラミング	前	月5	梶田 将司 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：神経心理学	前	月5	月浦 崇	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：身体運動の制御と学習	前	月5	久代 恵介	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：信頼性の科学と科学の信頼	前	月5	森下 和功	全	主1	1	2				
ILASセミナー：西洋美術の歴史	前	月5	岡田 温司	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：先進核融合エネルギーセミナー	前	月5	増田 開 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：太陽・地球・惑星の科学	前	月5	家森 俊彦 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：地域地理学	前	月5	小島 泰雄	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：中国史の基礎資料	前	月5	辻 正博	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：地理情報	前	月5	小方 登	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：哲学入門	前	月5	出口 康夫	全	主1	1	2				
ILASセミナー：入門・近代日本の学生文化	前	月5	田中 智子	全	主1	1	2				
ILASセミナー：人間関係を学ぶ	前	月5	和田 竜太	全	1	1	2				
ILASセミナー：発達心理学	前	月5	大倉 得史	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：微細藻類と海洋共生微生物	前	月5	澤山 茂樹 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：美の思想	前	月5	武田 宙也	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：分子細胞生物学入門（英語講義）	前	月5	千坂 修	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：法哲学	前	月5	那須 耕介	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：身近な気象の変化を科学する	前	月5	石川 裕彦 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：量子ビームを使ってわかること	前	月5	中嶋 隆 他	全	1	1	2				
ILAS Seminar-E2:Animal Biotechnology（動物バイオテクノロジー）	前	月5	GOEL, Sandeep	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Contracts and Law in Modern Society（現代社会における契約と法）	前	月5	KARAIKOS, Antonios	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to Computation and Logic（計算と論理への入門）	前	月5	DE BRECHT, Matthew	全	主1	1	2	H	E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to Engineering in Biology and Medicine(医工学の基礎)	前	月5	OKEYO, Kennedy Omond	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to the intersection of religious studies and philosophy in modern Japan（近代日本における宗教学と哲学の接点入門）	前	月5	LINDBERG, Stig	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:The wonderful world of quantum physics（素晴らしい量子物理の世界）	前	月5	PETERS, Robert	全	主1	1	2		E2		
ILASセミナー：ブータンにおける暮しと健康	前	火2	坂本 龍太	全	主1	1	2				
ILASセミナー：MOOC入門	前	火5	酒井 博之 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：アーカイブ資料管理の実践	前	火5	五島 敏芳	全	1	1	2				
ILASセミナー：アジア地域研究ゼミナール	前	火5	三重野 文晴 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：アフリカの自然保護を考える	前	火5	山越 言	全	主1	1	2				
ILASセミナー：イギリス詩入門	前	火5	桂山 康司	全	1	1	2				
ILASセミナー：イギリス小説の愉しみ	前	火5	高谷 修	全	主1	1	2				

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ILASセミナー：イスラーム経済研究入門	前	火5	長岡 慎介	全	主1	1	2				
ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物	前	火5	村山 美穂	全	1	1	2				
ILASセミナー：インターネットオークションのしくみ	前	火5	松原 繁夫	全	1	1	2				
ILASセミナー：ウイルスと生命科学の最前線	前	火5	酒井 博幸 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：エンジニアリングセンスを磨く	前	火5	白土 博通	全	1	1	2				
ILASセミナー：オープンエデュケーション入門	前	火5	飯吉 透	全	1	1	2				
ILASセミナー：カオスと人工知能ービッグデータは地震を予測できるのか	前	火5	梅野 健	全	主1	1	2				
ILASセミナー：科学論	前	火5	青山 拓央	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：学力・学校・社会	前	火5	松下 佳代	全	1	1	2				
ILASセミナー：京都の自然と文化的景観を活かす	前	火5	深町 加津枝	全	1	1	2				
ILASセミナー：巨大分子セミナー	前	火5	吉崎 武尚	全	1	1	2				
ILASセミナー：近世西洋史学	前	火5	合田 昌史	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：ケプラー問題	前	火5	柴山 允瑠	全	主1	1	2				
ILASセミナー：現代社会と法	前	火5	見平 典	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：鉱物の世界への誘い～鉱物好き、大集合！～	前	火5	下林 典正	全	主1	1	2				
ILASセミナー：再生医療の研究ー再生医療について調べてみよう	前	火5	角 昭一郎	全	1	1	2				
ILASセミナー：ジェンダーと科学	前	火5	竹内 里欧 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：ジェンダー論	前	火5	小山 静子	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：思想史セミナー	前	火5	竹澤 祐文	全	1	1	2				
ILASセミナー：社会学II	前	火5	吉田 純	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：住環境リテラシー	前	火5	鈴木 あるの	全	主1	1	2				
ILASセミナー：人文研ゼミ 暗号解読と言語解読の歴史	前	火5	伊藤 順二	全	1	1	2				
ILASセミナー：人文社会科学からアプローチする宇宙	前	火5	磯部 洋明	全	1	1	2				
ILASセミナー：生体情報処理入門	前	火5	熊田 孝恒 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：生命科学の基礎	前	火5	細川 浩	全	1	1	2				
ILASセミナー：戦争と哲学ーアラン『裁かれた戦争』（1921年）を読む	前	火5	田中 祐理子	全	1	1	2				
ILASセミナー：たまたかう生物の化学	前	火5	宮下 正弘	全	1	1	2				
ILASセミナー：地域研究への招待ー映画で読み解くアジア	前	火5	山本 博之 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：東洋史入門	前	火5	太田 出	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：ニワトリ胚から学ぶ動物の体作り	前	火5	田所 竜介	全	主1	1	2				
ILASセミナー：人間とは何か？ー生命現象の自然科学的・哲学的基礎	前	火5	村瀬 雅俊	全	1	1	2				
ILASセミナー：ヒマラヤ地域の人類学	前	火5	藤倉 達郎	全	主1	1	2				
ILASセミナー：翻訳で西洋文学を読み解いてみよう	前	火5	中村 唯史	全	1	1	2				
ILASセミナー：民事紛争解決のプラクティス	前	火5	佐々木 茂美	全	1	1	2				
ILASセミナー：木文化再生ー森林から都市へ	前	火5	柴田 昌三 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：野球と近代日本社会の歴史を学ぶ	前	火5	谷川 穰	全	1	1	2				
ILASセミナー：惑星・衛星の地学	前	火5	山路 敦	全	1	1	2				
ILAS Seminar-E2:Agri-Food Systems in Asia (アジアにおける食農システム)	前	火5	Hart Nadav FEUER	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:An Introduction to the World of Green Chemistry (グリーン・ケミストリーへの誘い)	前	火5	LANDENBERGER, Kira Beth	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Contemporary History (現代史)	前	火5	BHATTE, Pallavi Kamalakar	全	主1	1	2	H	E2		
ILAS Seminar-E2:Dams and Reservoirs (ダムと貯水池)	前	火5	Sameh Kantoush	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Frontiers of Earthquake Science (地震学の最前線)	前	火5	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to Economic Sociology (経済社会学入門)	前	火5	Stephane Heim	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:The Life and Work of Albert Einstein (アルベルト・アインシュタインの生涯と業績)	前	火5	Helmeke, Stefan	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Topics in social anthropology (社会人類学各論)	前	火5	LAHOURNAT, Florence	全	主1	1	2		E2		
ILASセミナー：太陽の活動を観てみよう	前	水2	一本 潔 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：“仮説実験授業”をたのしもう！	前	水5	舟橋 春彦	全	1	1	2				
ILASセミナー：iPS細胞入門	前	水5	堀田 秋津 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：X線観測衛星による高エネルギー天文学実習	前	水5	内田 裕之 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：遺伝子発現制御事始めー遺伝子を機能させるといこと	前	水5	平芳 一法	全	1	1	2				
ILASセミナー：映画で考える教育と社会	前	水5	竹内 里欧	全	主1	1	2				
ILASセミナー：エスペラント語入門	前	水5	藤原 敬介	全	主1	1	2				
ILASセミナー：化学工学的思考で身の回りを見る	前	水5	山本 量一 他	全	1	1	2				

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ILASセミナー：科学的・論理的思考を身につける	前	水5	土居 伸二	全	1	1	2				
ILASセミナー：可視化-ビッグデータ時代の科学を拓く-	前	水5	小山田 耕二	全	1	1	2				
ILASセミナー：活動する宇宙	前	水5	嶺重 慎 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：基礎生物学の発見から疾患の理解へ / ノーベル賞からサイエンスを学び、未来の科学、医学を考えよう！	前	水5	KIM, Minsoo	全	主1	1	2				
ILASセミナー：来るべき民主主義と平和のかたち	前	水5	岡田 直紀 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：暮らしを支える電子材料	前	水5	堀井 滋	全	1	1	2				
ILASセミナー：ゲーム理論入門	前	水5	小佐野 広	全	主1	1	2				
ILASセミナー：研究の醍醐味	前	水5	大鷲 幸一郎 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：国際政治論	前	水5	齋藤 嘉臣	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：コミュニケーションデザイン	前	水5	塩瀬 隆之	全	主1	1	2				
ILASセミナー：実験経済学で学ぶ人間行動	前	水5	三谷 羊平	全	1	1	2				
ILASセミナー：地盤工学入門	前	水5	三村 衛 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：社会経済システム論	前	水5	柴山 桂太	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：社会心理学	前	水5	永田 素彦	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：植物を考える	前	水5	長谷 あきら	全	1	1	2				
ILASセミナー：シルバーマン「はじめての数論」を読む	前	水5	伊藤 哲史	全	1	1	2				
ILASセミナー：進化生物学のひろがり-生物の多様性を解き明かすための科学的冒険	前	水5	細 将貴 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：数学で理解する生命科学・生命科学から考える数学	前	水5	山田 亮 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：生命現象はいかにして読み解かれるか	前	水5	白石 英秋	全	主1	1	2				
ILASセミナー：チームビルディングと環境経済・政策	前	水5	森 晶寿	全	主1	1	2				
ILASセミナー：地球掘削科学入門	前	水5	林 為人	全	主1	1	2				
ILASセミナー：中国古典詩入門	前	水5	緑川 英樹	全	1	1	2				
ILASセミナー：デジタル人文学入門-ITで歴史資料を読む	前	水5	林 晋	全	主1	1	2				
ILASセミナー：哲学	前	水5	戸田 剛文	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：日本近代文学	前	水5	須田 千里	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：日本の近代化産業遺産である鉱山跡を探访する	前	水5	下林 典正	全	主1	1	2				
ILASセミナー：ハビタブル・アース-生命を育む地球史	前	水5	山敷 庸亮	全	主1	1	2				
ILASセミナー：人々は何をどのように食べてきたのか？	前	水5	足立 芳宏 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：文学でめぐる京都	前	水5	松村 朋彦	全	1	1	2				
ILASセミナー：文化人類学調査法	前	水5	風間 計博	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：放射線入門	前	水5	戸崎 充男 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：水辺の環境	前	水5	細田 尚 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：民事手続の基礎	前	水5	二本松 利忠	全	1	1	2				
ILASセミナー：民俗学ゼミ	前	水5	菊地 暁	全	1	1	2				
ILASセミナー：村づくりワークショップのすすめ	前	水5	星野 敏	全	主1	1	2				
ILASセミナー：メディアアート（映画監督養成講座）	前	水5	土佐 尚子	全	1	1	2				
ILASセミナー：歴史地理学	前	水5	山村 亜希	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：労働法	前	水5	小畑 史子	全	1	1	2	H			
ILAS Seminar-E2:First Step to Qualitative Research Methods - Field Surveys and Data Analysis (質的研究へのはじめの一歩 - フィールド調査とデータ分析)	前	水5	SAMADDAR, Subhajyoti	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Frontiers in Theoretical Physics I (理論物理学最前線 I)	前	水5	Antonio De Felice	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Frontiers in Theoretical Physics II (理論物理学最前線 II)	前	水5	Werner, Marcus Christian	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Global Health (グローバルヘルス)	前	水5	Sonia Pilar Suguimoto Watanabe	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	前	水5	Marco, Marques Candeias	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to condensed matter physical chemistry (固体と液体の物理化学入門)	前	水5	山本 量一 他	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	前	水5	John, Ellsworth Brown	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Topics in Frontier Physics (現代物理学の最先端)	前	水5	WENDELL, Roger	全	主1	1	2		E2		

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ILAS Seminar-E2: Understanding Water and other Liquids from a Scientific Perspective (科学的な観点から解る水と他の液体)	前	水5	THUERMER, Stephan	全	主1	1	2		E2		
ILASセミナー: 社会人類学調査法	前	木2	岩谷 彩子	全	1	1	2	H			
ILASセミナー: 中国の伝統的室内装飾	前	木2	高井 たかね	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 社会におけるICT戦略	前	木3	永井 靖浩	全	1	1	2				
ILASセミナー: Introduction to Educational Innovation - New Trends in Learning and Teaching	前	木5	飯吉 透	全	主1	1	2				
ILASセミナー: Physical Computing 入門	前	木5	喜多 一	全	主1	1	2				
ILASセミナー: イノベーションと経済社会	前	木5	木谷 哲夫	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 映画と社会 日本1945年から現代まで	前	木5	COATES Jennifer	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 絵はがきを用いた地誌学入門	前	木5	杉浦 和子	全	1	1	2				
ILASセミナー: 化学と生物学の視点を超えて	前	木5	古川 修平 他	全	1	1	2				
ILASセミナー: 核融合とプラズマの科学	前	木5	門 信一郎 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 固体の化学	前	木5	田中 勝久	全	1	1	2				
ILASセミナー: 社会学入門	前	木5	高橋 由典	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 人が支えるインターネットとセキュリティ	前	木5	斉藤 康己	全	1	1	2				
ILASセミナー: 進化と生態の博物学	前	木5	角谷 岳彦	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 地球と資源エネルギー	前	木5	楠田 啓 他	全	1	1	2				
ILASセミナー: 天気予報と気候変動の科学	前	木5	榎本 剛 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 電波科学概論	前	木5	山本 衛 他	全	1	1	2				
ILASセミナー: 隣りの大国, 中国を理解するために	前	木5	岩井 茂樹	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 日本語語彙の歴史	前	木5	大槻 信	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 光と色と構造と ~光の科学~	前	木5	高西 陽一	全	1	1	2				
ILASセミナー: 微細藻類のバイオテクノロジーと光合成 (ミドリムシの環境応答とバイオ燃料生産)	前	木5	福澤 秀哉	全	主1	1	2				
ILASセミナー: 霊長類の進化とヒトのこれから	前	木5	古市 剛史	全	主1	1	2				
ILAS Seminar-E2: Encounters with modern arithmetic (現代整数論との出会い)	前	木5	TAN, Fucheng	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	前	木5	POUDYAL, Hemant	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: How to Read a Scientific Paper (英語科学論文の読み方)	前	木5	HEJNA, James	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to Developmental Biology and iPS Cells (発生生物学とiPS細胞入門)	前	木5	Marco, Marques Gandeias	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	前	木5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to robotics - a practical approach (ロボット工学入門-実践編)	前	木5	PHILAMORE, Hemma	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to the biology of C. elegans (線虫の生物学入門)	前	木5	CARLTON, Peter	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Logic, critical thinking and argument (自然科学・工学に関する論理的・批判的思考法と議論)	前	木5	MCLELLAN, Benjamin	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	前	木5	ZENAS C. CHAO	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Regional Disaster Prevention (地域防災学)	前	木5	VILAYVONG, Khonesavanh	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Smart Materials (Innovations in Materials Chemistry) (スマートマテリアル-材料化学の革新)	前	木5	LANDENBERGER, Kira Beth	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Social Media Analysis (ソーシャルメディア分析論)	前	木5	JATOWT, Adam Wladyslaw	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: The Invisible Universe (不可視の宇宙)	前	木5	LEE, Shiu Hang	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Urban Pest Management (都市害虫の管理)	前	木5	YANG, Chin-Cheng	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Wonders of semiconductor (半導体のふしぎ)	前	木5	DE ZOYSA, Menaka	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Methods in Ecology and Natural History (生態学・自然史学の手法)	前	金2	BARNETT, Craig Antony	全	主1	1	2		E2		
ILASセミナー: 21世紀の新しい生命科学を考える	前	金5	今村 公紀 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー: Urban Climate Change Mitigation Strategies (都市気候変動緩和戦略)	前	金5	FARZANEH, Hooman	全	主1	1	2				

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ILASセミナー：イギリス近代文化入門 / 文学と思想から紅茶とブディングまで	前	金5	丸山 善宏	全	主1	1	2				
ILASセミナー：エネルギー科学最前線 - プラズマと生命科学を中心に-	前	金5	岸本 泰明 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：学問とフィクション	前	金5	下垣 仁志	全	1	1	2				
ILASセミナー：教育・社会・国家	前	金5	倉石 一郎	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：薬と医療	前	金5	久米 利明 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：くすりの化学	前	金5	山岡 庸介 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：熊本地震と阿蘇山噴火	前	金5	大倉 敬宏 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：グローバル問題解決学	前	金5	池田 裕一 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：刑事手続の基礎	前	金5	松本 芳希	全	1	1	2				
ILASセミナー：原子炉・核融合炉の安全を支える材料学	前	金5	檜木 達也 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：公共政策論II	前	金5	浅野 耕太	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：航空宇宙工学セミナー	前	金5	琵琶 志朗 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：視覚科学	前	金5	齋木 潤	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：植物科学の最先端を知ろう	前	金5	荒木 崇 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：西洋思想史	前	金5	安部 浩	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：知識の修得と活用—そのメカニズムを検証してみよう—	前	金5	奥村 英之	全	1	1	2				
ILASセミナー：途上国の環境・衛生問題	前	金5	藤井 滋穂 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：日本古代・中世政治文化論II	前	金5	元木 泰雄	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：飲み水を考える	前	金5	伊藤 禎彦	全	1	1	2				
ILASセミナー：発生再生ゼミナール	前	金5	瀬原 淳子 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：氷河時代と気候変遷へのプロムナード	前	金5	田上 高広	全	1	1	2				
ILASセミナー：フィラデルフィア染色体 - 白血病への分子生物学者の挑戦-	前	金5	高田 穰 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：物質情報工学入門	前	金5	河合 潤	全	1	1	2				
ILASセミナー：フランス学に触れる	前	金5	王寺 賢太 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：分子レベルから流域レベルでの環境質管理	前	金5	清水 芳久 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：明治時代初期の天変地異をさがす	前	金5	加納 靖之	全	主1	1	2				
ILASセミナー：野菜を水栽培で育てる	前	金5	落合 久美子	全	主1	1	2				
ILASセミナー：溶菌酵素「リゾチーム」の分子構造と作用を物理化学で探求する	前	金5	石濱 泰 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：倫理学	前	金5	佐藤 義之	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：ロボット工学入門	前	金5	松野 文俊 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：惑星探査・宇宙鉱物学への招待	前	金5	土山 明 他	全	主1	1	2				
ILAS Seminar-E2:Life in 3D and 4D (生命)	前	金5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Wearable technology (ウェアラブル技術入門)	前	金5	PHILAMORE, Hemma	全	主1	1	2		E2		
ILASセミナー：アフリカ地域研究のためのフィールドワーク入門	前集	集中	重田 眞義 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：偉人脳機能障害列伝—精神・発達障害は本当に「障害」？	前集	集中	後藤 幸織	全	主1	1	2				
ILASセミナー：遺伝子発現のしくみを知り、創薬を考える	前集	集中	山吉 麻子	全	主1	1	2				
ILASセミナー：英語の鬼	前集	集中	青谷 正妥	全	主1	1	2				
ILASセミナー：貝類の不思議	前集	集中	中野 智之	全	主1	1	2				
ILASセミナー：化石霊長類学入門	前集	集中	高井 正成 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：紙の科学	前集	集中	高野 俊幸	全	1	1	2				
ILASセミナー：川を観る・海を観る	前集	集中	馬場 康之 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：京都のエコツーリズム—森での感動とは何か—	前集	集中	伊勢 武史	全	1	1	2				
ILASセミナー：京都の食と健康	前集	集中	河田 照雄	全	1	1	2				
ILASセミナー：京都の文化を支える森林—森林の持続的管理に関する地域の知恵と生態学的知見からのシナリオ作成	前集	集中	石原 正恵 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：暮らしの中のウッドオウツチング	前集	集中	杉山 淳司	全	1	1	2				
ILASセミナー：原生的な森林の働き	前集	集中	中島 皇	全	1	1	2				
ILASセミナー：現地で学ぶ京都の建築	前集	集中	竹山 聖 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：現場を知って考える野生動物問題	前集	集中	高柳 敦	全	1	1	2				
ILASセミナー：酵母の生物学	前集	集中	井上 善晴	全	主1	1	2				
ILASセミナー：心の多様性がうまれるメカニズム—生得と環境要因の観点から—	前集	集中	野村 理朗	全	主1	1	2				
ILASセミナー：再生可能バイオマス資源の形成と利用	前集	集中	梅澤 俊明	全	1	1	2				
ILASセミナー：在地の参加型実践研究で学ぶ過疎・離農問題	前集	集中	安藤 和雄	全	1	1	2				
ILASセミナー：里域循環学入門	前集	集中	梅本 信也	全	主1	1	2				
ILASセミナー：山地流域で学ぶ自然環境のしくみと防災	前集	集中	堤 大三 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：斜面減災のための理学	前集	集中	松四 雄騎	全	主1	1	2				
ILASセミナー：植物野外実習（高山植物の観察）	前集	集中	瀬戸口 浩彰 他	全	主1	1	2	H			
ILASセミナー：森林河川調査入門	前集	集中	中川 光	全	主1	1	2				

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ILASセミナー：水産物の食品機能	前集	集中	菅原 達也 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：瀬戸内に見る森里海連環	前集	集中	中島 皇 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：地域在住高齢者に関するフィールド医学実習	前集	集中	坂本 龍太	全	主1	1	2				
ILASセミナー：地域連環学入門	前集	集中	梅本 信也 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：超高齢社会の地域課題・政策－医療・健康から考える－	前集	集中	今中 雄一 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：チンパンジー学集中実習	前集	集中	友永 雅己 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：南紀の自然史	前集	集中	大和 茂之	全	1	1	2				
ILASセミナー：日本近代史史料論 / 戦前から戦後までの崩し字を読む	前集	集中	鈴木 多聞	全	主1	1	2				
ILASセミナー：日本の土を見て、さわって、考える	前集	集中	舟川 晋也 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー：日本列島弧の自然と生物多様性	前集	集中	加藤 真	全	1	1	2	H			
ILASセミナー：農業体験実習ゼミナール	前集	集中	稲村 達也 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：比較認知科学実習	前集	集中	平田 聡	全	1	1	2				
ILASセミナー：フィールド実習“森は海の恋人”	前集	集中	朝倉 彰 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：北海道の森林	前集	集中	舘野 隆之輔	全	1	1	2				
ILASセミナー：未来創成学への招待－自然科学・哲学・芸術の対話	前集	集中	村瀬 雅俊	全	主1	1	2				
ILASセミナー：森の創りだすもの	前集	集中	徳地 直子	全	1	1	2				
ILASセミナー：森を育て活かす－林業体験をとおして考える	前集	集中	長谷川 尚史	全	1	1	2				
ILASセミナー：有人宇宙学実習	前集	集中	土井 隆雄	全	主1	1	2				
ILASセミナー：洛南の歴史景観と河川環境巡検	前集	集中	中川 一 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：霊長類ウイルス学入門	前集	集中	明里 宏文	全	主1	1	2				
ILASセミナー：霊長類進化形態学	前集	集中	平崎 鋭矢 他	全	1	1	2				
ILASセミナー：霊長類脳神経科学トレーニングコース	前集	集中	中村 克樹 他	全	1	1	2				
ILAS Seminar-E2: Conservation of Endangered Animals (絶滅危惧種の保全)	後	月5	GOEL, Sandeep	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Consumer Society and Law (消費生活と法)	後	月5	KARAIKOS, Antonios	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Agri-Food Systems in Asia (アジアにおける食農システム)	後	火5	Hart Nadav FEUER	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Critical thinking and Communication skills for Life Sciences (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	後	火5	POUDYAL, Hemant	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to cross-cultural communication (異文化コミュニケーション入門)	後	火5	LAHOURNAT, Florence	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: An introduction to programming (プログラミング入門)	後	水5	PHILAMORE, Hemma	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Health Research Methodology-Introduction to Socio-epidemiology (ヘルスリサーチの方法論-社会疫学入門)	後	水5	Sonia Pilar Suguimoto Watanabe	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: How to Study Atoms and Molecules with the Help of Light (光を使って原子や分子を調べる)	後	水5	THUERMER, Stephan	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to soft matter science (ソフトマター(柔らかい物質)の科学入門)	後	水5	ROYALL, Christopher Patrick	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Biochemistry Principles (生化学の塾)	後	木5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Discussions in Biomechanics and Biophysics (バイオメカニクス・生物物理セミナー)	後	木5	OKEYO, Kennedy Omondi	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Earthquakes & Volcanoes - Prediction and Hazards (地震・火山噴火の予知及び防災)	後	木5	ENESCU, Bogdan Dumitru	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Ecosystem Sustainability (持続可能な生態系とは)	後	木5	YANG, Chin-Cheng	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Geo-Disaster Risk Reduction and Prevention (土砂災害の防災・減災学)	後	木5	VILAYVONG, Khonesavanh	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	後	木5	ZENAS C. CHAO	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Optical Microscopy (光学顕微鏡学入門)	後	木5	CARLTON, Peter	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2: Research communication - disseminating your work through scientific papers and other approaches (科学技術コミュニケーション入門-自分の言いたいことをどう表現するか)	後	木5	PHILAMORE, Hemma	全	主1	1	2		E2		

授業名	開講期	曜時限	授業担当責任者	対象学生	対象回生	週コマ数	単位数	学部科目	E科目指定	備考	旧群
ILAS Seminar-E2:What is light? (光って何?)	後	木5	DE ZOYSA, Menaka	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Biochemistry Principles (生化学の塾)	後	金5	Walinda, Erik	全	主1	1	2		E2		
ILAS Seminar-E2:Introduction to Bird Study - Ornithology (鳥類研究のすすめ)	後	金5	BARNETT, Craig Antony	全	主1	1	2		E2		
ILASセミナー(海外):暮らし・環境・平和-ベトナムに学ぶ	前集	集中	田中 周平 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー(海外):東南アジアの再生可能エネルギー開発	前集	集中	石原 慶一 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー(海外):変容する東南アジア-環境・生業・社会	前集	集中	縄田 栄治 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー(海外):南仏伝統産地のワインビジネス戦略	前集	集中	小田 滋晃 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー(海外):ブータンの農村に学ぶ発展のあり方	後集	集中	安藤 和雄 他	全	主1	1	2				
ILASセミナー(海外):Conflict Management[Global Water Issues]	前集	集中	角 哲也 他	全	主1	1	2				

Ⅲ. 全学共通科目授業時間割

1. 授業時間割について

①クラス指定科目

クラス指定科目とは、所属学部で指定・推薦をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめクラス別の授業時間割が組まれている授業科目をいいます。（「2. クラス別時間割（1回生）」（p.141～）、「3. クラス指定科目早見表（2回生）」（p.149～）及び「4. クラス指定科目時間割」（p.151～）参照）

これらを全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、履修する場合は所属クラスで履修しなければなりません。

◇学部1回生の外国語科目の履修について

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、入学時に外国語科目選択手続にて選択した言語で、履修するクラスを KULASIS の時間割ページに登録しています。登録されているクラスで履修してください。選択した言語以外の履修を希望する場合は、「I. 全学共通科目の履修について」5. 外国語の履修について（2）1回生の履修クラスについて（p.46）を参照してください。

②自由選択科目

自由選択科目とは、クラス指定科目以外の全学共通科目をいいます（授業時間割は KULASIS 参照）。

これらはクラス指定科目以外の時間で、自由に選択して履修してください。

自由選択科目を履修するために、所属クラスの指定科目を他クラスで履修することはできません。

③教室名

ほとんどの授業が吉田南構内の講義室等で行われますが、一部の授業は他の学部、研究所、センターでも行われます。

1 共、共東・西・南・北、2 共、4 共、総人、情報メ、教育院はそれぞれ吉田南構内の建物を示しています。

1 共	: 吉田南 1 号館	共東	: 吉田南総合館東棟	共西	: 吉田南総合館西棟
共南	: 吉田南総合館南棟	共北	: 吉田南総合館北棟	2 共	: 吉田南 2 号館
4 共	: 吉田南 4 号館	総人	: 総合人間学部棟	情報メ	: 学術情報メディアセンター南館
教育院	: 国際高等教育院棟				

自由選択科目の授業教室は KULASIS で確認してください。また、各教室の位置については、「VI. 建物配置図等」の「4. 吉田南構内教室等配置図」（p.252～）を参照してください。

なお、吉田南構内以外の講義室については、各学部及び研究所、センターに問い合わせるか、京都大学ホームページ（アクセスマップ <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>）で確認してください。

また、自然科学科目群の実験・実習の教室については、詳細を別途掲示によりお知らせしますので、注意してください。

2. クラス別時間割（1回生）

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。（ ）内の数字はクラス（組）を表示しています。
- ◆科目名称は、科目名（略称）一覧（p.148）のとおりです。
- ◆次の曜時限（月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5）に人文・社会科学科目群（基礎科目）を開講します。（一部除く）
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群：ILASセミナー／【後期】統合科学科目群：統合科学を開講します。（一部除く）
（なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語（I類）については重複しないよう指定します。）

◆総合人間学部（1-3組）

前期	月	火	水	木	金
1				E	
2	ス		E	数基礎	
3	外①	外①		外②	外②
4		数基礎	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1				E	
2	ス		E	数基礎	
3	外①	外①		外②	外②
4		数基礎	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

※初修外国語（I類）は、指定する時間帯（月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5）の中からいずれか2コマにクラス指定します。

◆総合人間学部（理系科目を受講する場合）（1-3組）

前期	月	火	水	木	金
1	基物化	物基礎		E	基礎地
2	数講	ス	E	数講	外①
3	実験	実験	数演※	外①	基有化
4			数演※		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	基物化	物基礎		E	基礎地
2	数講	ス	E	数講	外①
3		実験	数演※	外①	基有化
4			数演※		外②
5		外①②			外①②

※初修外国語（I類）について、履修希望のクラス指定科目と重複する場合は、全学共通科目学生窓口まで申し出てください。

※「微分積分学（講義・演義）A/B」と「線形代数学（講義・演義）A/B」は、【月2・水3・木2】または【月2・水4・木2】のどちらか一方のセットで受講してください。（p.151,164参照）

※実験は、以下の時間割を参考にしてください。

- >地球科学実験を履修する場合 物理学実験【前期 月3・4】／基礎化学実験【後期 火3・4】／地球科学実験【前期 火3・4】
- >地球科学実験を履修しない場合 物理学実験【前期 火3・4】／基礎化学実験【後期 火3・4】

◆文学部（1-6組）

前期	月	火	水	木	金
1					
2		ス		E	
3	外①	外①		外②	外②
4	E		外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1					
2		ス		E	
3	外①	外①		外②	外②
4	E		外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

※初修外国語（I類）は、指定する時間帯（月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5）の中からいずれか2コマにクラス指定します。

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧(p.148)のとおりです。
- ◆次の曜時限(月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5)に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群:ILASセミナー／【後期】統合科学科目群:統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆教育学部(1,2組)

前期	月	火	水	木	金
1					ス
2	数講	E		数講	E
3	外①	外①	数演	外②	外②
4			外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1					ス
2	数講	E		数講	E
3	外①	外①	数演	外②	外②
4			外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。

◆法学部(1-8組)

前期	月	火	水	木	金
1					
2	E				ス
3	外①	外①		外②	外②
4		E	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1					
2	E				ス
3	外①	外①		外②	外②
4		E	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。

◆経済学部(1-6組)

前期	月	火	水	木	金
1					E
2				数基礎	
3	外①	外①		E	外②
4		数基礎	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1					E
2				数基礎	
3	外①	外①		E	外②
4		数基礎	外①	外①	外①②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯(月3、火3、火5、水4、木4、金4、金5)の中からいずれか2コマにクラス指定します。

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧(p.148)のとおりです。
- ◆次の曜時限(月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5)に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群:ILASセミナー／【後期】統合科学科目群:統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆理学部(1-8組)

前期	月	火	水	木	金
1	E	ス	生	数演(1-4) E(5-8)	基礎地
2	数講	外①	基物化	E(1-4) 数演(5-8)	数講
3		実験 物(7,8) 地(1,2,4,5)	外①		実験 物(1-3) 化(4-6) 外②
4	物基礎		基有化		
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	E	ス	個体	数演(1-4) E(5-8)	基礎地
2	数講	外①	基物化	E(1-4) 数演(5-8)	数講
3		実験 物(6) 化(3,7,8)	外①		実験 物(4,5) 化(1,2) 地(3,6-8) 外②
4	物基礎		細胞	情演 (1-4)	
5		外①②		情演 (5-8)	外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」/化「基礎化学実験」/地「地球科学実験」を表し、それぞれクラス指定します。
- ※初修外国語(II類)を【後期 金4】に履修する際は、以下の時間割を参考にしてください。
>物理学実験と地球科学実験を履修する場合 物理学実験【後期 木3・4】/地球科学実験【前期 火3・4】
>地球科学実験のみを履修する場合 地球科学実験【前期 火3・4】

◆医学部医学科(1-3組)

前期	月	火	水	木	金
1	基有化	物基礎	数演(1a,2) E(3)	統計	ス
2	E	細胞	数演(1b,3) E(2)	数講	
3	実験 化(1,2)		E(1)		数講
4				外①	外①
5					

後期	月	火	水	木	金
1	基有化	物基礎	E(3)		ス
2	E		E(2)		
3	実験 化(3)		E(1)		
4				外①	外①
5					

- ※実験は、化:「基礎化学実験」を表します。
- ※数演「微積分学(講義・演義)A」、「線形代数学(講義・演義)A」の演義は、2クラスに編成し、別途、通知します。

◆医学部人間健康科学科(4-6組)

前期	月	火	水	木	金
1	基有化	物基礎	数演(4,6a) E(5,6b)	数講	ス
2	外①	数講	数演(5,6b) E(4,6a)		
3		E	情	実験 化(4)	情演
4		外①	統計		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		物基礎	数演(4,6b) E(5,6a)	数講	ス
2	外①	数講	数演(5,6a) E(4,6b)		
3		E	実験 物		実験 化(5,6)
4	細胞	外①		実験 化(5,6) 外②	
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」/化「基礎化学実験」を表します。
- ※数演「微積分学(講義・演義)AB」、「線形代数学(講義・演義)AB」の演義は、2クラスに編成し、別途、通知します。

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧(p.148)のとおりです。
- ◆次の曜時限(月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5)に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群:ILASセミナー／【後期】統合科学科目群:統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆薬学部(1,2組)

前期	月	火	水	木	金
1		物基礎	数演(1) E(2)		ス
2	外①		E(1) 数演(2)	数講	
3		E	基有化	実験 化	数講
4	情	外①			外②
5	情演	外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		物基礎	数演(1) E(2)		ス
2	外①		E(1) 数演(2)	数講	
3		E	基有化		数講
4	基物化	外①			外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
※実験は、化「基礎化学実験」を表します。

◆工学部地球工学科(1-4組)

前期	月	火	水	木	金
1	基有化(1,2) 基物要(3,4)	数演(1,2) E(3,4)		ス	物基礎
2		E(1,2) 数演(3,4)	数講	基物要(1,2) 基有化(3,4)	外①
3	数講	自数	E(3,4)	外①	E(1,2) 実験(3,4)
4	情演(3,4)	図学			情演(1,2) 実験(3,4) 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		数演(1,2) E(3,4)		ス	物基礎
2		E(1,2) 数演(3,4)	数講		外①
3	数講	実験	E(1,2)	外①	実験(1,2) E(3,4)
4			情		実験(1,2) 外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
※実験は、以下のとおりクラス指定します。
【前期 金3・4】「基礎化学実験」T3,4
【後期 火3・4】「物理学実験」T1-4
【後期 金3・4】「基礎化学実験」T1,2
※初修外国語(11類)を受講する際は、以下の時間割を参考にしてください。
>基礎化学実験を履修する場合 基礎化学実験【前期 木3・4】

◆工学部地球工学科(国際コース)(25組)

前期	月	火	水	木	金
1					
2		数演	数講		基礎地
3	数講	自数		英語	
4	英語	情演		物基礎	日本語 外②
5		外①②			日本語 外①②

後期	月	火	水	木	金
1					
2		数演	数講		熱力学
3	数講	力学	実験 物	英語	
4	英語	情		物基礎	日本語 外②
5		外①②			日本語 外①②

※科目名略称一覧は日本語科目名ですが、対応する英語科目名で開講されます。
※実験は、物「Elementary Experimental Physics-E2」を表します。

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。
- ◆科目名称は、科目名(略称)一覧(p.148)のとおりです。
- ◆次の曜時限(月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5)に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群:ILASセミナー／【後期】統合科学科目群:統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆工学部建築学科(5,6組)

前期	月	火	水	木	金
1		数演(5) E(6)		ス	数講
2		E(5) 数演(6)	数講	物基礎	外①
3			E	外①	情演
4		自数	図学		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		数演(5) E(6)		ス	数講
2		E(5) 数演(6)	数講	物基礎	外①
3		実験 物	E	外①	情
4			図学		外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
※実験は、物「物理学実験」を表します。

◆工学部物理工学科(7-12組)

前期	月	火	水	木	金
1			ス (7-9)	物基礎	数演(7-9) E(10-12)
2	ス (10-12)			外①	E(7-9) 数演(10-12)
3	実験(7-10) E(11,12)	数講	数講	E(7-10) 実験(11,12)	外①
4	実験(7-10) 情演(11,12)	自数	基物化	情演(7-10) 実験(11,12)	外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1			ス (7-9)	物基礎	数演(7-9) E(10-12)
2	ス (10-12)			外①	E(7-9) 数演(10-12)
3	実験(7-10) E(11,12)	数講	数講	E(7-10) 実験(11,12)	外①
4	実験(7-10) 情(11,12)		基物化	情(7-10) 実験(11,12)	外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
※実験は、以下のとおりクラス指定します。
【前期 月3・4】「基礎化学実験」T7,8／「物理学実験」T9,10
【前期 木3・4】「基礎化学実験」T11,12
【後期 月3・4】「物理学実験」T7,8／「基礎化学実験」T9,10
【後期 木3・4】「物理学実験」T11,12

◆工学部電気電子工学科(13-16組)

前期	月	火	水	木	金
1			ス		数演(13,14) E(15,16)
2				外①	E(13,14) 数演(15,16)
3	E	数講	数講	実験 物	外①
4	情		物基礎		外②
5		外①②	自数		外①②

後期	月	火	水	木	金
1			ス		数演(13,14) E(15,16)
2				外①	E(13,14) 数演(15,16)
3	E	数講	数講		外①
4		力学	情演※		外②
5		外①②	情演※		外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
※実験は、物「物理学実験」を表します。
※情報基礎演習は、隔週開講。

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧(p.148)のとおりです。
- ◆次の曜時限(月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5)に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群:ILASセミナー／【後期】統合科学科目群:統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆工学部工業化学科(17-22組)

前期	月	火	水	木	金
1	ス	数演(17-19) E(20-22)		基物化	物基礎
2		E(17-19) 数演(20-22)	数講	基有化	外①
3	数講	情演 (20-22)	実験 物(17-19) 化(20-22)	外①	E
4		情演 (17-19)		自数	外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	ス	数演(17-19) E(20-22)		○基有化 ●基物化	物基礎
2		E(17-19) 数演(20-22)	数講	○基物化 ●基有化	外①
3	数講		実験 化(17-19) 物(20-22)	外①	E
4		情			外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」/化「基礎化学実験」を表します。
- ※【前期 木1・2】「基礎物理化学」「基礎有機化学」は、4クラスを編成します。
- ※【後期 木1・2】「基礎物理化学」「基礎有機化学」は、4クラスを編成し、2クラスごと交互に開講します。

◆工学部情報学科(23,24組)

前期	月	火	水	木	金
1			ス (23)		E (24)
2	ス (24)		自数	外①	E (23)
3	E	微積	線形	実験 物	外①
4			物基礎		外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1			ス (23)		E (24)
2	ス (24)		微積	外①	E (23)
3	E	微積	線形		外①
4		力学	物基礎		外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、物「物理学実験」を表します。

◆農学部資源生物科学科/森林科学科(1-4組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	物基礎		外①	
2	数講	数講		ス	基有化 (資1,2,森)
3		実験 化(資)	数演		基有化(資3,4) 基物要(森)
4	外①		E		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	細胞	物基礎		外①	情演(資) ス(森)
2	数講	数講		ス(資) 情演(森)	個体(森)
3		実験 化(森)	数演		
4	外①	実験 化(森) 個体(資)	E		E 外②
5		外①②			外①②

- ※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
- ※実験は、化「基礎化学実験」を表します。
- ※資:資源生物科学科、森:森林科学科を表します。
- ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際は、英語を【月4】で履修してください。

- ◆おもにクラス指定科目の時間割を表示しています。()内の数字はクラス(組)を表示しています。
- ◆科目名略称は、科目名(略称)一覧(p.148)のとおりです。
- ◆次の曜時限(月2、月3、月5、火2、火5、水1、水5、木3、木5、金3、金4、金5)に人文・社会科学科目群(基礎科目)を開講します。(一部除く)
- ◆5時限は、【前期】少人数教育科目群:ILASセミナー／【後期】統合科学科目群:統合科学を開講します。(一部除く)
(なお、前期火5、金5のILASセミナーを受講する場合、初修外国語(1類)については重複しないよう指定します。)

◆農学部食料・環境経済学科(5組)

前期	月	火	水	木	金
1	生			外①	ス
2	数講	数講			
3			E		
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1				外①	ス
2	数講	数講		情演	
3			E		
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
 ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際は、英語を【月4】で履修してください。

◆農学部地域環境工学科(6組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	物基礎		外①	
2	数講	数講		ス	
3			E		
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1		物基礎		外①	
2	数講	数講		ス	情演
3		実験 物	E		
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
 ※実験は、物「物理学実験」を表します。
 ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際は、英語を【月4】で履修してください。

◆農学部応用生命科学科/食品生物科学科(7,8組)

前期	月	火	水	木	金
1	生	物基礎		外①	
2	数講	数講		ス	基物要 (食)
3		実験 (食)	E		基有化 (食)
4	外①		数演		E 外②
5		外①②			外①②

後期	月	火	水	木	金
1	細胞	物基礎		外①	
2	数講	数講		ス	情演
3		実験(応)	E		
4	外①	実験(応) 個体(食)	数演		E 外②
5		外①②			外①②

※初修外国語(1類)は、指定する時間帯の中からいずれか2コマにクラス指定します。
 ※実験は、以下のとおりクラス指定します。
 【前期 火3・4】「基礎化学実験」(食品)
 【後期 火3・4】「基礎化学実験」(応用)
 ※応: 応用生命科学科、食: 食品生物科学科を表します。
 ※初修外国語(11類)を【金4】に履修する際は、英語を【月4】で履修してください。

◆◆科目名略称一覧

略称	科 目 名
E	「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニングA・B」
外①	初修外国語（I類）： 「ドイツ語IA・IB（文法・演習）」・「フランス語IA・IB（文法・演習）」 「中国語IA・IB（文法・演習）」・「スペイン語IA・IB（文法・演習）」
外②	初修外国語（II類）： 「ロシア語IA・IB（文法・演習）」・「イタリア語I」 「朝鮮語IA・IB（文法・演習）」・「アラビア語IA・IB（文法・演習）」
数講	「微分積分学（講義・演義）A・B」・ 「線形代数学（講義・演義）A・B」の講義
数演	「微分積分学（講義・演義）A・B」・ 「線形代数学（講義・演義）A・B」の演義【原則隔週開講】
微積	「微分積分学A・B」
線形	「線形代数学A・B」
数基礎	「数学基礎A・B」
自数	「自然現象と数学」
統計	「統計入門」
物基礎	「物理学基礎論A・B」
力学	「力学統論」
基有化	「基礎有機化学I・II」
基物化	「基礎物理化学（熱力学）・（量子論）」
基物要	「基礎物理化学要論」
生	「生物・生命科学入門」
個体	「個体と集団の基礎生物学」
細胞	「細胞と分子の基礎生物学」
基礎地	「基礎地球科学A・B」
情	「情報基礎」
情演	「情報基礎演習」
図学	「図学A・B」
ス	「スポーツ実習IA・IB」
実験	「物理学実験」・「基礎化学実験」・「地球科学実験」

3. クラス指定科目早見表（2回生）

曜 時 組	学 部	総 人			理								医			薬		農								
													医			薬科・薬		資源・森林				食料	地環	応用・食品		
		1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	
月	1																									
	2				確率			数統					確率			数統										
	3																									
	4																									
	5																									
火	1				電																					
	2	線統		微積統II				微積統I																		
	3				線統								統計				情(資源)				情					
	4				線統								統計				情(資源)				情					
	5																									
水	1												臨床													
	2												臨床													
	3				微積統I				微積統II				臨床													
	4																									
	5																									
木	1																									
	2																									
	3															統計										
	4																									
	5																									
金	1															確率(森林・食品除く)				数統(森林・食品除く)						
	2																									
	3				線統				情(森林)				情													
	4																									
	5																									

微積統	線統	確率	数統	統計
微分積分学統論I/II	線形代数学統論	確率論基礎	数理統計	統計入門

電	情	臨床
電磁気学統論	情報基礎	臨床コミュニケーション(医・英)-E3


 を表す。

学部	組	工																									
		地球					建築			物理						電気電子				工業化学						情報	
曜	時	1	2	3	4	25	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
月	1								確率			数統															
	2														確率			数統							線統		
	3																	微積続II									
	4																	微積続I									
	5																	微積続I									
火	1																	統物									
	2		線統				熱力			電		電		関数													
	3								統計									線統									
	4						微積続											線統									
	5																	線統									
水	1																	統物									
	2	微積続				英語		電		確率				数統													
	3																	統物									
	4																	統物									
	5						微積続											統物									
木	1						確率											統物							確率 数統		
	2																	統物									
	3								微積続														微積続		微積続		
	4						地質 振動波動											統物									
	5																	統物									
金	1																	統物									
	2	線統			線統		振動波動											統物									
	3						英語											統物									
	4																	統物									
	5																	統物									

微積続	線統	確率	数統	関数	統計	統物
微分積分学統論I/II	線形代数学統論	確率論基礎	数理統計	関数論	統計入門	統計物理学

電	熱力	振動波動	地質
電磁気学統論	熱力学	振動・波動論	地質工学入門

前期
後期 を表す。

4. クラス指定科目時間割

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
総合人間	1	月1	N340001	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	吉田 寿雄	共東41
総合人間	1	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
総合人間	1	月2・水3	N151002	線形代数学(講義・演義)A【※2 微分積分学は水3・木2のクラスを受講してください。】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
総合人間	1	月2・水4	N151001	線形代数学(講義・演義)A【※2 微分積分学は水4・木2のクラスを受講してください。】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
総合人間	1	月3・月4	N201001	物理学実験	自然群	前期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
総合人間	1	火1	N225001	物理学基礎論A	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
総合人間	1	火2	※3	スポーツ実習IA【理系科目受講者向】	健康群	前期		
総合人間	1	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
総合人間	1	火4・木2	N122001	数学基礎A[文系]	自然群	前期	上木 直昌	共北31
総合人間	1	水3・木2	N149002	微分積分学(講義・演義)A【※2 線形代数学は月2・水3のクラスを受講してください。】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
総合人間	1	水4・木2	N149001	微分積分学(講義・演義)A【※2 線形代数学は月2・水4のクラスを受講してください。】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
総合人間	1	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
総合人間	1	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
総合人間	1	金3	N347001	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	1共03
総合人間	2	月1	N340001	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	吉田 寿雄	共東41
総合人間	2	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
総合人間	2	月2・水3	N151002	線形代数学(講義・演義)A【※2 微分積分学は水3・木2のクラスを受講してください。】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
総合人間	2	月2・水4	N151001	線形代数学(講義・演義)A【※2 微分積分学は水4・木2のクラスを受講してください。】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
総合人間	2	月3・月4	N201001	物理学実験	自然群	前期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
総合人間	2	火1	N225001	物理学基礎論A	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
総合人間	2	火2	※3	スポーツ実習IA【理系科目受講者向】	健康群	前期		
総合人間	2	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
総合人間	2	火4・木2	N122001	数学基礎A[文系]	自然群	前期	上木 直昌	共北31
総合人間	2	水3・木2	N149002	微分積分学(講義・演義)A【※2 線形代数学は月2・水3のクラスを受講してください。】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
総合人間	2	水4・木2	N149001	微分積分学(講義・演義)A【※2 線形代数学は月2・水4のクラスを受講してください。】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
総合人間	2	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
総合人間	2	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
総合人間	2	金3	N347001	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	1共03
総合人間	3	月1	N340001	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	吉田 寿雄	共東41
総合人間	3	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
総合人間	3	月2・水3	N151002	線形代数学(講義・演義)A【※2 微分積分学は水3・木2のクラスを受講してください。】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
総合人間	3	月2・水4	N151001	線形代数学(講義・演義)A【※2 微分積分学は水4・木2のクラスを受講してください。】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
総合人間	3	月3・月4	N201001	物理学実験	自然群	前期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
総合人間	3	火1	N225001	物理学基礎論A	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
総合人間	3	火2	※3	スポーツ実習IA【理系科目受講者向】	健康群	前期		
総合人間	3	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
総合人間	3	火4・木2	N122001	数学基礎A[文系]	自然群	前期	上木 直昌	共北31
総合人間	3	水3・木2	N149002	微分積分学(講義・演義)A【※2 線形代数学は月2・水3のクラスを受講してください。】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
総合人間	3	水4・木2	N149001	微分積分学(講義・演義)A【※2 線形代数学は月2・水4のクラスを受講してください。】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
総合人間	3	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
総合人間	3	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
総合人間	3	金3	N347001	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	1共03
文	1	火2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
文	2	火2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
文	3	火2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
文	4	火2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
文	5	火2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
文	6	火2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
教育	1	月2・水3	N151002	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
教育	1	水3・木2	N149002	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
教育	1	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
教育	2	月2・水3	N151002	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	清水 扇丈	4共10
教育	2	水3・木2	N149002	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	足立 匡義	4共10
教育	2	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	1	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	2	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	3	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	4	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	5	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	6	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	7	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
法	8	金2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
経済	1	火4・木2	N122002	数学基礎A[文系]	自然群	前期	赤坂 立也	共西31
経済	2	火4・木2	N122002	数学基礎A[文系]	自然群	前期	赤坂 立也	共西31
経済	3	火4・木2	N122002	数学基礎A[文系]	自然群	前期	赤坂 立也	共西31
経済	4	火4・木2	N122002	数学基礎A[文系]	自然群	前期	赤坂 立也	共西31
経済	5	火4・木2	N122001	数学基礎A[文系]	自然群	前期	上木 直昌	共北31
経済	6	火4・木2	N122001	数学基礎A[文系]	自然群	前期	上木 直昌	共北31
理	1	月2・木1	N149003	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	加藤 毅	共東32
理	1	月4	N225002	物理学基礎論A	自然群	前期	中家 剛	共南11
理	1	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	1	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
理	1	水1	N484001	生物・生命科学入門	自然群	前期	田村 実他	共北25
理	1	水2	N329002	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	渡邊 一也	共北37
理	1	水4	N347002	基礎有機化学I	自然群	前期	齊藤 尚平	1共31
理	1	木1・金2	N151003	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	雪江 明彦	共東32
理	1	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	1	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	1	金3・金4	N201002	物理学実験	自然群	前期	石田 憲二 他	物理学実験室(2共)
理	2	月2・木1	N151004	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	菊地 克彦	1共02
理	2	月4	N225002	物理学基礎論A	自然群	前期	中家 剛	共南11
理	2	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	2	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
理	2	水1	N484001	生物・生命科学入門	自然群	前期	田村 実他	共北25
理	2	水2	N329002	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	渡邊 一也	共北37
理	2	水4	N347002	基礎有機化学I	自然群	前期	齊藤 尚平	1共31
理	2	木1・金2	N149004	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大鍛治 隆司	1共02
理	2	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	2	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	2	金3・金4	N201002	物理学実験	自然群	前期	石田 憲二 他	物理学実験室(2共)
理	3	月2・木1	N149005	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	吉川 謙一	共北28
理	3	月4	N225002	物理学基礎論A	自然群	前期	中家 剛	共南11
理	3	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	3	水1	N484001	生物・生命科学入門	自然群	前期	田村 実他	共北25
理	3	水2	N329002	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	渡邊 一也	共北37
理	3	水4	N347002	基礎有機化学I	自然群	前期	齊藤 尚平	1共31
理	3	木1・金2	N151005	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	長崎 生光 他	共北28
理	3	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	3	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	3	金3・金4	N201002	物理学実験	自然群	前期	石田 憲二 他	物理学実験室(2共)

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
理	4	月2・木1	N151006	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	藤原 耕二	1共31
理	4	月4	N225003	物理学基礎論A	自然群	前期	川上 則雄	1共31
理	4	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	4	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
理	4	水1	N484001	生物・生命科学入門	自然群	前期	田村 実 他	共北25
理	4	水2	N329003	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	足立 俊輔	共北31
理	4	水4	N347002	基礎有機化学I	自然群	前期	齊藤 尚平	1共31
理	4	木1・金2	N149006	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	塚本 千秋 他	1共31
理	4	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	4	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	4	金3・金4	N308003	基礎化学実験	自然群	前期	田村 類 他	化学実験室(2共)
理	5	月2・木2	N149007	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	加藤 毅	共東32
理	5	月4	N225003	物理学基礎論A	自然群	前期	川上 則雄	1共31
理	5	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	5	火3・火4	N544001	地球科学実験	自然群	前期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
理	5	水1	N484002	生物・生命科学入門	自然群	前期	鹿内 利治 他	共北26
理	5	水2	N329003	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	足立 俊輔	共北31
理	5	水4	N347003	基礎有機化学I	自然群	前期	加納 太一	共南11
理	5	木2・金2	N151007	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	雪江 明彦	共東32
理	5	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	5	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	5	金3・金4	N308003	基礎化学実験	自然群	前期	田村 類 他	化学実験室(2共)
理	6	月2・木2	N151008	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	菊地 克彦	1共02
理	6	月4	N225003	物理学基礎論A	自然群	前期	川上 則雄	1共31
理	6	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	6	水1	N484002	生物・生命科学入門	自然群	前期	鹿内 利治 他	共北26
理	6	水2	N329003	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	足立 俊輔	共北31
理	6	水4	N347003	基礎有機化学I	自然群	前期	加納 太一	共南11
理	6	木2・金2	N149008	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大鍛治 隆司	1共02
理	6	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	6	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	6	金3・金4	N308003	基礎化学実験	自然群	前期	田村 類 他	化学実験室(2共)
理	7	月2・木2	N149009	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	吉川 謙一	共北28
理	7	月4	N225004	物理学基礎論A	自然群	前期	篠本 滋	共北26
理	7	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	7	火3・火4	N201005	物理学実験	自然群	前期	村上 哲也 他	物理学実験室(2共)
理	7	水1	N484002	生物・生命科学入門	自然群	前期	鹿内 利治 他	共北26
理	7	水2	N329004	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	竹腰 清乃理	共北27
理	7	水4	N347003	基礎有機化学I	自然群	前期	加納 太一	共南11
理	7	木2・金2	N151009	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	長崎 生光 他	共北28
理	7	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	7	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31
理	8	月2・木2	N151010	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	藤原 耕二	1共31
理	8	月4	N225004	物理学基礎論A	自然群	前期	篠本 滋	共北26
理	8	火1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
理	8	火3・火4	N201005	物理学実験	自然群	前期	村上 哲也 他	物理学実験室(2共)
理	8	水1	N484002	生物・生命科学入門	自然群	前期	鹿内 利治 他	共北26
理	8	水2	N329004	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	竹腰 清乃理	共北27
理	8	水4	N347003	基礎有機化学I	自然群	前期	加納 太一	共南11
理	8	木2・金2	N149010	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	塚本 千秋 他	1共31
理	8	金1	N531001	基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)	自然群	前期	石川 尚人	4共21
理	8	金1	N531002	基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)	自然群	前期	酒井 敏	4共31

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
医	1	月1	N347004	基礎有機化学I	自然群	前期	小松 直樹	共北31
医	1	月3・月4	N308004	基礎化学実験	自然群	前期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
医	1	火1	N225005	物理学基礎論A	自然群	前期	藤原 直樹	共北27
医	1	火2	N486003	細胞と分子の基礎生物学	自然群	前期	吉村 成弘	1共31
医	1	水1・木2	N149011	微分積分学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	鈴木 咲衣 他	水1:4共10,木2:共北26
医	1	水1・金3	N151011	線形代数学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	名倉 誠 他	水1:4共10,金3:共北25
医	1	水2・木2	N149012	微分積分学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	鈴木 咲衣 他	水2:4共10,木2:共北26
医	1	水2・金3	N151012	線形代数学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	名倉 誠 他	水2:4共10,金3:共北25
医	1	木1	N801001	統計入門	自然群	前期	中澤 篤志	共南11
医	1	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
医	2	月1	N347004	基礎有機化学I	自然群	前期	小松 直樹	共北31
医	2	月3・月4	N308004	基礎化学実験	自然群	前期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
医	2	火1	N225005	物理学基礎論A	自然群	前期	藤原 直樹	共北27
医	2	火2	N486003	細胞と分子の基礎生物学	自然群	前期	吉村 成弘	1共31
医	2	水1・木2	N149011	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	鈴木 咲衣 他	水1:4共10,木2:共北26
医	2	水1・金3	N151011	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	名倉 誠 他	水1:4共10,金3:共北25
医	2	木1	N801001	統計入門	自然群	前期	中澤 篤志	共南11
医	2	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
医	3	月1	N347004	基礎有機化学I	自然群	前期	小松 直樹	共北31
医	3	火1	N225005	物理学基礎論A	自然群	前期	藤原 直樹	共北27
医	3	火2	N486003	細胞と分子の基礎生物学	自然群	前期	吉村 成弘	1共31
医	3	水2・木2	N149012	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	鈴木 咲衣 他	水2:4共10,木2:共北26
医	3	水2・金3	N151012	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	名倉 誠 他	水2:4共10,金3:共北25
医	3	木1	N801001	統計入門	自然群	前期	中澤 篤志	共南11
医	3	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
医	4	月1	N347015	基礎有機化学I	自然群	前期	藤田 健一	共西31
医	4	火1	N225001	物理学基礎論A	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
医	4	火2・水1	N151013	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大塚 研一	火2:情報/地下,水1:4共22
医	4	水1・木1	N149013	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大塚 研一	水1:4共22,木1:情報/地下
医	4	水3	T011001	情報基礎[医学部](人間健康科学科)	情報群	前期	笹山 哲	共北25
医	4	水4	N801002	統計入門	自然群	前期	川嶋 宏彰	共東21
医	4	木3・木4	N308006	基礎化学実験	自然群	前期	上田 純平 他	化学実験室(2共)
医	4	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
医	4	金3	T004001	情報基礎演習[医学部](人間健康科学科)	情報群	前期	笹山 哲	情報/203・204
医	5	月1	N347015	基礎有機化学I	自然群	前期	藤田 健一	共西31
医	5	火1	N225001	物理学基礎論A	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
医	5	火2・水2	N151046	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大塚 研一	火2:情報/地下,水2:4共22
医	5	水2・木1	N149046	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大塚 研一	水2:4共22,木1:情報/地下
医	5	水3	T011001	情報基礎[医学部](人間健康科学科)	情報群	前期	笹山 哲	共北25
医	5	水4	N801002	統計入門	自然群	前期	川嶋 宏彰	共東21
医	5	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
医	5	金3	T004001	情報基礎演習[医学部](人間健康科学科)	情報群	前期	笹山 哲	情報/203・204
医	6	月1	N347015	基礎有機化学I	自然群	前期	藤田 健一	共西31
医	6	火1	N225001	物理学基礎論A	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
医	6	火2・水1	N151013	線形代数学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	大塚 研一	火2:情報/地下,水1:4共22
医	6	火2・水2	N151046	線形代数学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	大塚 研一	火2:情報/地下,水2:4共22
医	6	水1・木1	N149013	微分積分学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	大塚 研一	水1:4共22,木1:情報/地下
医	6	水2・木1	N149046	微分積分学(講義・演義)A【※2 揭示参照】	自然群	前期	大塚 研一	水2:4共22,木1:情報/地下
医	6	水3	T011001	情報基礎[医学部](人間健康科学科)	情報群	前期	笹山 哲	共北25
医	6	水4	N801002	統計入門	自然群	前期	川嶋 宏彰	共東21
医	6	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
医	6	金3	T004001	情報基礎演習[医学部](人間健康科学科)	情報群	前期	笹山 哲	情報/203・204

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
薬	1	月4	T012001	情報基礎[薬学部]	情報群	前期	中津 亨 他	医薬系総合研究棟2階講義室A
薬	1	月5	T005001	情報基礎演習[薬学部]	情報群	前期	中津 亨 他	医薬系総合研究棟2階講義室A
薬	1	火1	N225006	物理学基礎論A	自然群	前期	宮本 嘉久	共北26
薬	1	水1・木2	N151014	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	藤井 慎一 他	共北32
薬	1	水1・金3	N149014	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	塚本 千秋 他	共北32
薬	1	水3	N347005	基礎有機化学I	自然群	前期	高須 清誠	薬学部本館2階講義室
薬	1	木3・木4	N308006	基礎化学実験	自然群	前期	上田 純平 他	化学実験室(2共)
薬	1	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
薬	2	月4	T012001	情報基礎[薬学部]	情報群	前期	中津 亨 他	医薬系総合研究棟2階講義室A
薬	2	月5	T005001	情報基礎演習[薬学部]	情報群	前期	中津 亨 他	医薬系総合研究棟2階講義室A
薬	2	火1	N225006	物理学基礎論A	自然群	前期	宮本 嘉久	共北26
薬	2	水2・木2	N151015	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	藤井 慎一 他	共北32
薬	2	水2・金3	N149015	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	塚本 千秋 他	共北32
薬	2	水3	N347005	基礎有機化学I	自然群	前期	高須 清誠	薬学部本館2階講義室
薬	2	木3・木4	N308006	基礎化学実験	自然群	前期	上田 純平 他	化学実験室(2共)
薬	2	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	1	月1	N347006	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	共西41
工	1	月3・火1	N151016	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	森田 英俊 他	月3:共東31,火1:4共20
工	1	火1・水2	N149016	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大下 顕弘 他	火1:4共20,水2:共北38
工	1	火3	N112001	自然現象と数学	自然群	前期	乾 徹 他	総合研究4号館 共通3講義室
工	1	火4	N751001	図学A	自然群	前期	増井 正哉	共東42
工	1	木1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	1	木2	N359001	基礎物理化学要論	自然群	前期	加藤 立久	共東11
工	1	金1	N225007	物理学基礎論A	自然群	前期	後藤 仁志	1共31
工	1	金4	T006001	情報基礎演習[工学部](地球工学科)	情報群	前期	平井 康宏 他	情報メ203(情報処理室)
工	2	月1	N347006	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	共西41
工	2	月3・火1	N149017	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	原田 雅名	共西32
工	2	火1・水2	N151017	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	清水 達郎 他	共西32
工	2	火3	N112002	自然現象と数学	自然群	前期	乾 徹 他	総合研究4号館 共通3講義室
工	2	火4	N751001	図学A	自然群	前期	増井 正哉	共東42
工	2	木1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	2	木2	N359001	基礎物理化学要論	自然群	前期	加藤 立久	共東11
工	2	金1	N225007	物理学基礎論A	自然群	前期	後藤 仁志	1共31
工	2	金4	T006002	情報基礎演習[工学部](地球工学科)	情報群	前期	柏谷 公希 他	情報メ204(情報処理室)
工	3	月1	N359002	基礎物理化学要論	自然群	前期	加藤 立久	共東11
工	3	月3・火2	N151018	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	森田 英俊 他	月3:共東31,火2:4共20
工	3	月4	T006003	情報基礎演習[工学部](地球工学科)	情報群	前期	五十里 洋行 他	情報メ203(情報処理室)
工	3	火2・水2	N149018	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大下 顕弘 他	火2:4共20,水2:共北38
工	3	火3	N112003	自然現象と数学	自然群	前期	三ヶ田 均 他	総合研究4号館 共通1講義室
工	3	火4	N751005	図学A	自然群	前期	中嶋 節子 他	1共03
工	3	木1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	3	木2	N347007	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	共西41
工	3	金1	N225008	物理学基礎論A	自然群	前期	八木 知己	共北32
工	3	金3・金4	N308003	基礎化学実験	自然群	前期	田村 類 他	化学実験室(2共)
工	4	月1	N359002	基礎物理化学要論	自然群	前期	加藤 立久	共東11
工	4	月3・火2	N149019	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	原田 雅名	共西32
工	4	月4	T006004	情報基礎演習[工学部](地球工学科)	情報群	前期	中村 俊之 他	情報メ204(情報処理室)
工	4	火2・水2	N151019	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	清水 達郎 他	共西32
工	4	火3	N112004	自然現象と数学	自然群	前期	山下 尚之 他	総合研究4号館 共通1講義室
工	4	火4	N751005	図学A	自然群	前期	中嶋 節子 他	1共03
工	4	木1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	4	木2	N347007	基礎有機化学I	自然群	前期	津江 広人	共西41
工	4	金1	N225008	物理学基礎論A	自然群	前期	八木 知己	共北32
工	4	金3・金4	N308003	基礎化学実験	自然群	前期	田村 類 他	化学実験室(2共)

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	5	火1・水2	N149020	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	角 大輝 他	共南21
工	5	火1・金1	N151020	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	藤本 圭男 他	共南21
工	5	火4	N112005	自然現象と数学	自然群	前期	辻 聖晃 他	総合研究9号館北棟4階 N7
工	5	水4	N751002	図学A	自然群	前期	中嶋 節子	共東42
工	5	木1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	5	木2	N225009	物理学基礎論A	自然群	前期	武末 真二	4共21
工	5	金3	T006005	情報基礎演習[工学部](建築学科)	情報群	前期	佐藤 裕一 他	総合研究9号館北棟1階情報処理演習室1・2
工	6	火2・水2	N149021	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	角 大輝 他	共南21
工	6	火2・金1	N151021	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	藤本 圭男 他	共南21
工	6	火4	N112005	自然現象と数学	自然群	前期	辻 聖晃 他	総合研究9号館北棟4階 N7
工	6	水4	N751006	図学A	自然群	前期	増井 正哉 他	1共03
工	6	木1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	6	木2	N225009	物理学基礎論A	自然群	前期	武末 真二	4共21
工	6	金3	T006005	情報基礎演習[工学部](建築学科)	情報群	前期	佐藤 裕一 他	総合研究9号館北棟1階情報処理演習室1・2
工	7	月3・月4	N308004	基礎化学実験	自然群	前期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
工	7	火3・金1	N151022	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	矢ヶ崎 達彦 他	共西41
工	7	火4	N112006	自然現象と数学	自然群	前期	瀬波 大土	工学部物理系校舎313講義室
工	7	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	7	水3・金1	N149022	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	林 芳樹 他	共西41
工	7	水4	N340006	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	中西 和樹	共北26
工	7	木1	N225010	物理学基礎論A	自然群	前期	吉岡 興一	4共21
工	7	木4	T006006	情報基礎演習[工学部](物理工学科)	情報群	前期	沖野 真也	情報メ203(情報処理室)
工	8	月3・月4	N308004	基礎化学実験	自然群	前期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
工	8	火3・金1	N149023	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	生駒 英晃 他	共西31
工	8	火4	N112006	自然現象と数学	自然群	前期	瀬波 大土	工学部物理系校舎313講義室
工	8	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	8	水3・金1	N151023	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	小菅 真吾	共西31
工	8	水4	N340006	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	中西 和樹	共北26
工	8	木1	N225010	物理学基礎論A	自然群	前期	吉岡 興一	4共21
工	8	木4	T006006	情報基礎演習[工学部](物理工学科) 【揭示参照】	情報群	前期	沖野 真也	情報メ203(情報処理室)
工	8	木4	T006007	情報基礎演習[工学部](物理工学科) 【揭示参照】	情報群	前期	藤井 恵介	情報メ204(情報処理室)
工	9	月3・月4	N201001	物理学実験	自然群	前期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	9	火3・金1	N151024	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	高村 茂 他	共北37
工	9	火4	N112006	自然現象と数学	自然群	前期	瀬波 大土	工学部物理系校舎313講義室
工	9	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	9	水3・金1	N149024	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大下 顕弘 他	共北37
工	9	水4	N340007	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	田部 勢津久	共北28
工	9	木1	N225010	物理学基礎論A	自然群	前期	吉岡 興一	4共21
工	9	木4	T006007	情報基礎演習[工学部](物理工学科)	情報群	前期	藤井 恵介	情報メ204(情報処理室)
工	10	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	10	月3・月4	N201001	物理学実験	自然群	前期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	10	火3・金2	N151025	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	矢ヶ崎 達彦 他	共西41
工	10	火4	N112007	自然現象と数学	自然群	前期	青井 伸也	工学部物理系校舎315講義室
工	10	水3・金2	N149025	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	林 芳樹 他	共西41
工	10	水4	N340007	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	田部 勢津久	共北28
工	10	木1	N225011	物理学基礎論A	自然群	前期	岩室 史英	共南01
工	10	木4	T006008	情報基礎演習[工学部](物理工学科)	情報群	前期	畑田 直行	総合研究9号館北棟1階情報処理演習室1

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71～)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	11	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	11	月4	T006009	情報基礎演習[工学部](理工工学科)	情報群	前期	安部 豊	総合研究9号館北棟1階情報処理演習室1
工	11	火3・金2	N149026	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	生駒 英晃 他	共西31
工	11	火4	N112007	自然現象と数学	自然群	前期	青井 伸也	工学部物理系校舎315講義室
工	11	水3・金2	N151026	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	小菅 真吾	共西31
工	11	水4	N340008	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	吉田 寿雄	共東41
工	11	木1	N225011	物理学基礎論A	自然群	前期	岩室 史英	共南01
工	11	木3・木4	N308006	基礎化学実験	自然群	前期	上田 純平 他	化学実験室(2共)
工	12	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	12	月4	T006010	情報基礎演習[工学部](理工工学科)	情報群	前期	池之上 卓己	総合研究9号館北棟1階情報処理演習室2
工	12	火3・金2	N151027	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	高村 茂 他	共北37
工	12	火4	N112007	自然現象と数学	自然群	前期	青井 伸也	工学部物理系校舎315講義室
工	12	水3・金2	N149027	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	大下 顕弘 他	共北37
工	12	水4	N340008	基礎物理化学(熱力学)	自然群	前期	吉田 寿雄	共東41
工	12	木1	N225011	物理学基礎論A	自然群	前期	岩室 史英	共南01
工	12	木3・木4	N308006	基礎化学実験	自然群	前期	上田 純平 他	化学実験室(2共)
工	13	月4	T013005	情報基礎[工学部](電気電子工学科)	情報群	前期	原田 博司	総合研究8号館NSホール
工	13	火3・金1	N149028	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	田中 俊二	火3:共北38,金1:4共14
工	13	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	13	水3・金1	N151028	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	吉川 敦子 他	水3:共北38,金1:4共14
工	13	水4	N225012	物理学基礎論A	自然群	前期	松田 和博	4共11
工	13	水5	N112008	自然現象と数学	自然群	前期	和田 修己 他	総合研究9号館北棟1階N1
工	13	木3・木4	N201009	物理学実験	自然群	前期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	14	月4	T013005	情報基礎[工学部](電気電子工学科)	情報群	前期	原田 博司	総合研究8号館NSホール
工	14	火3・金1	N149029	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	神 貞介 他	共西32
工	14	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	14	水3・金1	N151029	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	岸本 大祐	共西32
工	14	水4	N225012	物理学基礎論A	自然群	前期	松田 和博	4共11
工	14	水5	N112008	自然現象と数学	自然群	前期	和田 修己 他	総合研究9号館北棟1階N1
工	14	木3・木4	N201009	物理学実験	自然群	前期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	15	月4	T013005	情報基礎[工学部](電気電子工学科)	情報群	前期	原田 博司	総合研究8号館NSホール
工	15	火3・金2	N149030	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	田中 俊二	火3:共北38,金2:4共14
工	15	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	15	水3・金2	N151030	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	吉川 敦子 他	水3:共北38,金2:4共14
工	15	水4	N225012	物理学基礎論A	自然群	前期	松田 和博	4共11
工	15	水5	N112009	自然現象と数学	自然群	前期	佐藤 亨 他	総合研究9号館北棟2階N2
工	15	木3・木4	N201009	物理学実験	自然群	前期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	16	月4	T013005	情報基礎[工学部](電気電子工学科)	情報群	前期	原田 博司	総合研究8号館NSホール
工	16	火3・金2	N149031	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	神 貞介 他	共西32
工	16	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	16	水3・金2	N151031	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	岸本 大祐	共西32
工	16	水4	N225012	物理学基礎論A	自然群	前期	松田 和博	4共11
工	16	水5	N112009	自然現象と数学	自然群	前期	佐藤 亨 他	総合研究9号館北棟2階N2
工	16	木3・木4	N201009	物理学実験	自然群	前期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	17	月1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	17	月3・火1	N151032	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	高村 茂 他	共東11
工	17	火1・水2	N149032	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	鳶田 洸一 他	共東11
工	17	火4	T006014	情報基礎演習[工学部](工業化学科)	情報群	前期	谷口 貴志 他	情報×203(情報処理室)
工	17	水3・水4	N201010	物理学実験	自然群	前期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
工	17	木1	N329008	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	大北 英生	総合研究9号館西棟1階 W1
工	17	木2	N347008	基礎有機化学I	自然群	前期	杉野日 道紀	総合研究9号館西棟1階 W1
工	17	木4	N112010	自然現象と数学	自然群	前期	佐藤 徹 他	総合研究8号館NSホール
工	17	金1	N225013	物理学基礎論A	自然群	前期	星出 敏彦	共南01

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	18	月1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	18	月3・火1	N151033	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	加藤 信一	月3:1共02,火1:4共24
工	18	火1・水2	N149033	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	林 芳樹 他	火1:4共24,水2:共西41
工	18	火4	T006014	情報基礎演習[工学部](工業化学科) 【揭示参照】	情報群	前期	谷口 貴志 他	情報×203(情報処理室)
工	18	火4	T006015	情報基礎演習[工学部](工業化学科) 【揭示参照】	情報群	前期	笹野 博之 他	情報×204(情報処理室)
工	18	水3・水4	N201010	物理学実験	自然群	前期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
工	18	木1	N329008	基礎物理化学(量子論)【揭示参照】	自然群	前期	大北 英生	総合研究9号館西棟1階 W1
工	18	木1	N329009	基礎物理化学(量子論)【揭示参照】	自然群	前期	松田 建児	総合研究9号館西棟2階 W2
工	18	木2	N347008	基礎有機化学I【揭示参照】	自然群	前期	杉野目 道紀	総合研究9号館西棟1階 W1
工	18	木2	N347009	基礎有機化学I【揭示参照】	自然群	前期	中尾 佳亮	総合研究9号館西棟1階 W2
工	18	木4	N112010	自然現象と数学	自然群	前期	佐藤 徹 他	総合研究8号館NSホール
工	18	金1	N225013	物理学基礎論A	自然群	前期	星出 敏彦	共南01
工	19	月1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	19	月3・火1	N149034	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	生駒 英晃 他	共東42
工	19	火1・水2	N151034	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	吉川 敦子 他	共東42
工	19	火4	T006015	情報基礎演習[工学部](工業化学科)	情報群	前期	笹野 博之 他	情報×204(情報処理室)
工	19	水3・水4	N201010	物理学実験	自然群	前期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
工	19	木1	N329009	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	松田 建児	総合研究9号館西棟2階 W2
工	19	木2	N347009	基礎有機化学I	自然群	前期	中尾 佳亮	総合研究9号館西棟1階 W2
工	19	木4	N112010	自然現象と数学	自然群	前期	佐藤 徹 他	総合研究8号館NSホール
工	19	金1	N225013	物理学基礎論A	自然群	前期	星出 敏彦	共南01
工	20	月1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	20	月3・火2	N151035	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	高村 茂 他	共東11
工	20	火2・水2	N149035	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	眞田 洸一 他	共東11
工	20	火3	T006016	情報基礎演習[工学部](工業化学科)	情報群	前期	谷口 貴志 他	情報×203(情報処理室)
工	20	水3・水4	N308008	基礎化学実験	自然群	前期	山本 旭 他	化学実験室(2共)
工	20	木1	N329010	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	陰山 洋	総合研究9号館西棟2階 W201
工	20	木2	N347010	基礎有機化学I	自然群	前期	大江 浩一	総合研究9号館西棟2階 W201
工	20	木4	N112011	自然現象と数学	自然群	前期	長嶺 信輔 他	総合研究4号館共通3講義室
工	20	金1	N225014	物理学基礎論A	自然群	前期	宮内 雄平	共南11
工	21	月1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	21	月3・火2	N151036	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	加藤 信一	月3:1共02,火2:4共24
工	21	火2・水2	N149036	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	林 芳樹 他	火2:4共24,水2:共西41
工	21	火3	T006016	情報基礎演習[工学部](工業化学科) 【揭示参照】	情報群	前期	谷口 貴志 他	情報×203(情報処理室)
工	21	火3	T006017	情報基礎演習[工学部](工業化学科) 【揭示参照】	情報群	前期	笹野 博之 他	情報×204(情報処理室)
工	21	水3・水4	N308008	基礎化学実験	自然群	前期	山本 旭 他	化学実験室(2共)
工	21	木1	N329010	基礎物理化学(量子論)【揭示参照】	自然群	前期	陰山 洋	総合研究9号館西棟2階 W201
工	21	木1	N329011	基礎物理化学(量子論)【揭示参照】	自然群	前期	今堀 博	総合研究9号館西棟2階 W202
工	21	木2	N347010	基礎有機化学I【揭示参照】	自然群	前期	大江 浩一	総合研究9号館西棟2階 W201
工	21	木2	N347011	基礎有機化学I【揭示参照】	自然群	前期	松原 誠二郎	総合研究9号館西棟2階 W202
工	21	木4	N112011	自然現象と数学	自然群	前期	長嶺 信輔 他	総合研究4号館共通3講義室
工	21	金1	N225014	物理学基礎論A	自然群	前期	宮内 雄平	共南11
工	22	月1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	22	月3・火2	N149037	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	生駒 英晃 他	共東42
工	22	火2・水2	N151037	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	吉川 敦子 他	共東42
工	22	火3	T006017	情報基礎演習[工学部](工業化学科)	情報群	前期	笹野 博之 他	情報×204(情報処理室)
工	22	水3・水4	N308008	基礎化学実験	自然群	前期	山本 旭 他	化学実験室(2共)
工	22	木1	N329011	基礎物理化学(量子論)	自然群	前期	今堀 博	総合研究9号館西棟2階 W202
工	22	木2	N347011	基礎有機化学I	自然群	前期	松原 誠二郎	総合研究9号館西棟2階 W202
工	22	木4	N112011	自然現象と数学	自然群	前期	長嶺 信輔 他	総合研究4号館共通3講義室
工	22	金1	N225014	物理学基礎論A	自然群	前期	宮内 雄平	共南11

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	23	火3・火4	N118001	微分積分学A	自然群	前期	久保 雅義	1共31
工	23	水1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	23	水2	N112014	自然現象と数学	自然群	前期	矢ヶ崎 一幸 他	共南01
工	23	水3	N120001	線形代数学A	自然群	前期	中村 佳正	共南01
工	23	水4	N225015	物理学基礎論A	自然群	前期	梅野 健	共南01
工	23	木3・木4	N201009	物理学実験	自然群	前期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	24	月2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
工	24	火3・火4	N118001	微分積分学A	自然群	前期	久保 雅義	1共31
工	24	水2	N112014	自然現象と数学	自然群	前期	矢ヶ崎 一幸 他	共南01
工	24	水3	N120001	線形代数学A	自然群	前期	中村 佳正	共南01
工	24	水4	N225015	物理学基礎論A	自然群	前期	梅野 健	共南01
工	24	木3・木4	N201009	物理学実験	自然群	前期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	25	月3・火2	N159001	Linear Algebra with Exercises A	自然群	前期	COLLINS, Benoit Vincent Pierre	4共41
工	25	月4	R352001	Scientific English IA(Reading and Writing)	外国語群	通年	CHANG, Kai-Chun	共北3B
工	25	火2・水2	N157001	Calculus with Exercises A	自然群	前期	Karel SVADLENKA	4共41
工	25	火3	N168001	Mathematical Description of Natural Phenomena	自然群	前期	CHANG, Kai-Chun	共北3D
工	25	火4	T008001	Practice of Basic Informatics	情報群	前期	FLORES Giancarlo 他	総合研究9号館北棟1階情報 処理演習室1
工	25	木3	R353001	Scientific English IB(Technical Communication & Discussions)	外国語群	通年	KIM, SUNMIN	共北3B
工	25	木4	N208001	Fundamental Physics A	自然群	前期	QURESHI, Ali Gul	共北3C
工	25	金2	N533001	Introduction to Earth Science A	自然群	前期	FLORES Giancarlo	共北3B
工	25	金4・金5	R477001	日本語初級IA(4Hコース)	外国語群	前期	家本 太郎	共北3D
工	25	金4・金5	R484001	日本語初級IIA(4Hコース)	外国語群	前期	川島 信恵	1共04
農	1	月1	N484004	生物・生命科学入門	自然群	前期	中世古 幸信 他	4共11
農	1	月2・水3	N149038	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	梅田 亨	月2:1共32,水3:4共24
農	1	火1	N225016	物理学基礎論A	自然群	前期	青山 秀明	4共31
農	1	火2・水3	N151038	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	川崎 謙一郎 他	火2:1共03,水3:4共24
農	1	火3・火4	N308009	基礎化学実験【資源生物科学科】	自然群	前期	津江 広人 他	化学実験室(2共)
農	1	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	1	金2	N347012	基礎有機化学I	自然群	前期	森 直樹	共東11
農	1	金3	N359003	基礎物理化学要論【森林科学科】	自然群	前期	熊崎 茂一	共西41
農	2	月1	N484004	生物・生命科学入門	自然群	前期	中世古 幸信 他	4共11
農	2	月2・水3	N151039	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	森田 英俊 他	月2:共東11,水3:4共12
農	2	火1	N225016	物理学基礎論A	自然群	前期	青山 秀明	4共31
農	2	火2・水3	N149039	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	岡安 類 他	火2:共北31,水3:4共12
農	2	火3・火4	N308009	基礎化学実験【資源生物科学科】	自然群	前期	津江 広人 他	化学実験室(2共)
農	2	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	2	金2	N347012	基礎有機化学I	自然群	前期	森 直樹	共東11
農	2	金3	N359003	基礎物理化学要論【森林科学科】	自然群	前期	熊崎 茂一	共西41
農	3	月1	N484004	生物・生命科学入門	自然群	前期	中世古 幸信 他	4共11
農	3	月2・水3	N149040	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	畑 政義	月2:共西32,水3:4共20
農	3	火1	N225016	物理学基礎論A	自然群	前期	青山 秀明	4共31
農	3	火2・水3	N151040	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	岡 宏枝 他	火2:1共02,水3:4共20
農	3	火3・火4	N308009	基礎化学実験【資源生物科学科】	自然群	前期	津江 広人 他	化学実験室(2共)
農	3	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	3	金2	N347012	基礎有機化学I【森林科学科】	自然群	前期	森 直樹	共東11
農	3	金3	N359003	基礎物理化学要論【森林科学科】	自然群	前期	熊崎 茂一	共西41
農	3	金3	N347013	基礎有機化学I【資源生物科学科】	自然群	前期	村上 一馬	共南01

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(1) 1回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
農	4	月1	N484005	生物・生命科学入門	自然群	前期	豊島 文子 他	4共21
農	4	月2・水3	N149041	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	角 大輝	月2:共北31,水3:4共22
農	4	火1	N225016	物理学基礎論A	自然群	前期	青山 秀明	4共31
農	4	火2・水3	N151041	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	永田 雅嗣 他	火2:共北38,水3:4共22
農	4	火3・火4	N308009	基礎化学実験【資源生物科学科】	自然群	前期	津江 広人 他	化学実験室(2共)
農	4	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	4	金2	N347012	基礎有機化学I【森林科学科】	自然群	前期	森 直樹	共東11
農	4	金3	N359003	基礎物理化学要論【森林科学科】	自然群	前期	熊崎 茂一	共西41
農	4	金3	N347013	基礎有機化学I【資源生物科学科】	自然群	前期	村上 一馬	共南01
農	5	月1	N484005	生物・生命科学入門	自然群	前期	豊島 文子 他	4共21
農	5	月2・水4	N149042	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	梅田 亨	月2:1共32,水4:4共24
農	5	火2・水4	N151042	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	川崎 謙一郎 他	火2:1共03,水4:4共24
農	5	金1	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	6	月1	N484005	生物・生命科学入門	自然群	前期	豊島 文子 他	4共21
農	6	月2・水4	N151043	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	森田 英俊 他	月2:共東11,水4:4共12
農	6	火1	N225017	物理学基礎論A	自然群	前期	野上 大作	情報メ地下講義室
農	6	火2・水4	N149043	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	岡安 類 他	火2:共北31,水4:4共12
農	6	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	7	月1	N484003	生物・生命科学入門	自然群	前期	松本 智裕 他	4共31
農	7	月2・水4	N149044	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	畑 政義	月2:共西32,水4:4共20
農	7	火1	N225017	物理学基礎論A	自然群	前期	野上 大作	情報メ地下講義室
農	7	火2・水4	N151044	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	岡 宏枝 他	火2:1共02,水4:4共20
農	7	火3・火4	N308009	基礎化学実験【食品生物科学科】	自然群	前期	津江 広人 他	化学実験室(2共)
農	7	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	7	金2	N359004	基礎物理化学要論【食品生物科学科】	自然群	前期	馬場 正昭	共南01
農	7	金3	N347013	基礎有機化学I【食品生物科学科】	自然群	前期	村上 一馬	共南01
農	8	月1	N484003	生物・生命科学入門	自然群	前期	松本 智裕 他	4共31
農	8	月2・水4	N149045	微分積分学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	角 大輝	月2:共北31,水4:4共22
農	8	火1	N225017	物理学基礎論A	自然群	前期	野上 大作	情報メ地下講義室
農	8	火2・水4	N151045	線形代数学(講義・演義)A【※2】	自然群	前期	永田 雅嗣 他	火2:共北38,水4:4共22
農	8	火3・火4	N308009	基礎化学実験【食品生物科学科】	自然群	前期	津江 広人 他	化学実験室(2共)
農	8	木2	※3	スポーツ実習IA	健康群	前期		
農	8	金2	N359004	基礎物理化学要論【食品生物科学科】	自然群	前期	馬場 正昭	共南01
農	8	金3	N347013	基礎有機化学I【食品生物科学科】	自然群	前期	村上 一馬	共南01

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)A」及び「線形代数学(講義・演義)A」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IA」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(2)2回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
総合人間	1	火2	N130001	線形代数学統論	自然群	前期	木坂 正史	共北27
総合人間	2	火2	N130001	線形代数学統論	自然群	前期	木坂 正史	共北27
総合人間	3	火2	N130001	線形代数学統論	自然群	前期	木坂 正史	共北27
理	1	月2	N131001	確率論基礎	自然群	前期	重川 一郎	4共20
理	1	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	1	火2	N125001	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	大鍛治 隆司	4共11
理	1	火4	N130002	線形代数学統論	自然群	前期	平賀 郁	4共31
理	1	水3	N124001	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	上 正明	4共31
理	2	月2	N131001	確率論基礎	自然群	前期	重川 一郎	4共20
理	2	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	2	火2	N125001	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	大鍛治 隆司	4共11
理	2	火4	N130002	線形代数学統論	自然群	前期	平賀 郁	4共31
理	2	水3	N124001	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	上 正明	4共31
理	3	月2	N131001	確率論基礎	自然群	前期	重川 一郎	4共20
理	3	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	3	火2	N125001	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	大鍛治 隆司	4共11
理	3	火4	N130002	線形代数学統論	自然群	前期	平賀 郁	4共31
理	3	水3	N124001	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	上 正明	4共31
理	4	月2	N131001	確率論基礎	自然群	前期	重川 一郎	4共20
理	4	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	4	火2	N125001	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	大鍛治 隆司	4共11
理	4	火4	N130002	線形代数学統論	自然群	前期	平賀 郁	4共31
理	4	水3	N124001	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	上 正明	4共31
理	5	月2	N131002	確率論基礎	自然群	前期	岩塚 明	共北25
理	5	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	5	火2	N124002	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	浅岡 正幸	共西41
理	5	水3	N125002	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	磯 祐介	1共31
理	5	金3	N130003	線形代数学統論	自然群	前期	川ノ上 帆	共南11
理	6	月2	N131002	確率論基礎	自然群	前期	岩塚 明	共北25
理	6	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	6	火2	N124002	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	浅岡 正幸	共西41
理	6	水3	N125002	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	磯 祐介	1共31
理	6	金3	N130003	線形代数学統論	自然群	前期	川ノ上 帆	共南11
理	7	月2	N131002	確率論基礎	自然群	前期	岩塚 明	共北25
理	7	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	7	火2	N124002	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	浅岡 正幸	共西41
理	7	水3	N125002	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	磯 祐介	1共31
理	7	金3	N130003	線形代数学統論	自然群	前期	川ノ上 帆	共南11
理	8	月2	N131002	確率論基礎	自然群	前期	岩塚 明	共北25
理	8	火1	N233001	電磁気学統論	自然群	前期	松田 祐司	4共21
理	8	火2	N124002	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	浅岡 正幸	共西41
理	8	水3	N125002	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	前期	磯 祐介	1共31
理	8	金3	N130003	線形代数学統論	自然群	前期	川ノ上 帆	共南11
医	1	水1	W222001	臨床コミュニケーション(医・英)-E3	キャリア群	前期	小西 靖彦 他	医学部A棟103・107セミナー室
医	2	水2	W222002	臨床コミュニケーション(医・英)-E3	キャリア群	前期	小西 靖彦 他	医学部A棟103・107セミナー室
医	3	水3	W222003	臨床コミュニケーション(医・英)-E3	キャリア群	前期	小西 靖彦 他	医学部A棟103・107セミナー室
工	1	水2	N124003	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	1	金2	N130004	線形代数学統論	自然群	前期	朝田 衛	共南11
工	2	水2	N124003	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	2	金2	N130004	線形代数学統論	自然群	前期	朝田 衛	共南11
工	3	火2	N130001	線形代数学統論	自然群	前期	木坂 正史	共北27
工	3	水2	N124003	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	4	火2	N130001	線形代数学統論	自然群	前期	木坂 正史	共北27
工	4	水2	N124003	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	5	火2	N227001	熱力学	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
工	5	火4	N124004	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	高尾 尚武	4共21
工	5	木1	N131003	確率論基礎	自然群	前期	上木 直昌	4共11
工	5	金2	N228001	振動・波動論	自然群	前期	吉田 鉄平	4共11

(2)2回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	6	火2	N227001	熱力学	自然群	前期	阪上 雅昭	共南11
工	6	火4	N124004	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	高尾 尚武	4共21
工	6	木1	N131003	確率論基礎	自然群	前期	上木 直昌	4共11
工	6	金2	N228001	振動・波動論	自然群	前期	吉田 鉄平	4共11
工	7	月1	N131004	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	共南11
工	7	水2	N233002	電磁気学統論	自然群	前期	蓮尾 昌裕	共南11
工	7	木3	N124005	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤井 慎一	教育棟講義室32
工	8	月1	N131004	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	共南11
工	8	水2	N233002	電磁気学統論	自然群	前期	蓮尾 昌裕	共南11
工	8	木3	N124005	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤井 慎一	教育棟講義室32
工	9	月1	N131004	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	共南11
工	9	火2	N233003	電磁気学統論	自然群	前期	松尾 二郎	共北26
工	9	木3	N124005	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	藤井 慎一	教育棟講義室32
工	10	火2	N233003	電磁気学統論	自然群	前期	松尾 二郎	共北26
工	10	水2	N131005	確率論基礎	自然群	前期	白石 大典	4共21
工	10	金4	N124006	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	高尾 尚武	共南01
工	11	火2	N233004	電磁気学統論	自然群	前期	江利口 浩二	1共33
工	11	水2	N131005	確率論基礎	自然群	前期	白石 大典	4共21
工	11	金4	N124006	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	高尾 尚武	共南01
工	12	火2	N233004	電磁気学統論	自然群	前期	江利口 浩二	1共33
工	12	水2	N131005	確率論基礎	自然群	前期	白石 大典	4共21
工	12	金4	N124006	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	高尾 尚武	共南01
工	13	月2	N131006	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	情報メ地下講義室
工	13	月5	N124007	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	松尾 哲司 他	工学部電気総合館1階大講義室
工	13	火2	N143001	関数論	自然群	前期	萩原 朋道 他	総合研究4号館 共通1講義室
工	13	火4	N130005	線形代数学統論	自然群	前期	神 貞介	4共30
工	14	月2	N131006	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	情報メ地下講義室
工	14	月5	N124007	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	松尾 哲司 他	工学部電気総合館1階大講義室
工	14	火2	N143001	関数論	自然群	前期	萩原 朋道 他	総合研究4号館 共通1講義室
工	14	火4	N130005	線形代数学統論	自然群	前期	神 貞介	4共30
工	15	月2	N131006	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	情報メ地下講義室
工	15	月5	N124007	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	松尾 哲司 他	工学部電気総合館1階大講義室
工	15	火2	N143001	関数論	自然群	前期	萩原 朋道 他	総合研究4号館 共通1講義室
工	15	火4	N130005	線形代数学統論	自然群	前期	神 貞介	4共30
工	16	月2	N131006	確率論基礎	自然群	前期	森 淳秀	情報メ地下講義室
工	16	月5	N124007	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	松尾 哲司 他	工学部電気総合館1階大講義室
工	16	火2	N143001	関数論	自然群	前期	萩原 朋道 他	総合研究4号館 共通1講義室
工	16	火4	N130005	線形代数学統論	自然群	前期	神 貞介	4共30
工	17	水4	N124008	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	岡井 孝行	共北38
工	18	水4	N124008	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	岡井 孝行	共北38
工	19	水4	N124008	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	岡井 孝行	共北38
工	20	木3	N124009	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	武石 拓也	共東11
工	21	木3	N124009	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	武石 拓也	共東11
工	22	木3	N124009	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	武石 拓也	共東11
工	23	月2	N130006	線形代数学統論	自然群	前期	足立 匡義	共南01
工	23	木1	N131003	確率論基礎	自然群	前期	上木 直昌	4共11
工	23	木3	N124010	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	西村 直志	共北37
工	24	月2	N130006	線形代数学統論	自然群	前期	足立 匡義	共南01
工	24	木1	N131003	確率論基礎	自然群	前期	上木 直昌	4共11
工	24	木3	N124010	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	西村 直志	共北37
工	25	水2	W227001	Advanced Scientific English-E3(Debate)	キャリア群	通年	SCHMOCKER, Jan-Dirk 他	共北3B
工	25	水5	N169001	Advanced Calculus I-Vector Calculus	自然群	前期	QURESHI, Ali Gul	共北11
工	25	木4	N207001	Physics of Wave and Oscillation	自然群	前期	KIM, SUNMIN	共北3B
工	25	金2	N106001	Advanced Linear Algebra	自然群	前期	CHANG, Kai-Chun	共北3C
工	25	金3	W226001	Scientific English II-E3(Presentation & Discussion)	キャリア群	通年	FLORES Giancarlo	共北3B
農	1	火3	T014001	情報基礎【農学部】【資源生物科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	1	金1	N131007	確率論基礎【資源生物科学科】	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	1	金3	T014003	情報基礎【農学部】【森林科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21

(2)2回生クラス指定科目(前期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
農	2	火3	T014001	情報基礎[農学部]【資源生物科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	2	金1	N131007	確率論基礎【資源生物科学科】	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	2	金3	T014003	情報基礎[農学部]【森林科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	3	火3	T014001	情報基礎[農学部]【資源生物科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	3	金1	N131007	確率論基礎【資源生物科学科】	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	3	金3	T014003	情報基礎[農学部]【森林科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	4	火3	T014001	情報基礎[農学部]【資源生物科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	4	金1	N131007	確率論基礎【資源生物科学科】	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	4	金3	T014003	情報基礎[農学部]【森林科学科】	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	5	火3	T014001	情報基礎[農学部]	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	5	金1	N131007	確率論基礎	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	6	火4	N124004	微分積分学統論I-ベクトル解析	自然群	前期	高尾 尚武	4共21
農	6	金1	N131007	確率論基礎	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	6	金3	T014003	情報基礎[農学部]	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	7	金1	N131007	確率論基礎【応用生命科学科】	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	7	金2	T014002	情報基礎[農学部]	情報群	前期	三宅 武	共東21
農	8	金1	N131007	確率論基礎【応用生命科学科】	自然群	前期	山崎 愛一	共北25
農	8	金2	T014002	情報基礎[農学部]	情報群	前期	三宅 武	共東21

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
総合人間	1	月1	N329001	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	吉田 寿雄	共東41
総合人間	1	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
総合人間	1	月2・水3	N152002	線形代数学(講義・演義)B【※2 微分積分学は水3・木2のクラスを受講してください。】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
総合人間	1	月2・水4	N152001	線形代数学(講義・演義)B【※2 微分積分学は水4・木2のクラスを受講してください。】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
総合人間	1	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
総合人間	1	火2	※3	スポーツ実習IB【理系科目受講者向】	健康群	後期		
総合人間	1	火3・火4	N308002	基礎化学実験	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
総合人間	1	火4・木2	N123001	数学基礎B[文系]	自然群	後期	上木 直昌	共北31
総合人間	1	水3・木2	N150002	微分積分学(講義・演義)B【※2 線形代数学は月2・水3のクラスを受講してください。】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
総合人間	1	水4・木2	N150001	微分積分学(講義・演義)B【※2 線形代数学は月2・水4のクラスを受講してください。】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
総合人間	1	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
総合人間	1	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
総合人間	1	金3	N348001	基礎有機化学II	自然群	後期	津江 広人	1共03
総合人間	2	月1	N329001	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	吉田 寿雄	共東41
総合人間	2	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
総合人間	2	月2・水3	N152002	線形代数学(講義・演義)B【※2 微分積分学は水3・木2のクラスを受講してください。】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
総合人間	2	月2・水4	N152001	線形代数学(講義・演義)B【※2 微分積分学は水4・木2のクラスを受講してください。】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
総合人間	2	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
総合人間	2	火2	※3	スポーツ実習IB【理系科目受講者向】	健康群	後期		
総合人間	2	火3・火4	N308002	基礎化学実験	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
総合人間	2	火4・木2	N123001	数学基礎B[文系]	自然群	後期	上木 直昌	共北31
総合人間	2	水3・木2	N150002	微分積分学(講義・演義)B【※2 線形代数学は月2・水3のクラスを受講してください。】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
総合人間	2	水4・木2	N150001	微分積分学(講義・演義)B【※2 線形代数学は月2・水4のクラスを受講してください。】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
総合人間	2	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
総合人間	2	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
総合人間	2	金3	N348001	基礎有機化学II	自然群	後期	津江 広人	1共03
総合人間	3	月1	N329001	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	吉田 寿雄	共東41
総合人間	3	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
総合人間	3	月2・水3	N152002	線形代数学(講義・演義)B【※2 微分積分学は水3・木2のクラスを受講してください。】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
総合人間	3	月2・水4	N152001	線形代数学(講義・演義)B【※2 微分積分学は水4・木2のクラスを受講してください。】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
総合人間	3	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
総合人間	3	火2	※3	スポーツ実習IB【理系科目受講者向】	健康群	後期		
総合人間	3	火3・火4	N308002	基礎化学実験	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
総合人間	3	火4・木2	N123001	数学基礎B[文系]	自然群	後期	上木 直昌	共北31
総合人間	3	水3・木2	N150002	微分積分学(講義・演義)B【※2 線形代数学は月2・水3のクラスを受講してください。】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
総合人間	3	水4・木2	N150001	微分積分学(講義・演義)B【※2 線形代数学は月2・水4のクラスを受講してください。】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
総合人間	3	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
総合人間	3	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
総合人間	3	金3	N348001	基礎有機化学II	自然群	後期	津江 広人	1共03
文	1	火2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
文	2	火2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
文	3	火2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
文	4	火2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
文	5	火2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
文	6	火2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
教育	1	月2・水3	N152002	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
教育	1	水3・木2	N150002	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
教育	1	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
教育	2	月2・水3	N152002	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	清水 扇丈	4共10
教育	2	水3・木2	N150002	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	足立 匡義	4共10
教育	2	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	1	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	2	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	3	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	4	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	5	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	6	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	7	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
法	8	金2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
経済	1	火4・木2	N123002	数学基礎B[文系]	自然群	後期	赤坂 立也	共西31
経済	2	火4・木2	N123002	数学基礎B[文系]	自然群	後期	赤坂 立也	共西31
経済	3	火4・木2	N123002	数学基礎B[文系]	自然群	後期	赤坂 立也	共西31
経済	4	火4・木2	N123002	数学基礎B[文系]	自然群	後期	赤坂 立也	共西31
経済	5	火4・木2	N123001	数学基礎B[文系]	自然群	後期	上木 直昌	共北31
経済	6	火4・木2	N123001	数学基礎B[文系]	自然群	後期	上木 直昌	共北31
理	1	月2・木1	N150003	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	前川 泰則	共東32
理	1	月4	N226002	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 耕一郎	共南11
理	1	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	1	水1	N485001	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	沼田 英治 他	理学部6号館201講義室
理	1	水2	N340002	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	渡邊 一也	共北37
理	1	水4	N486001	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	今元 泰 他	共北31
理	1	木1・金2	N152003	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	雪江 明彦	共東32
理	1	木4	T003001	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	1	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	1	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	1	金3・金4	N308001	基礎化学実験	自然群	後期	田村 類 他	化学実験室(2共)
理	2	月2・木1	N152004	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	菊地 克彦	1共02
理	2	月4	N226002	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 耕一郎	共南11
理	2	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	2	水1	N485001	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	沼田 英治 他	理学部6号館201講義室
理	2	水2	N340002	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	渡邊 一也	共北37
理	2	水4	N486001	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	今元 泰 他	共北31
理	2	木1・金2	N150004	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大鍛治 隆司	1共02
理	2	木4	T003001	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	2	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	2	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	2	金3・金4	N308001	基礎化学実験	自然群	後期	田村 類 他	化学実験室(2共)
理	3	月2・木1	N150005	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	吉川 謙一	共北28
理	3	月4	N226002	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 耕一郎	共南11
理	3	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	3	火3・火4	N308002	基礎化学実験	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
理	3	水1	N485001	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	沼田 英治 他	理学部6号館201講義室
理	3	水2	N340002	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	渡邊 一也	共北37
理	3	水4	N486001	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	今元 泰 他	共北31
理	3	木1・金2	N152005	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	長崎 生光 他	共北28
理	3	木4	T003001	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	3	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	3	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	3	金3・金4	N544002	地球科学実験	自然群	後期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)

後期登録科目

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
理	4	月2・木1	N152006	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	藤原 耕二	1共31
理	4	月4	N226003	物理学基礎論B	自然群	後期	谷森 達	1共31
理	4	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	4	水1	N485001	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	沼田 英治 他	理学部6号館201講義室
理	4	水2	N340003	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	武田 和行	共北31
理	4	水4	N486001	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	今元 泰 他	共北31
理	4	木1・金2	N150006	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	塚本 千秋 他	1共31
理	4	木4	T003001	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	4	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	4	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	4	金3・金4	N201003	物理学実験	自然群	後期	宮本 嘉久 他	物理学実験室(2共)
理	5	月2・木2	N150007	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	前川 泰則	共東32
理	5	月4	N226003	物理学基礎論B	自然群	後期	谷森 達	1共31
理	5	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	5	水1	N485002	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	曾田 貞滋 他	理学部6号館303講義室
理	5	水2	N340003	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	武田 和行	共北31
理	5	水4	N486002	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	小山 時隆 他	共北27
理	5	木2・金2	N152007	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	雪江 明彦	共東32
理	5	木5	T003002	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	5	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	5	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	5	金3・金4	N201003	物理学実験	自然群	後期	宮本 嘉久 他	物理学実験室(2共)
理	6	月2・木2	N152008	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	菊地 克彦	1共02
理	6	月4	N226003	物理学基礎論B	自然群	後期	谷森 達	1共31
理	6	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	6	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
理	6	水1	N485002	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	曾田 貞滋 他	理学部6号館303講義室
理	6	水2	N340003	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	武田 和行	共北31
理	6	水4	N486002	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	小山 時隆 他	共北27
理	6	木2・金2	N150008	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大鍛治 隆司	1共02
理	6	木5	T003002	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	6	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	6	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	6	金3・金4	N544002	地球科学実験	自然群	後期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
理	7	月2・木2	N150009	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	吉川 謙一	共北28
理	7	月4	N226004	物理学基礎論B	自然群	後期	柴田 一成	共北26
理	7	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	7	火3・火4	N308002	基礎化学実験	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
理	7	水1	N485002	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	曾田 貞滋 他	理学部6号館303講義室
理	7	水2	N340004	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	奥山 弘	共北27
理	7	水4	N486002	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	小山 時隆 他	共北27
理	7	木2・金2	N152009	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	長崎 生光 他	共北28
理	7	木5	T003002	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	7	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	7	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	7	金3・金4	N544002	地球科学実験	自然群	後期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
理	8	月2・木2	N152010	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	藤原 耕二	1共31
理	8	月4	N226004	物理学基礎論B	自然群	後期	柴田 一成	共北26
理	8	火1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
理	8	火3・火4	N308002	基礎化学実験	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
理	8	水1	N485002	個体と集団の基礎生物学	自然群	後期	曾田 貞滋 他	理学部6号館303講義室
理	8	水2	N340004	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	奥山 弘	共北27
理	8	水4	N486002	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	小山 時隆 他	共北27
理	8	木2・金2	N150010	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	塚本 千秋 他	1共31
理	8	木5	T003002	情報基礎演習[理学部]	情報群	後期	西村 進	情報*203・204
理	8	金1	N532001	基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)	自然群	後期	石川 尚人	4共21
理	8	金1	N532002	基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)	自然群	後期	酒井 敏	4共31
理	8	金3・金4	N544002	地球科学実験	自然群	後期	石川 尚人 他	理系総合実習室(2共)
医	1	月1	N348002	基礎有機化学II	自然群	後期	小松 直樹	共北31
医	1	火1	N226005	物理学基礎論B	自然群	後期	藤原 直樹	共北27
医	1	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
医	2	月1	N348002	基礎有機化学II	自然群	後期	小松 直樹	共北31
医	2	火1	N226005	物理学基礎論B	自然群	後期	藤原 直樹	共北27
医	2	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
医	3	月1	N348002	基礎有機化学II	自然群	後期	小松 直樹	共北31
医	3	月3・月4	N308005	基礎化学実験	自然群	後期	田部 勢津久 他	化学実験室(2共)
医	3	火1	N226005	物理学基礎論B	自然群	後期	藤原 直樹	共北27
医	3	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
医	4	月4	N486004	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	秋山 秋梅 他	共北27
医	4	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
医	4	火2・水1	N152011	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大塚 研一	火2:情報*地下,水1:4共22
医	4	水1・木1	N150011	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大塚 研一	水1:4共22,木1:情報*地下
医	4	水3・水4	N201006	物理学実験	自然群	後期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
医	4	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
医	5	月4	N486004	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	秋山 秋梅 他	共北27
医	5	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
医	5	火2・水2	N152044	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大塚 研一	火2:情報*地下,水2:4共22
医	5	水2・木1	N150044	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大塚 研一	水2:4共22,木1:情報*地下
医	5	水3・水4	N201006	物理学実験	自然群	後期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
医	5	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
医	5	金3・金4	N308001	基礎化学実験	自然群	後期	田村 類 他	化学実験室(2共)
医	6	月4	N486004	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	秋山 秋梅 他	共北27
医	6	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
医	6	火2・水1	N152011	線形代数学(講義・演義)B【※2 掲示参照】	自然群	後期	大塚 研一	火2:情報*地下,水1:4共22
医	6	火2・水2	N152044	線形代数学(講義・演義)B【※2 掲示参照】	自然群	後期	大塚 研一	火2:情報*地下,水2:4共22
医	6	水1・木1	N150011	微分積分学(講義・演義)B【※2 掲示参照】	自然群	後期	大塚 研一	水1:4共22,木1:情報*地下
医	6	水2・木1	N150044	微分積分学(講義・演義)B【※2 掲示参照】	自然群	後期	大塚 研一	水2:4共22,木1:情報*地下
医	6	水3・水4	N201006	物理学実験	自然群	後期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
医	6	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
医	6	金3・金4	N308001	基礎化学実験	自然群	後期	田村 類 他	化学実験室(2共)
薬	1	月4	N340005	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	星野 大他	薬学部本館2階講堂
薬	1	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
薬	1	水1・木2	N152012	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	藤井 慎一 他	共北32
薬	1	水1・金3	N150012	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	塚本 千秋 他	共北32
薬	1	水3	N348003	基礎有機化学II	自然群	後期	大野 浩章	薬学部本館2階講堂
薬	1	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
薬	2	月4	N340005	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	星野 大他	薬学部本館2階講堂
薬	2	火1	N226001	物理学基礎論B	自然群	後期	宮本 嘉久	共北26
薬	2	水2・木2	N152013	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	藤井 慎一 他	共北32
薬	2	水2・金3	N150013	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	塚本 千秋 他	共北32
薬	2	水3	N348003	基礎有機化学II	自然群	後期	大野 浩章	薬学部本館2階講堂
薬	2	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	1	月3・火1	N152014	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	森田 英俊 他	月3:共東31,火1:4共20
工	1	火1・水2	N150014	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大下 顕弘 他	火1:4共20,水2:共北38
工	1	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	1	水4	T013001	情報基礎[工学部](地球工学科)	情報群	後期	牛島 省 他	教育棟講義室31
工	1	木1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	1	金1	N226006	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共11
工	1	金3・金4	N308001	基礎化学実験	自然群	後期	田村 類 他	化学実験室(2共)
工	2	月3・火1	N150015	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	原田 雅名	共西32
工	2	火1・水2	N152015	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	清水 達郎 他	共西32
工	2	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	2	水4	T013001	情報基礎[工学部](地球工学科)	情報群	後期	牛島 省 他	教育棟講義室31
工	2	木1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	2	金1	N226006	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共11
工	2	金3・金4	N308001	基礎化学実験	自然群	後期	田村 類 他	化学実験室(2共)
工	3	月3・火2	N152016	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	森田 英俊 他	月3:共東31,火2:4共20
工	3	火2・水2	N150016	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大下 顕弘 他	火2:4共20,水2:共北38
工	3	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	3	水4	T013001	情報基礎[工学部](地球工学科)	情報群	後期	牛島 省 他	教育棟講義室31
工	3	木1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	3	金1	N226007	物理学基礎論B	自然群	後期	木下 俊哉	共北28
工	4	月3・火2	N150017	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	原田 雅名	共西32
工	4	火2・水2	N152017	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	清水 達郎 他	共西32
工	4	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	4	水4	T013001	情報基礎[工学部](地球工学科)	情報群	後期	牛島 省 他	教育棟講義室31
工	4	木1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	4	金1	N226007	物理学基礎論B	自然群	後期	木下 俊哉	共北28
工	5	火1・水2	N150018	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	畑 政義 他	共南21
工	5	火1・金1	N152018	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	藤本 圭男 他	共南21
工	5	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	5	水4	N752001	図学B	自然群	後期	中嶋 節子	共東42
工	5	木1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	5	木2	N226008	物理学基礎論B	自然群	後期	石澤 明宏	4共11
工	5	金3	T013002	情報基礎[工学部](建築学科)	情報群	後期	田島 敬史	総合研究9号館北棟4階N8
工	6	火2・水2	N150019	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	畑 政義 他	共南21
工	6	火2・金1	N152019	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	藤本 圭男 他	共南21
工	6	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
工	6	水4	N752001	図学B	自然群	後期	中嶋 節子	共東42
工	6	木1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	6	木2	N226008	物理学基礎論B	自然群	後期	石澤 明宏	4共11
工	6	金3	T013002	情報基礎[工学部](建築学科)	情報群	後期	田島 敬史	総合研究9号館北棟4階N8
工	7	月3・月4	N201007	物理学実験	自然群	後期	木下 俊哉 他	物理学実験室(2共)
工	7	火3・金1	N152020	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	矢ヶ崎 達彦 他	共西41
工	7	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	7	水3・金1	N150020	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	林 芳樹 他	共西41
工	7	水4	N329005	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	中西 和樹	共北26
工	7	木1	N226009	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共21
工	7	木4	T013003	情報基礎[工学部](物理工学科)	情報群	後期	中村 裕一	物理系校舎313講義室
工	8	月3・月4	N201007	物理学実験	自然群	後期	木下 俊哉 他	物理学実験室(2共)
工	8	火3・金1	N150021	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	生駒 英晃 他	共西31
工	8	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	8	水3・金1	N152021	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	小菅 真吾	共西31
工	8	水4	N329005	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	中西 和樹	共北26
工	8	木1	N226009	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共21
工	8	木4	T013003	情報基礎[工学部](物理工学科)	情報群	後期	中村 裕一	物理系校舎313講義室

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	9	月3・月4	N308005	基礎化学実験	自然群	後期	田部 勢津久 他	化学実験室(2共)
工	9	火3・金1	N152022	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	山木 杏彦	共北37
工	9	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	9	水3・金1	N150022	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大下 顕弘 他	共北37
工	9	水4	N329006	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	田部 勢津久	共北28
工	9	木1	N226009	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共21
工	9	木4	T013003	情報基礎[工学部](物理工学科)	情報群	後期	中村 裕一	物理系校舎313講義室
工	10	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	10	月3・月4	N308005	基礎化学実験	自然群	後期	田部 勢津久 他	化学実験室(2共)
工	10	火3・金2	N152023	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	矢ヶ崎 達彦 他	共西41
工	10	水3・金2	N150023	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	林 芳樹 他	共西41
工	10	水4	N329006	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	田部 勢津久	共北28
工	10	木1	N226010	物理学基礎論B	自然群	後期	長田 哲也	4共31
工	10	木4	T013003	情報基礎[工学部](物理工学科)	情報群	後期	中村 裕一	物理系校舎313講義室
工	11	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	11	月4	T013004	情報基礎[工学部](物理工学科)	情報群	後期	近藤 一晃	物理系校舎313
工	11	火3・金2	N150024	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	生駒 英晃 他	共西31
工	11	水3・金2	N152024	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	小菅 真吾	共西31
工	11	水4	N329007	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	吉田 寿雄	共東41
工	11	木1	N226010	物理学基礎論B	自然群	後期	長田 哲也	4共31
工	11	木3・木4	N201008	物理学実験	自然群	後期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	12	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	12	月4	T013004	情報基礎[工学部](物理工学科)	情報群	後期	近藤 一晃	物理系校舎313
工	12	火3・金2	N152025	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	山木 杏彦	共北37
工	12	水3・金2	N150025	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	大下 顕弘 他	共北37
工	12	水4	N329007	基礎物理化学(量子論)	自然群	後期	吉田 寿雄	共東41
工	12	木1	N226010	物理学基礎論B	自然群	後期	長田 哲也	4共31
工	12	木3・木4	N201008	物理学実験	自然群	後期	舟橋 春彦 他	物理学実験室(2共)
工	13	火3・金1	N150026	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	田中 俊二	火3:共北38,金1:4共14
工	13	火4	N229001	力学統論	自然群	後期	青山 秀明	4共31
工	13	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	13	水3・金1	N152026	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	吉川 敦子 他	水3:共北38,金1:4共14
工	13	水5	T006011	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	大羽 成征	総合研究9号館情報処理演習室1
工	13	水5	T006012	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中尾 恵	総合研究9号館情報処理演習室2
工	13	水5	T006013	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中村 祐司	物理系校舎情報処理演習室1
工	14	火3・金1	N150027	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	神 貞介 他	共西32
工	14	火4	N229001	力学統論	自然群	後期	青山 秀明	4共31
工	14	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	14	水3・金1	N152027	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	山木 杏彦	共西32
工	14	水5	T006011	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	大羽 成征	総合研究9号館情報処理演習室1
工	14	水5	T006012	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中尾 恵	総合研究9号館情報処理演習室2
工	14	水5	T006013	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中村 祐司	物理系校舎情報処理演習室1
工	15	火3・金2	N150028	微積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	田中 俊二	火3:共北38,金2:4共14
工	15	火4	N229002	力学統論	自然群	後期	延與 佳子	共南11
工	15	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	15	水3・金2	N152028	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	吉川 敦子 他	水3:共北38,金2:4共14
工	15	水5	T006011	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	大羽 成征	総合研究9号館情報処理演習室1
工	15	水5	T006012	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中尾 恵	総合研究9号館情報処理演習室2
工	15	水5	T006013	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中村 祐司	物理系校舎情報処理演習室1

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

後期登録科目

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	16	火3・金2	N150029	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	神 貞介 他	共西32
工	16	火4	N229002	力学続論	自然群	後期	延與 佳子	共南11
工	16	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	16	水3・金2	N152029	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	山木 孝彦	共西32
工	16	水5	T006011	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	大羽 成征	総合研究9号館情報処理演習室1
工	16	水5	T006012	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中尾 恵	総合研究9号館情報処理演習室2
工	16	水5	T006013	情報基礎演習[工学部](電気電子工学科) 【揭示参照】	情報群	後期	中村 祐司	物理系校舎情報処理演習室1
工	17	月1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	17	月3・火1	N152030	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	高村 茂 他	共東11
工	17	火1・水2	N150030	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	高田 洸一 他	共東11
工	17	火4	T013006	情報基礎[工学部](工業化学科)	情報群	後期	田島 敬史 他	総合研究8号館NSホール
工	17	水3・水4	N308007	基礎化学実験	自然群	後期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
工	17	木1	N348004	基礎有機化学II	自然群	後期	秋吉 一成	総合研究9号館西棟1階 W1
工	17	木2	N340009	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	前 一廣	総合研究9号館西棟1階 W1
工	17	金1	N226006	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共11
工	18	月1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	18	月3・火1	N152031	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	佐藤 康彦	月3:1共02.火1:4共24
工	18	火1・水2	N150031	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	林 芳樹 他	火1:4共24.水2:共西41
工	18	火4	T013006	情報基礎[工学部](工業化学科)	情報群	後期	田島 敬史 他	総合研究8号館NSホール
工	18	水3・水4	N308007	基礎化学実験	自然群	後期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
工	18	木1	N348004	基礎有機化学II【揭示参照】	自然群	後期	秋吉 一成	総合研究9号館西棟1階 W1
工	18	木1	N348005	基礎有機化学II【揭示参照】	自然群	後期	辻 康之	総合研究9号館西棟2階 W2
工	18	木2	N340009	基礎物理化学(熱力学)【揭示参照】	自然群	後期	前 一廣	総合研究9号館西棟1階 W1
工	18	木2	N340010	基礎物理化学(熱力学)【揭示参照】	自然群	後期	吉崎 武尚	総合研究9号館西棟2階 W2
工	18	金1	N226006	物理学基礎論B	自然群	後期	田中 仁	4共11
工	19	月1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	19	月3・火1	N150032	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	生駒 英晃 他	共東42
工	19	火1・水2	N152032	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	吉川 敦子 他	共東42
工	19	火4	T013006	情報基礎[工学部](工業化学科)	情報群	後期	田島 敬史 他	総合研究8号館NSホール
工	19	水3・水4	N308007	基礎化学実験	自然群	後期	加藤 立久 他	化学実験室(2共)
工	19	木1	N348005	基礎有機化学II	自然群	後期	辻 康之	総合研究9号館西棟2階 W2
工	19	木2	N340010	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	吉崎 武尚	総合研究9号館西棟2階 W2
工	19	金1	N226011	物理学基礎論B	自然群	後期	永江 知文	共南11
工	20	月1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	20	月3・火2	N152033	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	高村 茂 他	共東11
工	20	火2・水2	N150033	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	高田 洸一 他	共東11
工	20	火4	T013006	情報基礎[工学部](工業化学科)	情報群	後期	田島 敬史 他	総合研究8号館NSホール
工	20	水3・水4	N201006	物理学実験	自然群	後期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
工	20	木1	N340011	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	前 一廣	総合研究9号館西棟2階 W201
工	20	木2	N348006	基礎有機化学II	自然群	後期	村上 正浩	総合研究9号館西棟2階 W201
工	20	金1	N226011	物理学基礎論B	自然群	後期	永江 知文	共南11
工	21	月1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	21	月3・火2	N152034	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	佐藤 康彦	月3:1共02.火2:4共24
工	21	火2・水2	N150034	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	林 芳樹 他	火2:4共24.水2:共西41
工	21	火4	T013006	情報基礎[工学部](工業化学科)	情報群	後期	田島 敬史 他	総合研究8号館NSホール
工	21	水3・水4	N201006	物理学実験	自然群	後期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
工	21	木1	N340011	基礎物理化学(熱力学)【揭示参照】	自然群	後期	前 一廣	総合研究9号館西棟2階 W201
工	21	木1	N340012	基礎物理化学(熱力学)【揭示参照】	自然群	後期	吉崎 武尚	総合研究9号館西棟2階 W202
工	21	木2	N348006	基礎有機化学II【揭示参照】	自然群	後期	村上 正浩	総合研究9号館西棟2階 W201
工	21	木2	N348007	基礎有機化学II【揭示参照】	自然群	後期	秋吉 一成	総合研究9号館西棟2階 W202
工	21	金1	N226011	物理学基礎論B	自然群	後期	永江 知文	共南11

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	22	月1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	22	月3・火2	N150035	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	生駒 英晃 他	共東42
工	22	火2・水2	N152035	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	吉川 敦子 他	共東42
工	22	火4	T013006	情報基礎[工学部](工業化学科)	情報群	後期	田島 敬史 他	総合研究8号館NSホール
工	22	水3・水4	N201006	物理学実験	自然群	後期	藤原 直樹 他	物理学実験室(2共)
工	22	木1	N340012	基礎物理化学(熱力学)	自然群	後期	吉崎 武尚	総合研究9号館西棟2階 W202
工	22	木2	N348007	基礎有機化学II	自然群	後期	秋吉 一成	総合研究9号館西棟2階 W202
工	22	金1	N226011	物理学基礎論B	自然群	後期	永江 知文	共南11
工	23	火3・水2	N119001	微分積分学B	自然群	後期	久保 雅義	1共31
工	23	火4	N229003	力学統論	自然群	後期	五十嵐 顕人	共北25
工	23	水1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	23	水3	N121001	線形代数学B	自然群	後期	中村 佳正	共南01
工	23	水4	N226012	物理学基礎論B	自然群	後期	宮崎 修次	共南01
工	24	月2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
工	24	火3・水2	N119001	微分積分学B	自然群	後期	久保 雅義	1共31
工	24	火4	N229003	力学統論	自然群	後期	五十嵐 顕人	共北25
工	24	水3	N121001	線形代数学B	自然群	後期	中村 佳正	共南01
工	24	水4	N226012	物理学基礎論B	自然群	後期	宮崎 修次	共南01
工	25	月3・火2	N160001	Linear Algebra with Exercises B	自然群	後期	IP, Ivan Chi-Ho	4共41
工	25	火2・水2	N158001	Calculus with Exercises B	自然群	後期	Karel SVADLENKA	4共41
工	25	火3	N211001	Advanced Dynamics	自然群	後期	KIM, SUNMIN	総合研究4号館共通4講義室
工	25	火4	T015001	Basic Informatics	情報群	後期	CHANG, Kai-Chun	総合研究4号館共通4講義室
工	25	水3・水4	N256001	Elementary Experimental Physics-E2	自然群	後期	WENDELL,Roger 他	物理学実験室(2共)
工	25	木4	N209001	Fundamental Physics B	自然群	後期	QURESHI, Ali Gul	共北3C
工	25	金2	N210001	Thermodynamics	自然群	後期	KHAYYER, Abbas	共北3B
工	25	金4・金5	R478001	日本語初級IB(4Hコース)	外国語群	後期	家本 太郎	共北3D
工	25	金4・金5	R485001	日本語初級IIB(4Hコース)	外国語群	後期	川島 信恵	1共04
農	1	月1	N486005	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	長谷 あきら 他	共北27
農	1	月2・水3	N150036	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	高尾 尚武 他	月2:1共32,水3:4共24
農	1	火1	N226013	物理学基礎論B	自然群	後期	川畑 貴裕	4共31
農	1	火2・水3	N152036	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	川崎 謙一郎 他	火2:1共03,水3:4共24
農	1	火3・火4	N308002	基礎化学実験【森林科学科】	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
農	1	火4	N485004	個体と集団の基礎生物学【資源生物科学科】	自然群	後期	森 哲 他	理学部6号館301講義室
農	1	木2	T007001	情報基礎演習[農学部]【森林科学科】	情報群	後期	小杉 賢一朗 他	情報*203・204
農	1	木2	※3	スポーツ実習IB【資源生物科学科】	健康群	後期		
農	1	金1	T007002	情報基礎演習[農学部]【資源生物科学科】	情報群	後期	海道 真典	情報*203・204
農	1	金1	※3	スポーツ実習IB【森林科学科】	健康群	後期		
農	1	金2	N485003	個体と集団の基礎生物学【森林科学科】	自然群	後期	森 哲 他	共北38
農	2	月1	N486005	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	長谷 あきら 他	共北27
農	2	月2・水3	N152037	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	森田 英俊 他	月2:共東11,水3:4共12
農	2	火1	N226013	物理学基礎論B	自然群	後期	川畑 貴裕	4共31
農	2	火2・水3	N150037	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	岡安 類 他	火2:共北31,水3:4共12
農	2	火3・火4	N308002	基礎化学実験【森林科学科】	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
農	2	火4	N485004	個体と集団の基礎生物学【資源生物科学科】	自然群	後期	森 哲 他	理学部6号館301講義室
農	2	木2	T007001	情報基礎演習[農学部]【森林科学科】	情報群	後期	小杉 賢一朗 他	情報*203・204
農	2	木2	※3	スポーツ実習IB【資源生物科学科】	健康群	後期		
農	2	金1	T007002	情報基礎演習[農学部]【資源生物科学科】	情報群	後期	海道 真典	情報*203・204
農	2	金1	※3	スポーツ実習IB【森林科学科】	健康群	後期		
農	2	金2	N485003	個体と集団の基礎生物学【森林科学科】	自然群	後期	森 哲 他	共北38

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(3) 1回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
農	3	月1	N486005	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	長谷 あきら 他	共北27
農	3	月2・水3	N150038	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	山崎 愛一	月2:共西32,水3:4共20
農	3	火1	N226013	物理学基礎論B	自然群	後期	川畑 貴裕	4共31
農	3	火2・水3	N152038	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	國府 寛司 他	火2:1共02,水3:4共20
農	3	火3・火4	N308002	基礎化学実験【森林科学科】	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
農	3	火4	N485004	個体と集団の基礎生物学【資源生物科学科】	自然群	後期	森 哲 他	理学部6号館301講義室
農	3	木2	T007001	情報基礎演習【農学部】【森林科学科】	情報群	後期	小杉 賢一朗 他	情報メ203・204
農	3	木2	※3	スポーツ実習IB【資源生物科学科】	健康群	後期		
農	3	金1	T007002	情報基礎演習【農学部】【資源生物科学科】	情報群	後期	海道 真典	情報メ203・204
農	3	金1	※3	スポーツ実習IB【森林科学科】	健康群	後期		
農	3	金2	N485003	個体と集団の基礎生物学【森林科学科】	自然群	後期	森 哲 他	共北38
農	4	月1	N486005	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	長谷 あきら 他	共北27
農	4	月2・水3	N150039	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	角 大輝	月2:共北31,水3:4共22
農	4	火1	N226013	物理学基礎論B	自然群	後期	川畑 貴裕	4共31
農	4	火2・水3	N152039	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	永田 雅嗣 他	火2:共北38,水3:4共22
農	4	火3・火4	N308002	基礎化学実験【森林科学科】	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
農	4	火4	N485004	個体と集団の基礎生物学【資源生物科学科】	自然群	後期	森 哲 他	理学部6号館301講義室
農	4	木2	T007001	情報基礎演習【農学部】【森林科学科】	情報群	後期	小杉 賢一朗 他	情報メ203・204
農	4	木2	※3	スポーツ実習IB【資源生物科学科】	健康群	後期		
農	4	金1	T007002	情報基礎演習【農学部】【資源生物科学科】	情報群	後期	海道 真典	情報メ203・204
農	4	金1	※3	スポーツ実習IB【森林科学科】	健康群	後期		
農	4	金2	N485003	個体と集団の基礎生物学【森林科学科】	自然群	後期	森 哲 他	共北38
農	5	月2・水4	N150040	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	高尾 尚武 他	月2:1共32,水4:4共24
農	5	火2・水4	N152040	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	川崎 謙一郎 他	火2:1共03,水4:4共24
農	5	木2	T007001	情報基礎演習【農学部】	情報群	後期	小杉 賢一朗 他	情報メ203・204
農	5	金1	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
農	6	月2・水4	N152041	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	森田 英俊 他	月2:共東11,水4:4共12
農	6	火1	N226014	物理学基礎論B	自然群	後期	土井 俊哉	情報メ地下講義室
農	6	火2・水4	N150041	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	岡安 類 他	火2:共北31,水4:4共12
農	6	火3・火4	N201004	物理学実験	自然群	後期	吉田 鉄平 他	物理学実験室(2共)
農	6	木2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
農	6	金2	T007003	情報基礎演習【農学部】	情報群	後期	小林 敬	情報メ203・204
農	7	月1	N486006	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	土井 知子 他	理学部2号館第1講義室
農	7	月2・水4	N150042	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	山崎 愛一	月2:共西32,水4:4共20
農	7	火1	N226014	物理学基礎論B	自然群	後期	土井 俊哉	情報メ地下講義室
農	7	火2・水4	N152042	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	岡 宏枝 他	火2:1共02,水4:4共20
農	7	火3・火4	N308002	基礎化学実験【応用生命科学科】	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
農	7	火4	N485005	個体と集団の基礎生物学【食品生物科学科】	自然群	後期	谷内 茂雄 他	理学部6号館202講義室
農	7	木2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
農	7	金2	T007003	情報基礎演習【農学部】	情報群	後期	小林 敬	情報メ203・204
農	8	月1	N486006	細胞と分子の基礎生物学	自然群	後期	土井 知子 他	理学部2号館第1講義室
農	8	月2・水4	N150043	微分積分学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	角 大輝	月2:共北31,水4:4共22
農	8	火1	N226014	物理学基礎論B	自然群	後期	土井 俊哉	情報メ地下講義室
農	8	火2・水4	N152043	線形代数学(講義・演義)B【※2】	自然群	後期	永田 雅嗣 他	火2:共北38,水4:4共22
農	8	火3・火4	N308002	基礎化学実験【応用生命科学科】	自然群	後期	吉田 寿雄 他	化学実験室(2共)
農	8	火4	N485005	個体と集団の基礎生物学【食品生物科学科】	自然群	後期	谷内 茂雄 他	理学部6号館202講義室
農	8	木2	※3	スポーツ実習IB	健康群	後期		
農	8	金2	T007003	情報基礎演習【農学部】	情報群	後期	小林 敬	情報メ203・204

※1 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語は、KULASISの時間割に登録されたクラスで受講してください。

※2 「微分積分学(講義・演義)B」及び「線形代数学(講義・演義)B」は、演義部分を原則隔週で開講します。

※3 「スポーツ実習IB」の種目は、「開講されるスポーツ実習種目」(p.69)を参照してください。

※4 自然科学科目群の実験・実習のガイダンス等については、「8. 実験・実習の履修について」(p.71~)を参照してください。

(4)2回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時間	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
理	1	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	1	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	2	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	2	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	3	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	3	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	4	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	4	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	5	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	5	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	6	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	6	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	7	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	7	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
理	8	月2	N803001	数理統計	自然群	後期	岩塚 明	4共20
理	8	火3	N801003	統計入門	自然群	後期	吉井 和佳	4共11
薬	1	木3	N801005	統計入門	自然群	後期	鹿島 久嗣	共東21
薬	2	木3	N801005	統計入門	自然群	後期	鹿島 久嗣	共東21
工	1	水2	N125003	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	2	水2	N125003	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	3	水2	N125003	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	4	水2	N125003	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤原 宏志	情報メ地下講義室
工	5	火3	N801006	統計入門	自然群	後期	黒橋 禎夫	共南01
工	5	火4	N125004	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	神 貞介	4共21
工	6	火3	N801006	統計入門	自然群	後期	黒橋 禎夫	共南01
工	6	火4	N125004	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	神 貞介	4共21
工	7	月1	N803002	数理統計	自然群	後期	菊地 克彦	共南11
工	7	木3	N125005	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤井 慎一	教育棟講義室32
工	8	月1	N803002	数理統計	自然群	後期	菊地 克彦	共南11
工	8	木3	N125005	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤井 慎一	教育棟講義室32
工	9	月1	N803002	数理統計	自然群	後期	菊地 克彦	共南11
工	9	木3	N125005	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	藤井 慎一	教育棟講義室32
工	10	水2	N803003	数理統計	自然群	後期	白石 大典	4共11
工	10	金4	N125006	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	朝田 衛	情報メ地下講義室
工	11	水2	N803003	数理統計	自然群	後期	白石 大典	4共11
工	11	金4	N125006	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	朝田 衛	情報メ地下講義室
工	12	水2	N803003	数理統計	自然群	後期	白石 大典	4共11
工	12	金4	N125006	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	朝田 衛	情報メ地下講義室
工	13	月2	N803004	数理統計	自然群	後期	石井 信	情報メ地下講義室
工	13	月3	N125007	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	久保 雅義	4共21
工	13	水1	N234001	統計物理学	自然群	後期	掛谷 一弘	共南11
工	14	月2	N803004	数理統計	自然群	後期	石井 信	情報メ地下講義室
工	14	月3	N125007	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	久保 雅義	4共21
工	14	水1	N234001	統計物理学	自然群	後期	掛谷 一弘	共南11
工	15	月2	N803004	数理統計	自然群	後期	石井 信	情報メ地下講義室
工	15	月3	N125007	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	久保 雅義	4共21
工	15	水1	N234001	統計物理学	自然群	後期	掛谷 一弘	共南11
工	16	月2	N803004	数理統計	自然群	後期	石井 信	情報メ地下講義室
工	16	月3	N125007	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	久保 雅義	4共21
工	16	水1	N234001	統計物理学	自然群	後期	掛谷 一弘	共南11
工	17	水4	N125008	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	岡井 孝行	共北38
工	18	水4	N125008	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	岡井 孝行	共北38
工	19	水4	N125008	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	岡井 孝行	共北38
工	20	木3	N125009	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	平賀 郁	共東11
工	21	木3	N125009	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	平賀 郁	共東11
工	22	木3	N125009	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	平賀 郁	共東11
工	23	木1	N803005	数理統計	自然群	後期	上木 直昌	4共11
工	23	木3	N125010	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	柴山 允瑠	共北37

(4)2回生クラス指定科目(後期登録科目)

学部	クラス	曜時限	講義コード	授業科目	群	開講期	担当教員	教室
工	24	木1	N803005	数理統計	自然群	後期	上木 直昌	4共11
工	24	木3	N125010	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	柴山 允瑠	共北37
工	25	水5	N170001	Advanced Calculus II-Differential Equations	自然群	後期	QURESHI, Ali Gul	共北3B
工	25	木3	N537001	Introduction to Engineering Geology	自然群	後期	FLORES Giancarlo	総合研究4号館共通4講義室
農	1	金1	N803006	数理統計【資源生物科学科】	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	2	金1	N803006	数理統計【資源生物科学科】	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	3	金1	N803006	数理統計【資源生物科学科】	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	4	金1	N803006	数理統計【資源生物科学科】	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	5	金1	N803006	数理統計	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	6	火4	N125004	微分積分学統論II-微分方程式	自然群	後期	神 貞介	4共21
農	6	金1	N803006	数理統計	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	7	金1	N803006	数理統計【応用生命科学科】	自然群	後期	小田 滋晃	共南01
農	8	金1	N803006	数理統計【応用生命科学科】	自然群	後期	小田 滋晃	共南01

IV. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

京都大学において学士の学位を取得するためには、各学部により定められた全学共通科目と学部科目の単位数を修得する必要があります。本章では、卒業に必要な全学共通科目の単位数等を記載しています。学部科目の単位数及び詳細については、各学部の便覧を参照してください。

(注意)

- ◇ 本章記載内容以外にも、全学共通科目の履修について各学部で指示する事項がある場合がありますので、各学部の便覧を必ず参照してください。
- ◇ 本章記載の単位数は、卒業までに修得すべき単位数です。何回生時に何単位修得するかは各自の判断によりますが、学部によっては、全学共通科目の単位修得が進級等の要件になっている場合がありますので注意してください。
- ◇ 平成 28 年度より、全学共通科目の群が再編されました。なお、平成 27 年度以前入学者については、従来どおりの科目群 (A 群・B 群や現代社会適応科目群・拡大科目群等) により修得すべき単位数が定められています。
- ◇ 平成 29 年度から KUINEP 科目は廃止されました。

1. 平成28年度以降入学者用

総合人間学部

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

総合人間学部では、多様な学問分野の教員が数多くの全学共通科目を担当しており、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供しています。このため、外国語科目群を除いて、修得すべき全学共通科目の単位数を定めていません。多くの全学共通科目が、総合人間学部の主専攻科目または副専攻科目として指定されています。詳細は、総合人間学部便覧を参照してください。

人文・社会科学科目群		※詳細は総合人間学部便覧を参照してください。
自然科学科目群		「主専攻科目」として、所属する学系の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から48単位以上修得すること。
情報学科目群		「副専攻科目」として、所属する学系以外の副専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。
健康・スポーツ科目群		「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること（※一部認められない科目もあります。詳細は総合人間学部便覧を参照してください。）。
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
外国語科目群	24 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから、2ヶ国語または3ヶ国語を履修すること。ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 2ヶ国語を履修する場合、両外国語それぞれから12単位以上を修得すること 3ヶ国語を履修する場合、1外国語から12単位以上、その他の2外国語から計12単位以上を修得すること。 2ヶ国語、3ヶ国語いずれを履修する場合でも、英語から12単位以上を修得する場合は、「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング-リスニング A・B」各2単位計4単位、計8単位を含むこと。

E 科目	外国語科目群で英語を選択した場合、E科目で修得した単位を英語の単位に読み替えることができる。その場合、それらの単位は元の開講科目群の修得単位としては認められない。
------	-----------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1開講期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

3. 指示事項

(1) 総合人間学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。

(2) 外国語科目群について

その他の2外国語の1つとして英語を履修する場合、内訳や科目の指定はありません。

これは例えば「ドイツ語12単位、フランス語6単位、英語6単位」のように、3ヶ国語を履修する場合で、英語以外の1外国語で12単位以上修得し、その他の2外国語の1つとして、英語を修得する場合に該当します。

(3) 情報学科目群における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕および〔実習・演習科目〕を履修することを推奨します。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
実習・演習科目	情報基礎演習 [全学向]	

- (4) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成28年度入学者のみ該当)

文学部

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	8 単位以上	英語を選択する場合： 44 単位以上 英語を選択しない場合： 36 単位以上	人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から E1・E3 に指定されている科目を除き、計 36 単位以上修得すること。ただし、人文・社会科学科目群から E1 に指定されている科目を除き計 8 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。 外国語科目群で英語を選択する場合は、上記の要件に加えて「外国文献研究（文・英）A・B-E1」各 2 単位計 4 単位、その他の E1・E3 に指定されている科目から計 4 単位以上修得し、計 44 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上		
情報科学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合： 24 単位以上 英語を選択しない場合： 32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。 英語以外の外国語を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。
合計	68 単位以上		

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（文・英）A・B-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E1・E3 に指定されている科目から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

- ① 外国語科目群で英語を履修する場合、「外国文献研究（文・英）A・B-E1」（いずれも 2 回生以上対象科目）は各 1 科目計 4 単位が卒業に必要な単位として認定され、原則として自身の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に分属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。
- ② 「日本史 I・II」、「中国歴史風土論」（H29 年度不開講）、「中国歴史地理論」（H29 年度不開講）、「西洋史 I・II」、「人文地理学各論 I～III」、「地域地理学各論 I～III」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学科目群に変更することができます（本冊子「V. その他 1. 系列変更」(p.242) 参照）。

(2) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科

目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

- ② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得しなければなりません。「フランス語 I (8H コース)」は、16 単位のうち 8 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」、「ドイツ語 II (6H コース)」、「フランス語 II (6H コース)」は、12 単位のうち 8 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

なお、スペイン語 I (会話) は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

(3) E 科目について

外国語科目群で英語を選択しない場合、E1・E3 に指定されている科目を履修しても卒業に必要な単位としては認定しません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 18 単位以上 英語を選択しない場合： 14 単位以上	英語を選択する場合： 48 単位以上	外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 48 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位を含めて人文・社会科学科目群から計 18 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上	英語を選択しない場合： 40 単位以上	外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 40 単位以上修得すること。なお、人文・社会科学科目群から計 14 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
情報学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合： 24 単位以上 英語を選択しない場合： 32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。その場合、英語を除く 1 か国語 16 単位のうちの 8 単位として読み替えることができる。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。
合計		72 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目を推奨します。

「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」、「情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」

(2) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2回生以上対象科目）各2単位計4単位を修得しなければなりません。

(3) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群及び 法学部基礎演習【学部教養 科目】	24 単位以上	「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位計 4 単位を修得すること。
自然科学科目群 統合科学科目群	6 単位以上	
外国語科目群	24 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 16 単位以上、計 24 単位以上修得すること。
情報学科目群	6 単位まで	
健康・スポーツ科目群	6 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	64 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 法学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 人文・社会科学科目群について
 - ① 法学部基礎演習は、法学部が法学部 1 回生に提供する教養科目です（後期に開講、2 単位）。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学科目群の科目と同じに扱われます。
 - ② 「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。
- (3) 外国語科目群について

「フランス語Ⅰ（8H コース）」は 16 単位のうち 12 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 14単位以上 英語を選択しない場合： 10単位以上	英語を選択する場合： 32単位以上 (左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計ではない。右記に従うこと)	英語を選択する場合： 各科目群が要求する最少の単位数の合計28単位に加えて、外国語科目群を除く任意の科目群から4単位以上を修得すること。人文・社会科学科目群においては「外国文献研究(経・英)A・B-E1」計4単位を含むこと。かつ、「外国文献研究(経・英)A・B」以外の任意の科目群のE科目4単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究(経・英)A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできない。 (E科目については下欄の表を確認すること)
自然科学科目群	8単位以上	英語を選択しない場合： 24単位以上 (左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計である)	
情報学科目群	6単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群			英語を選択する場合： 24単位以上 英語を選択しない場合： 32単位以上
合計		56単位以上	

E科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち8単位以上含むこと	「外国文献研究(経・英)A・B-E1」から4単位、それ以外のE科目(科目群、E科目のカテゴリーは問わない)から4単位以上、計8単位以上を含めなければならない。
-----	-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 各群における指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群において英語を選択しない場合でも「外国文献研究(経・英)A・B-E1」(2回生以上対象科目)は修得できますが、修得すべき全学共通科目の単位としては認めません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記a.の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学の講義b.を履修することを強く推奨します。数学の履修に関する質問があれば、入門演習の担当教員に相談することができます。

a. 数学基礎(経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す)

「数学基礎 A・B (8 単位)」を履修してください。

b. 理系用数学講義 (理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

「微分積分学 (講義・演義) A・B (6 単位)」、「線形代数学 (講義・演義) A・B (6 単位)」を履修してください。なお、これらの科目は、特別履修の手続き (p.41 参照) が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。

上記 b. を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論 I・II (4 単位)」、「線形代数学統論 (2 単位)」を履修することを推奨します。

(3) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② 「フランス語 I (8H コース)」は 16 単位中 8 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」「ドイツ語 II (6H コース)」「フランス語 II (6H コース)」は 12 単位中 8 単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。
- ③ 「スペイン語 I (会話)」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。

(4) E 科目について

- ① 外国語科目群において英語を選択するか否かにかかわらず、「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」は 4 単位を超えて修得することはできません。他学部生も同様です。
- ② 「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」は重複履修が認められます。例えば「外国文献研究 (経・英) A-E1」を 4 単位修得した場合、4 単位とも、修得すべき全学共通科目の単位として認められます。ただし、同一科目かつ同一教員の科目の履修は避けてください。
- ③ E 科目を修得すると、その E 科目が属する科目群の単位数としてカウントされます。したがって E 科目を修得するほど、各科目群の要求する単位数を満たすことができます。また、そのため、E 科目を 8 単位以上修得しながら、各科目群の要求する単位数を最少単位数で満たした場合、先の表に述べられている通り、7 科目群で計 32 単位以上という要件を満たさないことに注意してください。

例 人文・社会科学科目群から、E 科目「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」を 4 単位、その他 E 科目を 4 単位修得しながら (E 科目計 8 単位)、人文・社会科学科目群の単位数を最少単位数の 14 単位で満たし、かつ、他の 6 科目群の要求する単位数を最少単位数で満たしても、これらの合計単位数は 28 単位に過ぎません。

この場合、さらに任意の科目を 7 科目群の中から 4 単位以上修得する必要があります。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 24 単位まで	<ul style="list-style-type: none"> ・7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から3 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得することを必要要件とする。 ・E 科目は4 単位まで卒業に必要な単位として認める。 ・平成 28 年度入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な3 つ以上の異なる分野の1 つとしても、卒業に必要な単位としても認めない。 ・平成 29 年度以降入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な3 つ以上の異なる分野の1 つとしては認めないが、卒業に必要な単位としては認める。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 8 単位以上 12 単位まで。計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。 ただし、日本語は外国人留学生のみ卒業に必要な単位として認める。
情報学科目群	0 単位以上 4 単位まで	専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群	0 単位以上 4 単位まで	
専門基礎科目	24 単位以上 38 単位まで	理学部が専門基礎科目に指定した全学共通科目及び理学部学部科目
合計	52 単位以上	専門科目 54 単位以上（卒業研究科目 1 科目を含む）を含めて、卒業要件は 138 単位以上。

E 科目	上記の卒業に必要な単位として認定される E 科目は、開講科目群の単位及び E 科目の単位として認定される。上記の単位として認定されない E 科目であっても、E 科目の単位としては認定される。E 科目を計 4 単位以上修得することを卒業要件とする。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

平成 29 年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2017（平成 29）年度 教科の手引き』の「系登録および卒業のための履修要件、科目区分、専門基礎科目」のページを参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	18 単位以上	46 単位以上	うち 2 単位は情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群の科目で代替可能。 必修科目 14 単位及び選択必修科目 4 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上、計 20 単位以上修得すること。 【下記 3. 指示事項(1)自然科学科目群について 参照】
自然科学科目群	20 単位以上		
健康・スポーツ科目群	2 単位以上		
キャリア形成科目群	2 単位以上		
情報学科目群			
統合科学科目群			
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語またはフランス語から 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。	
合計	62 単位以上		上記の各科目群の必要単位数を満たし、下記 E 科目欄の指示に従って E 科目を計 4 単位以上含んで、計 62 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	E 科目の選択必修科目 2 単位以上を含む計 4 単位以上を含めなければならない（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）。 なお、以下の科目は卒業に必要な E 科目として認定しない。 ・ Introduction to Biochemistry-E2(自然科学科目群の必修科目) ・ Introductory Statistics-E2(自然科学科目群必修科目「統計入門」に対応する科目) ・ Introduction to Molecular Biotechnology-E2(自然科学科目群選択必修科目) ・ Principles of Genetics-E2(自然科学科目群選択必修科目) ・ 臨床コミュニケーション (医・英) -E3 (キャリア形成科目群必修科目) 【下記 3. 指示事項(4)E 科目について 参照】
------	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 自然科学科目群について

① 「Ⅱ. 2. 全学共通科目授業一覧」(p.97～)において対象学生が「文系向」となっている科目、及び「数学」「物理学」「化学」「生物学」分野以外の科目については、医学部医学科では自然科学科目群として認められませんので、注意してください。

② 必修科目

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1 回生クラス指定科目
細胞と分子の基礎生物学	2	1 回生クラス指定科目 ※
分子遺伝学	2	
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時限は医学部医学科より別途指定
物理学基礎論 A	2	1 回生クラス指定科目
物理学基礎論 B	2	1 回生クラス指定科目
基礎有機化学 I	2	1 回生クラス指定科目

※「細胞と分子の基礎生物学」は、医学科指定クラス以外は必修科目として認めない。

③ 選択必修科目

下記、講義科目より2単位以上、実験・実習科目より2単位以上、合計4単位以上修得してください（◎は選択履修することを特に推奨する科目）。

	科目名	単位数	備考
講義科目	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	

	科目名	単位数	備考
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

④ 「数学」分野の科目から2単位以上修得しなければなりません。

医学のあらゆる領域で数学の必要性が高いため「微分積分学（講義・演義）A」「線形代数学（講義・演義）A」の履修を推奨します。

(2) 外国語科目群について

初修外国語はドイツ語、又はフランス語から次のとおり修得してください。

◇ ドイツ語を選択する場合

「ドイツ語 IA（文法）・IB（文法）」と「ドイツ語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計8単位以上。

◇ フランス語を選択する場合

「フランス語 IA（文法）・IB（文法）」と「フランス語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計8単位以上。

(3) キャリア形成科目群について

必修科目「臨床コミュニケーション（医・英）-E3」（2回生以上対象科目）2単位を含む計2単位以上修得してください。

(4) E科目について

下記選択必修科目より2単位以上を含み、E科目から計4単位以上修得してください。

科目名	単位数	備考
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Medical Psychology-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Processing and Analyzing Data I-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	2	
ILAS Seminar-E2 : Global Health (グローバルヘルス)	2	
ILAS Seminar-E2 : Health Research Methodology -Introduction to Socio-epidemiology (ヘルスリサーチの方法論-社会疫学入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	2	ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Testingより科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Developmental Biology and iPS Cells (発生生物学とiPS細胞入門)	2	ILAS Seminar-E2 : Introduction to Developmental Biology and iPSより科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : Biochemistry Principles (生化学の塾)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	2	ILAS Seminar-E2 : Presentation and debate on biomedical scienceより科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : Life in 3D and 4D (生命)	2	

アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3	2	
Fundamentals of Neuroscience-E2	2	
Introduction to Human Physiology-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	2	
Nutrition and Health-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	2	2回生以上の履修推奨※
ILAS Seminar-E2 : Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	2	
ILAS Seminar-E2 : Critical thinking and Communication skills for Life Sciences (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	2	

※医学科専門科目との順次性を考慮し、医学科生の履修を推奨する回生を記載しています。

医 学 部 <人間健康科学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【平成 29 年度入学者】

人文・社会科学科目群	10 単位以上	8 単位以上※	履修することが望ましい科目は下表を参照。 英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リーディング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。	
自然科学科目群	10 単位以上			
外国語科目群	16 単位以上			
情報学科目群	10 単位以上			履修することが望ましい科目は下表を参照。
健康・スポーツ科目群				履修することが望ましい科目は下表を参照。
キャリア形成科目群				
統合科学科目群				
少人数教育科目群				
合計	54 単位以上			

※各科目群の必要単位数を満たしたうえで、8 科目群より自由選択で 8 単位以上修得すること。

（総合医療科学コースでは、うち 8 単位を自然科学科目群から選択すること。）

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。 うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むこと。
------	-------------------------	-------------------------------------------------------------

科目名	単位数	選択履修区分	群
微分積分学（講義・演義）A	3	○	自然科学科目群
微分積分学（講義・演義）B	3	○	同 上
線形代数学（講義・演義）A	3	○	同 上
線形代数学（講義・演義）B	3	○	同 上
物理学基礎論 A	2	○	同 上
物理学基礎論 B	2	○	同 上
物理学実験	2	○※	同 上
基礎化学実験	2	○※	同 上
基礎有機化学 I	2	○	同 上
細胞と分子の基礎生物学	2	◎	同 上
統計入門	2	○	同 上
情報基礎演習	2	◎	情報学科目群
情報基礎	2	◎	同 上
スポーツ実習 I A または I B	1	○	健康・スポーツ科目群
健康・生命科学入門	2	◎	同 上
「薬の世界」入門	2	○	同 上
リハビリテーション概論	2	○	同 上

◎：履修することを強く推奨する科目 ○：履修することが望ましい科目

※総合医療科学コースでは選択必修（総合医療科学コースでは物理学実験または基礎化学実験のどちらかの単位を修得することが卒業要件となっているため、同コースを選択する可能性がある場合には履修し、単位を修得すること）

【平成 28 年度入学者】

(1) 看護学専攻

人文・社会科学科目群	14 単位以上	4 単位以上※	
自然科学科目群	10 単位以上		
外国語科目群	16 単位以上		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
情報学科目群	10 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	—	選択（卒業に必要な単位には算入されない）	
合計	54 単位以上		

※人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群の必要単位数を満たしたうえで、上表の範囲内で自由に 4 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	
------	-------------------------	--

(2) 検査技術科学専攻

人文・社会科学科目群	10 単位以上	10 単位以上 ※	
自然科学科目群	18 単位以上		選択必修科目及び特に履修を推奨する科目は下表を参照。
外国語科目群	16 単位以上		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
情報学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	—	選択（卒業に必要な単位には算入されない）	
合計	54 単位以上		

※人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群の必要単位数を満たしたうえで、上表の範囲内で自由に 10 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	
------	-------------------------	--

科目名	単位数	選択履修区分	群
微分積分学（講義・演義）A	3	◎	自然科学科目群
微分積分学（講義・演義）B	3	◎	同上
線形代数学（講義・演義）A	3	○	同上
線形代数学（講義・演義）B	3	○	同上
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	同上
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同上
基礎化学実験	2	選必	同上
物理学実験	2	選必	同上
統計入門	2	◎	同上

情報基礎演習	2	○	情報学科目群
情報基礎	2	○	同上

◎：選択履修することが強く望まれる科目 ○：選択履修することが望まれる科目

選必：選択必修科目（どちらかの修得が卒業要件。両方の履修が望ましい。）

(3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻

人文・社会科学科目群	6 単位以上	14 単位以上 ※	
自然科学科目群	12 単位以上		特に履修を推奨する科目は下表を参照。
外国語科目群	16 単位以上		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	—		選択（卒業に必要な単位には算入されない）
合計	54 単位以上		

※人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群の必要単位数を満たしたうえで、上表の範囲内で自由に 14 単位以上修得すること。

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと
------	-------------------------

科目名	単位数	選択履修区分	群
統計入門	2	○（理学のみ）	同上

○：選択履修することが望まれる科目

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 健康・スポーツ科目群について

平成 28 年度まで学部専門科目として開講されていた「リハビリテーション概論」の単位を修得している者が、平成 29 年度以降に全学共通科目「リハビリテーション概論」の単位を修得しても卒業に必要な単位として認めません。

(2) 少人数教育科目群について

平成 28 年度入学者について、少人数教育科目群の科目は、選択科目としますが、卒業に必要な単位としては認定しません。

(3) 京都大学国際教育プログラム（KUINEP）科目は、人文・社会科学科目群のみ卒業に必要な単位として認定します。（平成 28 年度入学者のみ該当）

(4) 工学部地球工学科国際コース向け科目は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群の科目を卒業に必要な単位として認定します。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	
自然科学科目群	32 単位以上	必修科目 10 単位、選択必修科目および選択科目 22 単位以上（選択必修科目 12 単位以上を含む）、計 32 単位以上修得すること。
情報学科目群		
健康・スポーツ科目群		
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
キャリア形成科目群	6 単位以上	キャリア形成科目群の必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）を含め計 6 単位以上修得すること。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
合計	64 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群について

必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学（熱力学）	2	薬学部提供科目（自然科学科目群）
	基礎有機化学Ⅰ	2	同上（同上）
	基礎有機化学Ⅱ	2	同上（同上）
	「薬の世界」入門	2	同上（健康・スポーツ科目群）
	健康・生命科学入門	2	同上（同上）
選択必修科目	微分積分学（講義・演義）A	3	（自然科学科目群）
	微分積分学（講義・演義）B	3	（同上）
	線形代数学（講義・演義）A	3	（同上）
	線形代数学（講義・演義）B	3	（同上）
	物理学基礎論 A	2	（同上）
	物理学基礎論 B	2	（同上）
	熱力学	2	（同上）
	物理学実験	2	（同上）
	基礎化学実験	2	（同上）
	生物学実習Ⅲ	2	（同上）
	統計入門	2	（同上）
	薬用植物学	2	薬学部提供科目（健康・スポーツ科目群）
	情報基礎 [薬学部]	2	同上（情報学科目群）
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同上（同上）
選択科目	上記以外の科目		

(2) 自然科学科目群の「基礎化学実験」、「統計入門」（2 回生配当）は履修することが望ましい。

- (3) 自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群の選択必修科目の卒業必要単位数 12 単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。
- (4) キャリア形成科目群について
薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

工 学 部 <地球工学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【土木工学コース、資源工学コース、環境工学コース】

【平成 29 年度入学者】

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	4 単位まで卒業に必要な単位として認めるが、「スポーツ」実習分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目からは 2 単位まで含むことを認める。人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めることを強く推奨する。
------	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【平成 28 年度入学者】

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	「外国文献研究（全・英）-E1」を 2 単位以上、計 4 単位まで含むこと。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位以上含めなければならない。ただし、「外国文献研究（全・英）」から 2 単位以上含むこと。
------	-------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【国際コース】

英語で提供される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。ただし、「スポーツ実習」分野の科目、日本人学生が履修する初修外国語科目を除く。

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	「外国文献研究」分野の E1 科目を除く。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	18 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「Scientific English I A・I B」各 4 単位計 8 単位を修得すること）、 英語以外の外国語（初修外国語）から 10 単位以上、計 18 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。 日本語を母国語とする学生は、初修外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語から 10 単位以上修得すること。 日本語を母国語としない学生は、初修外国語として日本語から 10 単位以上修得すること。ただし、日本語を母国語としない学生で日本語能力試験の N1 を保持する者に限り、初修外国語 10 単位のうち、母国語以外から 6 単位までドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の履修を認める。
情報学科科目群	4 単位まで	「Basic Informatics」及び「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位以上 8 単位まで	「Scientific English II -E3」（4 単位）および「Advanced Scientific English-E3」（4 単位）から 4 単位以上 8 単位までを卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目「Scientific English II -E3」（4 単位）および「Advanced Scientific English-E3」（4 単位）から 4 単位以上含めなければならない。
------	-------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	・E1 科目以外で 14 単位を修得すること。このとき、三つ以上の分野からそれぞれ 2 単位以上修得することが望ましい。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」の E1 科目を 2 単位以上修得すること。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位以上 8 単位まで	計 4 単位以上修得すること。「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」計 4 単位を修得することが望ましい。
健康・スポーツ科目群 「健康・スポーツ科学」分野		
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野		
統合科学科目群		「統合科学」分野及び「環境」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群 「スポーツ実習」分野	平成 28 年度入学者： 4 単位まで、 平成 29 年度入学者： 2 単位まで	
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野	4 単位まで	ただし、E3 科目から 2 単位まで、E3 科目以外から 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	66 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	1)~3)のいずれかの組み合わせで修得すること。 1) 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位以上。 2) 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」から 2 単位以上と、キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位。 3) 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」から 2 単位以上と、人文・社会科学科目群の E2 科目のうち別に指定する科目 (別途掲示により指定) から 2 単位以上。
------	-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。

- (2) 京都大学国際教育プログラム（KUINEP）科目は、1科目2単位までを卒業に必要な単位として認定します。（平成28年度入学者のみ対象）
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

工 学 部 <物理工学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野、「国際コミュニケーション」分野(E3 科目を除く)		
統合科学科目群 「統合科学」分野、 「環境」分野、 「その他統合科学」分野		
少人数教育科目群		
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野(E3 科目)	4 単位まで	
合計	66 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究 (全・英) -E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。なお、計 4 単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては認めない。
------	----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、人文・社会科学科目群 (6 単位まで) 及び自然科学科目群 (4 単位まで) のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)
- (3) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

- (4) 情報学科目群と学部科目を合わせて 57 単位以上修得する必要があります。また、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群と学部科目を合わせて 98 単位修得する必要があります。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	E1 科目以外から 16 単位 (うち 2 単位は統合科学科目群の「統合科学」分野の科目で代替可能。) 修得すること。これに加えて「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上 42 単位まで	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上 40 単位まで修得すること。(うち 2 単位までは工学部履修要覧の指定科目以外の科目でもよい。) これに加えて、E2 科目「Fundamental Physics B-E2」(担当教員 DE ZOYSA, Menaka) 2 単位を修得してもよい。
外国語科目群	16 単位以上 24 単位まで	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上 16 単位まで、計 16 単位以上 24 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報科学科目群	2 単位以上 4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	平成 28 年度入学者： 4 単位まで、 平成 29 年度入学者： 2 単位まで	「スポーツ実習」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野から 2 単位まで、「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位まで、計 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上 78 単位まで	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究 (全・英) -E1」、自然科学科目群の E2 科目「Fundamental Physics B-E2」(担当教員 DE ZOYSA, Menaka)、及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。
------	----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、人文・社会科学科目群のみ 2 科目 4 単位までを卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。ただし、外国人留学生については認めることがありますので、学科長に相談してください。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

(5) 外国語科目群について

ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語は、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので履修を推奨しません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」 から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から必修科目計 8 単位を含め、計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること)、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	8 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目のみ、平成 28 年度入学者は 4 単位まで、平成 29 年度入学者は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	71 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むことを推奨する。
------	-------------------------	--------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、1 科目 2 単位までを卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。 平成 29 年度入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。 「コンプライアンス」分野及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。 日本語で実施される「ILAS セミナー」は、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
情報学科科目群	2 単位以上 8 単位まで		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
自然科学科目群	28 単位以上	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位		
合計	65 単位以上		

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究(全・英)-E1」及び情報学科科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	-------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 工学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (3) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について E2 科目と日本語科目の両方を履修した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に内容が同一とみなされる E2 科目・日本語科目を両方履修した場合、E2 科目を卒業に必要な単位として認定します。ただし「Information and Society-E2」は増加単位としてのみ認めます。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 8 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する情報基礎及び情報基礎演習を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	上記各科目群の必要単位数を満たしたうえで、少人数教育科目群を除く各科目群から自由に計 4 単位以上修得し、計 60 単位以上修得すること。ただし、卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 II	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	基礎化学実験	2
基礎物理化学（熱力学）	2	遺伝学概論	2
基礎物理化学（量子論）	2		

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目と合わせて計 16 単位以上修得すること。「統合科学」分野の科目は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 (1) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(2) 2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
線形代数学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
確率論基礎	2	基礎化学実験	2
		細胞と分子の基礎生物学	2

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	16 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。なお、E 科目 8 単位のうち 4 単位は E2、E3 科目から修得することを推奨する。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
線形代数学（講義・演義）A	3	確率論基礎	2
線形代数学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学実験	2
数理統計	2		

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

農学部 <食料・環境経済学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	20 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目と合わせて計 20 単位以上修得すること。下表①で推薦する科目を極力履修すること。
自然科学科目群	12 単位以上	「数学」分野、「統計」分野及び「生物学」分野から計 12 単位以上修得すること。下表②で推薦する科目を極力履修すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	12 単位以上	下表③で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。下表④で推薦する科目を極力履修すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 (1) 自然科学科目群の「数学」、「統計」及び「生物学」以外の分野の E 科目、(2) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 人文・社会科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学Ⅰ	2	Contemporary Economics I -E2	2
社会学Ⅱ	2	Contemporary Economics II -E2	2
統計リテラシー	2	Food and Globalization I -E2	2
		Food and Globalization II -E2	2

② 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	確率論基礎	2
微分積分学（講義・演義）B	3	数理統計	2
線形代数学（講義・演義）A	3	数学探訪Ⅰ	2
線形代数学（講義・演義）B	3	数学探訪Ⅲ	2

③ 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

④ 統合科学科目群

科目名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	2

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	12 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		下表③で推薦する科目を極力履修し、計 4 単位以上修得すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎物理化学要論	2
微分積分学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 II ※	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎化学実験	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	細胞と分子の基礎生物学	2
物理学実験	2	水と緑と土の科学	2

※平成 28 年度入学者のみ学科が推薦する科目として認める。

② 情報学科目群

科 目 名	単位数
情報基礎 [農学部]	2

③ 統合科学科目群

科 目 名	単位数
環境学	2

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目と合わせて計 16 単位以上修得すること。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	下表で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 以下の例外を除いて E 科目は卒業に必要な単位としても認められる。 (1) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」分野以外の E 科目、(2) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認定する。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

自然科学科目群

科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎化学実験	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A ※2	2
線形代数学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B ※2	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎物理化学要論 ※1	2
基礎物理化学（熱力学）※1	2	基礎有機化学 I	2
基礎物理化学（量子論）※1	2		

※1 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を履修した場合、後に「基礎物理化学要論」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

「基礎物理化学要論」を履修した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を履修した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められます（「基礎物理化学要論」は増加単位になります）。

※2 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。

2. カリキュラム再編に伴う科目群の読み替えおよび単位の取り扱いについて

平成 28 年度に科目群が再編される等、カリキュラムが変更されました。この項では、平成 27 年度以前入学者に向けて、全学共通科目の履修や単位の取り扱い上、特に注意を要する点を説明します。

1. 科目群の読み替え

①平成 25 年度～平成 27 年度入学者

平成 25 年度～平成 27 年度の卒業要件が適用される学生が、平成 28 年度以降の群・分野で開講されている科目を履修し、単位を修得した場合には次の表のとおり、平成 25 年度～平成 27 年度に設定されていた科目群に読み替えられます。なお、読み替えなしの科目は、卒業に必要な単位としては認定されません。

科目群	分野		H25～H27 入学者に対する読替
人文・社会科学科目群	哲学・思想	→	人文・社会科学系科目群
	歴史・文明		
	芸術・文学・言語		
	教育・心理・社会		
	地域・文化		
	法・政治・経済		
	日本理解※1	→	外国語科目群
外国文献研究			
自然科学科目群	数学	→	自然・応用科学系科目群
	統計		
	物理学		
	化学		
	生物学		
	地球科学		
	図学		
外国語科目群		→	外国語科目群
情報学科目群		→	現代社会適応科目群
健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科学	→	現代社会適応科目群
	スポーツ実習	→	拡大科目群
キャリア形成科目群	コンプライアンス	→	拡大科目群
	国際コミュニケーション	→	(E 科目指定) 外国語科目群 (E 科目指定以外) 拡大科目群
	学芸員課程	→	拡大科目群
	国際交流※3		
	COCOLO 域		
その他キャリア形成			
統合科学科目群	統合科学		読み替えなし
	環境	→	現代社会適応科目群
	森里海連環学		
	その他統合科学		
少人数教育科目群		→	読み替えなし

※1 平成 29 年度に新設された分野です。

※2 ただし、平成 28 年度に履修し、修得した国際コミュニケーション分野の単位は拡大科目群に読み替えられません。

※3 平成 29 年度より廃止

②平成 24 年度以前入学者

平成 24 年度以前の卒業要件が適用される学生が、平成 28 年度以降の群・分野で開講されている科目を履修し、単位を修得した場合には、「全学共通科目授業一覧」(p.97～)の旧群に記載されている科目群の単位として認定されます。旧群欄が空欄の科目は科目群の読み替えをしないため、卒業に必要な単位として認定されません。

③外国語科目群及びC群への読み替え

各入学年度の群の読替は上記①、②のとおりですが、「外国文献研究（全・英）-E1」や「セミナーパーティシペーション（全・英）-E3」のように「全・英」と表示されている科目を履修した場合には、英語Ⅱと同様に取り扱われます。それ以外の「外国文献研究（文・英）-E1」や、「Business English-E3」等、「全・英」の表示のない科目を履修した場合には、総合人間学部以外が提供する英語と同様に取り扱われます。履修にあたっては、総合人間学部以外が提供する英語が卒業要件上、認められているか確認してください。なお、平成28年度まで総合人間学部以外が提供する英語として開講されていた科目について、所属学部を対象とする科目を履修し、単位を修得した場合の取り扱いは、「各学部の指示事項」（p.218～p.236～）を参照してください。

2. 単位の取り扱い

①人文・社会科学科目群外国文献研究分野の単位数

平成27年度以前の卒業要件が適用される学生が、当該分野の科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。

②外国語科目群初修外国語の単位数

「外国語の履修について」（p.45～）の各初修外国語の履修上の注意に記載されているとおり、平成27年度以前の卒業要件が適用される学生が、平成28年度以降に初修外国語の初級科目（ただし、平成28年度に履修し、単位を修得した「日本語（初級）Ⅱ」を除く）、平成29年度以降に初修外国語の中級以上の科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。

③情報学科目群の一部科目の単位数

平成27年度以前の卒業要件が適用される学生が、情報学科目群のうち「全学共通科目授業一覧」（p.97～）の単位数に「*（アスタリスク）」が表示されている科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。該当する科目は、平成27年度以前に1コマあたり1単位の演習科目として開講されていた科目（平成28年度に科目名変更されたものを含む）です。

④キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野の単位数

◇平成25年度～平成27年度の卒業要件が適用される学生

- ・当該分野のE科目を履修し、単位を修得した場合には、外国語科目群に読み替えられ、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として算入されます。
- ・当該分野のE科目に指定されていない科目を履修し、単位を修得した場合には、拡大科目群に読み替えられ、各科目の単位数が卒業に必要な単位として算入されます。

◇平成24年度以前の卒業要件が適用される学生

- ・当該分野の科目を履修し、単位を修得した場合、「全学共通科目授業一覧」（p.97～）の旧群欄がC群の科目は各科目の単位数の2分の1のみ、C群で卒業に必要な単位として算入されます。

3. 平成25～27年度入学用

(1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
総合 人間	平成25 ～27	人文・社会科学系科目群 特に定めなし (総合人間学部便覧を参照してください)	自然・応用科学系科目群 6単位以上	12単位以上	特に定めなし (総合人間学部便覧を参照し てください)	単位互換等科目は卒業に必要な 単位として認定しない (総合人間学部便覧を参照し てください)	外国語科目群 のみ単位数の 定めあり	※外国語科目群の履修方法については、「全学共通科目履修の手引き」に掲載されている学部の指示事項及び「5. 外国語の履修について」の内容に従って、科目を選択してください。 ※日本語を選択できるのは外国人留学生だけとします。
				EDFCRISKADのうち から12単位以上 ただし、1外国語から6単位 以上、その他の1または2外国 語から6単位以上				
文	平成25 ～27	上記必要単位数を含め、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由にて計36単位以上修得すること	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から8単位、自然・応用科学系科目群から6単位以上修得すること	52単位以上	52単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のうち2単位については、文学部提供全学共通科目「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語を履修する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上修得すること。なお、スペイン語I(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。 ※アラビア語は平成26年度以降入学者のみ卒業に必要な単位として認定します。
				EDFCRISKADのうち からEDFFいずれか一つを含 め2カ国語それぞれ8単位以 上				
教 育	平成25 ～27	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群の必要単位数を満たすうえで、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群(ただし、単位互換等科目を除く)から自由にて20単位選択して計40単位以上修得すること	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から計40単位以上 (ただし、人文・社会科学系科目群から6単位以上修得すること)	56単位以上	56単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、英語I、II、英語(教育科学)のうちから8単位(8単位のうち2単位は、「英語(教育科学)」を必ず含む)。2回生配当科目「英語(教育科学)」は、前後期1科目ずつ履修すること。(2単位のみ認定)。「英語(教育科学)」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語は初級から4単位、中・上級から4単位修得すること。なお、スペイン語I(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しない。
				EDFCRISKADのうちか らEDFFいずれか一つを含め 2カ国語それぞれ8単位以上				
法	平成25 ～27	法学部基礎演習を修得した場合は、人文・社会科学系科目群の単位として扱う。	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能。ただし、拡大科目群の科目による代替は4単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2単位を上限とする。	48単位以上	48単位以上	※E8単位のうち2単位については、「法学政治学英語I・II」各1単位を修得すること。「法学政治学英語I・II」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。
				20単位以上				
経	平成25 ～27	10単位以上	8単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能。ただし、拡大科目群の科目による代替は4単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2単位を上限とする。	44単位以上	44単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のうち2単位については、「経済英語A・B」単位未修得者で、(2)各学部の指示事項参照。 ※スペイン語I(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
				EDFCRISKADのうち から2カ国語それぞれ8単位 以上				

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考	
理	平成25 ～27 共通	専門基礎科目（理学部が指定した【全学共通科目】と【理学部学部科目】）							
		1 2 単位以上 2 0 単位まで	1 0 単位以上 1 2 単位まで	0 単位以上 4 単位まで			4 6 単位以上 7 4 単位まで	※ 京都大学国際教育プログラム (KIINEP) は、自然・応用科学系科目群以外の科目を履修した場 合に、それぞれの群で卒業に必要な単位として認 める。 ※ 日本語は外国人留学生のみ認める。	
	平成25 ～26	拡大科目群の少人数教育科目 (ボケット・ゼミ) をふくめ てもよい。	Eは6単位必修 それ以外の外国語 (DFCR ISKA日) から同一の外国 語4単位、この4単位を取得 した上にさらに2単位まで (英語以外のどの外国語でも よい) 合計4単位以上6単位 まで	1 0 単位以上 1 3 単位まで	現代社会適応科目群及び拡大科目群 (少人数教育科目 (ボ ケット・ゼミ)、単位互換等科目を除く) 0 単位以上 4 単 位まで。 ただし、専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。				
	平成27	ただし、人文・社会科学系科 目群の6つの系(哲学・思想 系、歴史・文明系、芸術・言 語文化系、行動科学系、地 域・文化系、社会科学系)か ら3つ以上の異なる系の科目 を修得すること。	Eは6単位必修とし、7単位 まで。 それ以外の外国語 (DFCR ISKA日) から同一の外国 語4単位、この4単位を取得 した上にさらに2単位まで (英語以外のどの外国語でも よい) 合計4単位以上6単位 まで			4 6 単位以上 7 5 単位まで			
医 <医>	平成25	2 0 単位以上	1 6 単位以上	1 2 単位以上	4 単位以上			※1 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修 すること。 ※2 医学部医学科が自然・応用科学系科目群とし て認める科目、及び各科目の領域については、医 学部が別途配付する修得すべき各領域の科目指定 表により確認すること。 ※3 「科学英語 (医学)」単位未修得者は、 (2) 各学部の指示事項参照	
	平成26 ～27	うち2単位は現代社会適応科 目群、拡大科目群(ただし、 単位互換等科目を除く)で代 替可能 1 8 単位以上	数学、物理学、化学、生物学 の4領域の中から少なくとも 3領域を選び、必修科目「統 計入門」2単位※1及び選択 必修科目6単位以上を含む計 1 6 単位以上※2	「科学英語 (医学)」2 単位 を含むE 8 単位以上、及びD 又はFから4 単位以上 ※3	単位互換等科目は卒業に必要 な単位として認定しない	5 2 単位以上	※4 平成27年度末時点で「医学概論」未修得の学 生は、履修にあたって別途医学部教務・学生支援 室に確認すること。		
医 <人> (看護)	平成25 ～27	1 4 単位以上	1 0 単位以上	1 0 単位以上	1 0 単位以上		4 4 単位以上	※ 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群 で特に履修を要望する科目については、(2) 各 学部の指示事項の一覧を確認すること	
			専攻で特に履修を要望する科 目あり※	E 6 単位以上とDFCRIS KAのうちから1か国語4単 位以上(初級・中級の組み合 わせは自由)	平成25年度入学者は専攻で特 に履修を要望する科目あり※	拡大科目群は卒業単位に算入 されません			

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
医 <人> (検査)	平成25 ～27	10単位以上	18単位以上	10単位以上	現代社会科学系科目群	拡大科目群は卒業単位に算入 されません	44単位以上	※平成27年度入学者の自然・応用科学系科目群選択 必修科目、自然・応用科学系科目群、現代社会 適応科目群で特に履修を要する科目について は、(2)各学部の指示事項の一覧を確認するこ と
		上記各科目群の必要単位数を満たしたうえで人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、 外国語科目群、現代社会適応科目群から自由に6単位以上	E6単位以上とDFCRIS KAのうちから1か国語4単 位以上(初級・中級の組み合 わせは自由)	6単位以上	専攻で特に履修を要する科 目あり※			
医 <人> (理学・ 作業)	平成25 ～27	6単位以上	12単位以上	10単位以上	現代社会科学系科目群、 自然・応用科学系科目群、 外国語科目群、現代社会適応科目群から自由に10単位以上	拡大科目群は卒業単位に算入 されません	44単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群 で特に履修を要する科目については、(2)各 学部の指示事項の一覧を確認すること
		上記各科目群の必要単位数を満たしたうえで人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、 外国語科目群、現代社会適応科目群から自由に10単位以上	E6単位以上とDFCRIS KAのうちから1か国語4単 位以上(初級・中級の組み合 わせは自由)	6単位以上	専攻で特に履修を要する科 目あり※			
薬	平成25 ～27	10単位以上	16単位以上	12単位以上	14単位以上	2単位以上	54単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、 必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、 (2)各学部の指示事項の一覧を確認すること ※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のう ち2単位については、薬学部提供の「科学英語 A・B」(必修)2単位を含むこと。「科学英語 A・B」(必修)2単位は、(2)各学部の指示事 項参照。 ※日本語は外国人留學生のみ選択することができ る。
		必修科目6単位、選択必修科 目6単位以上、選択必修(必 修科目及び選択必修科目以外 の科目)4単位以上を含め計 16単位以上※	E8単位以上、およびDFC RISKAのうち、いずれ か1か国語4単位以上	14単位以上	必修科目10単位、選択科目 4単位以上を含め計14単位 以上※			
工 <地球工> 【国際コ ーシ外】	平成25 ～27	12単位以上	16単位以上	11単位以上	現代社会適応 科目群(情報基礎[工学 部]、情報基礎演習[工学 部]を除く)、拡大科目群 (単位互換科目除く)から1 6単位以上20単位まで	人文・社会科学系科目群(1 2単位以上)、現代社会適 応科目群(情報基礎[工学 部]、情報基礎演習[工学 部]を除く)、拡大科目群 (単位互換科目除く)から1 6単位以上20単位まで	58単位以上	(※1)ただし、人文・社会科学系科目群から1 2単位以上。 (※2)自然・応用科学系科目群、現代社会適 応科目群で指定する科目については、(2)各学 部の指示事項の一覧を確認すること。 (※3)E7単位のうち1単位については、科学 英語(地球)等1単位を含むこと。日本語は外国 人留學生のみ選択することができ
		人文・社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]を除く)、拡大科 目群(単位互換科目除く)か ら16単位以上20単位まで (※1)	E7単位以上、およびDFC RISKAのうちから1か 国語4単位以上(※3)	現代社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)	人文・社会科学系科目群(1 2単位以上)、現代社会適 応科目群(情報基礎[工学 部]、情報基礎演習[工学 部]を除く)、拡大科目群 (単位互換科目除く)から1 6単位以上20単位まで			
工 <地球工> 【国際コ ーシ】	平成25 ～27	人文・社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]を除く)、拡大科 目群(単位互換科目除く)か ら16単位以上20単位まで (※1)	自然・応用科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)	12単位以上	現代社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(12単位以 上)、現代社会適応科目群 (情報基礎[工学部]、情報 基礎演習[工学部]を除 く)、拡大科目群(単位互換 科目除く)から16単位以上 20単位まで	人文・社会科学系科目群およ び拡大科目群(12単位以 上)、現代社会適応科目群 (情報基礎[工学部]、情報 基礎演習[工学部]を除 く)、拡大科目群(単位互換 科目除く)から16単位以上 20単位まで	59単位以上	※英語で提供される科目のみ単位認定される。た だし、スポーツ実習科目、日本人学生が履修する 第2外国語を除く。 (※1)ただし、人文・社会科学系科目群および 拡大科目群から12単位以上。 (※2)自然・応用科学系科目群、現代社会適 応科目群で指定する科目については、(2)各学 部の指示事項の一覧を確認すること。
		人文・社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]を除く)、拡大科 目群(単位互換科目除く)か ら16単位以上20単位まで (※1)	自然・応用科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)	12単位以上	現代社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(12単位以 上)、現代社会適応科目群 (情報基礎[工学部]、情報 基礎演習[工学部]を除 く)、拡大科目群(単位互換 科目除く)から16単位以上 20単位まで			

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
工 〈建築〉	平成25 ～27	14単位	28単位以上	10単位以上	4単位以上8単位まで	4単位まで卒業単位として認定する。 国際交流科目、単位互換科目は認めない。	56単位以上	(※1)「自然・応用科学系科目群」で学科が指定する科目、「現代社会適応科目群」で学科が指定する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 (※2)「外国語科目群」のEでは、総合人間学部提供の英語I・IIのみ認める(科学英語等、総合人間学部以外が提供する英語は認めない)。 「外国語科目群」で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINPP)科目は、「人文・社会科学系科目群」、「現代社会適応科目群」および「拡大科目群」で開講される科目から、1科目2単位までを卒業単位として認定する。 ※工学部地球工学国際コースの科目は卒業に必要単位として認定しない。
		3以上の系からそれぞれ2単位以上が望ましい。	指定する科目から28単位以上(※1)	E6単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上(※2)	情報系科目から3単位以上(※1)	4単位まで卒業単位として認定する。 国際交流科目、単位互換科目は認めない。	現代社会適応科目群(情報基礎「工学部」、情報基礎演習「工学部」を除く)、拡大科目群(単位互換等科目を除く)から4単位まで卒業単位として認定する(いずれの群もKUINPP科目を除く)	56単位以上 ※
工 〈物理工〉 工 〈電気電子〉	平成25 ～27	16単位	30単位以上	10単位	(3単位推奨)	現代社会適応科目群(情報基礎「工学部」、情報基礎演習「工学部」を除く)、拡大科目群(単位互換等科目を除く)から4単位まで卒業単位として認定する(いずれの群もKUINPP科目を除く)	59単位以上 77単位まで	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群のEでは、総合人間学部提供の英語I・IIのみ認める。科学英語等、総合人間学部以外が提供する英語は認めない。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINPP)科目は、人文・社会科学系科目群のみ卒業単位として認定する。 ※地球工学国際コースの科目は、人文・社会科学系科目群、外国語科目群では卒業単位として認定しない。ただし、外国人留学生については認めない。 ※外国語科目群のRIKAについては、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので履修を推奨しない。
		3以上の系からそれぞれ2科目以上が望ましい。 KUINPP科目については、2科目4単位までを認定する	指定する科目から30単位以上※ KUINPP科目は4単位まで卒業単位として認定する	E6単位、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位※	情報系科目のうち情報基礎「工学部」、情報基礎演習「工学部」を3単位まで履修することとを特に推奨	3単位以上7単位まで	現代社会適応科目群(情報基礎「工学部」、情報基礎演習「工学部」を除く)、拡大科目群(単位互換等科目を除く)から4単位まで卒業単位として認定する(いずれの群もKUINPP科目を除く)	59単位以上 77単位まで
工 〈工業化学〉	平成25 ～26	16単位	28単位以上	10単位～11単位	選択(3単位まで)	選択(6単位まで)	61単位以上	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群のEでは、総合人間学部以外が提供する他学部他学科提供の英語科目は認めない。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINPP)科目は、1科目2単位まで、卒業に必要な単位数に含める。 ※工学部地球工学国際コースの科目は卒業に必要単位として認定しない。
		指定する科目から必必修科目8単位及びその他科目20単位以上、計28単位以上※	E6～7単位[科学英語(創成化学)(工業基礎化学)(化学工学)は平成27年度より工学部科目(専門科目)2単位へ変更するが、取り扱いは全学共通科目]外国語科目1単位とする。]、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上※	情報基礎「工学部」、情報基礎演習「工学部」のみ卒業に必要な単位として認める	選択(3単位まで)	選択(6単位まで)	スポーツ実習科目、少人数教育科目(ボケット・ゼミ)のみ卒業に必要な単位として認める	61単位以上
	平成27			10単位				
				E6単位、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位※				

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群		拡大科目群	合計単位数	備 考
					1.2単位以上	2.8単位以上			
工 〈情報〉	平成25	上記の必要単位数を満たしたうえで、人文・社会科学系科目群、現代社会適応科目群（情報系科目から2単位以上）、拡大科目群（ただし、合計1.7単位以上2.2単位まで履修すること	指定する科目から2.8単位以上※	E 6単位（数理工学コースでは「科学英語（数理）」を含めて7単位まで卒業単位数に算入）、およびDFC R I S K日のうちから1か国語4単位以上1.0単位（教理工学コースでは最大1.1単位まで算入） 1.0単位	情報系科目から2単位以上を履修すること（計算機科学コースは指定する科目の必修2単位を含むこと）※ 情報系科目は最大8単位まで算入。	人文・社会科学系科目群（1.2単位以上）、現代社会適応科目群、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）から合計1.7単位以上2.2単位まで履修すること	人文・社会科学系科目群（1.2単位以上）、現代社会適応科目群（情報系科目から2単位以上）、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）から合計1.7単位以上2.2単位まで履修すること	5.5単位以上	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については外国人留学生のみの。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
	平成26～27								
農 〈資源 生物〉	平成25～27	1.2単位以上	1.6単位以上	1.2単位以上	E 6単位、およびDFC R I S K日のうちから1か国語4単位以上1.0単位	6単位以上	2.単位以上	4.8単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
			推薦する科目から8単位以上を含むこと※	E 8単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈応用 生命〉	平成25～27	1.2単位以上	1.6単位以上	1.2単位以上	E 8単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か国語4単位以上	6単位以上	2.単位以上	4.8単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から1.0単位以上を含むこと※	E 8単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈地域 環境〉	平成25～27	1.2単位以上	1.6単位以上	1.2単位以上	E 8単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か国語4単位以上	6単位以上	2.単位以上	4.8単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から1.0単位以上を含むこと※	E 8単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈食料・ 環境〉	平成25～27	1.2単位以上	1.2単位以上	1.2単位以上	上記以外で6単位	4.単位以上	2.単位以上	4.8単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から8単位以上を含むこと※	E 8単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	現代社会適応科目群の健康科学系科目、拡大科目群の国際交流科目、スポーツ実習科目の単位については、合わせて4.4単位を上限とする。	単位互換等科目を除く。 現代社会適応科目群の健康科学系科目、拡大科目群の国際交流科目、スポーツ実習科目の単位については、合わせて4.4単位を上限とする。		

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備考
農 〈森林〉	平成25 ～27	1 2 単位以上	1 6 単位以上	1 2 単位以上	6 単位以上	2 単位以上	4 8 単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8 単位以上のうち2 単位については、「科学英語(農学) A・B」各1 単位を修得すること。「科学英語(農学) A・B」単位未修得者は(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から1 0 単位以上を含むこと※	E 8 単位以上、およびDFC R I S K A 日のうちから1 か国語 4 単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈食品 生物〉	平成25 ～27	1 2 単位以上	1 6 単位以上	1 2 単位以上	6 単位以上	2 単位以上	4 8 単位以上	※自然・応用科学系科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8 単位以上のうち2 単位については、「科学英語(農学) A・B」各1 単位を修得すること。「科学英語(農学) A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から1 0 単位以上を含むこと※	E 8 単位以上、およびDFC R I S K A 日のうちから1 か国語 4 単位以上		単位互換等科目を除く		

外国語科目群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、C…中国語、R…ロシア語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語

(2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

総合人間学部

1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1開講期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

2. 各群における指示事項

(1) 総合人間学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。なお、総合人間学部では全学共通科目の履修に関して、外国語科目群以外は修得すべき必要な単位数の定めはありません。詳細は「総合人間学部便覧」を参照してください。

(2) 外国語科目群について

外国語科目群の履修方法については、本冊子「5. 外国語の履修について」(p.45～)の内容に従って、科目を選択してください。

(3) 現代社会適応科目群情報系科目における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕及び〔実習・演習科目〕②を履修することを推奨します。〔実習・演習科目〕の①「コンピュータリテラシー実習」*1は廃止されましたので、これから履修する場合は②「情報基礎演習 [全学向]」を履修してください。なお、これまでに「情報の科学 (理系向)」あるいは「情報の科学 (全学向)」を履修している場合は〔講義科目〕の「情報基礎 [全学向]」*2を「情報の科学 (理系向)」あるいは「情報の科学 (全学向)」に、「情報ネットワーク (理系向)」あるいは「情報ネットワーク (全学向)」を履修している場合は〔講義科目〕の「情報ネットワーク」*3を「情報ネットワーク (理系向)」あるいは「情報ネットワーク (全学向)」に読み替えてください。同様にこれまでに「コンピュータリテラシー演習」を履修している場合は〔実習・演習科目〕の「情報基礎演習 [全学向]」を「コンピュータリテラシー演習」に読み替えてください。

なお、履修時期については、できる限り1・2回生のうちに履修してください。

講義科目	情報基礎 [全学向] *2・情報ネットワーク*3	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
実習・演習科目	①コンピュータリテラシー実習*1 (H26年度より廃止) ②情報基礎演習 [全学向]	H26年度から履修する場合は、②の演習科目を履修してください。

(4) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目について

1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。

文学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 人文・社会科学系科目群について

「日本古代・中世政治文化論」(H28年度より廃止)、「日本古代・中世の歴史社会」(H28年度より廃止)、「日本史 I・II」、「中国歴史風土論」(H29年度不開講)、「中国歴史地理論」(H29年度不開講)、「西洋史 I・II」、「人文地理学各論 I～III」、「地域地理学各論 I～III」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目 (自由選択) として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学系科目群に変更することができます (本冊子「V. その他 1. 系列変更」(p.242) 参照)。

(2) 外国語科目群について

- ① 英語を修得する場合、8単位のうち2単位については、「文学部英語 A」・「文学部英語 B」（各1単位ずつ）を修得しなければなりません。なお、「文学部英語 A」・「文学部英語 B」は2科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として各自の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に所属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。「文学部英語 A」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）A-E1」を、「文学部英語 B」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）B-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ② 英語以外の外国語を修得する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上を修得してください（「フランス語 I（8H コース）」は、16単位のうち4単位のみ、「ドイツ語 I（6H コース）」は、12単位のうち4単位のみ、「ドイツ語 II（6H コース）」、「フランス語 II（6H コース）」は、12単位のうち4単位のみ卒業に必要な単位として認めます）。なお、スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- ③ 文学部の学部科目として開講している〔フランス語中級、上級〕を全学共通科目「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB」の外国語科目群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録（外国語予備登録も必要）してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。
- ④ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

教育学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

- (1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目を推奨します。
「情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」
- (2) 工学部地球工学科国際コース向け科目は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- (3) スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- (4) 「英語（教育科学）」の単位が1単位不足している場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」のいずれか1科目を履修し、単位を修得してください。「英語（教育科学）」の単位が2単位不足している場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」の両科目を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

法学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

- (1) 法学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 人文・社会科学系科目群
法学部基礎演習は、法学部が法学部1回生に提供する教養科目です（後期に開講、2単位）。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学系科目群の科目と同じに扱われます。
- (3) 外国語科目群
 - ① 英語8単位のうち2単位については、「法学政治学英語 I・II」（各1単位）の2単位で修得しなければなりません。「法学政治学英語 I」の単位未修得者は「外国文献講読（法・英）I-E1」を、「法学政治学英語 II」の単位未修得者

は「外国文献講読（法・英）Ⅱ-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② 「フランス語Ⅰ（8Hコース）」の修得単位数については、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

経済学部

1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1開講期につき15コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。なお、通年科目については、前期・後期の両方とも履修登録コマ数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。数学の履修に関する質問があれば、入門演習の担当教員に相談することができます。

- ① 数学基礎（経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す）

数学基礎A・B〔文系〕（8単位）を履修してください。

- ② 理系用数学講義（理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

微分積分学（講義・演義）A・B（6単位）、線形代数学（講義・演義）A・B（6単位）を履修してください。

なお、2回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。

- ②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ（4単位）、線形代数学統論（2単位）も履修することを推奨します。

(2) 外国語科目群について

- ① 英語は、「英語Ⅰ」又は「英語Ⅱ」から6単位、「経済英語A・B」いずれか2単位を含む計8単位を修得してください。「経済英語A・B」の単位未修得者は、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② ドイツ語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。

- ③ フランス語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

- ④ スペイン語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、卒業に必要な単位に算入しません。

- ⑤ 中国語・ロシア語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

- ⑥ 日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語上級※、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から計8単位を修得してください。

※ 平成29年度に開講される日本語上級の科目はp.63～を参照

理学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 指示事項

(1) 人文・社会科学系科目群について

人文・社会科学科目群で開講される「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」の各分野の科目を履修し、単位を修得した場合、それぞれ「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・言語文化」、「行動科学」、「地域・文化」、「社会科学」の各系の科目と読み替えます。

平成29年度から留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目を履修し、単位を修得しても、単位修得が必要な3つ以上の異なる系の1つとしても、卒業に必要な単位としても認めません。

(2) 外国語科目群について

- ① 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成 25～27 年度入学者用 (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.212～217)の表のとおりとします。
- ② 理学部では、英語について、全学共通科目・外国語科目群の英語科目として開講されている、または外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。

ただし、平成 28 年度まで開講されていた「科学英語 (理学)」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成 29 年度から開講される「科学コミュニケーション (理・英) -E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。(複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。)

- (3) 平成 29 年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2017 (平成 29) 年度 教科の手引き』の「Ⅲ.系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

医学部<医学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群について

- ① 修得すべき各領域の科目指定表は、医学部医学科より別途配付します。
- ② 対象学生が「文系向」となっている科目、及び科目指定表記載の「数学」「物理学」「化学」「生物学」「その他」領域以外の科目については、医学部医学科では自然・応用科学系科目群として認められませんので、注意してください。
- ③ 必修科目

【平成 26、27 年度入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1 回生クラス指定科目
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時は医学部医学科より別途指定

【平成 25 年度入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1 回生クラス指定科目 ※1

※1 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修してください。

④ 選択必修科目

【平成 27 年度入学者】

下記、講義科目①より 4 単位以上、講義科目②より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 8 単位以上修得してください (◎は選択履修することを特に推奨する科目)。※2

	科目名	単位数	備考
講義科目①	物理学基礎論 A、物理学基礎論 B ☆	4	1 回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I、基礎有機化学 II ☆	4	◎1 回生クラス指定科目
	個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
	生化学入門、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
講義科目②	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1 回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

☆の科目は両科目とも合格した場合のみ、選択必修科目の単位として認定します。

※2 平成 29 年度より数学基礎 I A・II A [理系] は廃止。

【平成 26 年度入学者】

下記、講義科目①より 4 単位以上、講義科目②より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 8 単位以上修得してください (◎は選択履修することを特に推奨する科目)。※2

	科目名	単位数	備考
講義科目①	物理学基礎論 A、物理学基礎論 B ☆	4	1 回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I、基礎有機化学 II ☆	4	◎1 回生クラス指定科目
	個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
	生化学入門、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
講義科目②	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1 回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

☆の科目は両科目とも合格した場合のみ、選択必修科目の単位として認定します。

※2 平成 29 年度より数学基礎 IA・IB・IIA・IIB [理系] は廃止。

【平成 25 年度入学者】

下記、講義科目より 4 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 6 単位以上修得してください。(◎は選択履修することを特に推奨する科目)

	科目名	単位数	備考
講義科目	微分積分学 (講義・演義) A、微分積分学 (講義・演義) B ☆ ※3	6	
	線形代数学 (講義・演義) A、線形代数学 (講義・演義) B ☆ ※3	6	
	物理学基礎論 A、物理学基礎論 B ☆	4	1 回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I、基礎有機化学 II ☆	4	◎1 回生クラス指定科目
	個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
	生化学入門、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1 回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

☆の科目は両科目とも合格した場合のみ、選択必修科目の単位として認定します。

※3 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学 (講義・演義) A・B」、「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修してください。

- ⑤ 「Introduction to Behavioral Neuroscience A・B-E2」の履修を推奨します。
- ⑥ 高校で生物を履修しなかった学生には、「個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学」もしくは「生化学入門、細胞と分子の基礎生物学」の履修を推奨します。
- ⑦ 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、卒業に必要な単位として認定しません。
- ⑧ 工学部地球工学科国際コース向け科目 (授業一覧の備考欄に [International Course] と記載のあるもの) の扱いについては、医学部医学科より別途配布する「修得すべき各領域の科目指定表」を参照すること。

(2) 外国語科目群について

- ① 英語は「科学英語 (医学)」2 単位を含む計 8 単位以上修得してください。
「科学英語 (医学)」単位未修得者は、「臨床コミュニケーション (医・英) -E3」、「アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3」両科目を履修し、単位を修得してください。但し、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ② 第 2 外国語はドイツ語、又はフランス語から次のとおり修得してください。
 - ◇ ドイツ語を選択する場合
「ドイツ語 IA (文法)・IB (文法)」と「ドイツ語 IA (演習)・IB (演習)」※を含む計 4 単位以上。
 - ◇ フランス語を選択する場合
「フランス語 IA (文法)・IB (文法)」と「フランス語 IA (演習)・IB (演習)」※を含む計 4 単位以上。
 ※平成 28 年度より「ドイツ語 IA (実習)」、「ドイツ語 IB (実習)」、「フランス IA (実習)」、「フランス語 IB (実習)」は、「ドイツ語 IA (演習)」、「ドイツ語 IB (演習)」、「フランス IA (演習)」、「フランス語 IB (演習)」へ科目名変更。

(3) 現代社会適応科目群について

① 「医学概論」を含む計4単位以上修得してください。

※平成27年度末時点で「医学概論」未修得の学生は、履修にあたって別途医学部教務・学生支援室に確認してください。

② 「Introduction to Medical Psychology-E2」の履修を推奨します。

医学部<人間健康科学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. その他の指示事項

(1) 平成28年度まで学部専門科目として開講されていた「リハビリテーション概論」の単位を修得している者が、平成29年度以降に全学共通科目「リハビリテーション概論」の単位を修得しても卒業に必要な単位として認めません。

(2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、人文・社会科学系科目群のみ、卒業単位として認定します。

(3) 工学部地球工学科国際コース向け科目は、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、および外国語科目群を、卒業に必要な単位として認定します。

3. 各専攻で特に履修を希望する科目

(1) 看護学専攻

【平成25年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
人体のしくみと働き (H29 不開講)	2	◎	現代社会適応科目群
健康心理学Ⅱ	2	◎	同 上
生活と健康 (H29 不開講)	2	◎	同 上
生活習慣病入門 (H29 不開講)	2	○	同 上
情報基礎 [医学部]	2	○	同 上

◎ 印は選択履修することを強く要望する科目、○ 印は選択履修することを要望する科目

(2) 検査技術科学専攻

【平成27年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	自然・応用科学系科目群
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同 上
基礎化学実験	2	選必	同 上
物理学実験	2	選必	同 上
情報基礎 [医学部]	2	○	現代社会適応科目群
情報基礎演習 [医学部] ※2	2	○	同 上

【平成26年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	自然・応用科学系科目群
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同 上
基礎化学実験	2	◎	同 上
物理学実験 (又は生物学実習)	2	◎	同 上
統計入門	2	◎	同 上
情報基礎 [医学部]	2	○	現代社会適応科目群
情報基礎演習 [医学部] ※2	2	○	同 上

【平成25年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	自然・応用科学系科目群
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同 上
基礎化学実験	2	○	同 上

情報基礎 [医学部]	2	○	現代社会適応科目群
情報基礎演習 [医学部] ※	2	○	同上

選必 選択必修科目（どちらかの修得が卒業要件。両方の履修が望ましい。）

◎ 印は選択履修することを強く要望する科目、○ 印は選択履修することを要望する科目

※ 2 単位科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する

(3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻

【平成 26、27 年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
統計入門 (H27 入学者のみ)	2	○ (理学のみ)	自然・応用科学系科目群

【平成 25 年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
人体のしくみと働き (H29 不開講)	2	◎	現代社会適応科目群
健康心理学 II	2	○	同上

◎ 印は選択履修することを強く要望する科目、○ 印は選択履修することを要望する科目

薬学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

区 分	科 目 名	単位数	備 考
必修科目	基礎物理化学 (熱力学)	2	薬学部開講科目 (自然・応用科学系科目群)
	基礎有機化学 I	2	同上 (同上)
	基礎有機化学 II	2	同上 (同上)
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目 (現代社会適応科目群)
	健康・生命科学入門	2	同上 (同上)
	薬用植物学	2	同上 (同上)
	情報基礎 [薬学部]	2	同上 (同上)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同上 (同上)
選択必修科目	線形代数学 (講義・演義) A	3	(自然・応用科学系科目群)
	線形代数学 (講義・演義) B	3	(同上)
	物理学基礎論 A	2	(同上)
	物理学基礎論 B	2	(同上)
	熱力学	2	(同上)
	物理学実験	2	(同上)
	基礎化学実験	2	(同上)
	生物学実習 III	2	(同上)
選択科目	上記以外の科目		

(2) 平成 29 年度より数学基礎 I A・I B [理系]、数学基礎 II A・II B [理系] は廃止。また、線形代数学 A・B の代わりに線形代数学 (講義・演義) A・B を履修してください。

(3) 平成 26 年度以降入学者について、自然・応用科学系科目群の「統計入門」(2 回生配当) は履修することが望ましい。

(4) 自然・応用科学系科目群の選択必修科目の卒業必要単位数 6 単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。

(5) 科目名変更に注意して登録してください。

(6) 外国語科目群の必修科目「科学英語 A」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践 (薬・英) A-E3」を、「科学英語 B」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践 (薬・英) B-E3」を履修し、単位を修

得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

工学部<地球工学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成26年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

「各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の一覧表に示された各科目群に関する指示事項を下記に示します。ただし、その表に示された科目群は、平成27年度までの旧分類であり、平成28年度からは新しい科目群名称となっております。科目によっては所属する分類が大きく変わっている場合がありますので、注意して下さい。各授業科目の群分類は、p.210にその新旧の対応が記載されています。

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学科目群、現代社会適用科目群、拡大科目群について

これらの科目群から人文・社会科学科目群12単位以上を含んで合計16単位以上20単位までを履修する必要があります(ただし、情報基礎[工学部]、情報基礎演習[工学部]は含められません)。各授業科目がこれらの旧科目群分類のどれに属するかはp.210で確認して下さい。

(3) 自然・応用科学系科目群について

平成28年度より「環境生物・化学」は、学部専門科目として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい(ただし、修得単位は全学共通科目の自然・応用科学系科目群として認定されます)。

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

この表は平成28年度以降の新しい科目名で示しています。

科目名	単位	必選択等		科目名	単位	必選択等	
		土木・資源・環境	国際※			土木・資源・環境	国際※
自然現象と数学	2	◎	◎	基礎有機化学Ⅱ	2	○	—
微分積分学(講義・演義)A ※1	3	◎	◎	基礎化学実験	2	○	—
微分積分学(講義・演義)B ※1	3	◎	◎	図学A	2	○	—
線形代数学(講義・演義)A ※1	3	◎	◎	図学B	2	○	—
線形代数学(講義・演義)B ※1	3	◎	◎	微分積分学統論Ⅰ	2	◎	◎
基礎物理化学(熱力学)	2	◎	—	微分積分学統論Ⅱ	2	◎	◎
基礎物理化学(量子論)	2	◎	—	線形代数学統論	2	○	○
物理学基礎論A	2	◎	◎	振動・波動論	2	○	○
物理学基礎論B	2	◎	◎	無機化学入門A	2	○	—
熱力学	2	○	○	無機化学入門B	2	○	—
力学統論	2	○	○	生物自然史Ⅰ	2	○	—
物理学実験	2	○	—	生化学入門	2	○	—
基礎地球科学A ※2	2	○	○	細胞と分子の基礎生物学	2	○	—
基礎地球科学B ※3	2	○	—	地質工学入門	2	◎	◎
基礎有機化学Ⅰ	2	○	—				

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、履修することを勧める科目

— 印は、卒業に必要な単位として認定しない科目

※1 「微分積分学A・B」、「線形代数学A・B」の代わりに「微分積分学(講義・演義)A・B」、「線形代数学(講義・演義)A・B」を履修すること。

※2 「基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)」及び「基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※3 「基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)」及び「基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

(4) 外国語科目群（英語）における「科学英語（地球）」について

国際コース以外の学生には、英語は7単位（「科学英語（地球）」等を含む）の修得が定められています。平成28年度より「科学英語（地球）」は、学部専門科目（クラス指定）として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は、全学共通科目の外国語科目群（英語）として認定されます）。

(5) 現代社会適用科目群における「情報基礎（工学部）」「情報基礎演習（工学部）」について

平成28年度からの新分類で情報学科目群に属する上記2科目は、(2)に示した「学科が指定した自然・応用科学系科目群の科目」と見なします。すなわち、それらとの合計で修得単位数31単位以上が卒業要件となっています。また、現代社会適用科目群の単位にはなりません。なお、「情報基礎演習（工学部）」は、平成28年度より2単位科目として開講されますが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定されます。

※ 国際コースは、英語で提供される同コース向けの全学共通科目（(3)～(5)については、授業一覧の備考欄に「International Course」と記載のあるもの）のみ単位認定する。指定科目については、学部の履修要覧を参照のこと。

※ 国際コースの「Scientific English II (Presentation & Discussion)」の未修者が「Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)」を、「Advanced Scientific English (Debate)」の未修得者が「Advanced Scientific English-E3 (Debate)」を、それぞれ履修し、単位を修得した場合、外国語科目群の「Scientific English II (Presentation & Discussion)」、「Advanced Scientific English (Debate)」の単位として認定する。但し、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認める。

工学部<建築学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成26年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので、全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	図学A	2	○
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	◎	図学B	2	○
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	◎	物理学実験	2	
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	◎	基礎地球科学A ※2	2	
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	◎	基礎地球科学B ※3	2	
物理学基礎論A	2	◎	確率論基礎	2	◎
物理学基礎論B	2		統計入門	2	○
振動・波動論	2	◎	数理統計	2	●
熱力学	2	◎	微分積分学統論I	2	◎
力学統論	2		微分積分学統論II	2	◎

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、平成27年度入学者に対して、特に選択履修することを要望する科目

● 印は、平成26年度以前入学者に対して、特に選択履修することを要望する科目

※1 「微分積分学A・B」、「線形代数学A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 平成26年度より「基礎地球科学IIA」は、「基礎地球科学IA」と科目統合され、「基礎地球科学A」が新規開講。「基礎地球科学IA」の単位を取得済みであっても、「基礎地球科学A」の単位を取得すれば、「基礎地球科学A」を卒業に必要な単位として認めるが、「基礎地球科学IIA」と「基礎地球科学A」の両方の単位を取得した場合は、「基礎地球科学IIA」のみを卒業に必要な単位として認める。

※3 平成26年度より「基礎地球科学IIB」は、「基礎地球科学IB」と科目統合され、「基礎地球科学B」が新規開講。「基礎地球科学IB」の単位を取得済みであっても、「基礎地球科学B」の単位を取得すれば、「基礎地球科学B」を卒業に必要な単位として認める。

科学B」を卒業に必要な単位として認めるが、「基礎地球科学ⅡB」と「基礎地球科学B」の両方の単位を取得した場合は、「基礎地球科学ⅡB」のみを卒業に必要な単位として認める。

◇ 学科が特に選択履修することを要望する現代社会適応科目群（情報系科目）

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
情報基礎 [工学部]	2	◎	情報基礎演習 [工学部]	2 ※	◎

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

※ 2 単位数科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

工学部<物理工学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

① 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	コースにより異なる	微分積分学統論Ⅰ	2	コースにより異なる
微分積分学 (講義・演義) A ※1	3		微分積分学統論Ⅱ	2	
微分積分学 (講義・演義) B ※1	3		電磁気学統論	2	
線形代数学 (講義・演義) A ※1	3		確率論基礎	2	
線形代数学 (講義・演義) B ※1	3		数理統計	2	
物理学基礎論 A	2		無機化学入門 A	2	
物理学基礎論 B	2		無機化学入門 B	2	
物理学実験	2		生物・生命科学入門	2	
基礎物理化学 (熱力学)	2		振動・波動論	2	
基礎物理化学 (量子論)	2		統計物理学	2	
図学 A	2		基礎有機化学Ⅰ	2	
基礎化学実験	2		基礎有機化学Ⅱ	2	
			力学統論	2	

※1 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学 (講義・演義) A・B」、「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修すること。

* 必選等の詳細は入学年度の工学部履修要覧を参照してください。

(3) 現代社会適応科目群 (情報系科目) 情報基礎演習 [工学部] について

2 単位数科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

工学部<電気電子工学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群（一部、現代社会適応科目群）※1

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	確率論基礎	2	◎
微分積分学（講義・演義）A ※2	3	◎	数理統計	2	◎
微分積分学（講義・演義）B ※2	3	◎	数理論理学 A	2	
線形代数学（講義・演義）A ※2	3	◎	数理論理学 B	2	
線形代数学（講義・演義）B ※2	3	◎	熱力学	2	
物理学基礎論 A	2	◎	統計物理学	2	◎
力学統論	2	◎	振動・波動論	2	○
物理学実験	2	◎	量子物理学	2	
基礎有機化学 I	2		解析力学	2	
基礎有機化学 II	2		特殊相対論	2	
基礎化学実験	2		基礎物理化学（熱力学）	2	
線形代数学統論	2	◎	基礎物理化学（量子論）	2	
関数論	2	◎	無機化学入門 A	2	
微分積分学統論 I	2	◎	無機化学入門 B	2	
微分積分学統論 II	2	◎			
情報基礎 [工学部] *	2	◎	情報基礎演習 [工学部] *	2 ※3	◎

◎ 印は、選択履修することを要望する科目 ○ 印は、履修することを勧める科目

* 印は、現代社会適応科目群

※1 平成 29 年度より「神経科学総論 A・B」は廃止

※2 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※3 2 単位科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

「情報基礎 [工学部]」、「情報基礎演習 [工学部]」については、電気電子工学科が指定するクラス外での履修は認めない。これら以外のクラス指定科目についても、指定されたクラスで受講すること。

工学部<工業化学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	基礎有機化学 I	2	必
微分積分学（講義・演義）A ※	3	◎	基礎有機化学 II	2	必
微分積分学（講義・演義）B ※	3	◎	基礎化学実験	2	◎
線形代数学（講義・演義）A ※	3	◎	微分積分学統論 I	2	
線形代数学（講義・演義）B ※	3	◎	微分積分学統論 II	2	
統計入門	2		熱力学	2	
物理学基礎論 A	2	◎	振動・波動論	2	
物理学基礎論 B	2	◎	力学統論	2	
物理学実験	2	◎	解析力学	2	
基礎物理化学（量子論）	2	必			
基礎物理化学（熱力学）	2	必			

必 は必修科目 ◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

※ 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

* 基礎物理化学 (量子論)・(熱力学)、基礎有機化学 I・II を再履修する場合は、工業化学科の前年度と同じクラスで履修することが望ましい。(ただし、平成 26 以降入学者について、コース配属時には工業化学科クラス履修の成績のみ判定に使用する)

工学部<情報学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群科目について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群 (一部、現代社会適応科目群)

科目名	単位数	コース別必修等		科目名	単位数	コース別必修等	
		計算機	数理			計算機	数理
自然現象と数学	2	◎	◎	微分積分学統論 I	2	◎	◎
微分積分学 A	4	◎	◎	微分積分学統論 II	2	○	◎
微分積分学 B	4	◎	◎	線形代数学統論	2	○	◎
線形代数学 A	2	◎	◎	熱力学	2	○	○
線形代数学 B	2	◎	◎	振動・波動論	2	○	○
物理学基礎論 A	2	◎	◎	確率論基礎	2	◎	◎
物理学基礎論 B	2	◎	◎	数理統計	2	◎	◎
物理学実験	2	◎	◎	数理論理学 A	2	○	○
力学統論	2	◎	◎	数理論理学 B	2	○	○
情報と社会 * ※	2	必	○	情報基礎実践 *	2	◎	◎

必 は、必修科目

◎ 印は、特に選択履修することを要望する指定科目

○ 印は、指定科目

* 現代社会適応科目群

ただし、計算機科学コースでは平成 26 年度以前入学者について「確率論基礎」、「数理統計」を○指定とし、数理科学コースでは平成 25 年度入学者について「確率論基礎」、「数理統計」を○指定とします。

※ 「情報と社会 I」の単位未修得者は「情報と社会」を履修すること。

農学部<資源生物科学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学 (講義・演義) A ※	3	無機化学入門 A	2
微分積分学 (講義・演義) B ※	3	無機化学入門 B	2
線形代数学 (講義・演義) A ※	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学 (講義・演義) B ※	3	基礎有機化学 II	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	基礎化学実験	2
基礎物理化学 (熱力学)	2	遺伝学概論	2
基礎物理化学 (量子論)	2		

※ 平成 29 年度より数学基礎 I A・II A・I B・II B [理系] は廃止。代わりに「微分積分学 (講義・演義) A・B」、「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修すること。

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部] ※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

農学部<応用生命学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群 ※

科目名	単位数	科目名	単位数
確率論基礎	2	無機化学入門 A	2
物理学基礎論 A	2	無機化学入門 B	2
物理学基礎論 B	2	基礎化学実験	2
		個体と集団の基礎生物学	2

※ 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB [理系] は廃止

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部] ※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

農学部<地域環境工学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
線形代数学（講義・演義）A ※	3	確率論基礎	2
線形代数学（講義・演義）B ※	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）A ※	3	物理学基礎論 B	2
微分積分学（講義・演義）B ※	3	物理学実験	2
数理統計	2		

※ 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部] ※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

農学部<食料・環境経済学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群※1

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	数学探訪Ⅰ	2
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	数学探訪Ⅲ	2
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	基礎有機化学Ⅰ※2	2
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	基礎有機化学Ⅱ※2	2
確率論基礎	2	個体と集団の基礎生物学	2
数理統計	2	細胞と分子の基礎生物学	2

※1 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB〔理系〕は廃止。代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 平成27年度入学者は学科が推薦する科目とはならない。

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	情報基礎演習〔農学部〕※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

農学部<森林科学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群※1

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	基礎有機化学Ⅰ	2
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	基礎有機化学Ⅱ	2
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	基礎化学実験	2
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論A	2	細胞と分子の基礎生物学	2
物理学基礎論B	2	地質工学入門※2	2
物理学実験	2	水と緑と土の科学※3	2
基礎物理化学（熱力学）	2		
基礎物理化学（量子論）	2		

※1 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB〔理系〕は廃止。代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 平成25年度入学者に対して学科が推薦する科目として認定する。

※3 平成26年度以降入学者に対して学科が推薦する科目として認定する。

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	環境学	2
生存圏の科学概論Ⅰ	2		

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

農学部<食品生物科学科>

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目（自然・応用科学系科目群）

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	基礎化学実験	2
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	物理学基礎論 A ※2	2
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	物理学基礎論 B ※2	2
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	基礎物理化学要論 ※3,4	2
基礎物理化学（熱力学）※4	2	基礎有機化学 I ※3,5	2
基礎物理化学（量子論）※4	2		

- ※1 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB [理系]は廃止。代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。
- ※2 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学A・B」で代えることができる。
- ※3 平成27年度入学者のみ推薦する科目として認める。
- ※4 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を履修した場合、後に「基礎物理化学要論」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。
「基礎物理化学要論」を履修した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。
同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を履修した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められます（「基礎物理化学要論」は増加単位になります）。
- ※5 既に「基礎有機化学 A」を履修した場合は、「基礎有機化学 I」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

4. 平成24年度以前入学者用
(1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

学部	入学年	A 群		B 群	C 群	D 群	備考
		人文科学	社会科学				
総合 人間	平成18～24	人文科学 社会科学 特に定めなし (総合人間学部便覧を参照してください)		自然科学系科目	外国語科目	保健体育科目	※C群科目(外国語科目)の履修方法については、「全学共通科目履修の手引き」に掲載されている学部の指示事項及び「5. 外国語の履修について」の内容に従って、科目を選択すること。 ※日本語を選択できるのは外国人留学生だけとする。
					EDFCRISKADのうちから12単位以上 ※ただし、1外国語から6単位以上、その他の1または2外国語から6単位以上とする		
文	平成21～24	A群、B群、D群、EX群から自由に36単位以上(ただし、A群・B群それぞれ8単位以上修得すること)		EDFCRISKADのうちからEDFいずれか一つを含め2か国語それぞれ8単位以上 計16単位以上	A群、B群、D群、EX群から自由に36単位以上(ただし、A群・B群それぞれ8単位以上修得すること)		※C群でEを修得する場合、8単位のうち2単位については、文学部提供全学共通科目「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※C群でE以外を修得する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上修得すること。なお、スペイン語I(会話)は、C群の卒業に必要な単位として認定しない。
					16単位以上		
教育	平成23～24	A・B群の必要単位を満たしたうえで、A・B群から自由に12単位選択して合計36単位履修すること。		8単位以上	A群、B群、D群から自由に4単位以上		※C群でEを履修する場合、英語I、II、英語(教育学)のうちから8単位(8単位のうち2単位は「英語(教育学)」)を履修すること。 2回生配当科目「英語(教育学)」は、前後1科目ずつ履修すること(2単位のみの認定)。「英語(教育学)」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 E以外の外国語は初級から4単位、中級・上級から4単位を履修すること。
					20単位以上		
法	平成19 平成20～24	8単位以上		E6単位、およびDFCRISのうち、いずれか1か国語8単位以上 計14単位以上 E8単位(うち2単位は「法学政治学英語I・II」※1(各1単位)でなければならぬ)、およびDFCRISKAのうち、いずれか1か国語8単位以上 計16単位以上	講義2単位 実習2単位 計4単位※2		※1 平成25年度より「法学政治学英語A・B」を科目名変更。「法学政治学英語I・II」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※2 A群またはB群の単位で代替可能(部分的代替可能)
					16単位以上		
経済	平成17～24	12単位以上		※EDFCRISKADのうちから2か国語それぞれ8単位以上 計16単位以上 単位として認めない ・日本語は外国人留学生のみ認める	講義2単位 実習2単位 計4単位※		※平成17年度から24年度までの入学者は、C群でEを修得する場合、8単位のうち2単位については「経済英語A・B」(各1単位)を修得しなければならぬ。「経済英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※D群科目を含まず、A群、B群、C群科目の中からそれぞれの最低必要単位数以外で自由に計4単位で代替可能

学部	入学年	A 群		B 群	C 群	D 群	備考
		人文科学	社会科学				
理	平成20	A群科目、新入生向け少人数セミナー(ボケット・ゼミ)及びKUINEP※から16単位以上。 (24単位まで卒業に必要な単位として認める)	社会科学系科目 理学部学部科目の専門基礎科目とB群科目などから理学部が専門基礎科目に指定したものから24単位以上(38単位まで卒業に必要な単位として認める)	外国語科目 EDFR日のうち1か国語について6単位以上、それ以外の前記外国語から合計6単位以上 総計12単位まで ただし、日本語は外国人留学生のみ認める EDFR日のうちから1か国語について6単位、それ以外の外国語(EDFR日以外)から合計4単位以上 総計10単位以上(12単位まで卒業に必要な単位として認める) ただし、日本語は外国人留学生のみ認める	保健体育科目 選択 4単位まで卒業に必要な単位として認める	※KUINEPは、A群として履修した場合のみ、卒業に必要な一般教養科目として認める。 ※E群については、卒業に必要な単位として認定しない。	
	平成21～24						
医(医)	平成21～24	20単位以上 (うち2単位はD群科目で代替可能)	数学・物理学・化学・生物学の4領域の中から少なくとも3領域を選び、必修科目「医学概論」4単位※1、「統計入門」2単位※2及び選択必修科目6単位以上を含む20単位以上※3	12単位以上 (「科学英語(医学)」2単位を含むE8単位以上、及びD又はFから4単位以上)		※1 平成27年度末時点で「医学概論」未修得の学生は、履修にあたって別途医学部教務・学生支援室に確認すること。 ※2 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修すること。 ※3 医学部医学科がB群単位として認める科目、及び各科目の領域については、医学部が別途配付する修得すべき各領域の科目指定表により確認すること。	
医(人)	平成20～24	16単位以上	18単位以上	E6単位以上とその他の外国語(DFCRISKA)のうちから1か国語4単位以上(初級・中級の組み合わせは自由)、計10単位以上		各専攻によって、特に履修を要望する科目があるもので、注意すること。	
薬	平成20～24	20単位以上 (うち2単位はD群科目で代替可能)	必修科目10単位 選択必修科目12単位以上 選択科目(必修科目及び選択必修科目以外の科目)4単位以上 計26単位以上 (選択必修科目の卒業必要単位数12単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入)	12単位以上 ※		※第1外国語(英語)8単位以上 必修科目2単位 選択科目6単位以上 第2外国語については、薬学部学生便覧参照	
工	平成18～24	16単位以上	※28単位以上	2か国語以上 ※10単位以上	※選択 (4単位まで卒業単位数に算入)	※学科によって異なるので、入学年の工学部履修要覧を参照すること。	

学部	入学年	A 群		B 群	C 群	D 群	備考
		人文科学	社会科学				
農	平成20～21	1 6 単位以上 (資源生物科学科、 応用生命科学科、 地域環境工科学科、 森林科学科、 食品生物科学科)	2 0 単位以上 (資源生物科学科、 食品生物科学科) 各学科の推薦科目から 1 2 単位以上 を含み、 2 0 単位以上 (応用生命科学科、 地域環境工科学科、 森林科学科) 1 8 単位以上 (食料・環境経済学科)	1 2 単位以上 「科学英語 (農学) A・B」※各 1 単位を含む英語 8 単位以上及びその 他の外国語 1 か国語 4 単位以上 ただし、日本語は外国人留学生のみに 認める	保健体育科目	※「科学英語 (農学) A・B」単位未取得者 は、(2) 各学部の指示事項参照。	
	平成22～24	1 8 単位以上 (食料・環境経済学科) ※ 上記単位のうち 2 単位は D 群科目で 代替することが可能	2 0 単位以上 (資源生物科学科) 各学科の推薦科目から 1 2 単位以上 を含み、 2 0 単位以上 (応用生命科学科、 地域環境工科学科、 森林科学科、 食品生物科学科) 1 8 単位以上 (食料・環境経済学科)				

C 群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、C…中国語、R…ロシア語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語 (外国人留学生対象)
E X 群は、文学部の平成 1 8 年度以降入学者を除き、卒業に必要な単位として認定されません。

(2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

総合人間学部

1. 総合人間学部で履修すべき授業科目には、学部科目と全学共通科目の区分があり、この区分により履修します。学部科目は総合人間学部固有の科目ですが、そのうちいくつかは全学共通科目としても提供されています。「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
なお、総合人間学部では全学共通科目の履修に関して、C群科目（外国語科目）以外は修得すべき必要な単位数の定めはありません。詳細は「総合人間学部便覧」を参照してください。
2. C群科目（外国語科目）の履修方法については、本冊子「5. 外国語の履修について」（p.45～）の内容に従って、科目を選択してください。
3. 平成23年度以前に修得したA・C群科目は、A群科目として履修した場合は2単位、C群科目（外国語科目）として履修した場合は1単位となります。
4. 京都大学国際教育プログラム（KUINEP）科目は、A群またはB群のいずれか1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。
5. EX群（大学コンソーシアム京都単位互換科目）は、卒業に必要な単位として認定されません。

文学部

1. C群（外国語科目）で英語を修得する場合、8単位のうち2単位については、「文学部英語A」・「文学部英語B」（各1単位ずつ）を修得しなければなりません。
「文学部英語A・B」は、2科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として自分の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません（「文学部英語A・B」を修得後に、他系の専修に分属した場合、あらたに「文学部英語A・B」を履修し直す必要はありません）。「文学部英語A」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）A-E1」を、「文学部英語B」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）B-E1」履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
なお、工学部地球工学科国際コース向け科目は（授業一覧の備考欄に[International Course]と記載のあるもの）卒業に必要な単位として認定しません。
2. 英語以外の外国語を修得する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上修得してください。
※「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は16単位のうち4単位のみ、「ロシア語Ⅰ（8Hコース）」は、8単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅰ（6Hコース）」は12単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅱ（6Hコース）」、「フランス語Ⅱ（6Hコース）」は、12単位のうち4単位のみ、卒業に必要な単位として認めます。なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
3. 文学部提供の「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB【学部科目名：フランス語中級、上級】」をC群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録（外国語予備登録も必要）してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。
4. 「日本古代・中世政治文化論」（H28年度より廃止）、「日本古代・中世の歴史社会」（H28年度より廃止）、「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」（H29年度不開講）、「中国歴史地理論」（H29年度不開講）、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。
ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て、全学共通科目A群に変更することができます。（「V. その他 1. 系列変更」（p.242）参照）
なお、旧科目についても同様の取り扱いとなります。

教育学部

1. B群科目について
平成23年度以降入学者で入学試験を理系で受験した者には、次の科目を推奨します。
「情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」
2. C群科目について
C群（外国語科目）の第1外国語及び第2外国語の各8単位、合計16単位については次のとおり履修してください。
①英語はⅠ、Ⅱ及び英語（教育科学）のうちから8単位（8単位のうち2単位は「英語（教育科学）」を必ず含むこと）。

2 回生配当科目「英語（教育科学）」は、前後期 1 科目ずつ履修すること（2 単位のみ認定）。「英語（教育科学）」の単位が 1 単位不足している場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」のいずれか 1 科目を履修し、単位を修得してください。「英語（教育科学）」の単位が 2 単位不足している場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」の両科目を履修し、単位を修得してください。但し、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

②英語以外の外国語は初級から 4 単位、中級・上級から 4 単位

※ 詳細は本冊子「5. 外国語の履修について」を参照してください。

③工学部地球工学科国際コース向け科目は（授業一覧の備考欄に[International Course]と記載のあるもの）卒業に必要な単位として認定しません。

④スペイン語 I（会話）は卒業に必要な単位として認定しません。

法学部

法学部では、授業科目を教養科目と専門科目に分けています。

教養科目として履修すべき全学共通科目については、法学部便覧を参照してください。

なお、「法学政治学英語 I」の単位未修得者は「外国文献講読（法・英）I-E1」を、「法学政治学英語 II」の単位未修得者は「外国文献講読（法・英）II-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、フランス語 I（8H コース）の修得単位数については、16 単位のうち 6 単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。

経済学部

1. B 群科目について

◇平成 20 年度以前入学者

B 群（自然科学系科目）のうち、「数学基礎 A・B [文系]」を履修することを推奨します。

◇平成 21 年度以降入学者

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。数学の履修に関する質問があれば、入門演習の担当教員に相談することができます。

① 数学基礎（経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す）

数学基礎 A・B [文系]（8 単位）を履修してください。

② 理系用数学講義（理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

微分積分学（講義・演義）A・B（6 単位）、線形代数学（講義・演義）A・B（6 単位）を履修してください。

なお、2 回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。

②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論 I・II（4 単位）、線形代数学統論（2 単位）も履修することを推奨します。

2. C 群（外国語科目）の第一外国語及び第二外国語の各 8 単位、計 16 単位については、次により履修してください。

外国人留学生は、日本語を第一外国語または第二外国語とすることができます。

①英語は、英語 I、英語 II 及び経済英語（2 回生配当英語科目）から 8 単位

平成 17 年度から 24 年度までの入学者は、必ず、「経済英語 A・B」（各 1 単位）を修得してください。「経済英語 A」の単位未修得者は「外国文献研究（経・英）A-E1」を、「経済英語 B」の単位未修得者は「外国文献研究（経・英）B-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

②ドイツ語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の計 8 単位

③フランス語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の計 8 単位

（注）フランス語 I（8 時間コース）は、16 単位のうち 6 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

④中国語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の計 8 単位

⑤ロシア語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の計 8 単位

（注）ロシア語 I（8 時間コース）は、8 単位のうち 6 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

⑥イタリア語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉から 4 単位の計 8 単位

⑦スペイン語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉から 4 単位の計 8 単位

（注）スペイン語 I（会話）は、卒業に必要な単位に算入しません。

⑧朝鮮語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉から 4 単位の計 8 単位

⑨アラビア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位

⑩日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語上級※、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から計8単位を修得してください。

※平成29年度に開講される日本語上級の科目はp.63～を参照

理学部

1. 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成24年度以前入学者用（1）各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」（p.233～235）の表のとおりとします。
2. 理学部では、英語について、全学共通科目・外国語科目群の英語科目として開講されている、または外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。
ただし、平成28年度まで開講されていた「科学英語（理学）」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成29年度から開講される「科学コミュニケーション（理・英）-E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。（複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。）
3. 平成29年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2017（平成29）年度 教科の手引き』の「Ⅲ.系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

医学部〈医学科〉

1. 医学部医学科では2回生までに、教養科目として、A群、B群、C群ごとに必要な単位を修得しないと、3回生に進むことが出来ません。
2. 「Introduction to Medical Psychology-E2」、「Introduction to Behavioral Neuroscience A・B-E2」の履修を推奨します。
3. 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修してください。
4. C群（外国語科目）の英語2単位は、2回生で医学部提供の「科学英語（医学）」を必修とします。
5. 外国語科目のドイツ語を選択する場合は、ドイツ語ⅠA（文法）・ⅠB（文法）〈旧ドイツ語Ⅰ（文法）〉とドイツ語ⅠA（演習）※・ⅠB（演習）※〈旧ドイツ語Ⅰ（実習）〉を修得してください。
※平成28年度より「ドイツ語ⅠA（実習）」・「ドイツ語ⅠB（実習）」は「ドイツ語ⅠA（演習）」・「ドイツ語ⅠB（演習）」へ科目名変更。
6. 二つ以上の群にまたがる科目の取り扱いについては、「A・B群」はA群、「A・C群」はA群、「B・D群」はB群として登録した場合のみ、修得すべき単位として認定しますので注意してください。
7. 詳細は医学部教務・学生支援室（医学科担当）に確認してください。

医学部〈人間健康科学科〉

1. 専攻ごとの履修を要望する科目

◎印は選択履修することを強く要望する科目、○印は選択履修することを要望する科目

※科目名変更・群変更については、「Ⅱ-2. 全学共通科目一覧」（p.87～）の備考欄及びKULASIS掲載の「平成27年度以前入学者用の科目一覧」を参照してください。

(1) 看護学専攻

科目名	単位数	入学年度による必選等				
		H20	H21	H22	H23	H24
A群 健康心理学Ⅱ	2			◎		
生活と健康（H29不開講）	2			◎		
B群 基礎化学実験	2			○		
情報基礎〔医学部〕	2			○		
人体のしくみと働き（H29不開講）	2	—			◎	

(2) 検査技術科学専攻

科目名	単位数	入学年度による必選等				
		H20	H21	H22	H23	H24
A群 健康心理学Ⅱ	2			◎		—
生活と健康（H29不開講）	2			◎		—
B群 初修物理学A または物理学基礎論A	2			◎		
初修物理学B または物理学基礎論B	2			◎		

	物理学実験	2	◎	—
	基礎化学実験	2	◎	○
	情報基礎 [医学部]	2	◎	○
	情報基礎演習 [医学部] ※	2	◎	○

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

(3) 理学療法学専攻

科目名		単位数	入学年度による必選等				
			H20	H21	H22	H23	H24
A群	健康心理学Ⅱ	2	◎		—		
	生活と健康 (H29 不開講)	2	◎		—		
	人体のしくみと働き (H29不開講)	2			—		

(4) 作業療法学専攻

科目名		単位数	入学年度による必選等				
			H20	H21	H22	H23	H24
A群	健康心理学Ⅱ	2			○		
B群	人体のしくみと働き (H29不開講)	2			—		

2. その他の注意事項

- 平成28年度まで学部専門科目として開講されていた「リハビリテーション概論」の単位を修得している者が、平成29年度以降に全学共通科目「リハビリテーション概論」の単位を修得しても卒業に必要な単位として認めません。
- 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) の科目は、A群科目のみ卒業単位として認定します。
- 工学部地球工学科国際コース向け科目は、卒業単位として認定します。
- D群・EX群科目は、卒業単位として認定しません。

薬学部

1. B群 (自然科学系科目) の必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は次のとおりです。

B群 (自然科学系科目) ……26単位以上 全学共通科目

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目
	健康・生命科学入門	2	同上
	基礎物理化学 (熱力学)	2	同上
	基礎有機化学Ⅰ	2	同上
	基礎有機化学Ⅱ	2	同上
選択必修科目	線形代数学 (講義・演義) A ※	3	
	線形代数学 (講義・演義) B ※	3	
	物理学基礎論A	2	
	物理学基礎論B	2	
	熱力学	2	
	物理学実験	2	
	基礎化学実験	2	
	生物学実習Ⅲ	2	
	薬用植物学	2	薬学部開講科目
	情報基礎 [薬学部]	2	同上
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同上
選択科目	上記以外の科目		

※ 「線形代数学 A・B」の代わりに「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修すること。

- C群 (外国語科目) の必修科目2単位は、薬学部提供の「科学英語 A・B」を履修してください。「科学英語 A」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践 (薬・英) A-E3」を、「科学英語 B」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践 (薬・英) B-E3」を履修してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- B群選択必修科目の卒業必要単位数12単位を超えて修得した単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。
- 科目名変更注意到意して登録してください。

工学部

年度当初に配付される「履修要覧」において、各学科毎に履修上の注意が示されています。不明な点については、当該学科の事務室にお問い合わせください。

農学部

平成 24 年度以前入学者は、当該入学年度の「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。但し、平成 29 年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

（不明な点は農学部教務窓口にお問い合わせください。）

なお、森林科学科において、「地球科学序論」を学科が推薦する B 群科目として認定していますが、平成 26 年度より下のおり変更していますので、注意してください。

- ・「地質工学入門」（「地球科学序論」（平成 26 年度科目名変更））を修得していない者の申し出により、「水と緑と土の科学」を学科が推薦する B 群科目として認定

V. その他

1. 系列変更

次の変更を希望する学生は、3 回生以降に所属学部の教務掛で所定の手続きを行ってください（印鑑持参のこと）。文学部学生が、文学部学生便覧に記載の基礎教育科目を全学共通科目に変更するとき。（手続き期間は、4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。）

2. 転学部及び転学科

転学部及び転学科は、学部により転入の取扱い条件が異なります。希望する場合は、所属学部の教務掛で所定の手続きをしなければなりません。出願は 1 学部（学科）に限られており、出願後の取消しはできませんので十分検討したうえで出願してください。

転学部及び転学科の手続きは、「資格照会手続き」の後、有資格者には出願書類が交付されます。各学部の取扱い条件及び手続きの詳細については、9 月下旬に掲示によりお知らせします。

3. 教育職員免許状の取得について

将来、高等学校、中学校または特別支援学校の教員になることを希望する学生は、「Campus Life Information」（京都大学発行）を参照するとともに、4 月 6 日（木）、4 月 12 日（水）及び 5 月 12 日（金）に開催予定の教職課程オリエンテーションに必ず出席してください。また、教育職員免許状取得について不明な点があれば、所属学部の教務掛へ問い合わせてください。

教育免許状取得希望者は、教育職員免許法に定められた「教科に関する科目」、「教科または教職に関する科目」、「教職に関する科目」及び「全学共通科目」から指定された科目の単位を修得することによって、教員の免許状を取得する資格を得ることができます。

「教科に関する科目」の単位は所属学部等で開講している授業科目の中から、これに対応する科目の単位を充当します。

「教科または教職に関する科目」については、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の必要単位数を超えて修得した場合、その単位を当該単位として充当します。

「教職に関する科目」の単位は教育学部で開講されている授業科目の中から、指定された科目を履修し、単位を修得してください。※平成 22 年度学部入学者から、教職総合演習（平成 24 年度を以って廃止）に替わる科目として教職実践演習（平成 25 年度後期から開講）を履修（必修）しなければなりません。

全ての教科《国語、社会、数学、理科等》について「教科に関する科目」、「教科または教職に関する科目」、「教職に関する科目」のほかに全学共通科目から次の科目を履修してください。

- ・「日本国憲法」2 単位
- ・「体育」3 単位以上：健康科学 I（旧「健康科学」平成 27 年度科目名変更）・II、健康心理学 I・II、運動科学 I（旧「運動科学」平成 27 年度科目名変更）・II、運動医科学、体力医科学、の中から 1 科目とスポーツ実習（IA・IB・IIA または IIB の中から 1 科目）の両方とも必要、なお、旧健康科学と運動医科学は平成 24 年度修得分から認定。
- ・「外国語コミュニケーション」2 単位：英語リーディング、英語ライティング・リスニング（平成 27 年度以前入学者は英語 I・II）、ドイツ語 I・II、フランス語 I・II、中国語 I・II、ロシア語 I・II から選択
- ・「情報機器の操作」2 単位（所属学部を確認すること）

中学校教諭免許状取得希望者は、特別支援学校での 2 日間と社会福祉施設等での 5 日間、合計 7 日間の「介護等体験」が必要になります。

4. 学芸員となる資格取得について

(1) 学芸員の職務

博物館法に基づく専門的職員で、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

(2) 学芸員の資格

学芸員となるには、学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければならない。

(3) 大学において修得すべき博物館に関する科目の単位

博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項第1号の規定により大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と本学において開講される科目との関係を示すと以下のとおりである。

法令上の科目	単位数	本学該当科目	開講部局	備考
生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ	教育学部	教育学部専門科目 ※どちらか一方選択必修。 (H29年度は生涯学習概論Ⅰ不開講)
博物館概論	2	博物館学Ⅰ	文学部	文学部専門科目
博物館経営論	2	博物館学Ⅱ		
博物館資料論	2	博物館学Ⅲ		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	全学共通 科目	
博物館展示論	2	博物館展示論		
博物館教育論	2	博物館教育論		
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		
博物館実習	3	博物館実習（文化史） ：2単位	全学共通 科目	※どちらか一方選択必修。 ※博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうち2科目修得済みであること。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。） ※博物館実習（文化史または自然史）を修得済みであること。詳細については、シラバスを参照のこと。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。）
		博物館実習（自然史） ：2単位		
		博物館実習（館園実務） ：1単位		

5. 吉田南総合図書館の利用案内

吉田南総合図書館は、吉田南構内各部署の図書館であると同時に、全学共通科目にも対応した図書館です。充実した新書・文庫コーナーや東西の名著を集めたグレート・ブックスコーナー、映画やドキュメンタリー等の映像ソフトを備えた視聴覚室をはじめ、幅広いジャンルの資料を提供しています。68万冊の資料とサービスでみなさんの学習・研究活動をサポートします。

・ホームページ：<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>



開館日と開館時間

- ・月-金 9:00-20:00
- ・土 10:00-15:00

休館日

- ・日曜日
 - ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - ・本学創立記念日(6/18)
 - ・冬季休業期間 ・卒業式の翌日~4/3
 - ・8/11~20 ・定例休館日
- ※ 定例休館日および臨時休館は、その都度、図書館ホームページやtwitter、掲示でお知らせします。

入館・退館

- ・入館ゲートを通るには利用証が必要です。
- ・学生証が利用証となります。
- ・手続きなしで図書館資料を持ち出された場合はアラームでお知らせします。



入館ゲート



自動貸出機

貸出

カウンター及び自動貸出機で貸出手続きができます。

開架図書	5冊/2週間
書庫内図書	10冊/2週間
雑誌	5冊/1週間

※ 参考図書や新聞のバックナンバーは当日の開館時間内に限り、館外へ持ち出すことができます。

※ 特別貸出：夏季・冬季・春季には、休館等に応じて貸出期間の延長を行います。

返却

返却はカウンターまでお願いします。休館時は図書館入口横のブックポストに返却してください。

※ 返却期限日を過ぎても返却されない場合、新たな貸出はできず、延滞日数の分だけ貸出停止となります。他の利用者の方の迷惑にもなりますので、必ず返却期限はお守りください。

貸出の予約

必要とする資料が他の利用者に貸出されている場合、1人5冊まで予約することができます。ご希望の方は、MyKULINE（マイクライン）でお申し込みください。

貸出の更新

他の利用者の予約がない場合、貸出中の図書は1回に限り更新（貸出期間の延長）することができます。貸出期間内にMyKULINEで手続きするか、利用証をカウンターまでご持参ください。雑誌の更新はできません。

オンラインサービス（MyKULINE）

Webから図書の予約や貸出更新、文献の取寄せ申込み等ができる便利なサービスです。

情報環境機構の利用コード（ECS-ID. a0*****）がオンラインサービスのログインIDになります。

- ・オンラインサービス（MyKULINE）について
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12718>

資料の探し方

京都大学で所蔵している図書や雑誌をKULINE（クライン：京都大学蔵書検索システム）で検索することができます。

- ・KULINE（クライン）
<http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

学内で利用できる電子ジャーナル/データベース

京都大学では、Webで利用できる資料がたくさんあります。文献収集に活用してください。

- ・学内で利用できる電子ジャーナル
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13502>
- ・学内で利用できるデータベース
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13501>

調査・相談

資料の調べ方が分からないとき、必要な資料が図書館にないときは、お気軽にスタッフまでご相談ください。また、文献の取り寄せ方法についてもご案内します。

館内の施設・設備

1階・2階

1階及び2階に閲覧席があります。自由にご利用ください。和書(新分類:日本十進分類表新訂8版)と洋書(新分類)、新着雑誌を配架しています。

参考図書、大型本、各種文庫・新書、グレート・ブックス、英語学習、吉田南構内関連部局の教員及び関係者図書等は別置しています。

カウンター近くには新着図書コーナー、KULINE 検索用パソコンがあります。



1階 閲覧席



2階 大閲覧室



1階 KULINE 検索用 PC



1階 グレート・ブックスコーナー

視聴覚室 (1階)

映画、ドキュメンタリー、語学資料のDVD等、視聴覚資料が利用できます。

※ 視聴覚室内の資料は館外貸出できません。

※ 持込資料のご利用はできません。

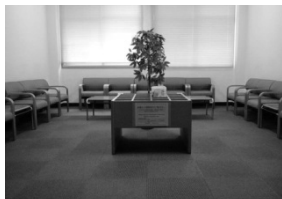
新聞閲覧室 (1階)

新聞閲覧室には、国内外の主要な新聞を備え付けています。(バックナンバーは1年分を保存しています。ご利用希望の方はカウンターまでお申し出ください。)

朝日新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / 京都新聞 / 日本経済新聞 / 産経新聞 / 日刊工業新聞 / 図書新聞 / 週刊読書人 / The Japan Times / The Times / Le Monde / Frankfurter Allgemeine / International New York Times / 人民日報 / 光明日報



1階 視聴覚室 2



1階 新聞閲覧室

情報環境機構 OSL (2階)

情報環境機構(学術情報メディアセンター)のオープン・スペース・ラボラトリ(OSL)として、インターネットに接続できるPC端末28台と、電源を備えた席を利用できます。館内では無線LANを敷設しており、持ち込みPCなどをインターネットに接続させることができます。



2階 OSL



2階 ベランダ

ドリンクポリシー

OSLを除く館内の閲覧室等では、完全に密閉でき、倒しても中の飲料がこぼれない容器(水筒、ペットボトル等)に限って飲料摂取を認めています。喫煙、食事はできません。館内環境の維持にご協力をお願いします。

地下書庫 (地階)

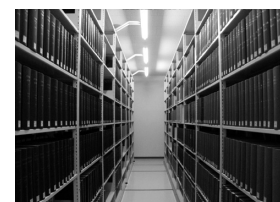
和洋図書(新・旧分類)、和雑誌等を配架しています。カウンターで入庫手续が必要です。

南棟書庫 (吉田南総合館地階)

洋図書(新・旧分類)、洋雑誌を配架しています。カウンターで入庫手续が必要です。



地階 地下書庫

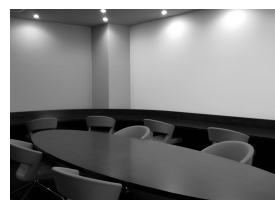


吉田南総合館地階 南棟書庫

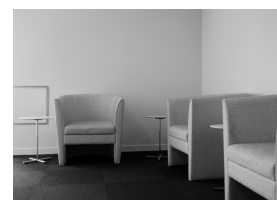
環 on (わおん) (人間・環境学研究所棟1階東)

「環 on」は個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。カウンター席やくつろぎスペース、グループ学習室があります。電源席を備え、無線LANを敷設しています。

・利用時間: 月-金 9:00-17:00



環 on 多目的スペース



環 on くつろぎスペース

VI. 建物配置図等

1. 吉田南構内の安全通行について

(1) 吉田南構内への出入構の方法

吉田南構内への出入りは通常、次の6つの門から行うこととなります。各所に構内整理員がいて指示を行いますので、それに従ってください。なお、各門からの出入構にはそれぞれ制約がありますので、出入構できる対象を確認してください。

出入構可能対象	開門時間
1. 正門…… 歩行者	1. 正門…… 終日
2. 北門…… 歩行者、自転車	2. 北門…… 終日
3. 東門…… 歩行者、自転車	3. 東門…… 7:00~19:00
4. 西門…… 歩行者、自転車	4. 西門…… 7:00~19:00
5. 東南門… 歩行者、自転車、バイク	5. 東南門… 7:00~19:00
6. 西南門… 歩行者、自転車、バイク及び自動車	6. 西南門… 7:00~21:00

上記の開門時間は授業のある平日の場合です。土、日、祝日は東門、東南門、西門は常時閉鎖となります。

(2) 駐車・駐輪場所

自転車は、構内各所の自転車置場に整然と並べてください。バイクは、西門及び東南門の近くに設けてあるバイク置場を使用することとし、構内を走行することはたいへん危険であり、かつ発生する騒音が授業等の支障になるので絶対にしないでください。やむを得ず構内でバイクを移動させる必要がある場合は、エンジンを止めて押して歩くようにして下さい（この際も歩行者、自転車に十分に注意を払うこと）。

◎学生食堂付近は昼食時間帯、非常に混雑します。昼食をとりに来るときはなるべく自転車は控えてください。

(3) 通学のための自動車

吉田南構内では、学生などの自動車による登校は原則的に禁止されています。身体状況等により自動車の使用が必要と認められる場合には、全学共通科目学生窓口に出すうえで、吉田南構内交通安全委員会の承認を得て使用することができます。

(4) 構内における常時駐車・駐輪禁止の場所

①法令により定められている駐車・駐輪禁止場所に関して：

- ✧ 消火栓、消防隊出入口の周辺（黄色画線で表示してあります）
- ✧ 緊急車両の進入口（各入構門）
- ✧ 各建物の緊急用通り抜け通路（次項参照）

②その他の駐車・駐輪禁止場所：

駐車・駐輪に当たっては原則として各指定場所（吉田南構内 交通規制・駐輪駐車図参照）を使用しますが、たとえやむを得ない場合でも次の場所に停めてはいけません。

- ✧ 図書館前の広場。図書館へ書籍納入に訪れる書店の車や、各研究室の手押し車の停車スペースです。
- ✧ 各棟の一階部分に設けられている通り抜け通路付近（東門から吉田南総合館中庭への通路や、吉田南2号館と3号館の間の通路など）。緊急車両の通り抜け口になっています。

(5) 不正駐車等一般ルールを守らない行為に対する処置

➤ 緊急用施設等、常時駐車禁止場所に停めた場合

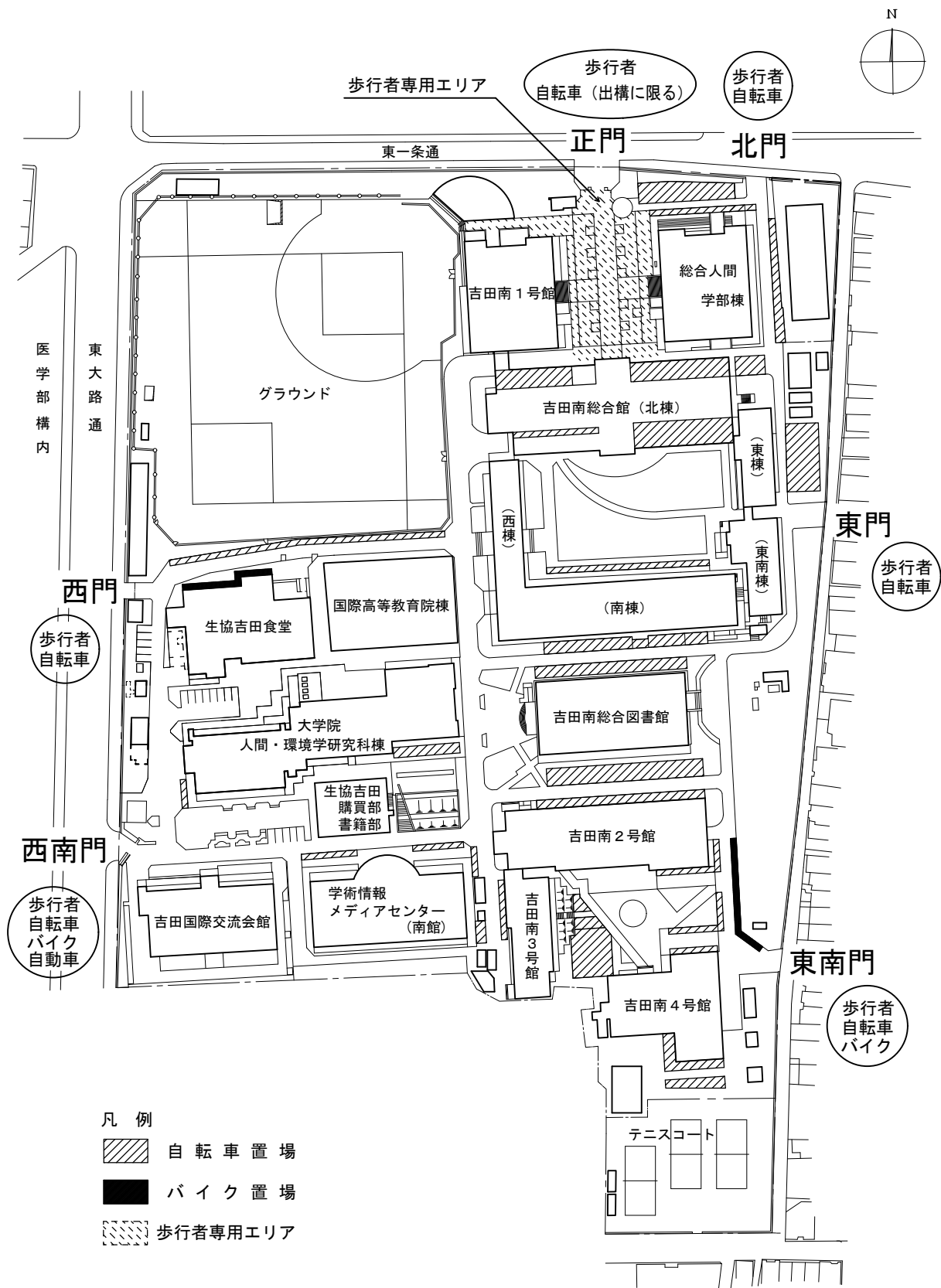
自動車、バイク及び自転車に対しては予告なしに車輪止め（チェーン・ロック）を行うことがあります。また、これらの車両は他の場所へ移動させる処置を併せてとることもあります。この際、移動に要した（レッカー車・駐車場は業者に依頼する）費用は行為者本人の個人負担となり、料金は業者の請求に基づいて直接各人が業者に払い込む必要があります。

前記ケース以外は注意書き貼付、車止め予告の後、チェーン・ロックします。

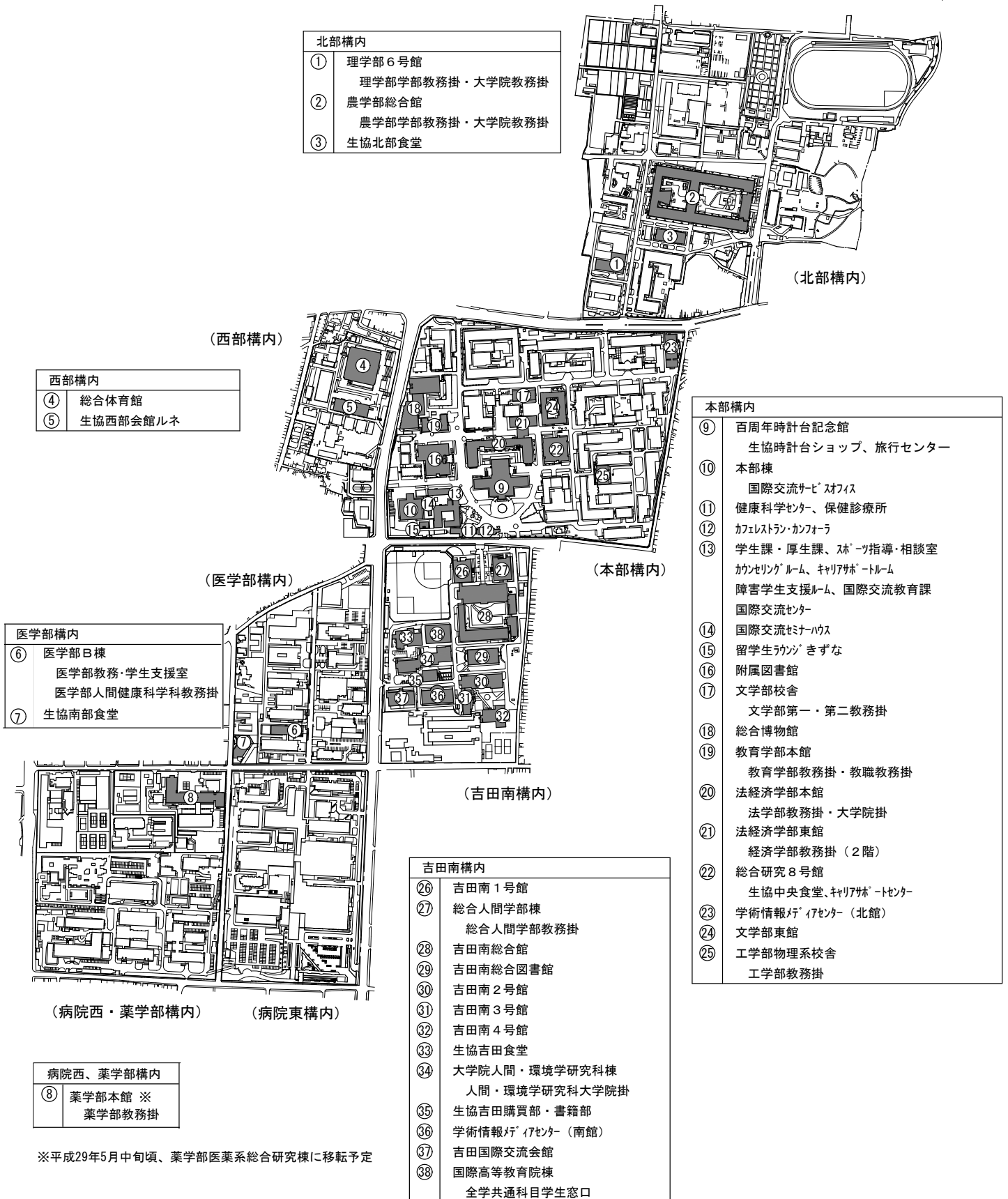
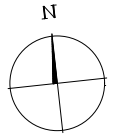
➤ 車止め（チェーン・ロック）の解除手続き

ルール違反によって車止め処置を受けた車両の持ち主は、資産・用度掛（吉田南1号館1階）に申し出、その指示に従って吉田南構内交通安全委員会に解錠申請を行ってください。委員会の解錠許可を受け、委員会立ち会いで解錠します。許可がなければ解錠、移動を行うことができないので注意してください。

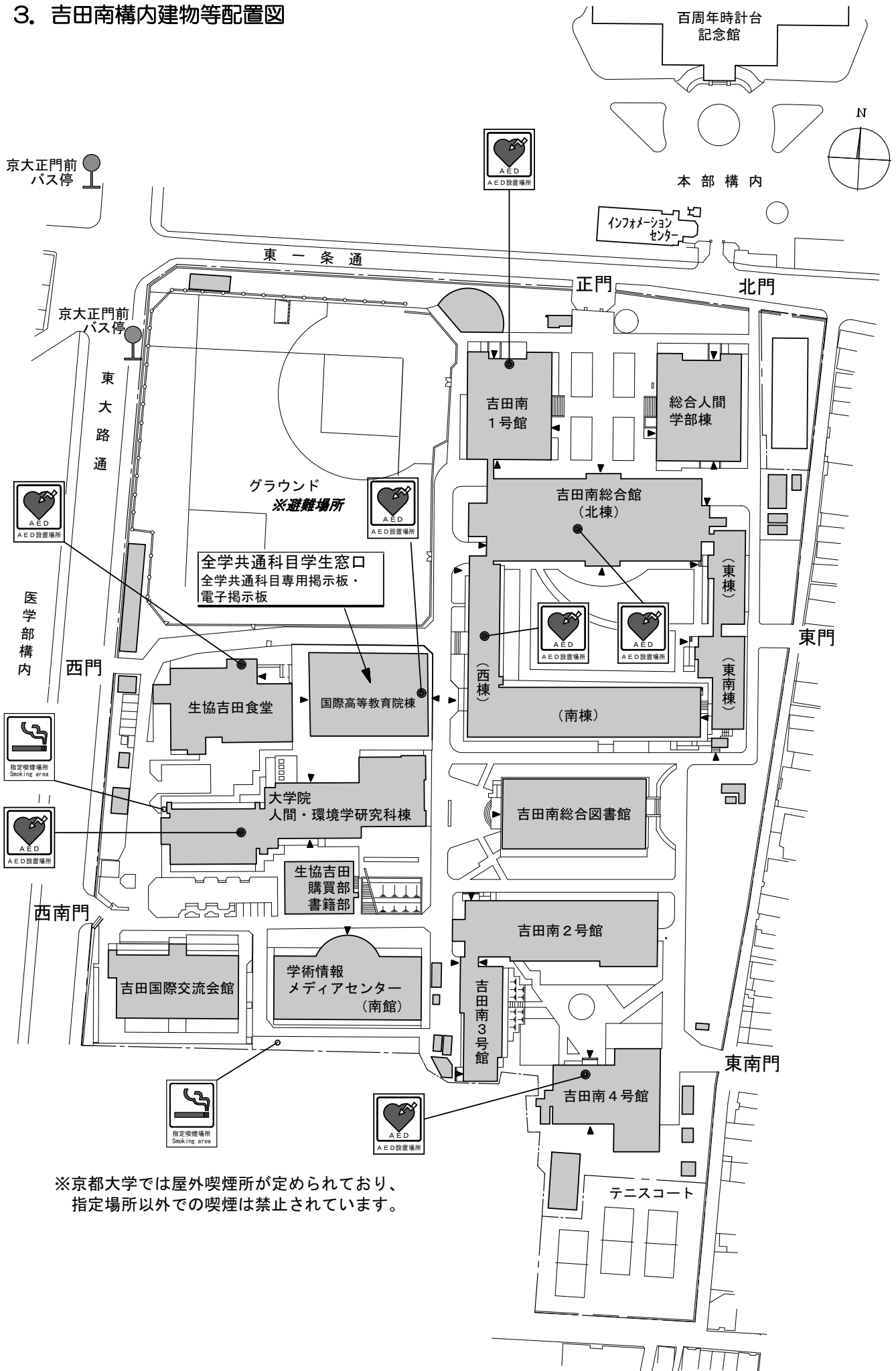
吉田南構内 交通規制・駐輪駐車図



2. 京都大学吉田キャンパス建物配置図



3. 吉田南構内建物等配置図

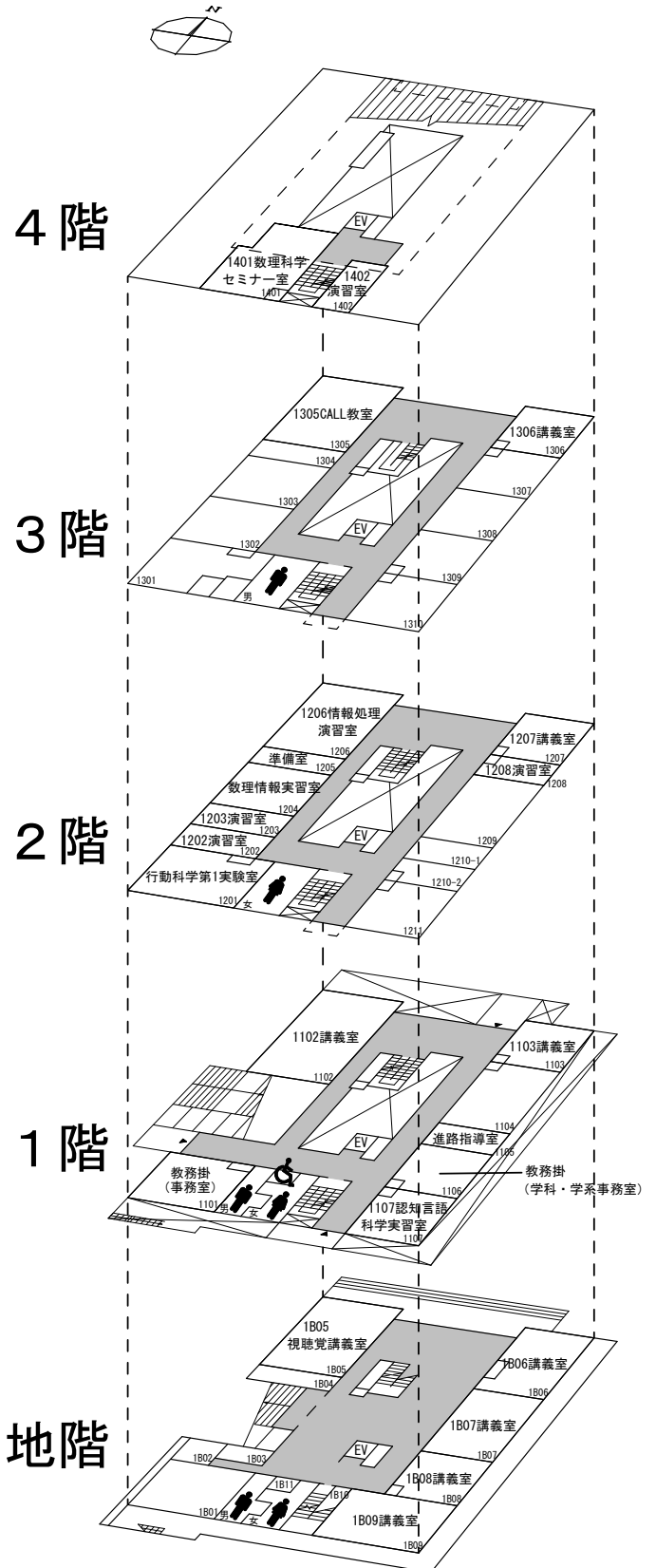
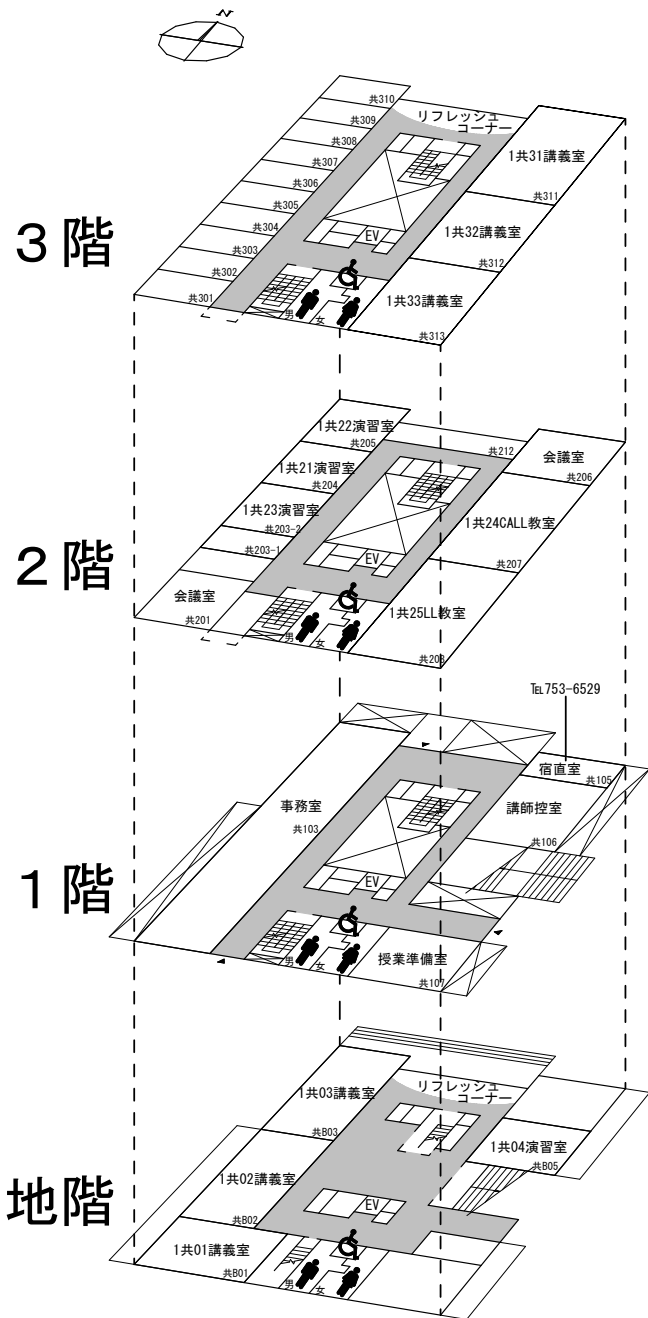


※京都大学では屋外喫煙所が定められており、指定場所以外での喫煙は禁止されています。

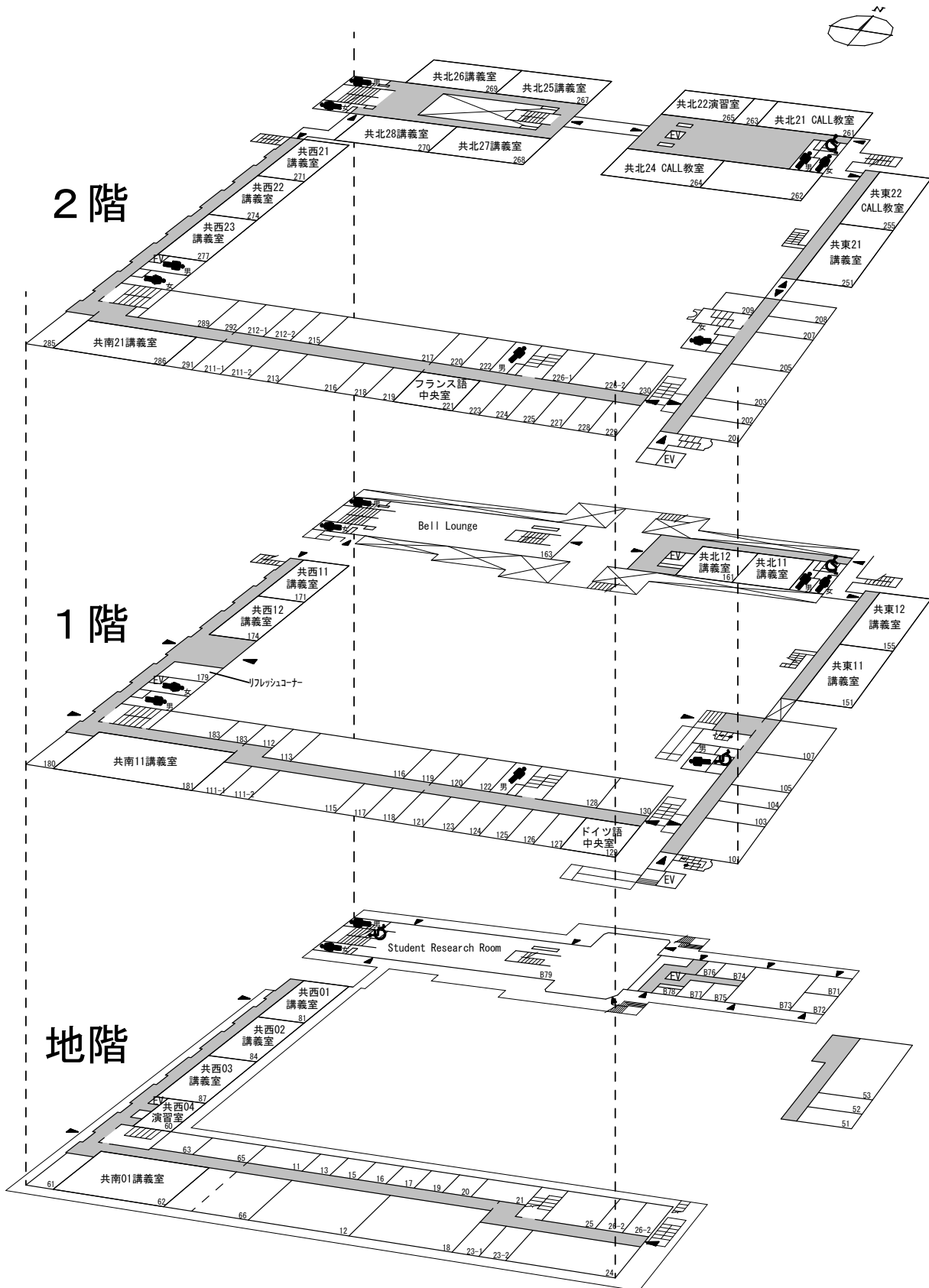
4. 吉田南構内教室等配置図

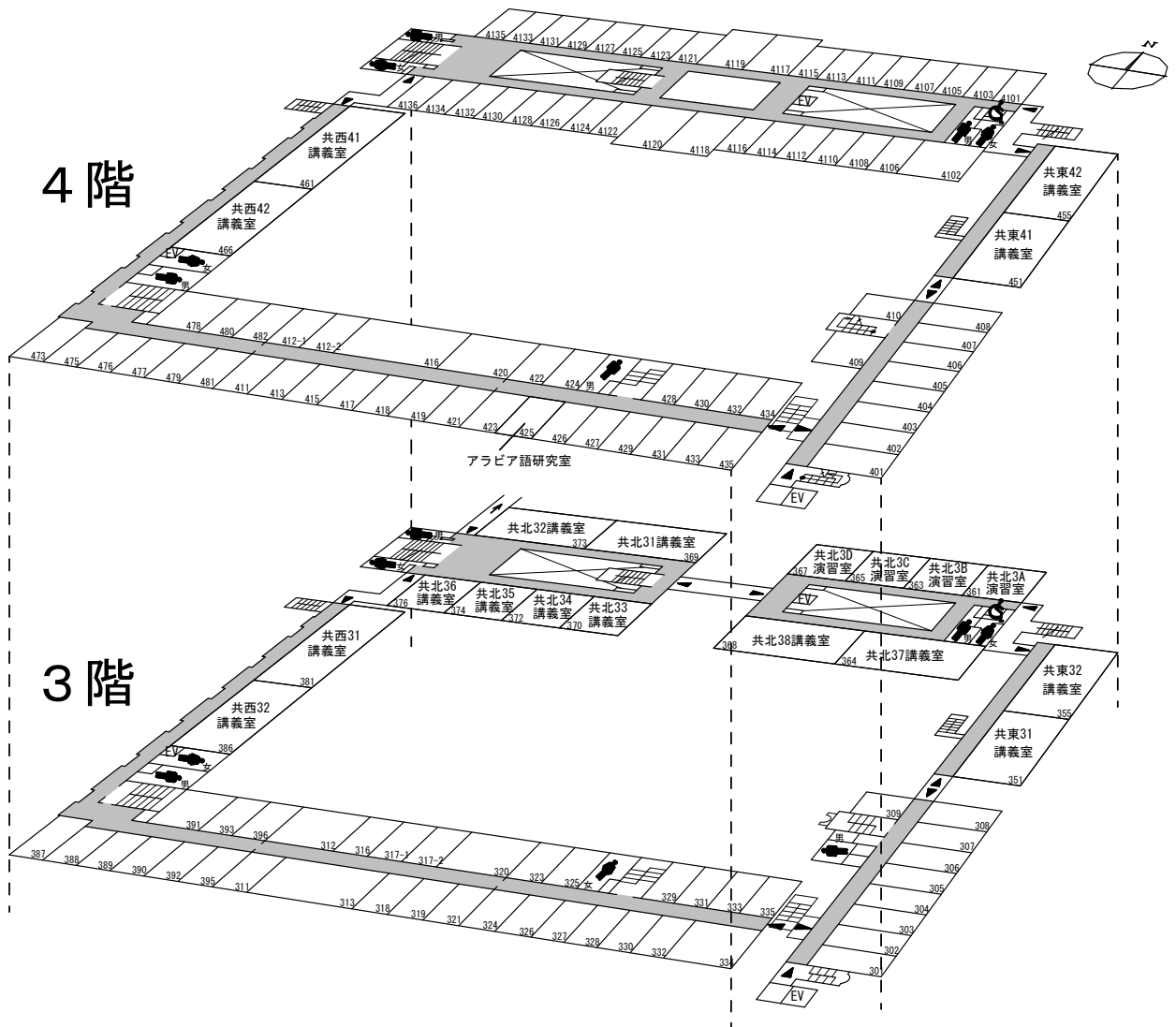
吉田南 1 号館

総合人間学部棟

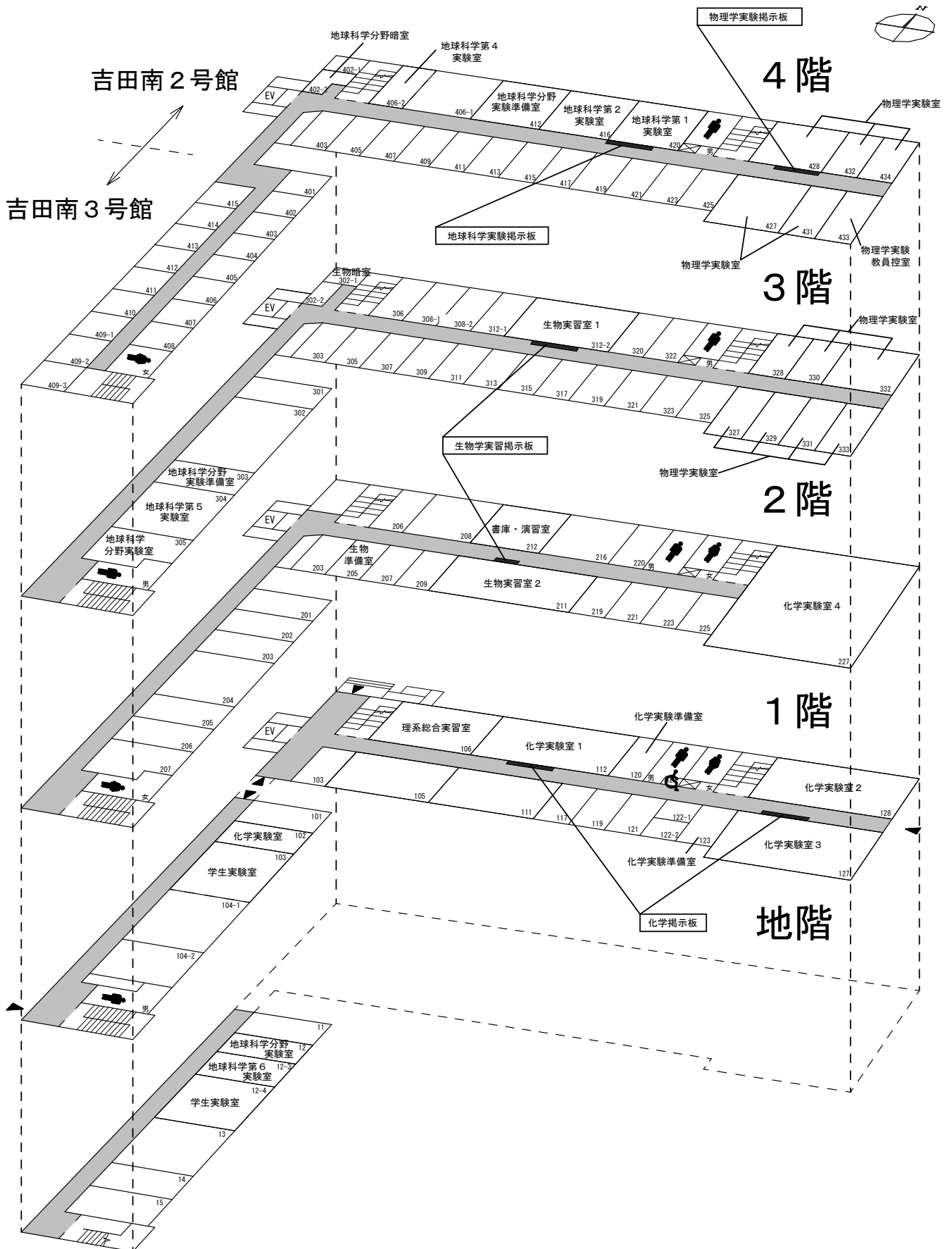


吉田南総合館

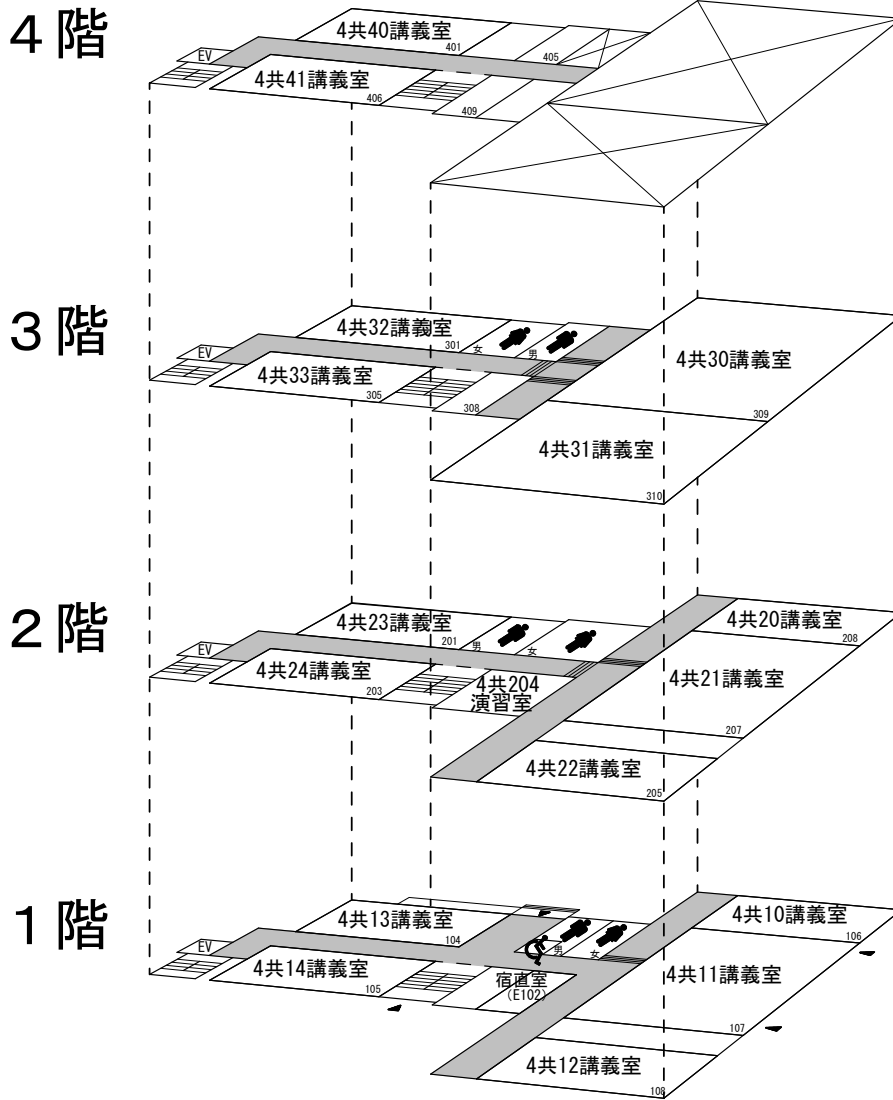




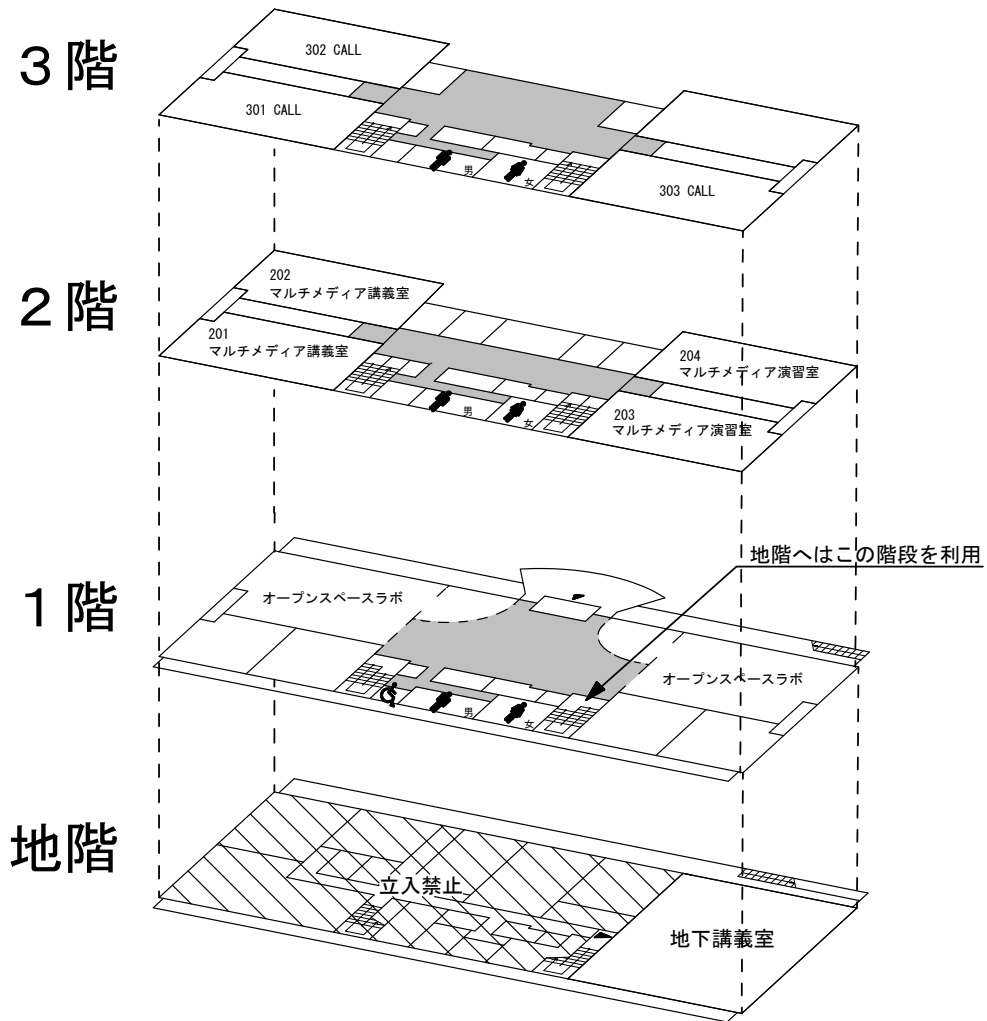
吉田南2・3号館



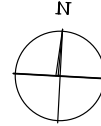
吉田南 4 号館



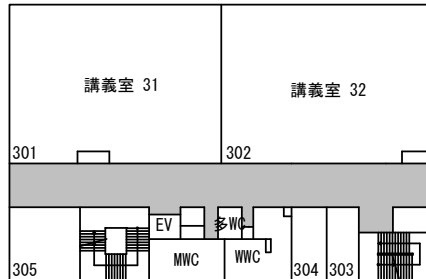
学術情報メディアセンター(南館)



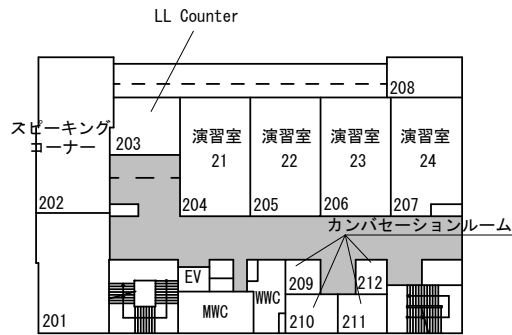
国際高等教育院棟



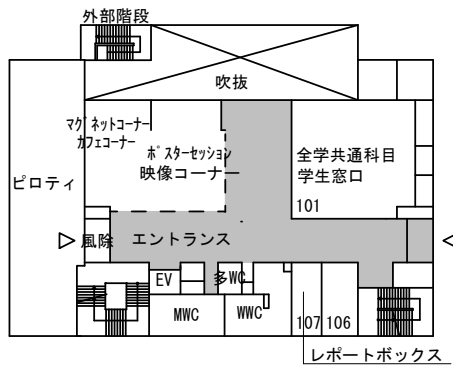
3階



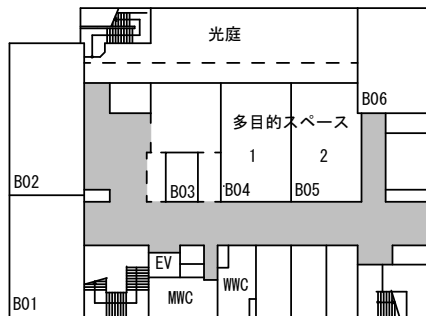
2階



1階



地階



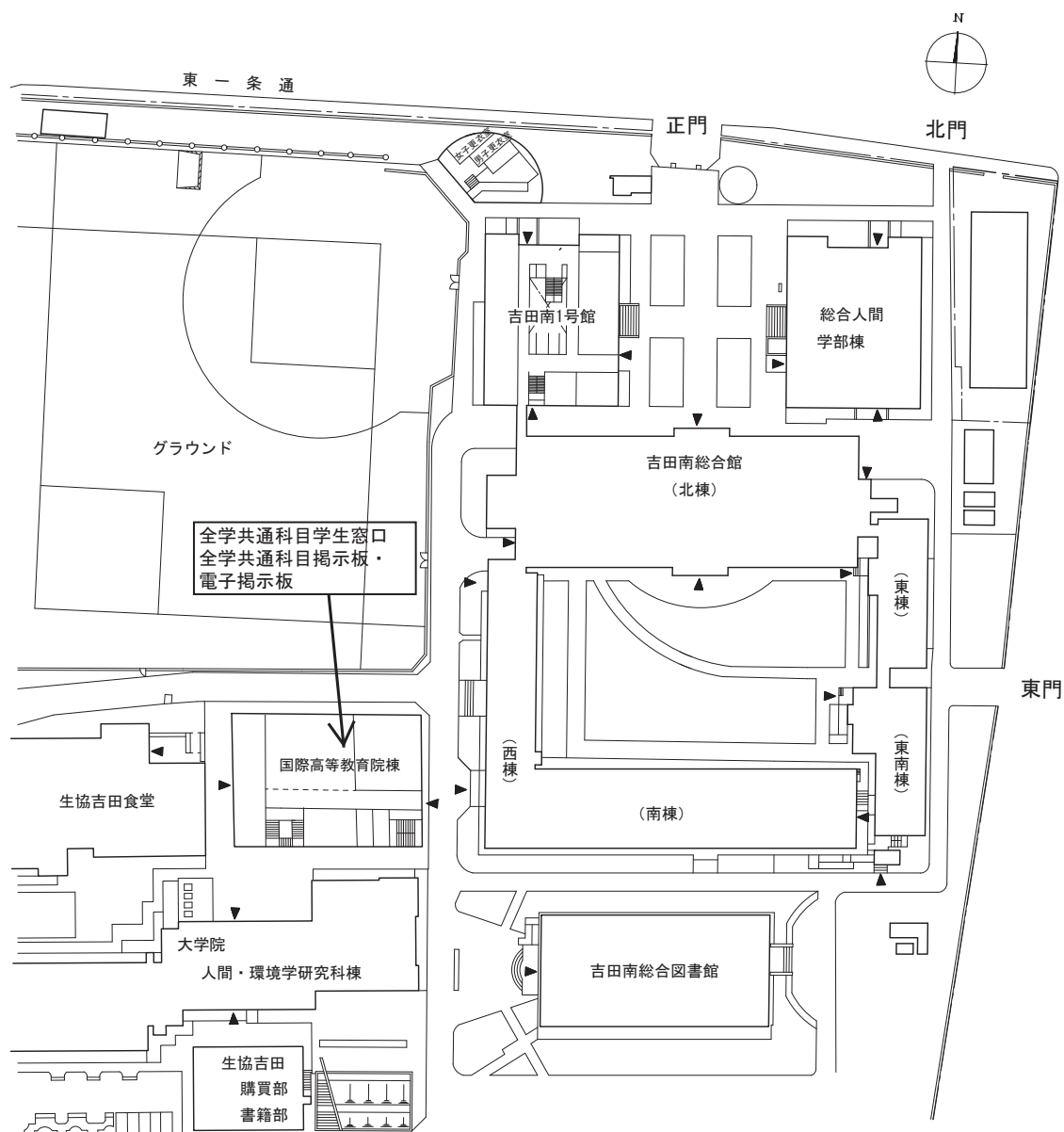
5. 吉田南構内教室設備一覧

建物	教室名	定員(人)		暗幕	スクリーン	ブラインド	ビデオ	DVD	ブルーレイ	マイク	モニター	プロジェクター	LAN接続※	教材提示装置	黒板・白板	ICカードリーダー (出席登録システム)	摘要	
		講義	試験															*は電動
吉田南1号館	地階	1共01	70	45	○	○*	○	○	○	○		○	○	○	○	黒板	○	
		1共02	115	74	○	○*	○		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		1共03	98	55		○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	スクリーンは黒板の右側に設置
		1共04(演習室)	36	—		○*	○	○	○	○			○	○	○	白板	○	可動機,スクリーンは白板の左側に斜めに設置
	2階	1共21(演習室)	33	—		○	○	○	○				○*	○		白板	○	可動機,スクリーンは白板の左側に設置 電子黒板
		1共22(演習室)	33	—		○*	○	○	○				○	○	○	白板	○	可動機,スクリーンは白板の左側に斜めに設置
		1共23(演習室)	24	—		○*	○		○	○			○	○	○	白板	○	可動機
		1共24(CALL)	54	—	○	○*	○	○	○	○	○		○	○	○	白板	○	プリンタ,センタモニター,カセットデッキ,カーペット,学生卓ネット接続可
	3階	1共25(LL)	64	—	○	○*	○	○	○		○		○	○	○	白板	○	センタモニター,MD,CD,全世界対応方式ビデオ,カセットデッキ,カーペット
		1共31	132	87	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
1共32		87	58	○	○*	○	○	○	○	○		○	○	○	黒板	○		
	1共33	90	60	○	○*	○	○	○	○	○		○	○	○	黒板	○		
吉田南総合館	1階	共北11	48	—	○*	○*	○	○	○	○		○	○	○	白板	○	可動機,カーペット	
		共北12	48	—	○*	○*	○	○	○	○		○	○	○	白板	○	可動機,カーペット	
	2階	共北21(CALL)	54	—	○*	○*	○	○	○	○	○		○	○	○	白板	○	プリンタ,センタモニター,カセットデッキ,カーペット,学生卓ネット接続可
		共北22(演習室)	64	—	○	○*	○		○	○	○	2	○	○	○	白板	○	可動機,カーペット
		共北24(CALL)	54	—	○	○*	○	○	○	○	○		○	○	○	白板	○	プリンタ,センタモニター,カセットデッキ,カーペット,学生卓ネット接続可
		共北25	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共北26	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共北27	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
	3階	共北28	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共北31	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共北32	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共北33	59	40	○	○*	○	○	○	○			○	○	○	黒板	○	
		共北34	59	40	○	○*	○	○	○	○			○	○	○	黒板	○	
		共北35	59	40	○	○*	○	○	○	○			○	○	○	黒板	○	
		共北36	59	40	○	○*	○	○	○	○			○	○	○	黒板	○	
		共北37	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共北38	125	83	○	○*	○	○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	教室後方に白板有
		共北3A(演習室)	45	—		○*	○	○	○	○			○	○	○	白板	○	可動機
東棟	1階	共東11	120	75	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
		共東12	80	—	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	白板	○	可動機,カーペット	
	2階	共東21	120	75	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
		共東22(CALL)	54	—	○	○*		○	○	○		○	○	○	白板	○	プリンタ,センタモニター,カセットデッキ,カーペット,学生卓ネット接続可	
	3階	共東31	120	75	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
		共東32	120	75	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
4階	共東41	120	75	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○			
	共東42	120	75	○	○*		○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	スクリーンは黒板の左側に設置		

建物	教室名	定員(人)		暗幕 *は電動	スクリーン *は電動	ブラインド	ビデオ	DVD	ブルーレイ	マイク	モニター	プロジェクター *は電子黒板	LAN接続※	教材提示装置	黒板・白板	ICカードリーダー (出席登録システム)	摘要	
		講義	試験															
吉田南総合館	西棟 地階	共西01	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共西02	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共西03	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共西04(演習室)	24	—		○	○	○						○	○	○	白板	○
	1階	共西11	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共西12	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
	2階	共西21	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共西22	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
		共西23	72	45	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○	
	3階	共西31	135	85	○	○*		○	○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	
		共西32	114	72	○	○*		○	○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	
	4階	共西41	135	85	○	○*		○	○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	
		共西42	103	66	○	○*		○	○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	
	南棟	地階	共南01	154	98	○	○*		○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	
1階		共南11	181	115	○	○*		○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	演示実験室	
2階		共南21	100	63	○	○*		○	○	○	4	○	○	○	黒板	○		
吉田南4号館	1階	4共10	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
		4共11	254	144		○*	○	○	○	○	○	6	○	○	○	黒板	○	
		4共12	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
		4共13	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
		4共14	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
	2階	4共204(演習室)	24	—		○*	○		○	○			○	○	○	白板	○	可動機
		4共20	80	50		○*	○		○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
		4共21	258	146		○*	○	○	○	○	○	6	○	○	○	黒板	○	
		4共22	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
		4共23	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
	3階	4共24	80	50		○*	○	○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
		4共30	376	200		○*	○	○	○	○	○	6	○	○	○	黒板	○	
		4共31	225	121		○*	○	○	○	○	○	4	○	○	○	黒板	○	
	4階	4共32	80	50	○	○*		○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○	
4共33		80	50	○	○*		○	○	○	○	2	○	●	○	黒板	○		
4共40		80	50	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
3階	4共41	80	50	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
	4共41	80	50	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	黒板	○		
国際高等教育院棟	2階	演習室21	30	—		○*	○		○	○		○	○		白板	○	テーブル付き椅子	
		演習室22	30	—		○		○	○			○*	○		白板	○	テーブル付き椅子, 電子黒板	
		演習室23	30	—		○		○	○			○*	○		白板	○	テーブル付き椅子, 電子黒板	
		演習室24	30	—		○*	○		○	○		○	○		白板	○	テーブル付き椅子	
	3階	講義室31	240	160		○*	○		○	○		4	○	○	○	白板	○	講義収録システム
		講義室32	240	160		○*	○		○	○		4	○	○	○	白板	○	講義収録システム
総合人間学部棟	1305(CALL)	54	—	○*	○*	○	○	○	○	○		○	○	○	白板	○	プリンタ, センサーモニター, 投写機, ケーブル, 学生卓ネット接続可	
行17南館	地下講義室	248	124		○*		○	○	○	○	3	○	○	○	黒板	○		
吉田南2号館	理系総合実習室	81	—	○	○*		○	○	○	○	2	○	○	○	白板	○	可動機(16台), 机前に着席可能な人数は48人	

※ LAN接続欄の「●」は無線LANのみ接続可能であることを示しています。

KULASIS を常時確認するように心掛けてください。



◆ 全学共通科目に関する問い合わせ先 ◆

全学共通科目学生窓口（国際高等教育院棟1階）

受付時間

～ 授業期間、試験期間、およびフィードバック期間 ～
8時30分～18時45分
～ その他の期間 ～
8時30分～17時15分

※ただし、土曜・日曜・祝日・創立記念日・
8月第3週の月曜日～水曜日・年末年始(12/29～1/3)は休止

◆ KULASIS（京都大学教務情報システム） ◆

全学生共通ポータル : <https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/>